土浦市
こどもの貧困対策のための生活状況調査
結果報告書

令和６年７月

土　浦　市

目次

Ⅰ　調査の概要 1
　1　調査の目的 1
　2　調査対象 1
　3　調査期間 1
　4　調査方法 1
　5　回収状況 1
　6　調査結果の表示方法 2

Ⅱ　調査結果 3
　1　6年生 3
　　（1）あなたのことについて 3
　　（2）あなたの友だちのことについて 5
　　（3）あなたのふだんの生活について 6
　　（4）食事のことや健康のことについて 12
　　（5）学校のことや勉強のことについて 16
　　（6）あなたが普段考えていることについて 22
　2　6年生保護者 30
　　（1）あなたのこと、あなたの世帯のことについて 30
　　（2）お子さんのお母さんとお父さんの職業について 35
　　（3）お子さんの健康状態について 39
　　（4）あなた（回答者）について 41
　　（5）お子さんにしていることについて 43
　　（6）家計の状況について 46
　　（7）あなたのご家庭での生活について 50
　　（8）お子さんのお母さんとお父さんのこれまでのご経験について 53
　　（9）公的支援の利用状況について 57
　3　9年生 65
　　（1）あなたのことについて 65
　　（2）あなたの友人のことについて 68
　　（3）あなたのふだんの生活について 69
　　（4）食事のことや健康のことについて 75
　　（5）学校のことや勉強のことについて 80

（６）あなたが普段考えていることについて 85
４　９年生保護者 90
（１）あなたのこと、あなたの世帯のことについて 90
（２）お子さんのお母さんとお父さんの職業について 95
（３）お子さんの健康状態について 99
（４）あなた（回答者）について 101
（５）お子さんにしていることについて 103
（６）家計の状況について 106
（７）あなたのご家庭での生活について 109
（８）お子さんのお母さんとお父さんのこれまでのご経験について 112
（９）公的支援の利用状況について 116
５　17 歳 124
（１）あなたのことについて 124
（２）あなたの普段の生活について 126
（３）学校のことや勉強のことについて 127
（４）あなたの生活について 135
（５）食事のことについて 139
（６）健康のことについて 142
（７）アルバイトなどのお仕事について 145
（８）あなたが普段考えていることについて 149
６　17 歳保護者 153
（１）あなたのこと、あなたの世帯のことについて 153
（２）お子さんのお母さんとお父さんの職業について 158
（３）お子さんの健康状態について 162
（４）あなた（回答者）について 164
（５）お子さんにしていることについて 166
（６）家計の状況について 169
（７）あなたのご家庭での生活について 173
（８）お子さんのお母さんとお父さんのこれまでのご経験について 176
（９）公的支援の利用状況について 180

Ⅲ　自由回答 188
１　６年生 188
２　６年生保護者 198
３　９年生 206
４　９年生保護者 212
５　17 歳 217
６　17 歳保護者 220

Ⅳ　調査票 226
　1　6年生 226
　2　6年生保護者 231
　3　9年生 237
　4　9年生保護者 243
　5　17歳 249
　6　17歳保護者 255

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

社会問題となっている「こどもの貧困対策」や「ヤングケアラー支援」に関する計画を策定する際の基礎資料とするため、生活の状況や困りごとについての調査を実施するものです。

2　調査対象

（1）６年生：市内の公立小学校６年生全員
（2）６年生保護者：（1）の保護者
（3）９年生：市内の公立小学校９年生全員
（4）９年生保護者：（3）の保護者
（5）17 歳：住民基本台帳から無作為抽出した令和６年４月１日現在で 17 歳の方 1,000 人
（6）17 歳保護者：（5）の保護者

3　調査期間

令和６年４月 23 日（火）～令和６年５月 17 日（金）

4　調査方法

６年生・６年生保護者・９年生・９年生保護者：学校を通じて配布、Web による回答
17 歳・17 歳保護者：郵送による回答依頼、Web による回答

5　回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
６年生	1,096通	355通	32.4%
６年生保護者	1,096通	327通	29.8%
９年生	997通	180通	18.1%
９年生保護者	997通	148通	14.8%
17 歳	1,000通	154通	15.4%
17 歳保護者	1,000通	178通	17.8%

6　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が１桁の場合は、コメントを差し控えています。

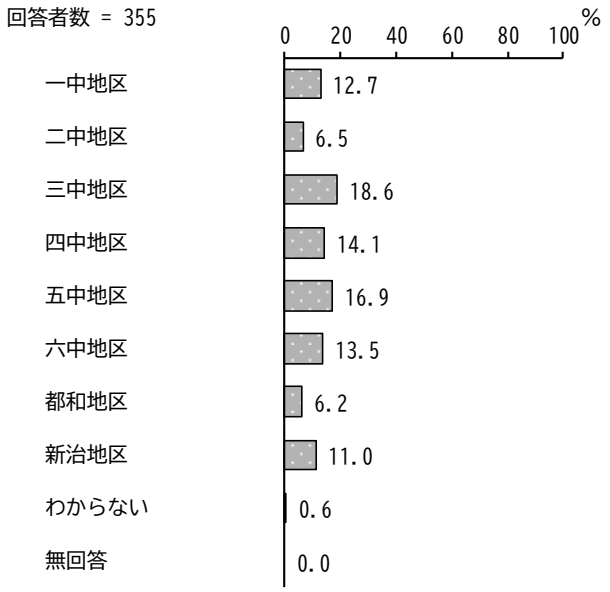
Ⅱ　調査結果

１　６年生

（１）あなたのことについて

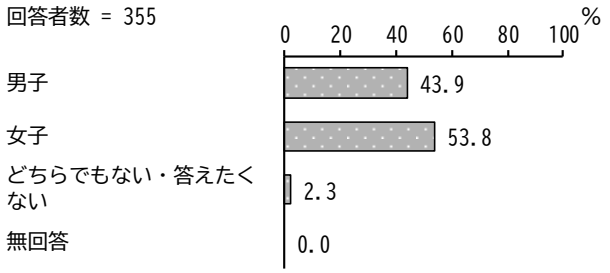
はじめに、お住まいの地区としてあてはまる番号１つを選択してください。

「三中地区」の割合が 18.6%と最も高く、次いで「五中地区」の割合が 16.9%、「四中地区」の割合が 14.1%となっています。



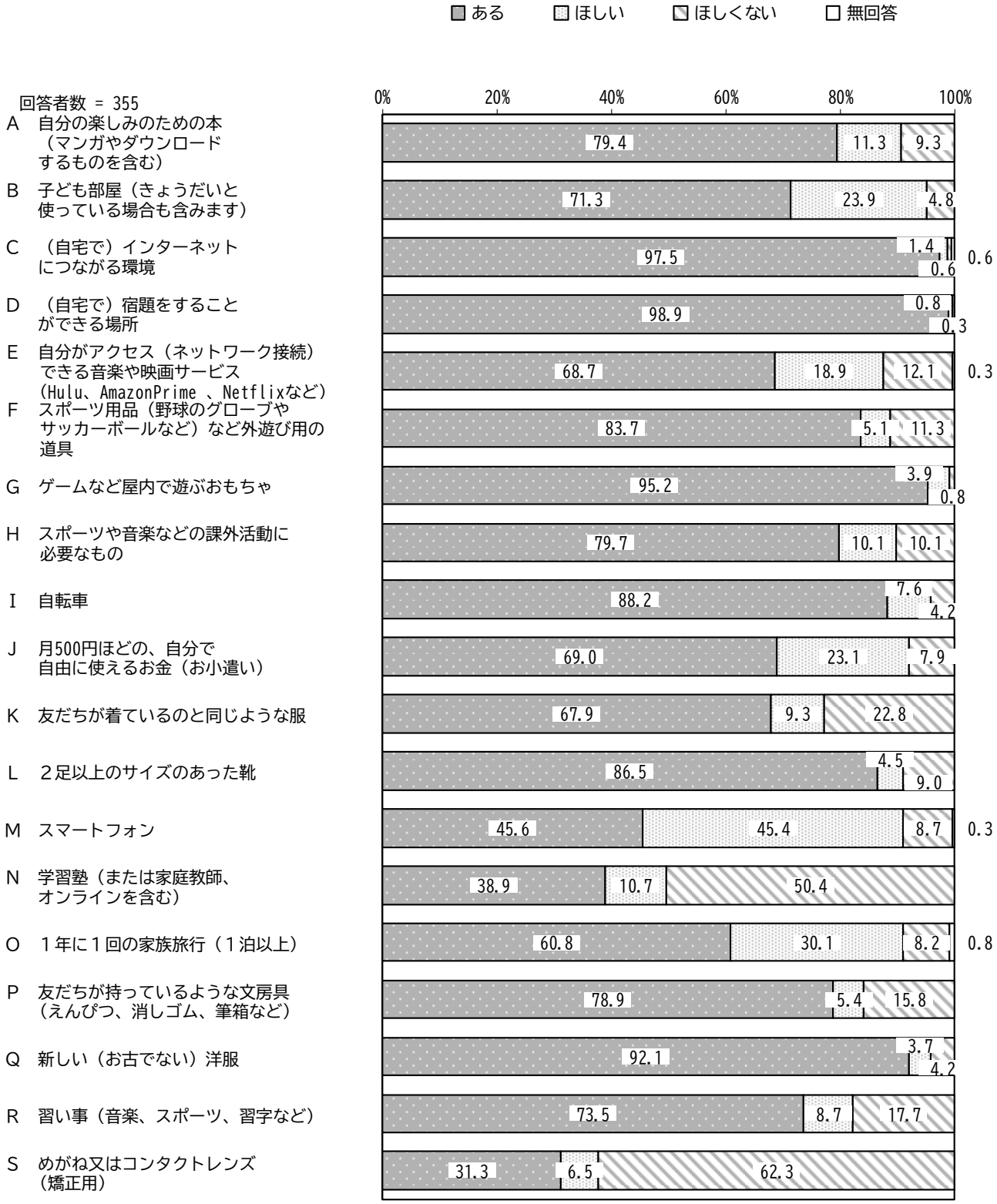
問１　あなたの性別を教えてください。（〇は１つ）

「女子」の割合が 53.8%、「男子」の割合が 43.9%となっています。



問２　あなたには、自分が使うことができる、以下のもの（こと）があり(でき)ますか。ある場合は「１　ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「２　ほしい」、いらないと思うものであれば「３　ほしくない」に○をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号１つに○)

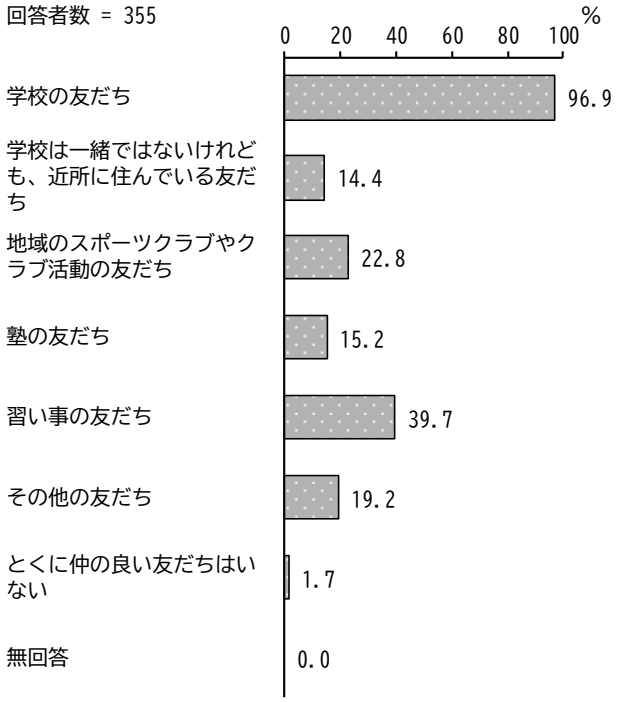
『C　(自宅で) インターネットにつながる環境』『D　(自宅で) 宿題をすることができる場所』で「ある」の割合が高くなっています。一方、『M　スマートフォン』で「ほしい」の割合が、『S　めがね又はコンタクトレンズ（矯正用)』で「ほしくない」の割合が高くなっています。



（２）あなたの友だちのことについて

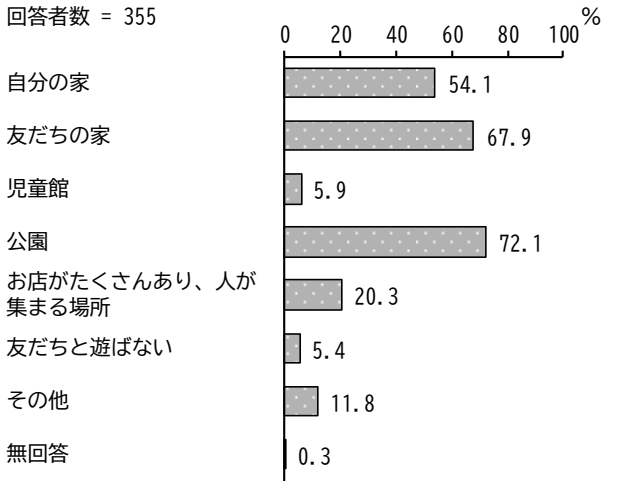
問３　あなたの仲が良い友だちは、どのような友だちですか。（あてはまる番号すべてに○）

「学校の友だち」の割合が 96.9%と最も高く、次いで「習い事の友だち」の割合が 39.7%、「地域のスポーツクラブやクラブ活動の友だち」の割合が 22.8%となっています。



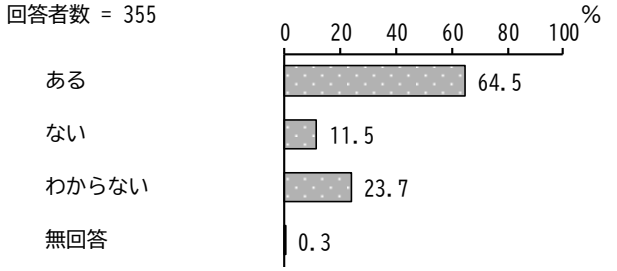
問３－１　あなたは、友だちとあそぶ時は、どこであそびますか。（あてはまる番号すべてに○）

「公園」の割合が 72.1%と最も高く、次いで「友だちの家」の割合が 67.9%、「自分の家」の割合が 54.1%となっています。



問３－２　あなたは、将来なりたい職業がありますか。（あてはまる番号１つに○）

「ある」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 23.7%、「ない」の割合が 11.5%となっています。

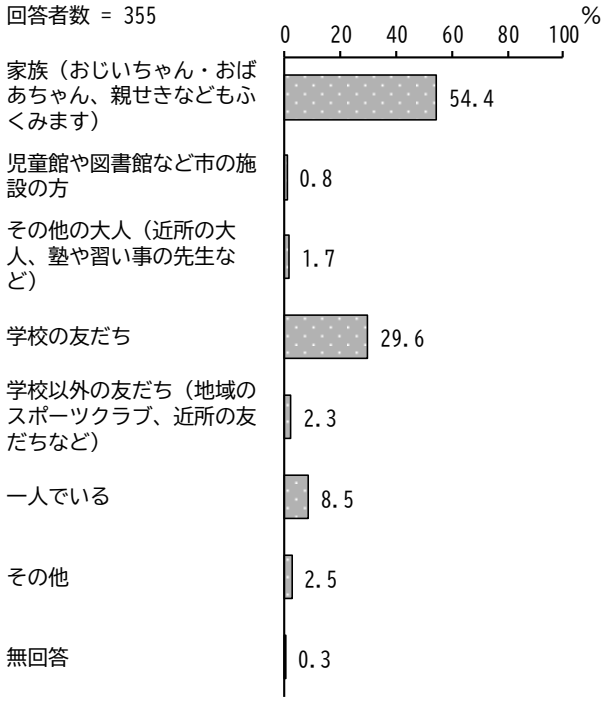


（３）あなたのふだんの生活について

問４　あなたは、（１）平日（学校に行く日）の放課後（チャイムが鳴るまで）と、（２）週末（学校に行かない日）の昼間はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人の番号を□に書いてください。

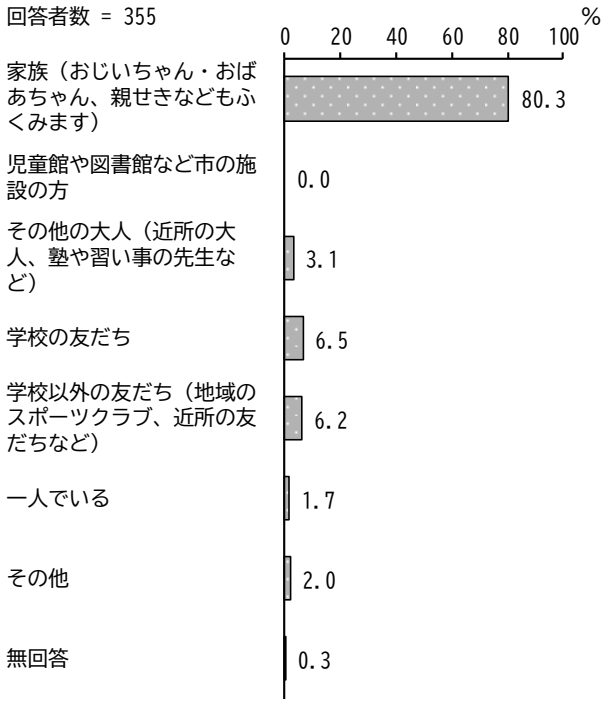
（１）平日

「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくみます）」の割合が 54.4%と最も高く、次いで「学校の友だち」の割合が 29.6%となっています。



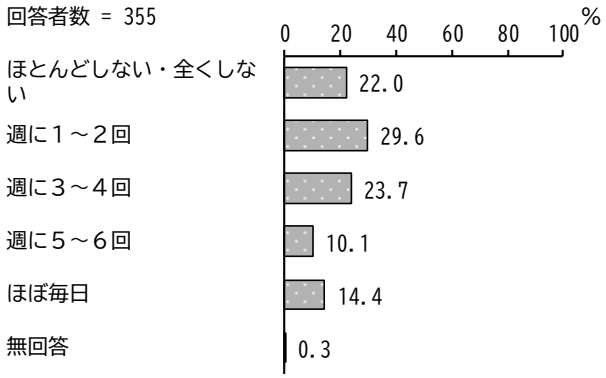
（２）週末

「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくみます）」の割合が 80.3%と最も高くなっています。



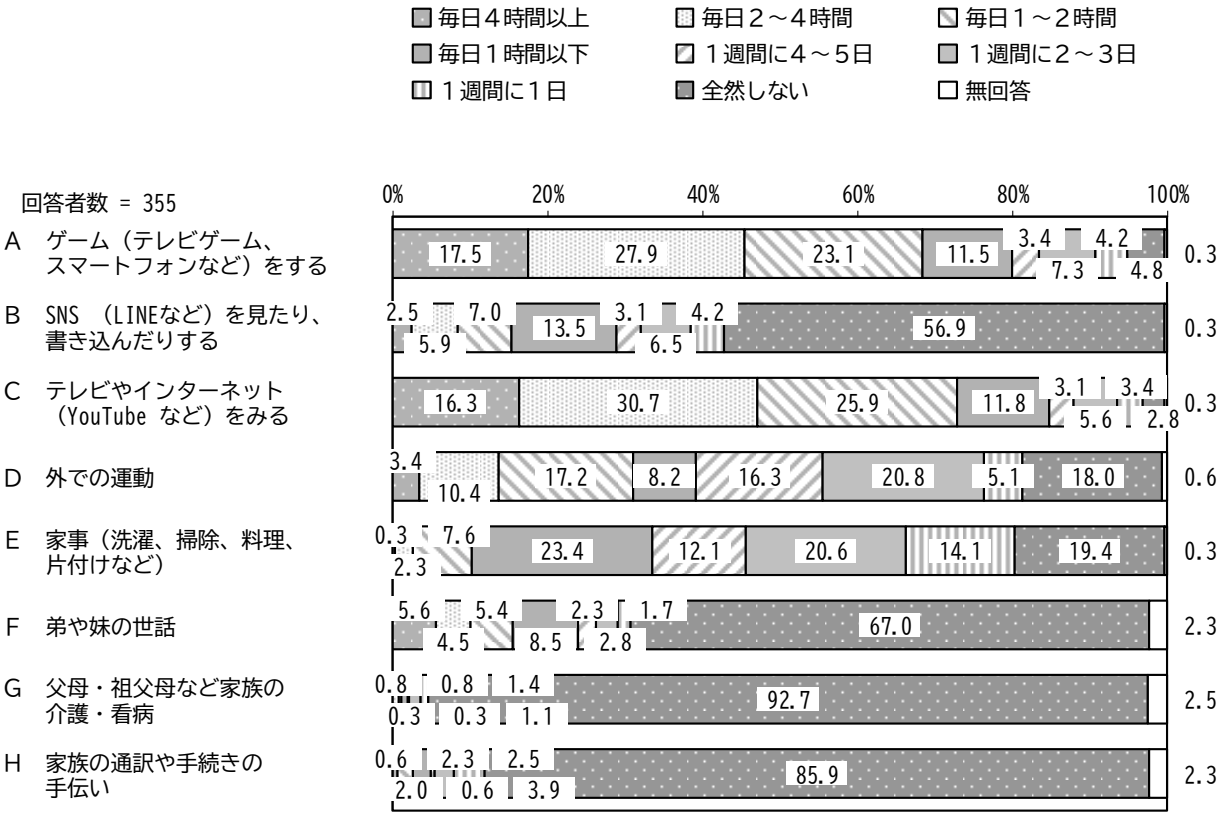
問５　あなたは、30 分以上からだを動かす遊びや習い事を、１週間でどれくらいしますか。（○は１つ）

「週に１～２回」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「週に３～４回」の割合が 23.7%、「ほとんどしない・全くしない」の割合が 22.0%となっています。



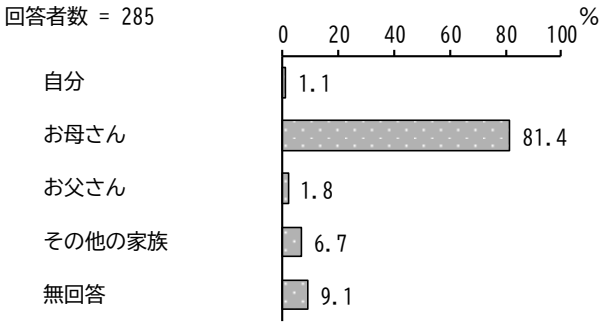
問６　あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。（それぞれ、○は１つ）

『Ａ　ゲーム（テレビゲーム、スマートフォンなど）をする』『Ｃ　テレビやインターネット（YouTube など）をみる』で「毎日４時間以上」の割合が高くなっています。一方、『Ｇ　父母・祖父母など家族の介護・看病』『Ｈ　家族の通訳や手続きの手伝い』で「全然しない」の割合が高くなっています。



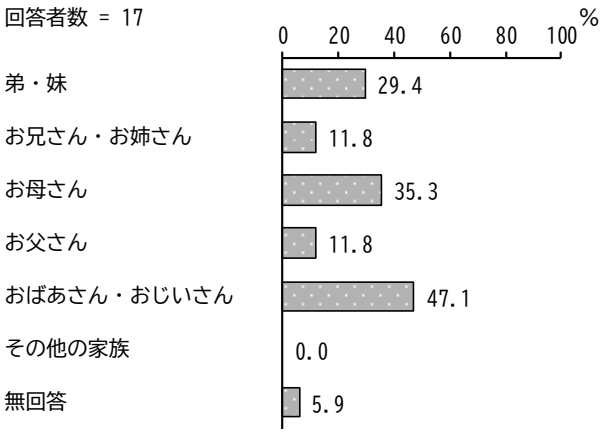
問６－１　「Ｅ」に１～７と答えた人にお聞きします。
家族の中で、家事を最も多くしている人は誰ですか。（○は１つ）

「お母さん」の割合が 81.4%と最も高くなっています。



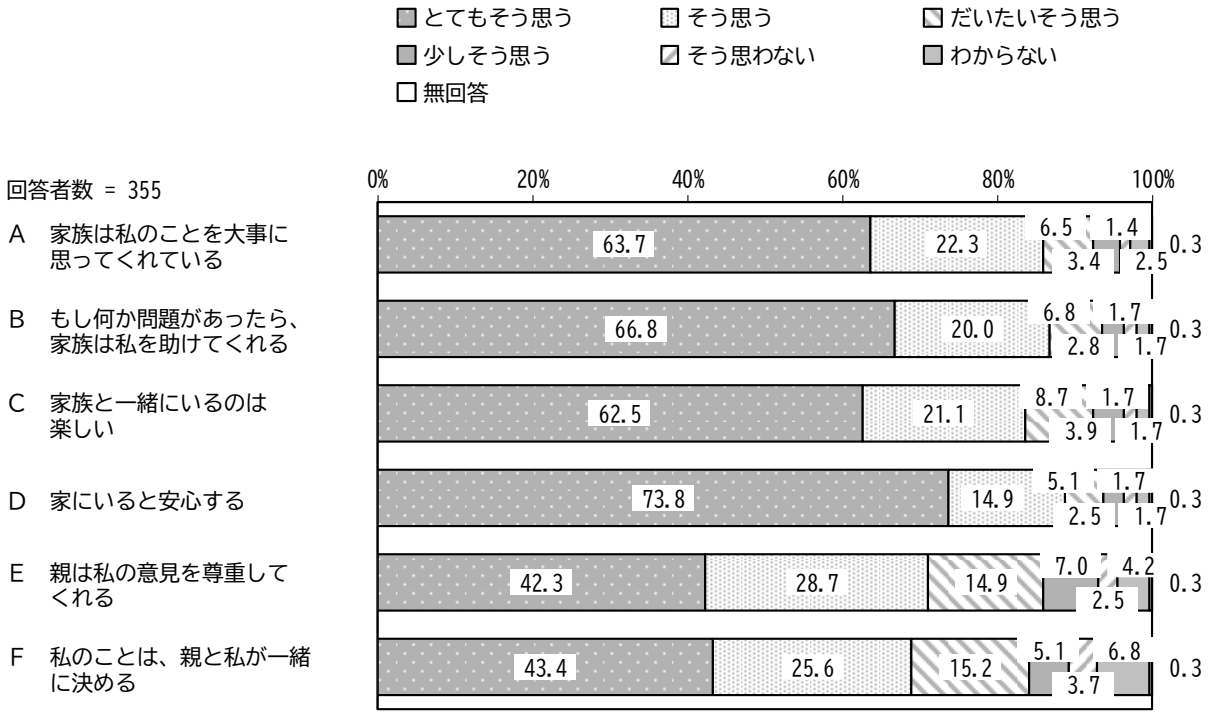
問６－２　「Ｇ」に１～７と答えた人にお聞きします。
あなたが介護・看病している人は誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「おばあさん・おじいさん」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「お母さん」の割合が 35.3%、「弟・妹」の割合が 29.4%となっています。



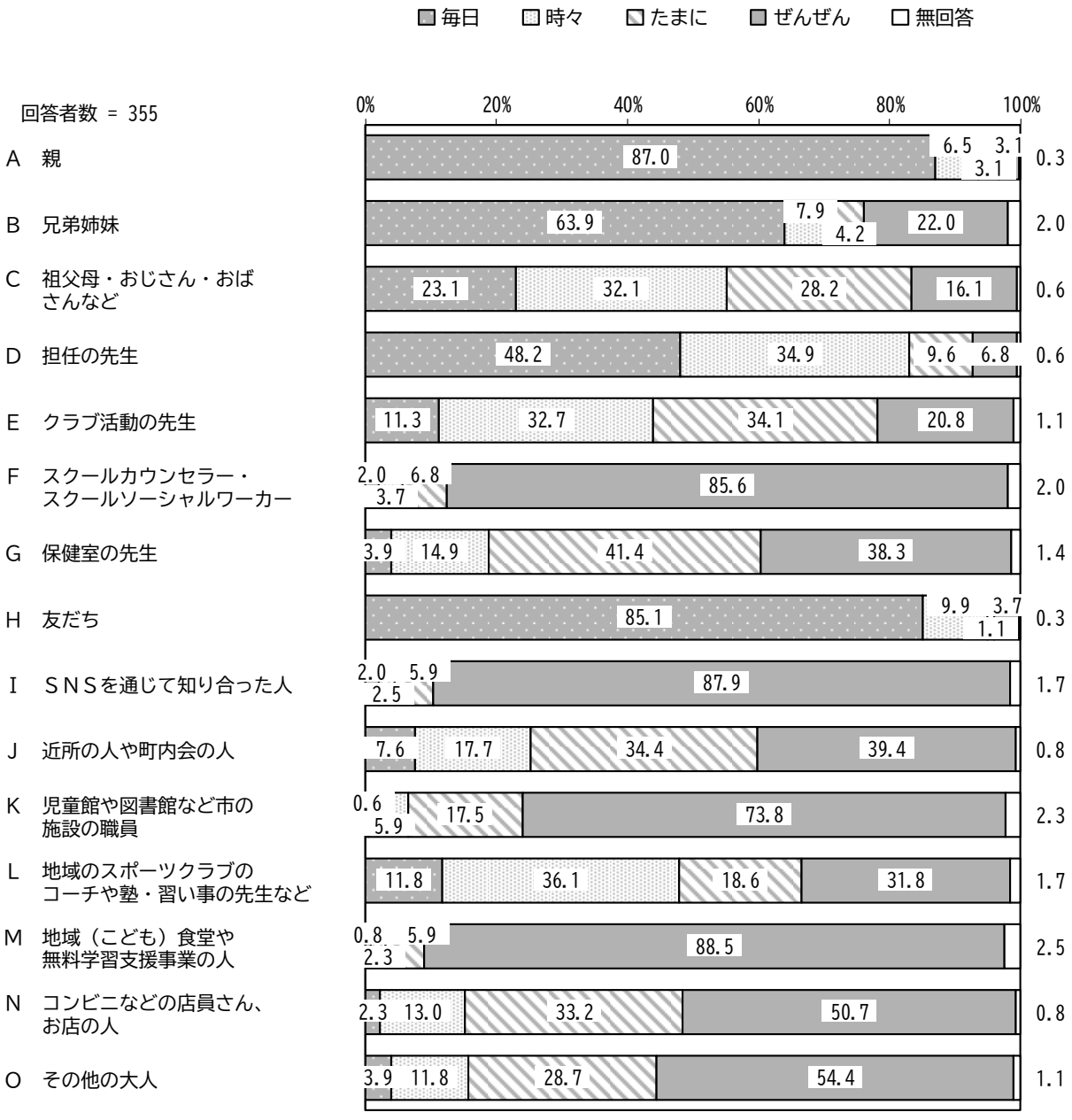
問７　あなたは、以下のことについて、どう思いますか。（それぞれ○は１つ）

『Ｄ　家にいると安心する』で「とてもそう思う」の割合が、『Ｅ　親は私の意見を尊重してくれる』『Ｆ　私のことは、親と私が一緒に決める』で「そう思う」「だいたいそう思う」の割合が高くなっています。



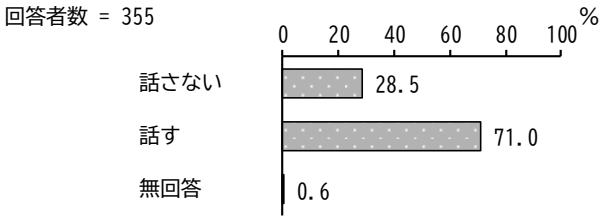
問８　あなたは、ちょっとした会話も含め、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。「１　毎日」から「４　ぜんぜん」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。電話、メール、LINE もふくめて考えてください。
（それぞれ、○は１つ）

『Ａ　親』『Ｈ　友だち』で「毎日」の割合が高くなっています。一方、『Ｆ　スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー』『Ｉ　ＳＮＳを通じて知り合った人』『Ｍ　地域（こども）食堂や無料学習支援事業の人』で「ぜんぜん」の割合が高くなっています。



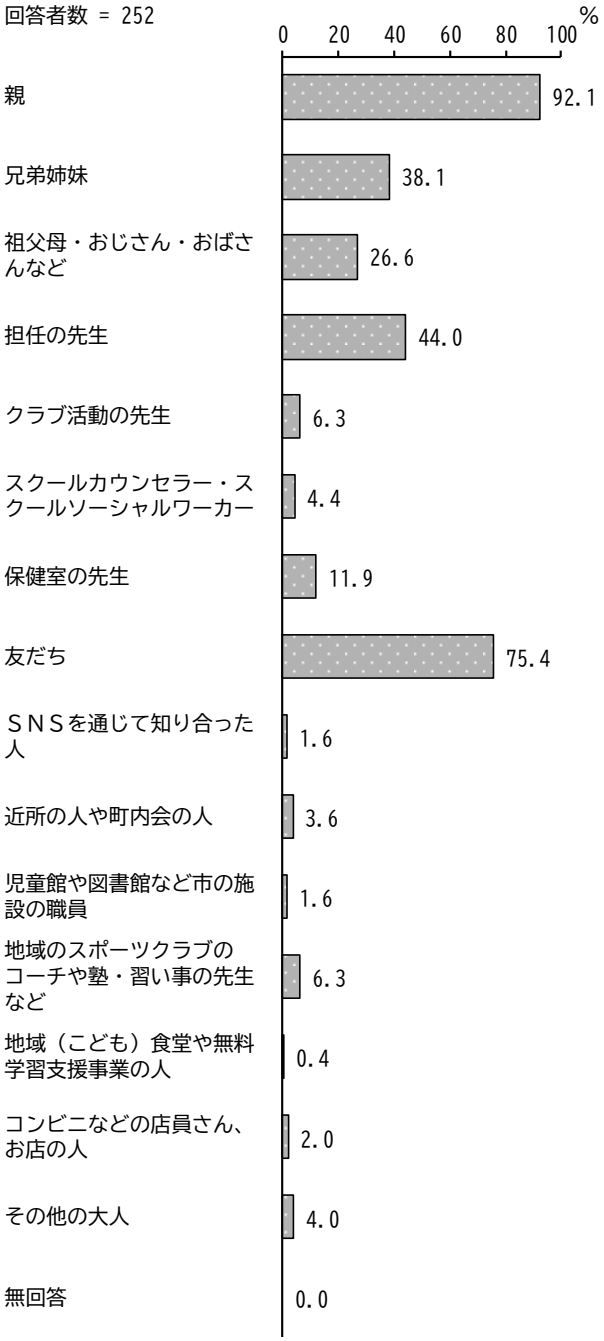
問８－１　あなたに困ったことや、悩んでいることがある時、そのことを誰かに話しますか。上記のＡ～Ｏの相手のうち、話す人の記号をすべて答えてください。

「話さない」の割合が 28.5%、「話す」の割合が 71.0%となっています。



話す相手

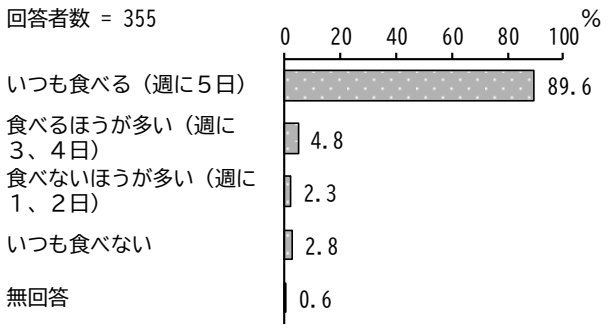
「親」の割合が 92.1%と最も高く、次いで「友だち」の割合が 75.4%、「担任の先生」の割合が 44.0%となっています。



（４）食事のことや健康のことについて

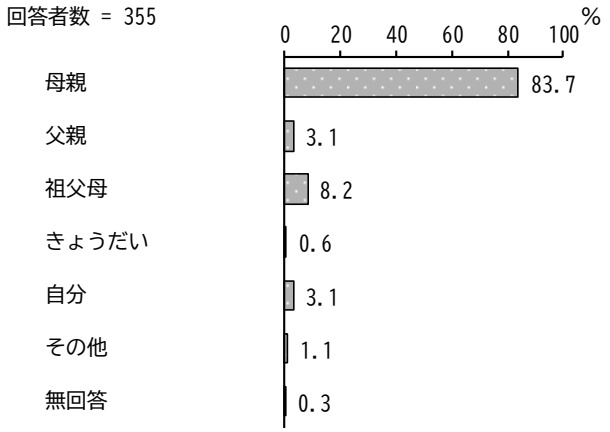
問９　あなたは、平日（学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか。
（あてはまる番号１つに○）

「いつも食べる（週に５日）」の割合が 89.6%と最も高くなっています。



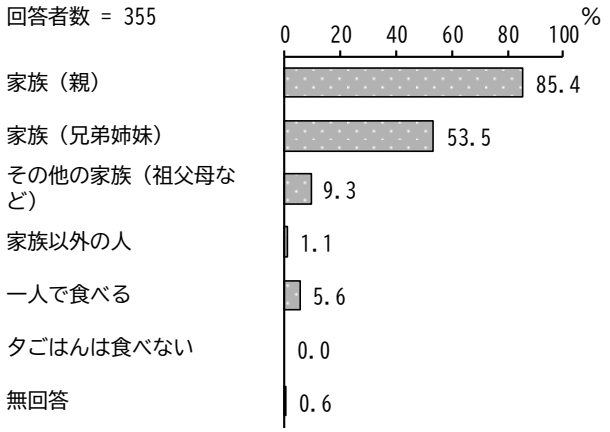
問 10　あなたが自宅で食事をする時、主にだれが作ってくれますか。
（あてはまるもの１つに○）

「母親」の割合が 83.7%と最も高くなっています。



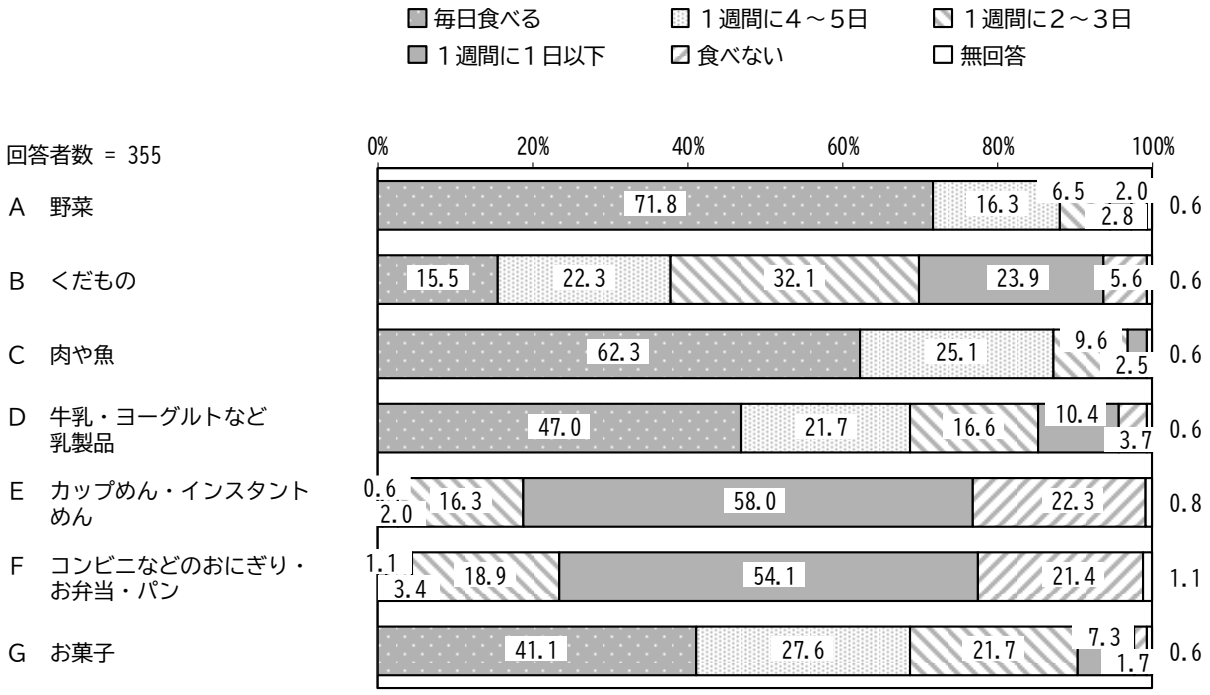
問 11　あなたは、平日（学校に行く日）はタごはんをだれと食べますか。
（あてはまる番号すべてに○）

「家族（親）」の割合が 85.4%と最も高く、次いで「家族（兄弟姉妹）」の割合が 53.5%となっています。



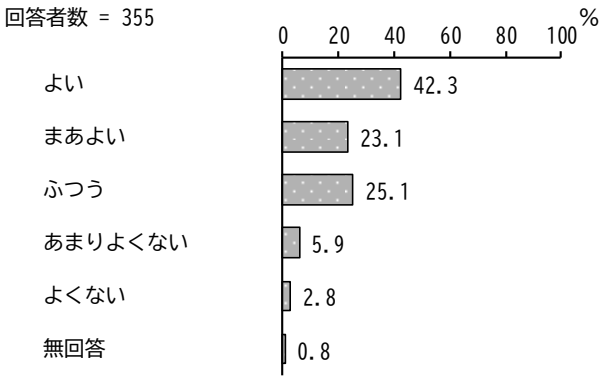
問 12　あなたは、給食をのぞいて、以下の食べ物をふだんどれくらい食べますか。
（それぞれ○は１つ）

『Ａ　野菜』で「毎日食べる」の割合が高くなっています。一方、『Ｅ　カップめん・インスタントめん』『Ｆ　コンビニなどのおにぎり・お弁当・パン』で「食べない」の割合が高くなっています。



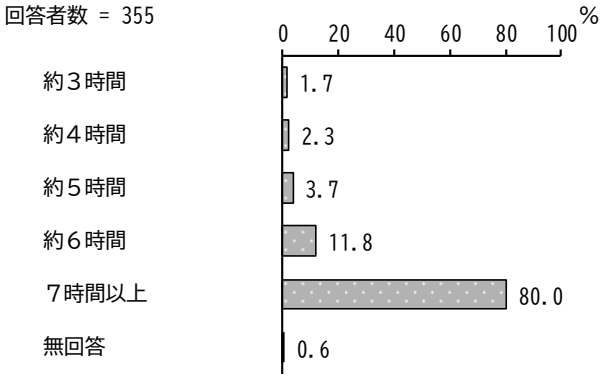
問 13　あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか。（○は１つ）

「よい」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「ふつう」の割合が 25.1%、「まあよい」の割合が 23.1%となっています。



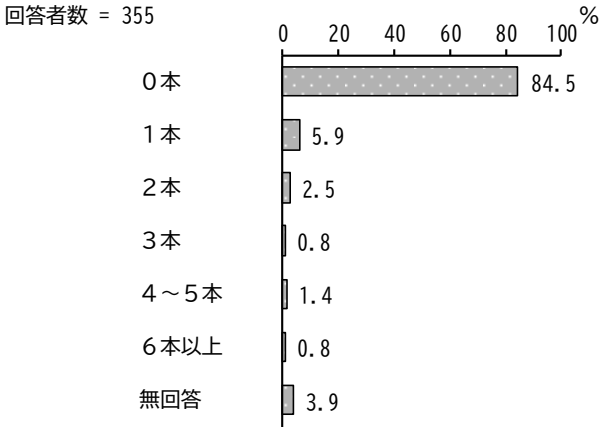
問 14　あなたの平均睡眠時間はどのくらいですか。（あてはまるもの１つに○）

「７時間以上」の割合が 80.0%と最も高く、次いで「約６時間」の割合が 11.8%となっています。



問 15　あなたは、今、虫歯がおおよそ何本くらいありますか。治療中のものもふくみます。（数字で答えてください）

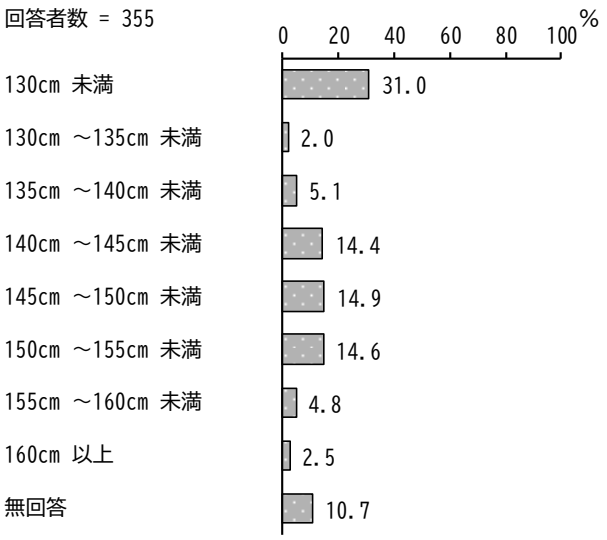
「０本」の割合が 84.5%と最も高くなっています。



問 16　あなたの身長・体重を教えてください。（□の中に数字で答えてください）

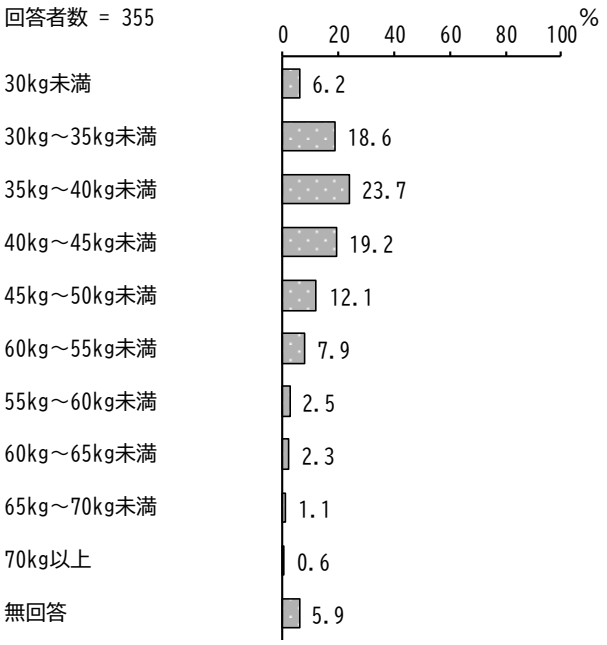
A　身長

「130cm 未満」の割合が 31.0%と最も高く、次いで「145cm～150cm 未満」の割合が 14.9%、「150cm～155cm 未満」の割合が 14.6%となっています。



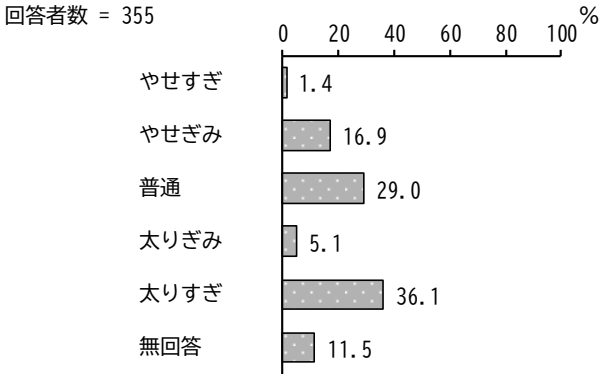
B　体重

「35kg～40kg 未満」の割合が 23.7%と最も高く、次いで「40kg～45kg 未満」の割合が 19.2%、「30kg～35kg 未満」の割合が 18.6%となっています。



ローレル指数

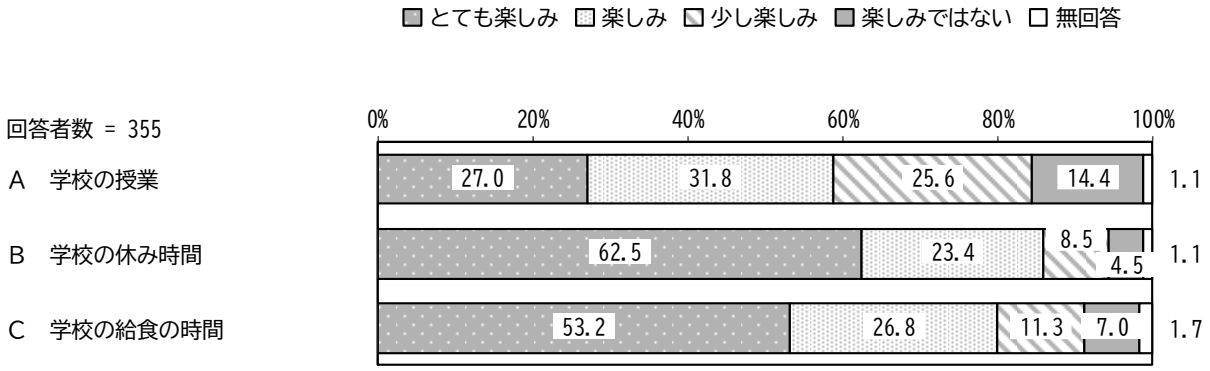
「太りすぎ」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「普通」の割合が 29.0%、「やせぎみ」の割合が 16.9%となっています。



（５）学校のことや勉強のことについて

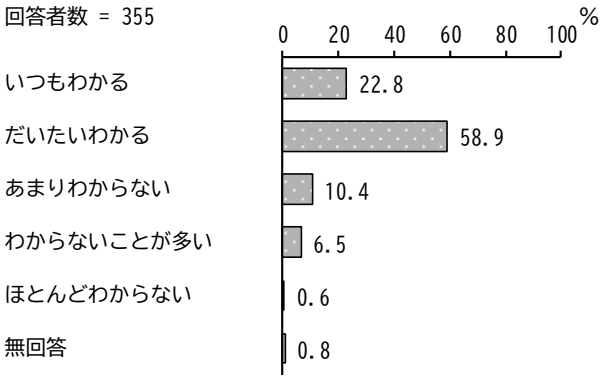
問 17　あなたの学校生活についてお聞きします。次の項目について、「１　とても楽しみ」から「４　楽しみではない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

『Ｂ　学校の休み時間』『Ｃ　学校の給食の時間』で「とても楽しみ」の割合が、『Ａ　学校の授業』で「楽しみ」「少し楽しみ」の割合が高くなっています。



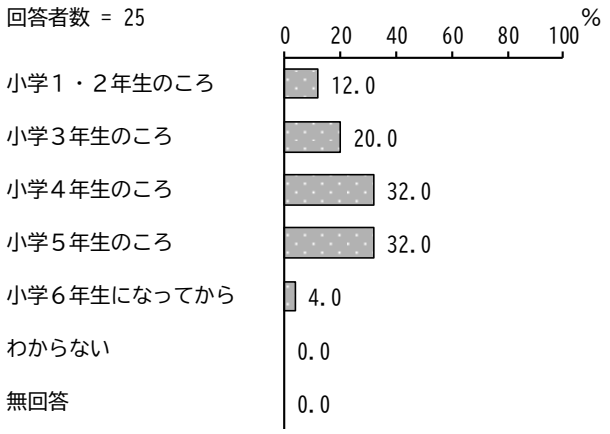
問 18　あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（○は１つ）

「だいたいわかる」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「いつもわかる」の割合が 22.8%、「あまりわからない」の割合が 10.4%となっています。



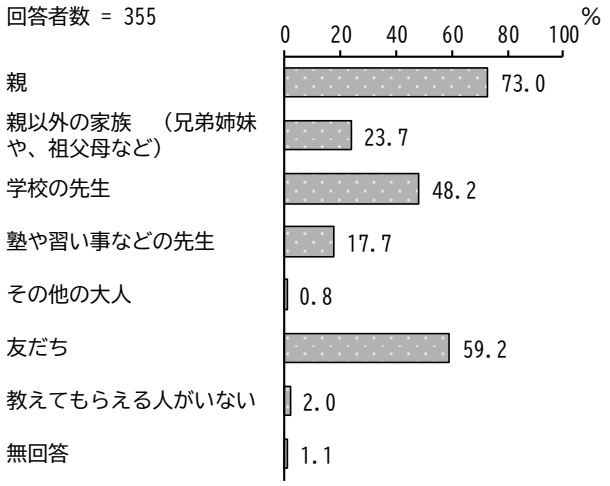
問 18－１　学校の授業が「４　わからないことが多い」または「５　ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。
いつごろから、授業がわからなくなりましたか。（○は１つ）

「小学４年生のころ」、「小学５年生のころ」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「小学３年生のころ」の割合が 20.0%となっています。



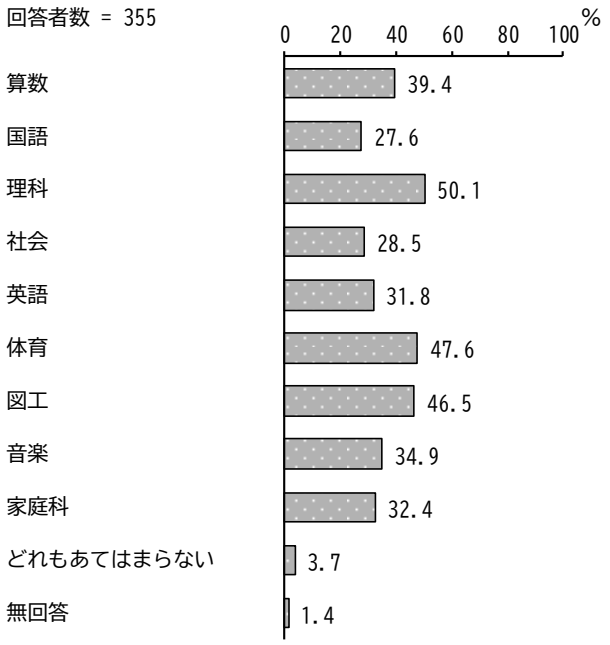
問 19　勉強がわからないときは、誰に教えてもらいますか。
（あてはまる番号すべてに○）

「親」の割合が 73.0%と最も高く、次いで「友だち」の割合が 59.2%、「学校の先生」の割合が 48.2%となっています。



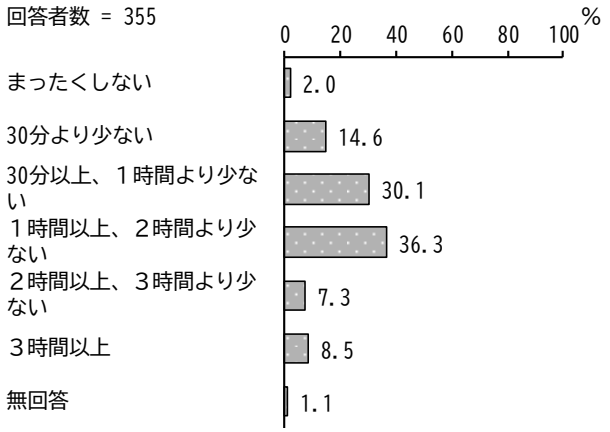
問 20　あなたの得意な教科は、どれですか。（あてはまる番号すべてに○）

「理科」の割合が 50.1%と最も高く、次いで「体育」の割合が 47.6%、「図工」の割合が 46.5%となっています。



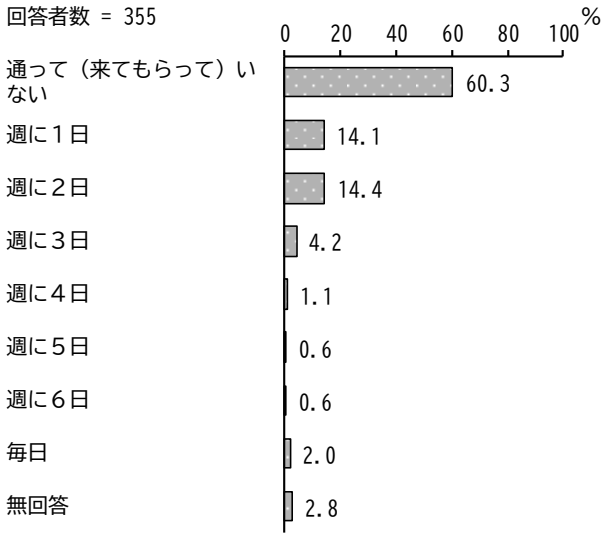
問 21　あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。１日あたりの勉強時間を教えてください。
（○は１つ）※塾や宿題をやる時間もふくみます。

「１時間以上、２時間より少ない」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「30 分以上、１時間より少ない」の割合が 30.1%、「30 分より少ない」の割合が 14.6%となっています。



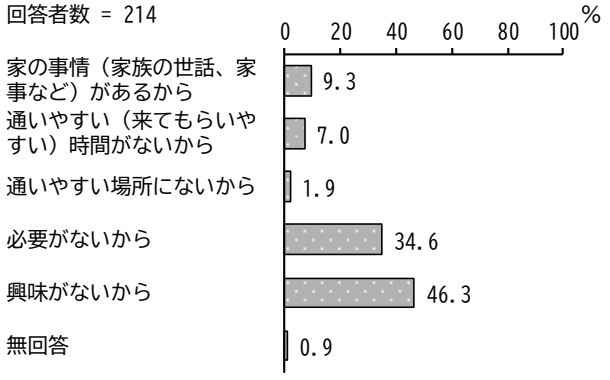
問 22　あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか（オンライン授業も含みます）。通っている（来てもらっている）場合、１週間に何日通って（来てもらって）いますか。両方やっている場合は、合計した日数に○をつけてください。（○は１つ）

「通って（来てもらって）いない」の割合が 60.3%と最も高く、次いで「週に２日」の割合が 14.4%、「週に１日」の割合が 14.1%となっています。



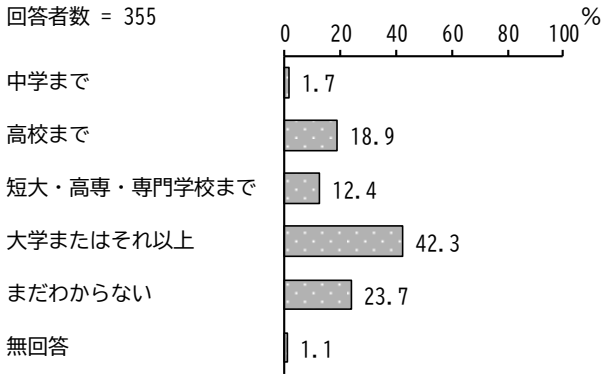
問 22－１　「１　通って（来てもらって）いない」と答えた人にお聞きします。
通って（来てもらって）いない理由は何ですか。

「興味がないから」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「必要がないから」の割合が 34.6%となっています。



問 23　あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。現時点での希望に○をつけてください。（○は１つ）

「大学またはそれ以上」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 23.7%、「高校まで」の割合が 18.9%となっています。



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の２分の１未満で「高校まで」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	中学まで	高校まで	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	まだわからない	無回答
全　体	355	1.7	18.9	12.4	42.3	23.7	1.1
中央値の２分の１未満	23	4.3	39.1	13.0	26.1	17.4	－
中央値の２分の１以上中央値未満	40	－	22.5	12.5	30.0	35.0	－
中央値以上	150	1.3	16.0	10.0	49.3	22.7	0.7

【６年生保護者の進学希望別】

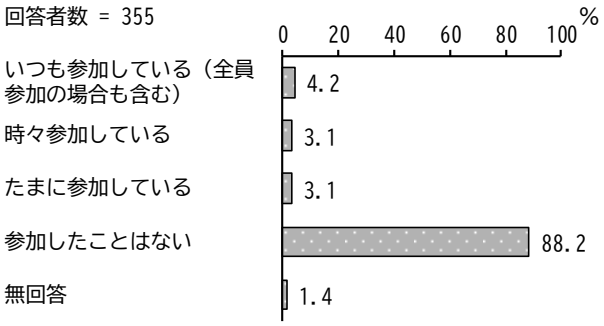
６年生保護者の進学希望別にみると、高校まで（６年生本人の進学希望）で「高校まで（６年生保護者の進学希望）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	中学まで	高校まで	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	まだわからない	無回答
全　体	355	1.7	18.9	12.4	42.3	23.7	1.1
中学まで	1	－	－	100.0	－	－	－
高校まで	13	－	46.2	23.1	－	30.8	－
短大・高専・専門学校まで	32	6.3	31.3	28.1	9.4	21.9	3.1
大学またはそれ以上	166	1.2	13.9	6.0	57.2	21.7	－
まだわからない	25	8.0	24.0	8.0	28.0	32.0	－

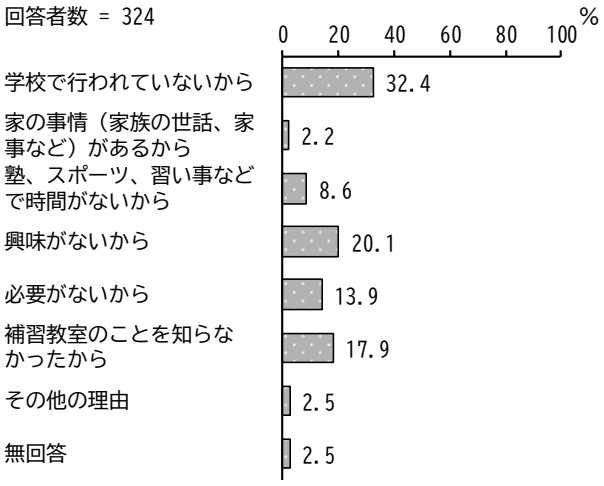
問 24　あなたは、放課後や夏休みに行っている補習教室に参加していますか。
もっとも近いものに○をつけてください。（○は１つ）

「参加したことはない」の割合が 88.2%と最も高くなっています。



問 24－１　学校での補習教室に「３　たまに参加している」または「４　参加したことはない」と答えた人にお聞きします。
あまり参加しない理由は何ですか。（○は１つ）

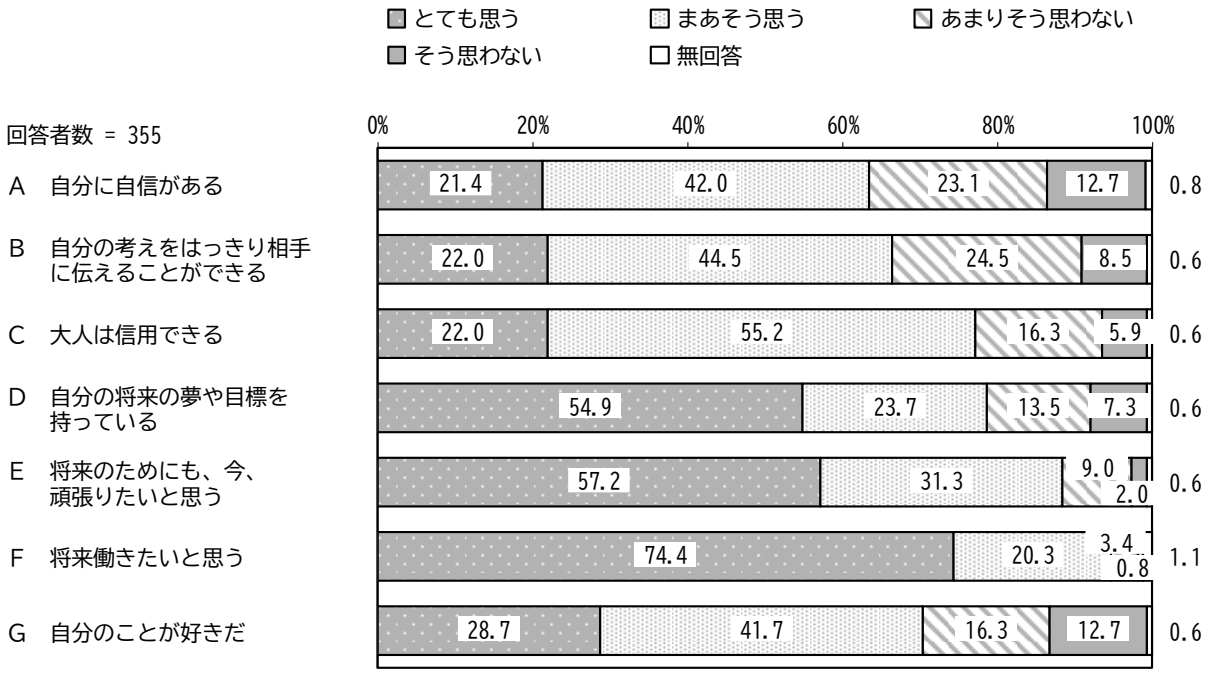
「学校で行われていないから」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「興味がないから」の割合が 20.1%、「補習教室のことを知らなかったから」の割合が 17.9%となっています。



（６）あなたが普段考えていることについて

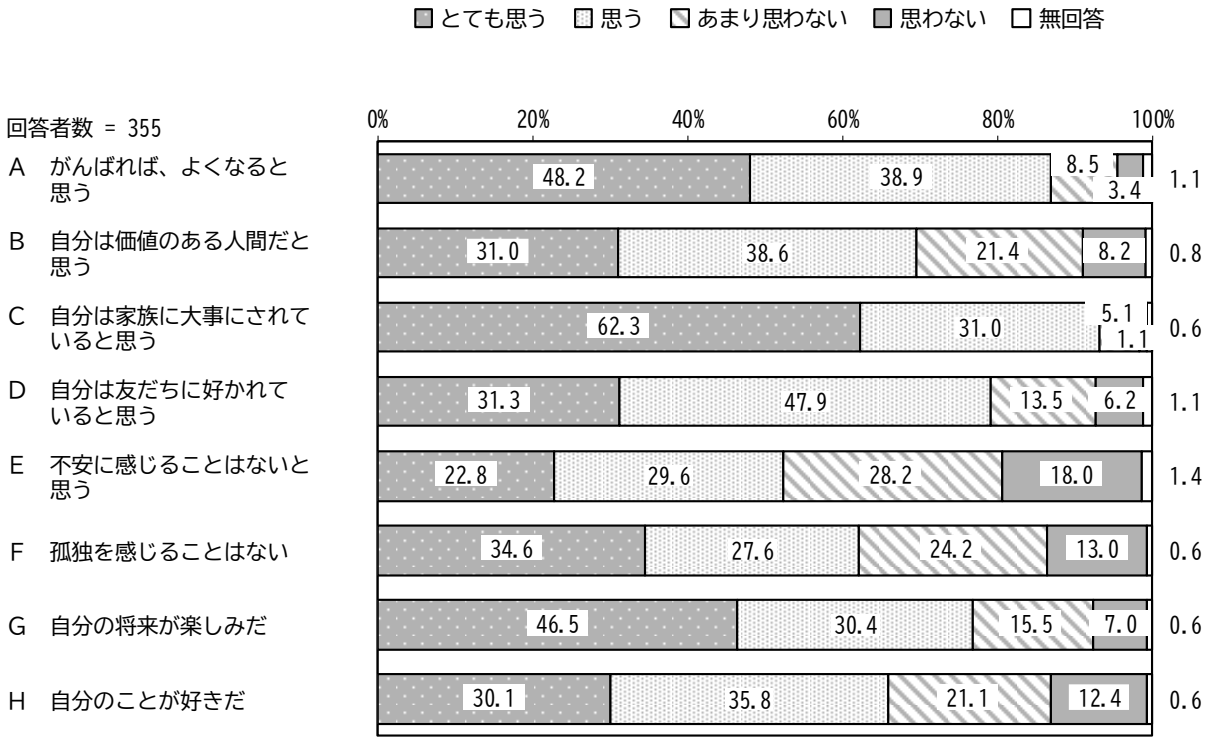
問 25　あなたが日常生活の中で感じていることについてお答えください。
（Ａ～Ｇそれぞれについて、あてはまるもの１つに○）

『Ｆ　将来働きたいと思う』で「とても思う」の割合が、『Ｃ　大人は信用できる』で「まあそう思う」の割合が高くなっています。一方、『Ａ　自分に自信がある』『Ｂ　自分の考えをはっきり相手に伝えることができる』で「あまりそう思わない」の割合が高くなっています。



問 26　あなたの思いや気持ちについて、「１　とても思う」から「４　思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

『C　自分は家族に大事にされていると思う』で「とても思う」の割合が、『D　自分は友だちに好かれていると思う』で「思う」の割合が高くなっています。一方、『E　不安に感じることはないと思う』で「思わない」の割合が高くなっています。



A　がんばれば、よくなると思う

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の２分の１以上中央値未満で「思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
全　体	355	48.2	38.9	8.5	3.4	1.1
中央値の２分の１未満	23	56.5	34.8	4.3	4.3	－
中央値の２分の１以上中央値未満	40	37.5	60.0	2.5	－	－
中央値以上	150	50.7	35.3	10.0	3.3	0.7

B　自分は価値のある人間だと思う

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の２分の１以上中央値未満で「思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
全　体	355	31.0	38.6	21.4	8.2	0.8
中央値の２分の１未満	23	39.1	47.8	4.3	8.7	－
中央値の２分の１以上中央値未満	40	27.5	55.0	15.0	2.5	－
中央値以上	150	32.0	36.7	23.3	7.3	0.7

C　自分は家族に大事にされていると思う

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の２分の１以上中央値未満で「思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
全　体	355	62.3	31.0	5.1	1.1	0.6
中央値の２分の１未満	23	69.6	17.4	8.7	4.3	－
中央値の２分の１以上中央値未満	40	52.5	42.5	5.0	－	－
中央値以上	150	66.7	28.0	4.0	0.7	0.7

D　自分は友だちに好かれていると思う

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の２分の１未満で「とても思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
全　体	355	31.3	47.9	13.5	6.2	1.1
中央値の２分の１未満	23	43.5	43.5	8.7	4.3	－
中央値の２分の１以上中央値未満	40	20.0	60.0	15.0	5.0	－
中央値以上	150	37.3	44.0	10.7	6.0	2.0

E　不安に感じることはないと思う

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の２分の１未満で「思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
全　体	355	22.8	29.6	28.2	18.0	1.4
中央値の２分の１未満	23	21.7	43.5	17.4	17.4	－
中央値の２分の１以上中央値未満	40	27.5	30.0	27.5	12.5	2.5
中央値以上	150	22.0	29.3	27.3	19.3	2.0

F　孤独を感じることはない

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の２分の１未満で「とても思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
全　体	355	34.6	27.6	24.2	13.0	0.6
中央値の２分の１未満	23	47.8	13.0	17.4	21.7	－
中央値の２分の１以上中央値未満	40	35.0	37.5	15.0	12.5	－
中央値以上	150	36.0	28.7	23.3	11.3	0.7

G　自分の将来が楽しみだ

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の２分の１未満で「とても思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
全　体	355	46.5	30.4	15.5	7.0	0.6
中央値の２分の１未満	23	69.6	13.0	13.0	4.3	－
中央値の２分の１以上中央値未満	40	50.0	32.5	17.5	－	－
中央値以上	150	43.3	34.0	15.3	6.7	0.7

H　自分のことが好きだ

【生活困窮度別】

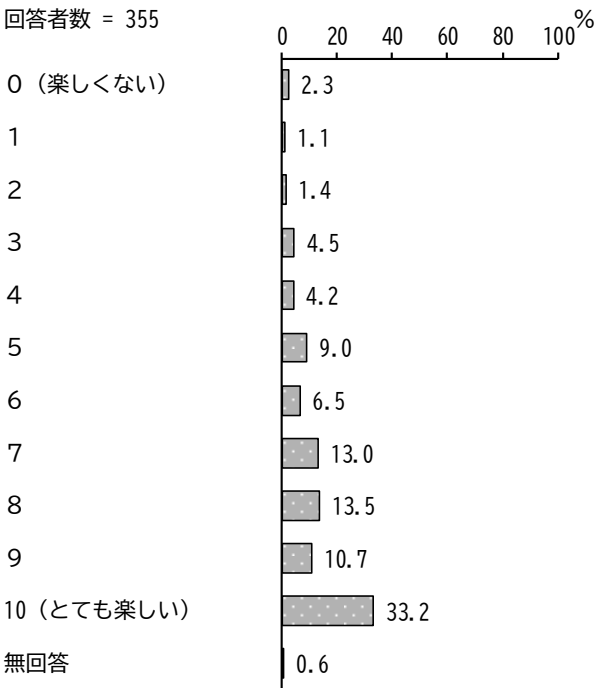
生活困窮度別にみると、中央値の２分の１以上中央値未満で「思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
全　体	355	30.1	35.8	21.1	12.4	0.6
中央値の２分の１未満	23	43.5	30.4	13.0	13.0	－
中央値の２分の１以上中央値未満	40	22.5	62.5	15.0	－	－
中央値以上	150	34.7	28.0	22.7	14.0	0.7

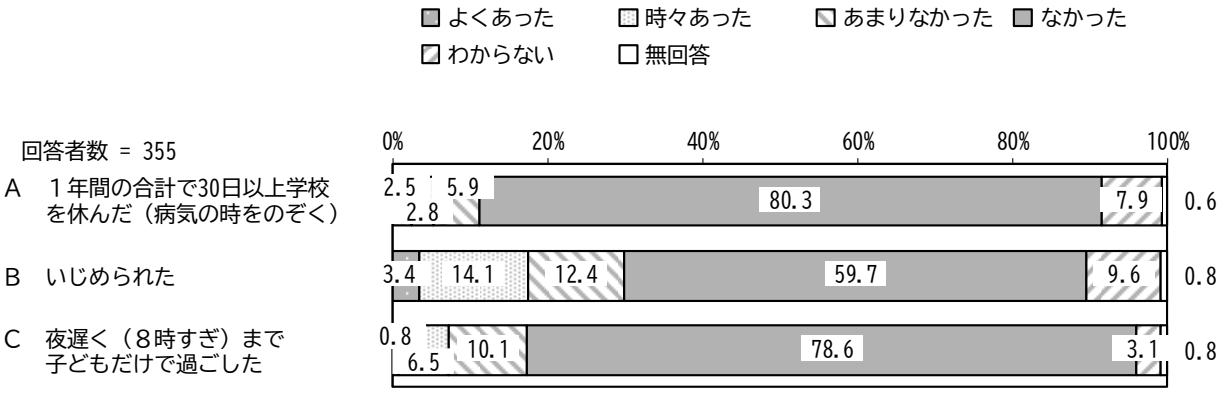
問 27　あなたは、毎日の生活が楽しいですか。（○は１つ）

「10（とても楽しい）」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「８」の割合が 13.5%、「７」の割合が 13.0%となっています。



問 28　あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。（それぞれ、○は１つ）

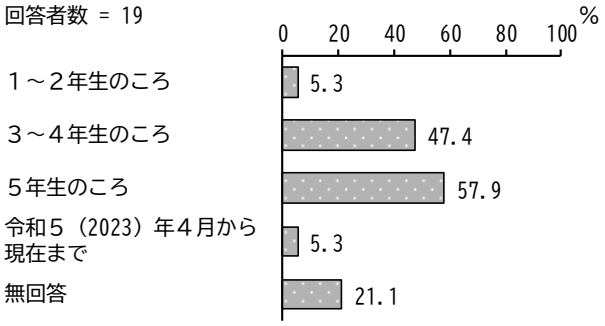
『Ｂ　いじめられた』で「時々あった」の割合が高くなっています。一方、『Ａ　１年間の合計で 30 日以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）』『Ｃ　夜遅く（８時すぎ）まで子どもだけで過ごした』で「なかった」の割合が高くなっています。



問 28－１　「１　よくあった」または、「２　時々あった」と答えた人にお聞きします。上のようなことがあった時期はいつですか。
（それぞれ、あてはまる番号すべてに○）

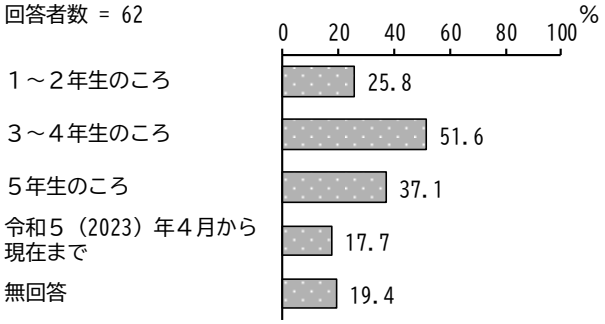
A　１年間の合計で 30 日以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）

「５年生のころ」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「３～４年生のころ」の割合が 47.4%となっています。



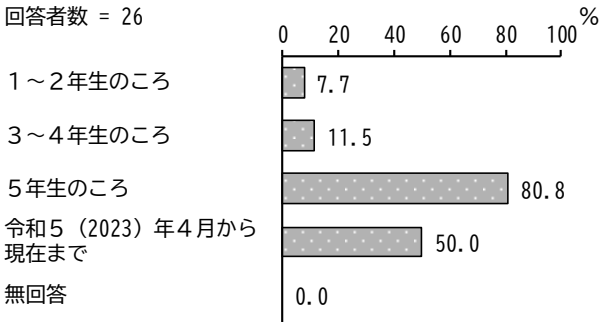
B　いじめられた

「３～４年生のころ」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「５年生のころ」の割合が 37.1%、「１～２年生のころ」の割合が 25.8%となっています。



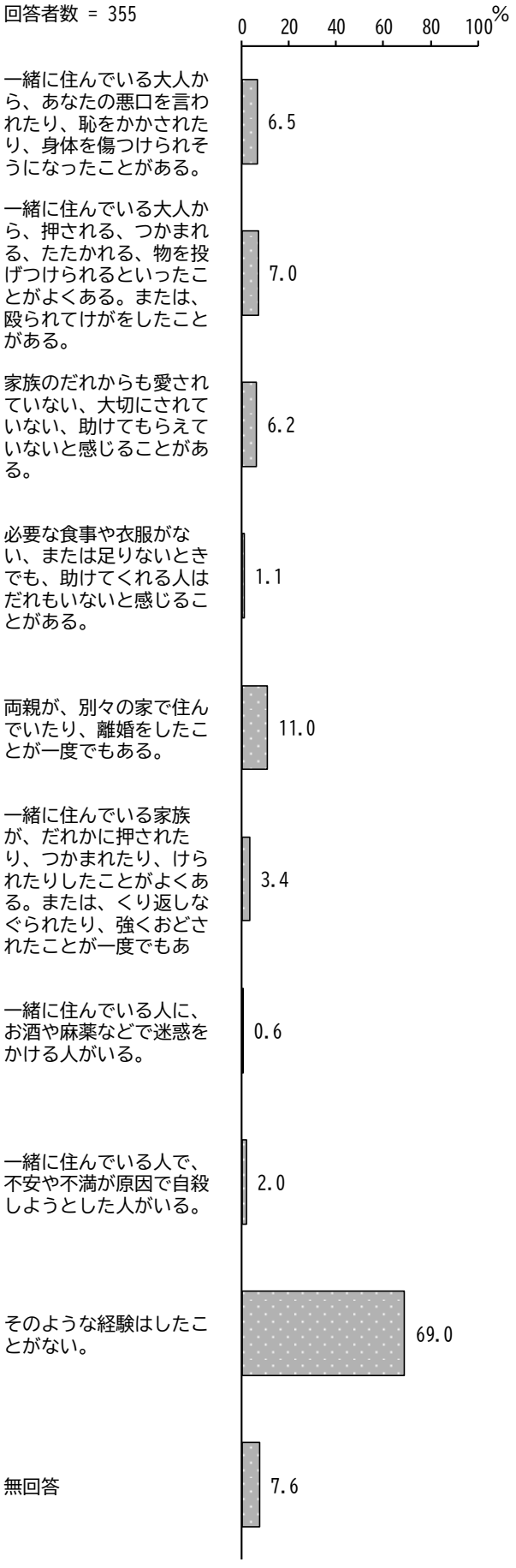
C　夜遅く（８時すぎ）まで子どもだけで過ごした

「５年生のころ」の割合が 80.8%と最も高く、次いで「令和５（2023）年４月から現在まで」の割合が 50.0%、「３～４年生のころ」の割合が 11.5%となっています。



問 29　あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。
（あてはまる番号すべてに○）

「そのような経験はしたことがない。」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「両親が、別々の家で住んでいたり、離婚をしたことが一度でもある。」の割合が 11.0%となっています。

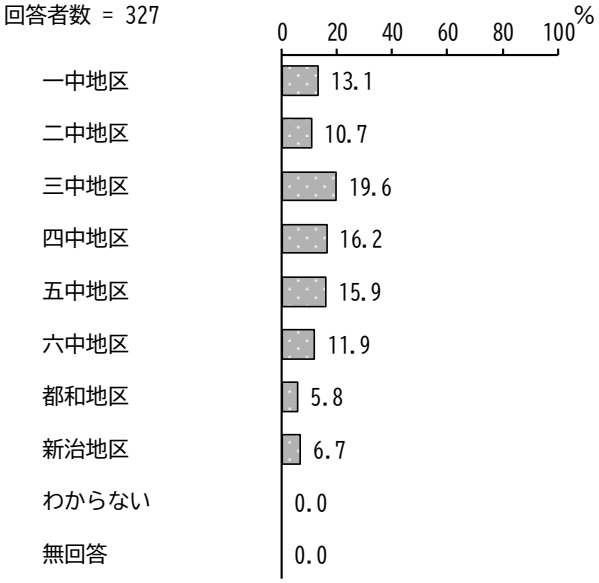


２　６年生保護者

（１）あなたのこと、あなたの世帯のことについて

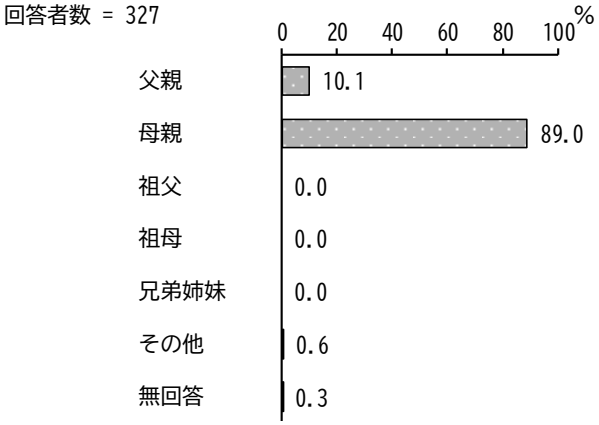
はじめに、お住まいの地区としてあてはまる番号１つを選択してください。

「三中地区」の割合が 19.6%と最も高く、次いで「四中地区」の割合が 16.2%、「五中地区」の割合が 15.9%となっています。



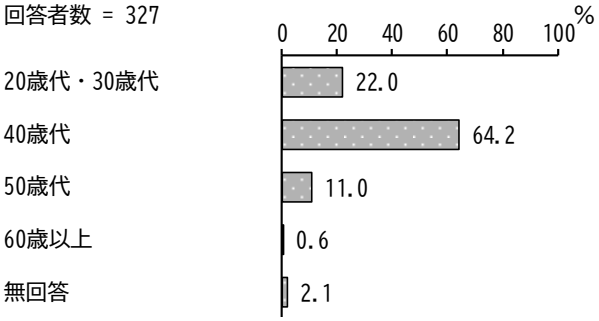
問１　お子さんとあなた（回答者）との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続き柄で、お答えください。（○は１つ）

「母親」の割合が 89.0%と最も高く、次いで「父親」の割合が 10.1%となっています。



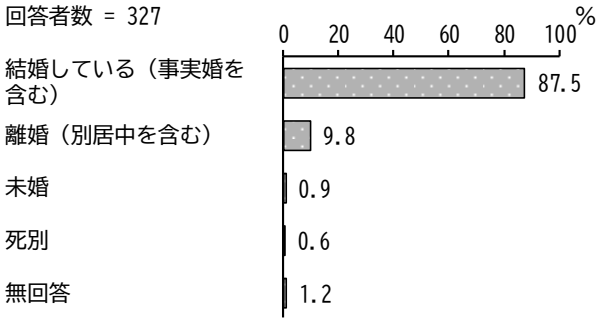
問２　あなたの年齢を教えてください。（枠内に数字で回答してください）

「40 歳代」の割合が 64.2%と最も高く、次いで「20 歳代・30 歳代」の割合が 22.0%、「50 歳代」の割合が 11.0%となっています。



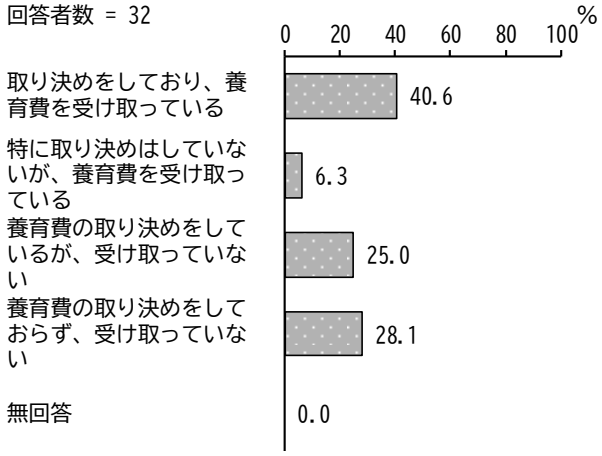
問３　現在のあなたの婚姻状況を教えてください。（○は１つ）

「結婚している（事実婚を含む）」の割合が87.5%と最も高くなっています。



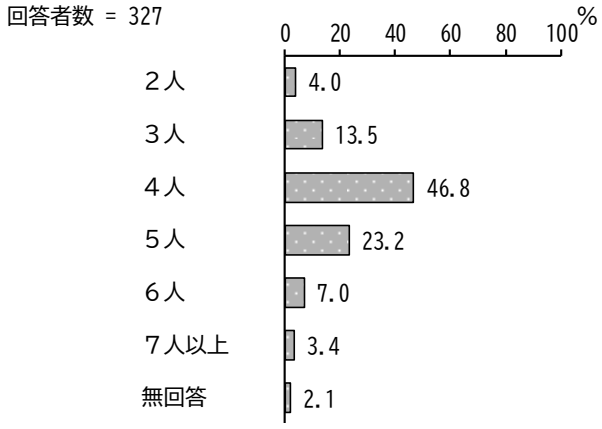
問３－１　問３で「２．離婚」を選んだ方にお伺いします。離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また、現在養育費を受け取っていますか。（○は１つ）

「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の割合が40.6%と最も高く、次いで「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が28.1%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の割合が25.0%となっています。



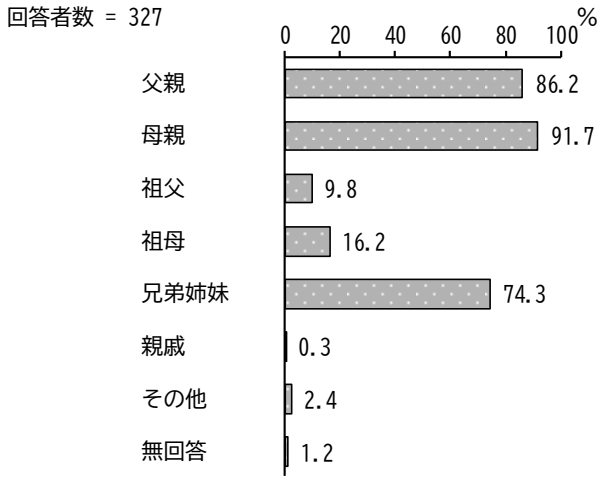
問４　お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください（あなたとお子さんも含む）。単身赴任などで別居しているご家族も含めてください。

「４人」の割合が 46.8%と最も高く、次いで「５人」の割合が23.2%、「３人」の割合が13.5%となっています。



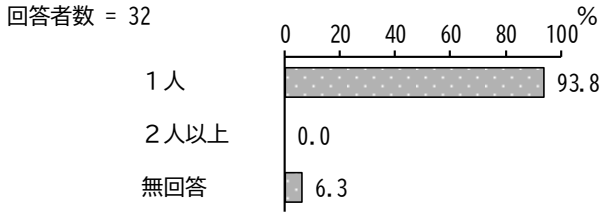
問５　お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。複数いる場合は、人数もお教えください。
（あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字で回答してください）

「母親」の割合が 91.7%と最も高く、次いで「父親」の割合が 86.2%、「兄弟姉妹」の割合が 74.3%となっています。



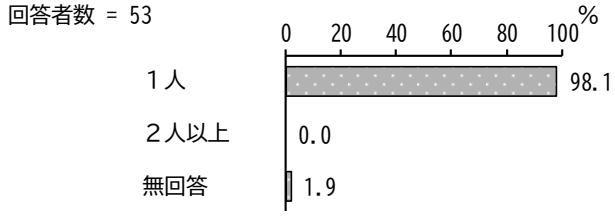
祖父の人数

「１人」の割合が 93.8%となっています。



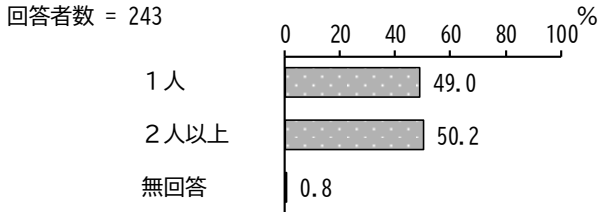
祖母の人数

「１人」の割合が 98.1%となっています。



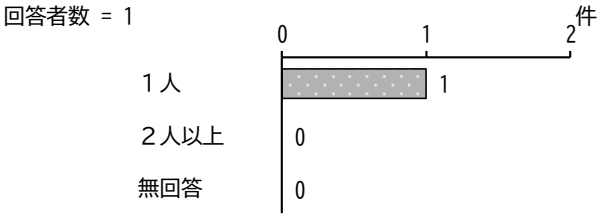
兄弟姉妹の人数

「１人」の割合が 49.0%、「２人以上」の割合が 50.2%となっています。



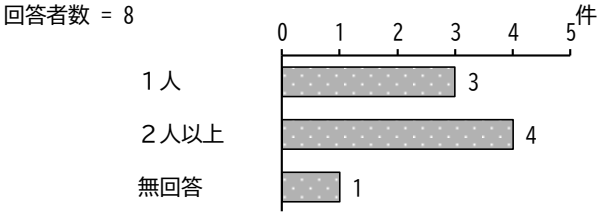
親戚の人数

「１人」が１件、「２人以上」が０件となっています。



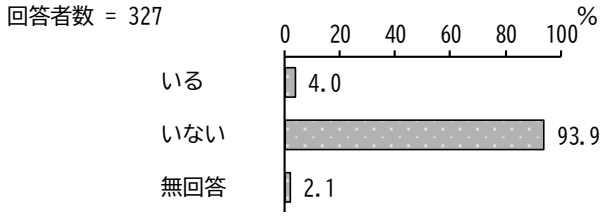
その他の人数

「１人」が３件、「２人以上」が４件となっています。



問６　お子さんと同居している大人の家族の中に、高齢・障がいまたは病気などによって、介護や看護が必要な方はいますか。（○は１つ）

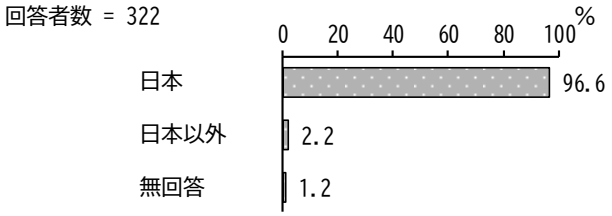
「いる」の割合が 4.0%、「いない」の割合が 93.9%となっています。



問７　お子さんのご両親の国籍にあてはまる番号を、それぞれ教えてください。
（○は１つ）

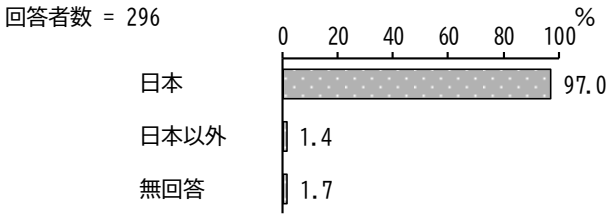
お母さん

「日本」の割合が 96.6%、「日本以外」の割合が 2.2%となっています。



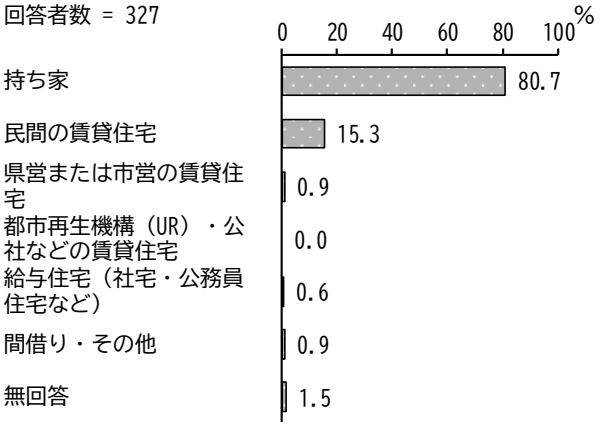
お父さん

「日本」の割合が 97.0%、「日本以外」の割合が 1.4%となっています。



問８　現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。
（○は１つ）

「持ち家」の割合が 80.7%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」の割合が 15.3%となっています。



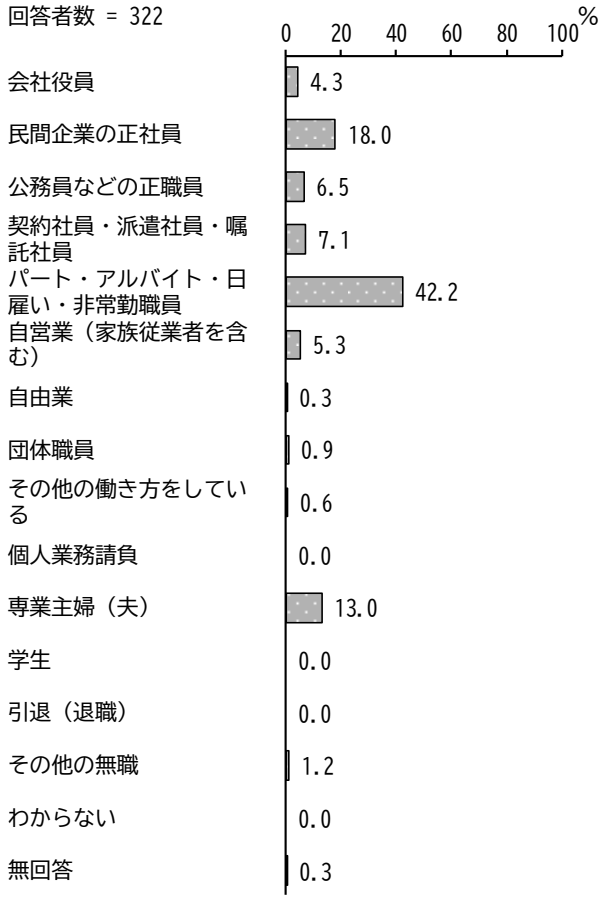
（２）お子さんのお母さんとお父さんの職業について

全員におうかがいします。

問９　お子さんのお母さんとお父さんの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。
お母さん、お父さんがいない場合は、空欄で結構です。
（それぞれ、あてはまる番号１つを□に書いてください）

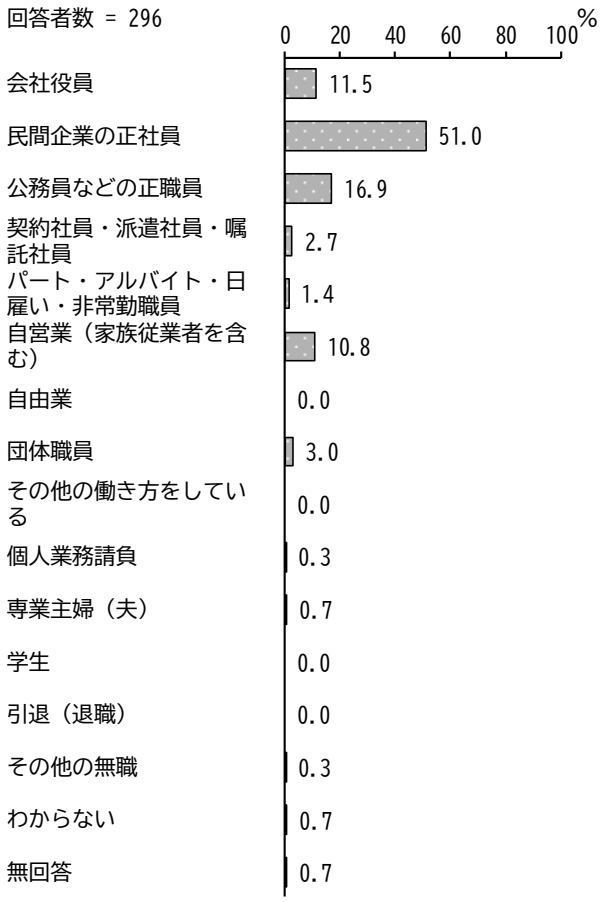
お母さん

「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「民間企業の正社員」の割合が 18.0%、「専業主婦（夫）」の割合が 13.0%となっています。



お父さん

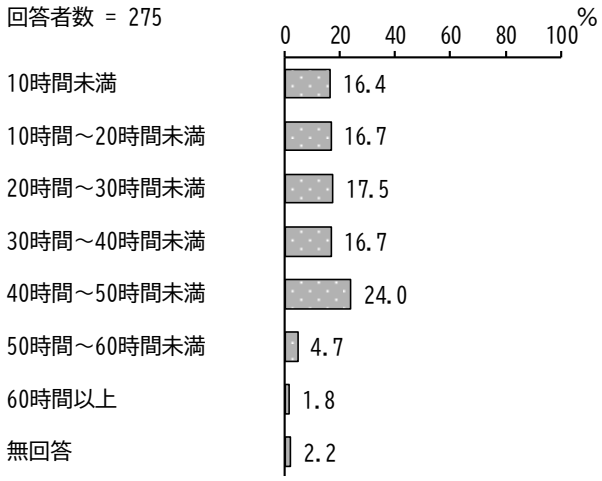
「民間企業の正社員」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「公務員などの正職員」の割合が 16.9%、「会社役員」の割合が 11.5%となっています。



問９－１　問９で「１」～「10」を選んだ方におうかがいします。
１週間に平均何時間、お仕事をされていますか。（枠内に数字で回答してください）
※複数のお仕事をもっていらっしゃる場合は合算してください。

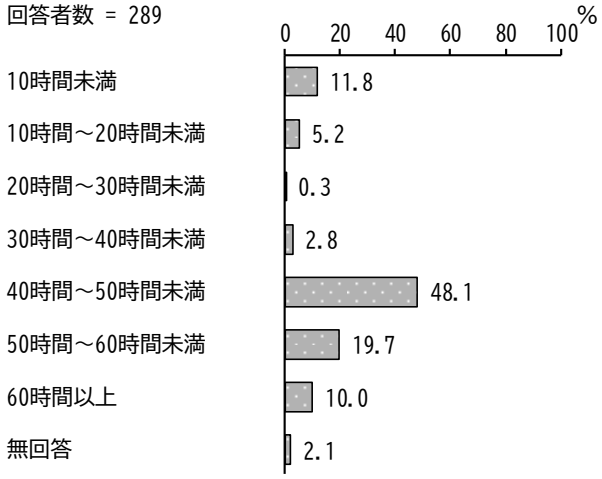
お母さん

「40 時間～50 時間未満」の割合が 24.0%と最も高く、次いで「20 時間～30 時間未満」の割合が 17.5%、「10 時間～20 時間未満」、「30 時間～40 時間未満」の割合が 16.7%となっています。



お父さん

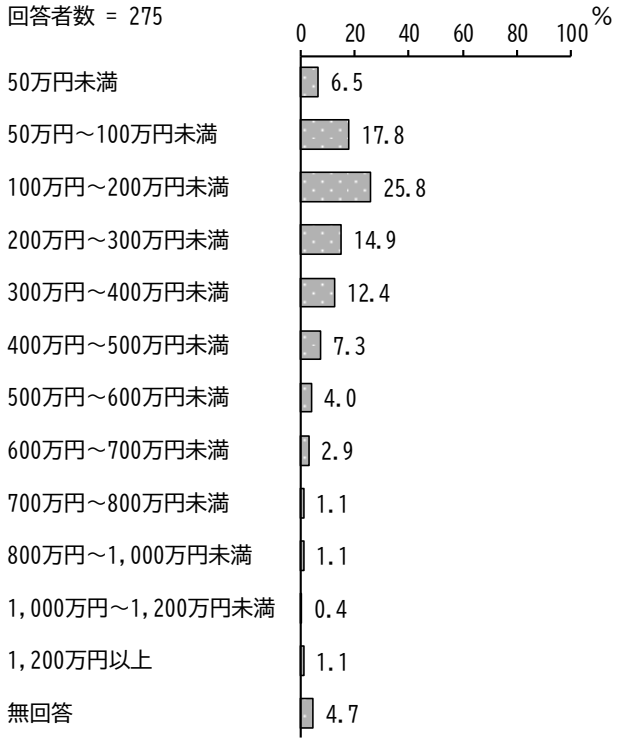
「40 時間～50 時間未満」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「50 時間～60 時間未満」の割合が 19.7%、「10 時間未満」の割合が 11.8%となっています。



問９－２　問９で「１」～「10」を選んだ方におうかがいします。
昨年１年間（令和５年１月～12 月）を合計したお仕事からの収入（税込）は、およそいくらですか。（枠内に数字で回答してください）
※収入なしの場合には、０をご記入ください。

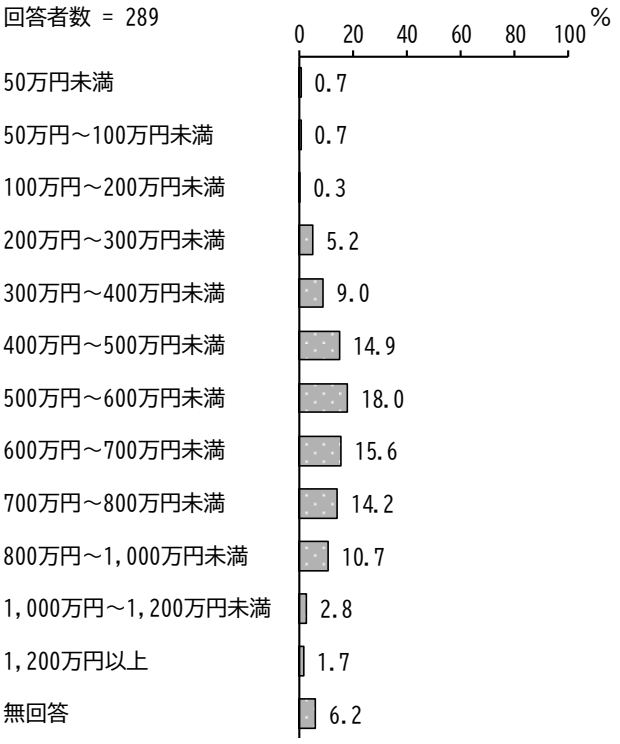
お母さん

「100 万円～200 万円未満」の割合が 25.8%と最も高く、次いで「50 万円～100 万円未満」の割合が 17.8%、「200 万円～300 万円未満」の割合が 14.9%となっています。



お父さん

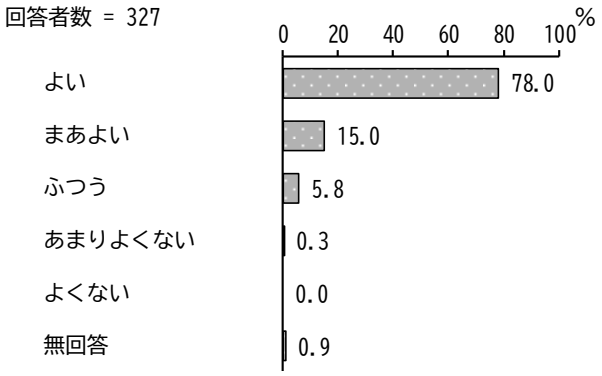
「500 万円～600 万円未満」の割合が 18.0%と最も高く、次いで「600 万円～700 万円未満」の割合が 15.6%、「400 万円～500 万円未満」の割合が 14.9%となっています。



（３）お子さんの健康状態について

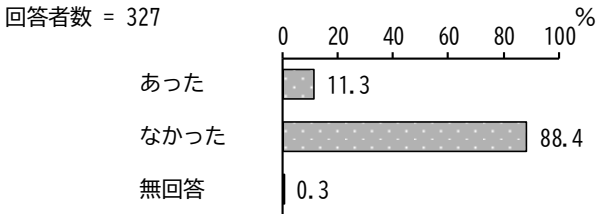
問 10　お子さんの健康状態について最も近いものに○をつけてください。（○は１つ）

「よい」の割合が 78.0%と最も高く、次いで「まあよい」の割合が 15.0%となっています。



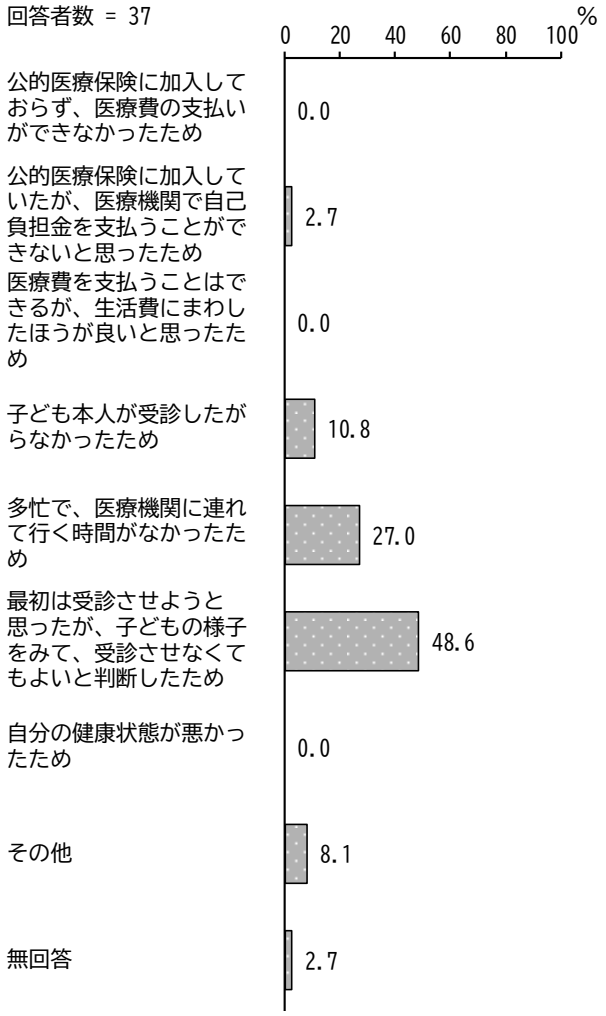
問 11　過去１年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。（○は１つ）

「あった」の割合が 11.3%、「なかった」の割合が 88.4%となっています。



問11－1　問11で「1　あった」を選んだ方におうかがいします。
その理由は、何ですか。以下の中から、最も近いものに○をつけてください。
（○は1つ）

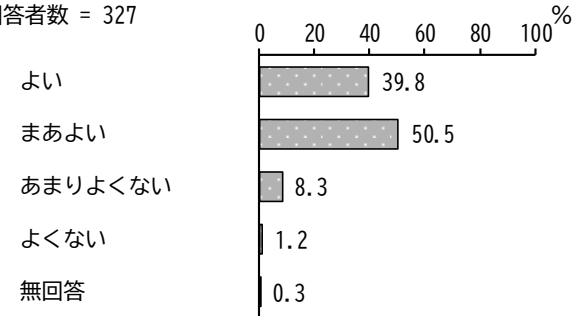
「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため」の割合が48.6%と最も高く、次いで「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の割合が27.0%、「子ども本人が受診したがらなかったため」の割合が10.8%となっています。



（４）あなた（回答者）について

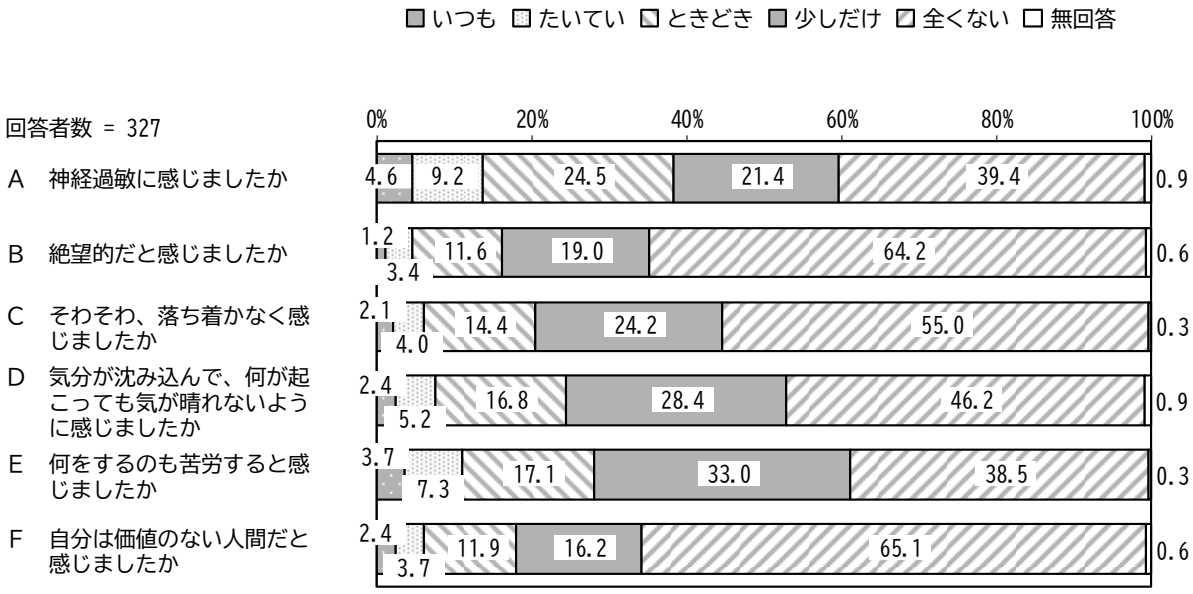
問 12　あなたの健康状態について最も近いものに○をつけてください。（○は１つ）

「まあよい」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「よい」の割合が 39.8%となっています。



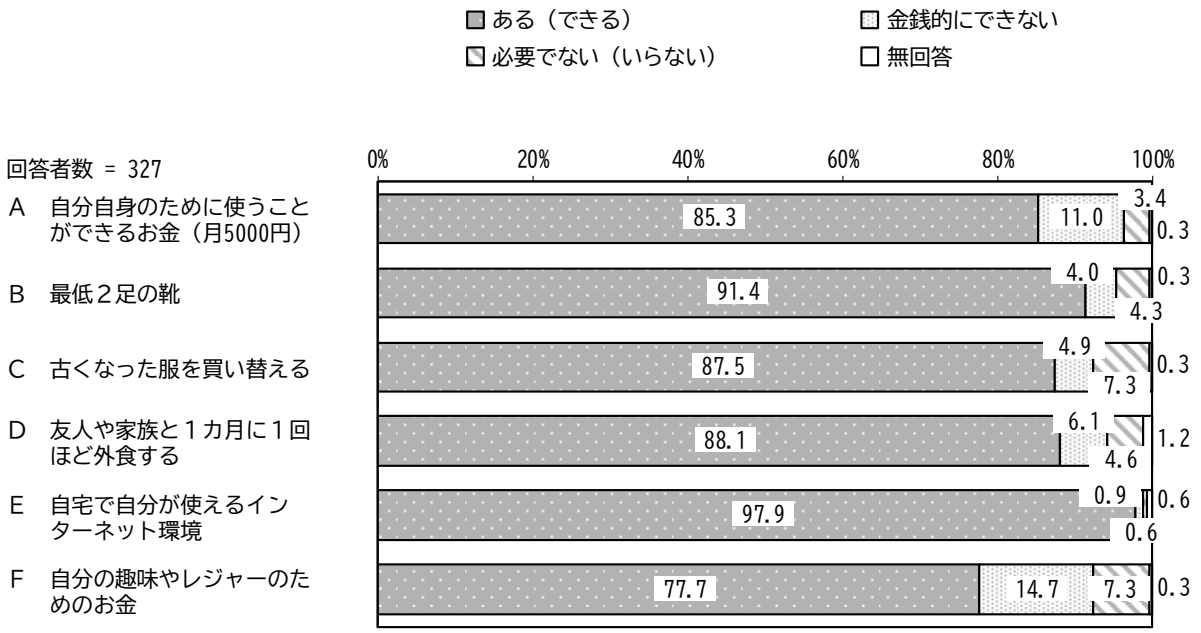
問 13　次のＡ～Ｆの質問について、あなたは、ここ１か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。（それぞれ、○は１つ）

『Ａ　神経過敏に感じましたか』で「ときどき」の割合が高くなっています。一方、『Ｂ　絶望的だと感じましたか』『Ｆ　自分は価値のない人間だと感じましたか』で「全くない」の割合が高くなっています。



問 14　あなた自身には、自分が持っている（できる）以下のものがありますか。「ある（できる）」、「金銭的にできない」「必要でない（いらない）」のうち最もあてはまるものに○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

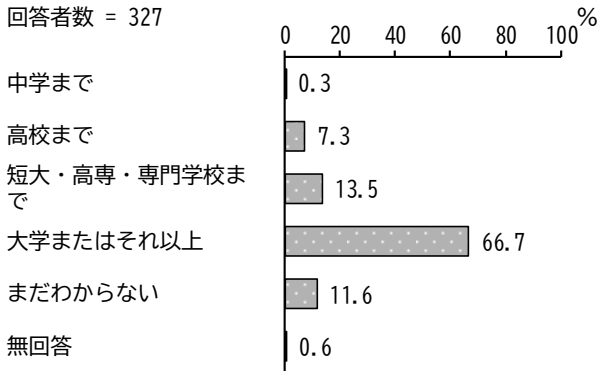
『Ｅ　自宅で自分が使えるインターネット環境』で「ある（できる）」の割合が高くなっています。一方、『Ａ　自分自身のために使うことができるお金（月 5000 円）』『Ｆ　自分の趣味やレジャーのためのお金』で「金銭的にできない」の割合が高くなっています。



（５）お子さんにしていることについて

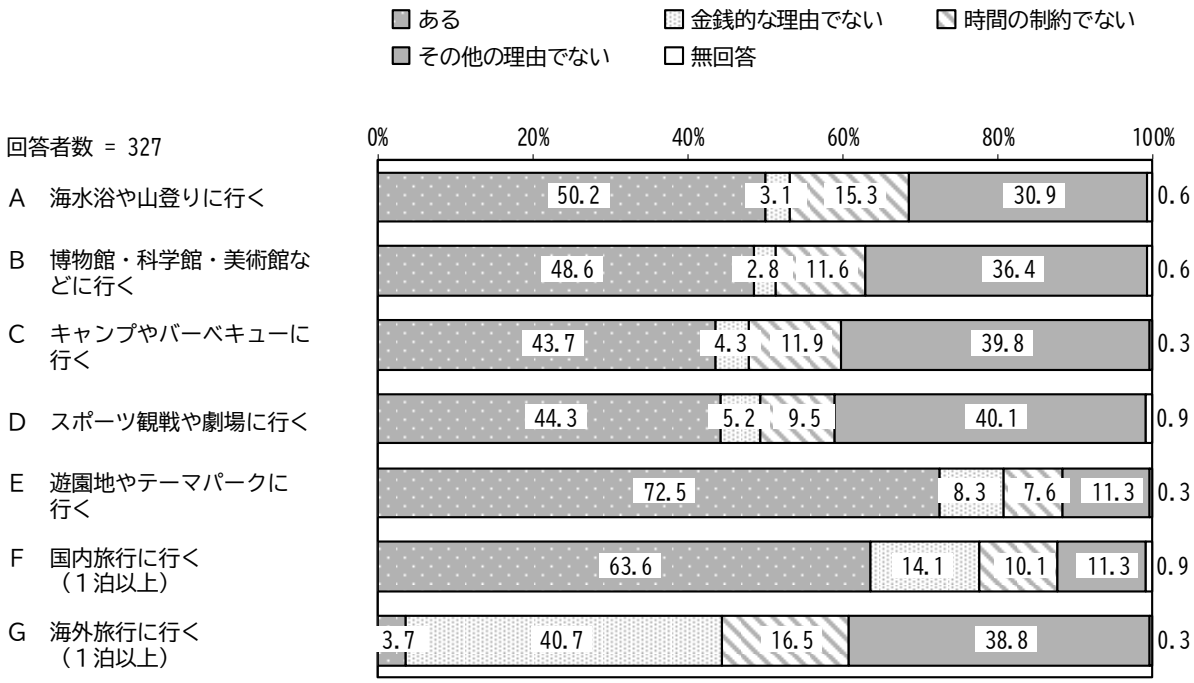
問 15　お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。（○は１つ）

「大学またはそれ以上」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」の割合が 13.5%、「まだわからない」の割合が 11.6%となっています。



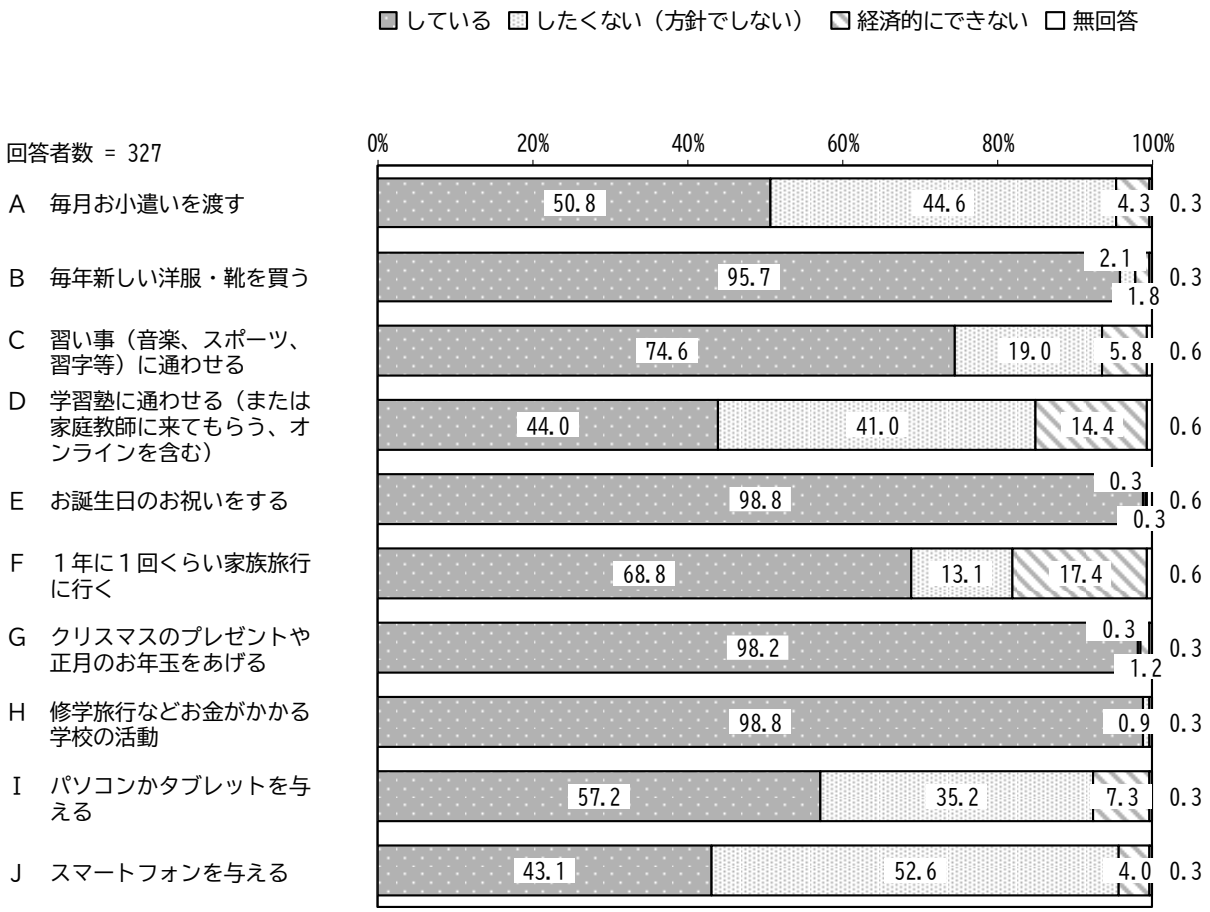
問 16　過去１年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。（それぞれ、○は１つ）

『Ｅ　遊園地やテーマパークに行く』で「ある」の割合が高くなっています。一方、『Ｇ　海外旅行に行く（１泊以上)』で「金銭的な理由でない」の割合が高くなっています。



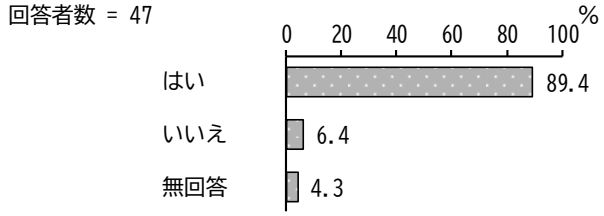
問17　あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。Ａ～Ｊについて、「１　している」「２　していない、したくない（方針でしない）」「３　していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。
（それぞれ、○は１つ）

『Ｇ　クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる』『Ｈ　修学旅行などお金がかかる学校の活動』で「している」の割合が高くなっています。一方、『Ｊ　スマートフォンを与える』で「したくない（方針でしない）」の割合が、『Ｄ　学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう、オンラインを含む）』『Ｆ　１年に１回くらい家族旅行に行く』で「経済的にできない」の割合が高くなっています。



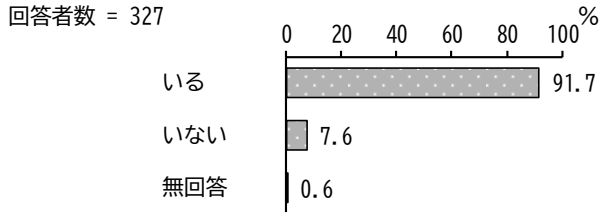
問 17－１　問 17 のＤで「３」と答えた人にお聞きします。
無料の学習塾があったらお子さんを通わせたいですか。（○は１つ）

「はい」の割合が 89.4%、「いいえ」の割合が 6.4%となっています。



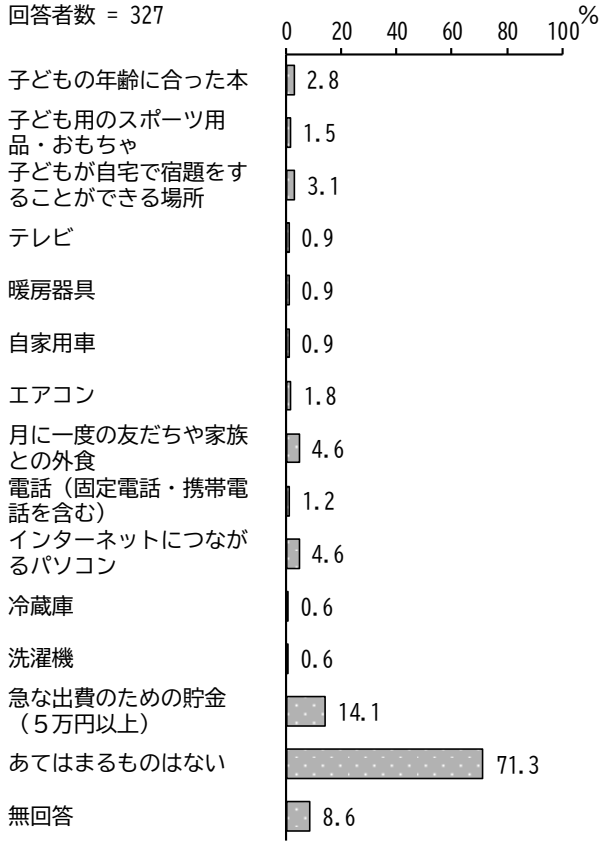
問 18　あなたは、困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。（○は１つ）

「いる」の割合が 91.7%、「いない」の割合が 7.6%となっています。



問 19　次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

「あてはまるものはない」の割合が 71.3%と最も高く、次いで「急な出費のための貯金（５万円以上）」の割合が 14.1%となっています。

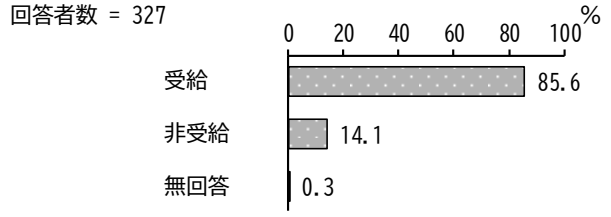


（６）家計の状況について

問 20　あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金を受給していますか。
（受給か非受給に○）
※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含みます。
※該当する収入がない場合には、０とご記入ください。
※「児童手当」は 15 歳までのお子さんのための手当です（所得制限あり）。「児童扶養手当」は、所得が一定水準以下のひとり親世帯等のための手当です。

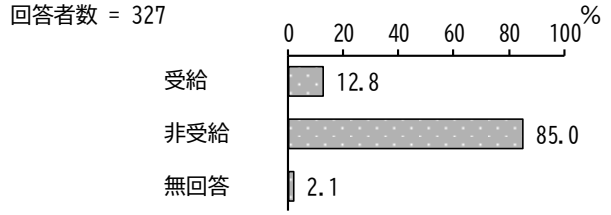
A　児童手当（中３までのお子さんがいる所得制限以下の子育て世帯への給付）

「受給」の割合が 85.6%、「非受給」の割合が 14.1%となっています。



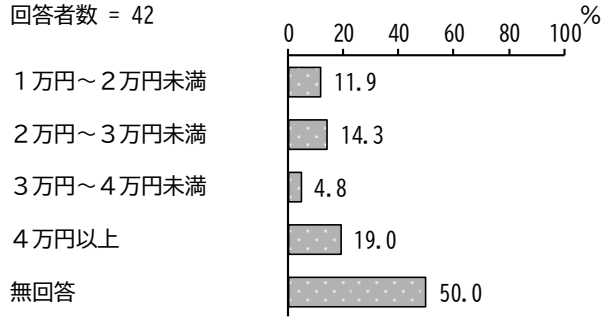
B　児童扶養手当（所得制限以下のひとり親世帯等への給付）

「受給」の割合が 12.8%、「非受給」の割合が 85.0%となっています。



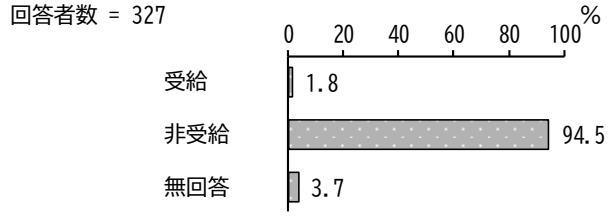
金額（１ヵ月あたり）

「４万円以上」の割合が 19.0%と最も高く、次いで「２万円～３万円未満」の割合が 14.3%、「１万円～２万円未満」の割合が 11.9%となっています。



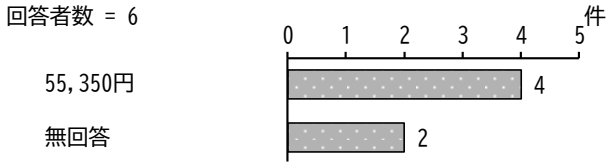
C　特別児童扶養手当（障がいのあるお子さんへの給付）

「受給」の割合が 1.8%、「非受給」の割合が 94.5%となっています。



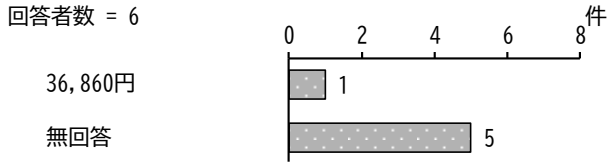
１級　金額（１ヵ月あたり）

「55,350円」が４件となっています。



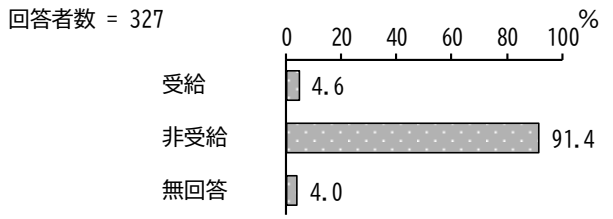
２級　金額（１ヵ月あたり）

「36,860円」が１件となっています。



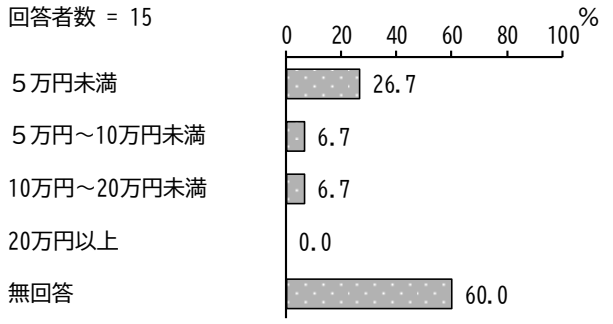
D　年金（遺族年金、老齢年金など）

「受給」の割合が 4.6%、「非受給」の割合が 91.4%となっています。



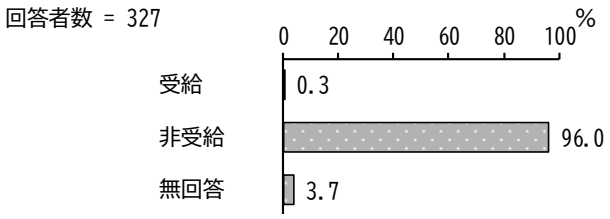
金額（１ヵ月あたり）

「５万円未満」の割合が 26.7%と最も高くなっています。



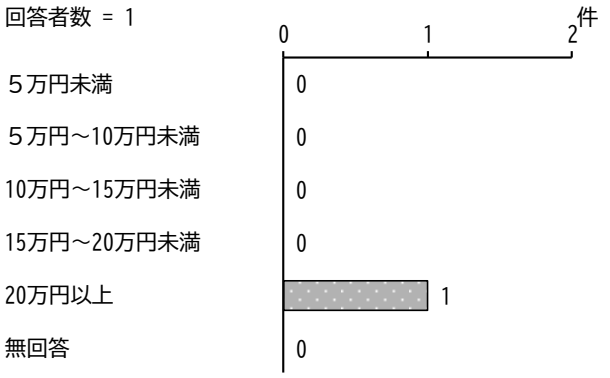
E　生活保護

「受給」の割合が 0.3%、「非受給」の割合が 96.0%となっています。



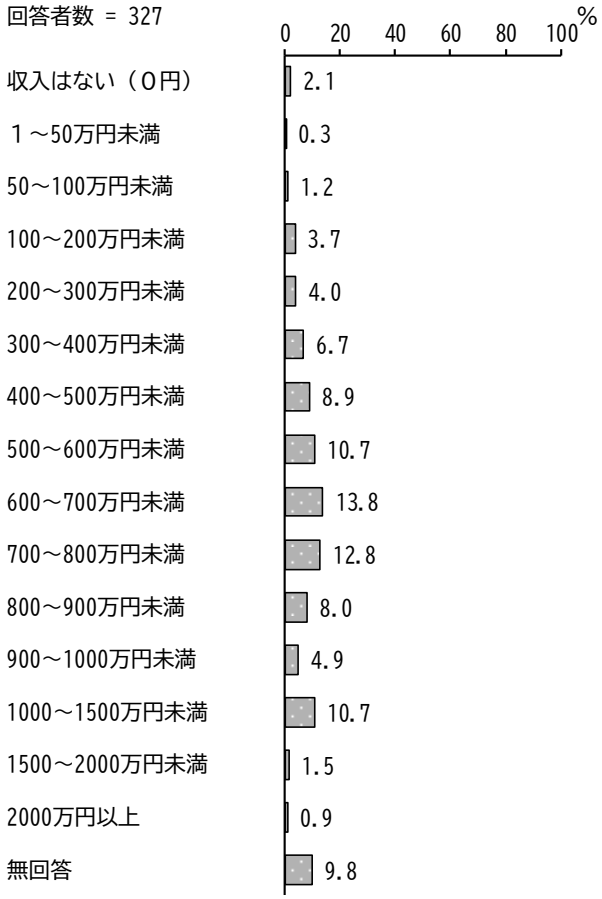
金額（１ヵ月あたり）

「20 万円以上」が１件となっています。



問 21　上記問 20 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入はいくらですか。(○は１つ)
※収入には、勤労収入（パート、アルバイトを含む)、事業収入（自営業等)、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金を含みますが、上記問 20 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金は除いてお考えください。
※複数の収入源がある場合（お父さんが勤労収入、お母さんに事業収入など）は、おおよその合算値(合計額)を教えてください。

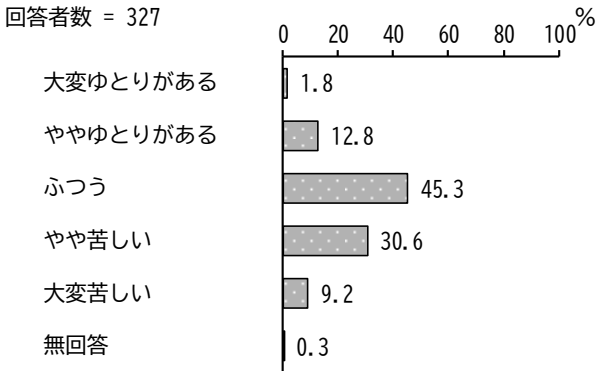
「600～700 万円未満」の割合が 13.8%と最も高く、次いで「700～800 万円未満」の割合が 12.8%、「500～600 万円未満」、「1000～1500 万円未満」の割合が 10.7%となっています。



（７）あなたのご家庭での生活について

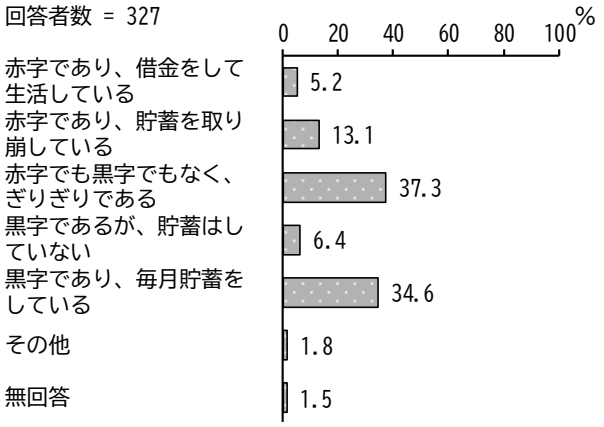
問 22　現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（○は１つ）

「ふつう」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 30.6%、「ややゆとりがある」の割合が 12.8%となっています。



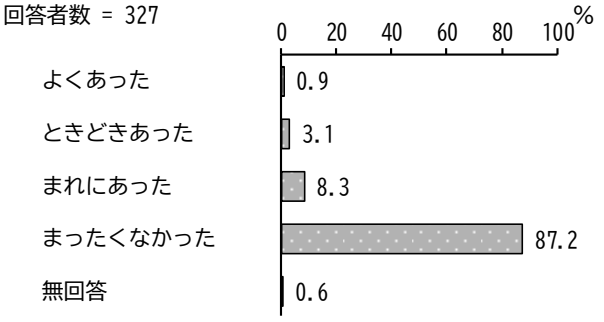
問 23　ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。（○は１つ）

「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「黒字であり、毎月貯蓄をしている」の割合が 34.6%、「赤字であり、貯蓄を取り崩している」の割合が 13.1%となっています。



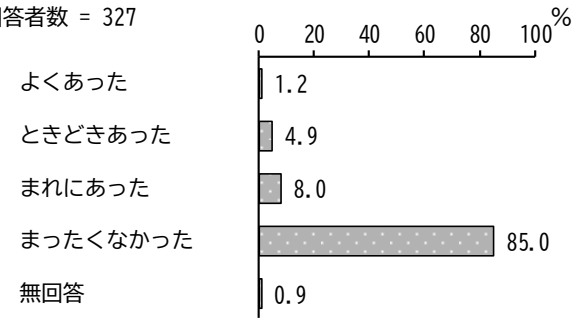
問 24　あなたのご家庭では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。（○は１つ）

「まったくなかった」の割合が 87.2%と最も高くなっています。



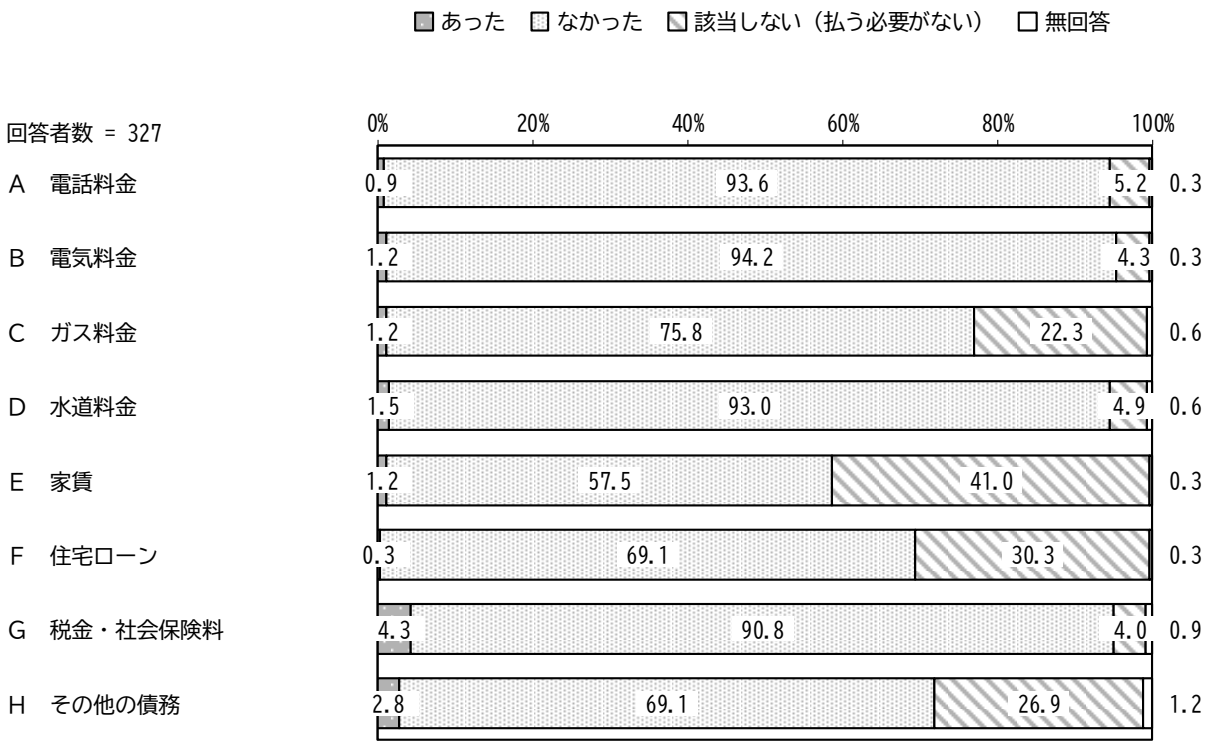
問 25　あなたのご家庭では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。（○は１つ）

「まったくなかった」の割合が 85.0%と最も高くなっています。



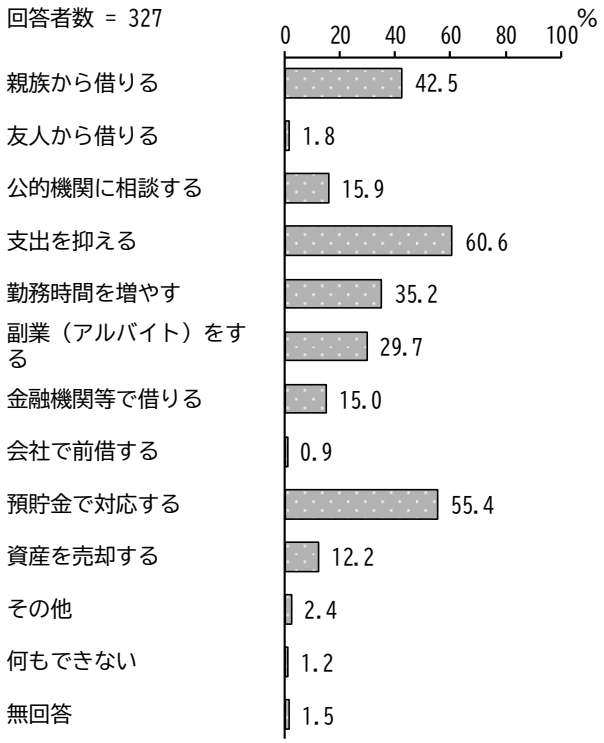
問 26　過去１年の間に、経済的な理由で、以下のＡ～Ｈのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。（それぞれ、○は１つ）

『Ｅ　家賃』で「該当しない（払う必要がない）」の割合が高くなっています。



問 27　あなたのご家庭が、金銭的に困った状況に置かれたときに、どのような対応が可能ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「支出を抑える」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「預貯金で対応する」の割合が 55.4%、「親族から借りる」の割合が 42.5%となっています。

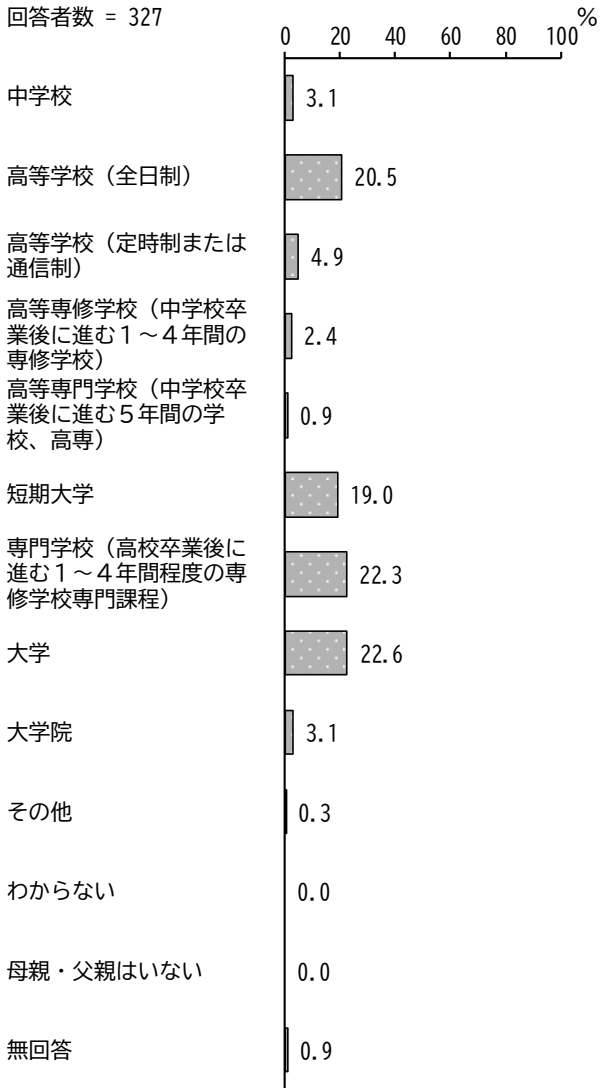


（８）お子さんのお母さんとお父さんのこれまでのご経験について

問 28　お子さんのお母さん・お父さんが、最後に卒業した学校は次のどれですか。
（それぞれ、あてはまる番号１つを□に書いてください）

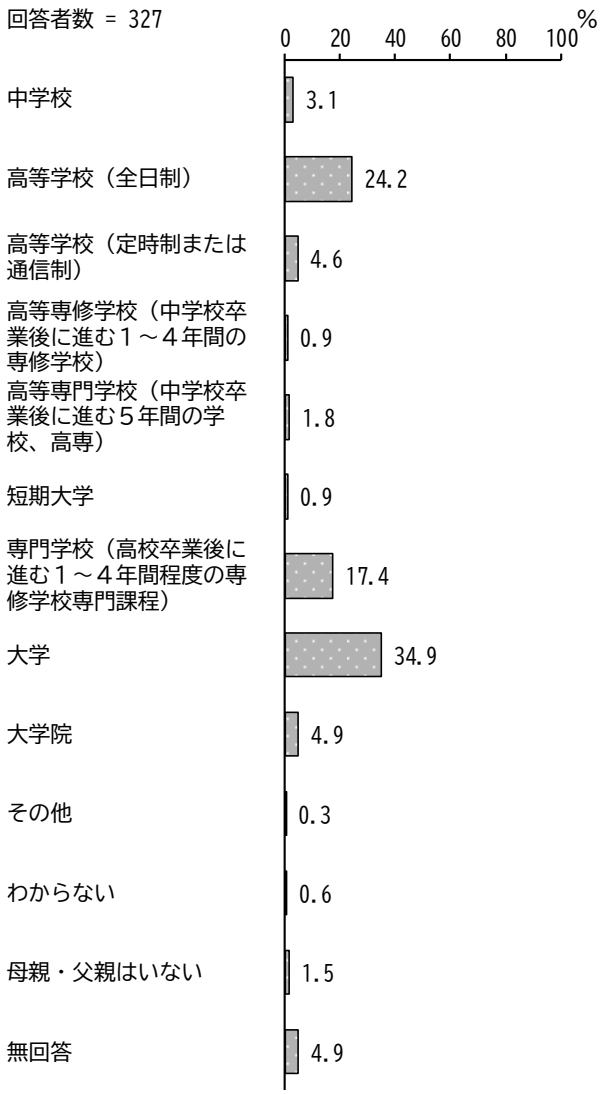
お母さん

「大学」の割合が 22.6%と最も高く、次いで「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」の割合が 22.3%、「高等学校（全日制）」の割合が 20.5%となっています。



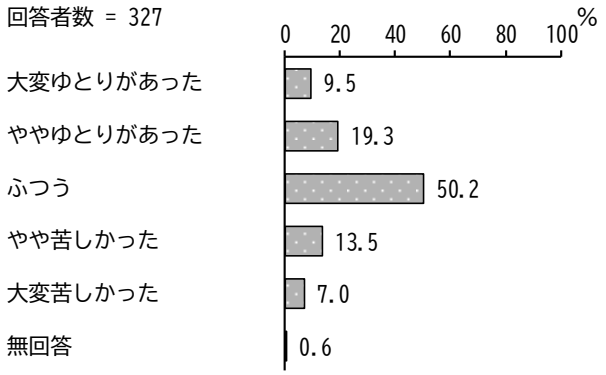
お父さん

「大学」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「高等学校（全日制）」の割合が 24.2%、「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」の割合が 17.4%となっています。



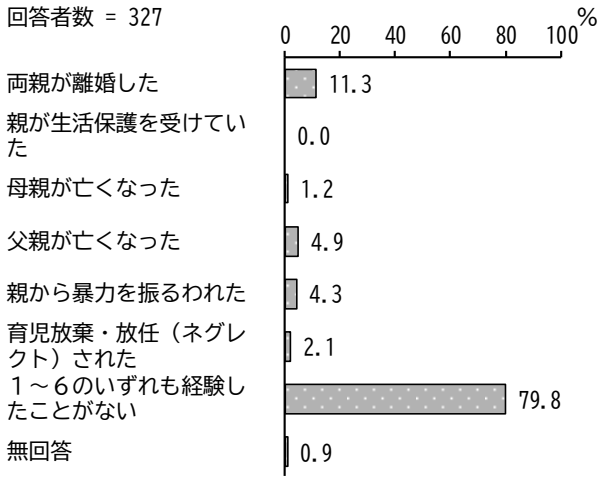
問 29　あなたが 15 歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。（○は１つ）

「ふつう」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「ややゆとりがあった」の割合が 19.3%、「やや苦しかった」の割合が 13.5%となっています。



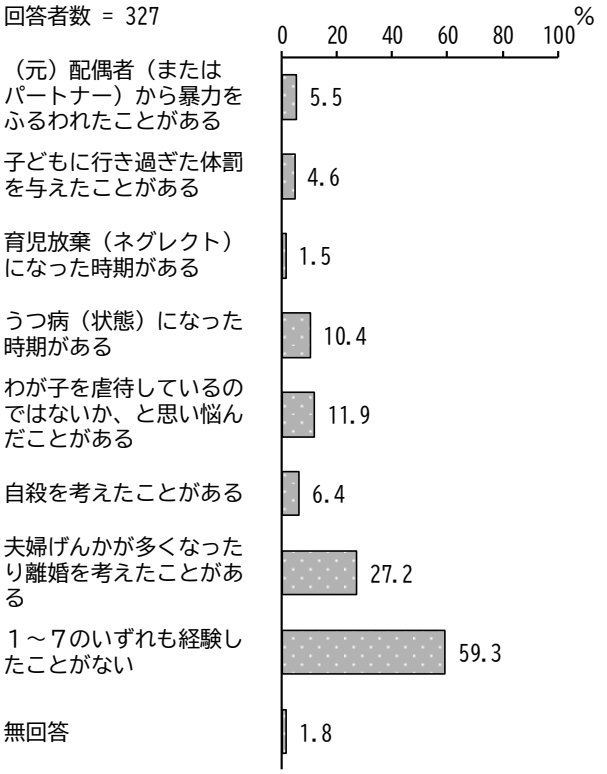
問 30　あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「１～６のいずれも経験したことがない」の割合が 79.8%と最も高く、次いで「両親が離婚した」の割合が 11.3%となっています。



問 31　あなたはお子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

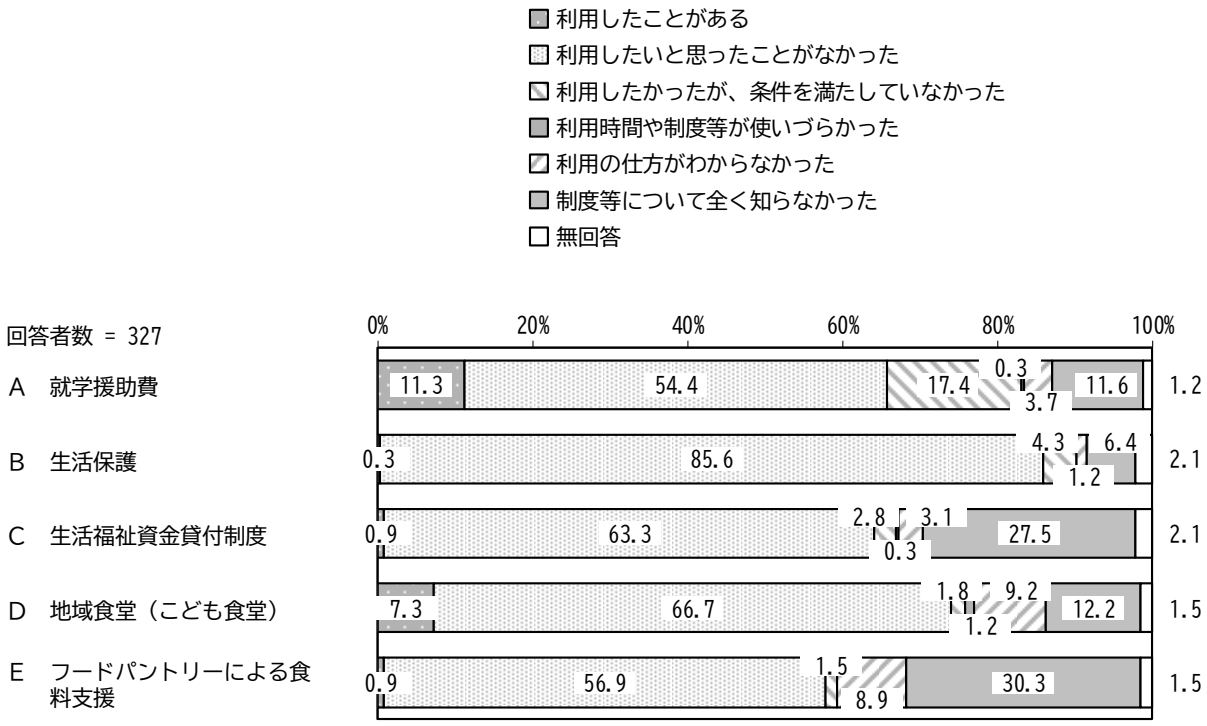
「１～７のいずれも経験したことがない」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「夫婦げんかが多くなったり離婚を考えたことがある」の割合が 27.2%、「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」の割合が 11.9%となっています。



（９）公的支援の利用状況について

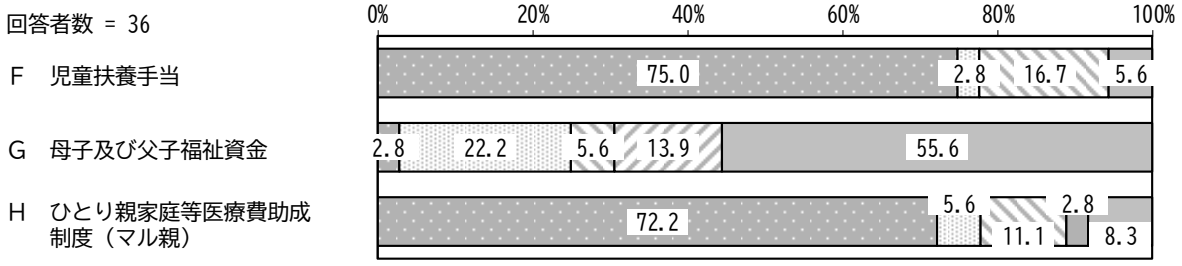
問 32　あなたのご家庭では、
（１）以下のＡ～Ｈの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。

『Ｂ　生活保護』で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が、『Ａ　就学援助費』で「利用したかったが、条件を満たしていなかった」の割合が、『Ｃ　生活福祉資金貸付制度』『Ｅ　フードパントリーによる食料支援』で「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



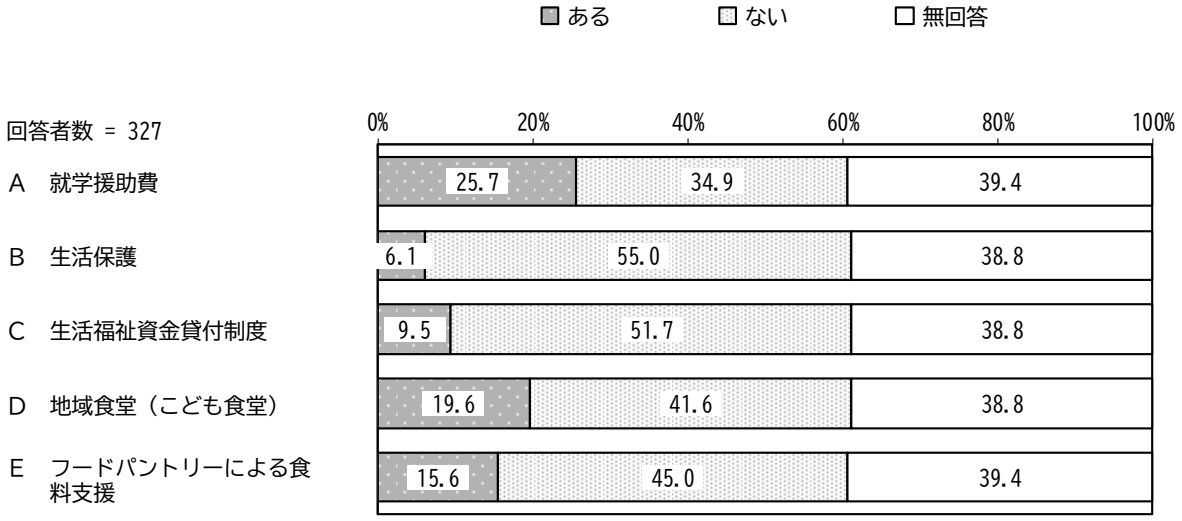
以下は、ひとり親世帯向けの制度です。ひとり親世帯の方のみお答えください。

『Ｆ　児童扶養手当』『Ｈ　ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親）』で「利用したことがある」の割合が高くなっています。一方、『Ｇ　母子及び父子福祉資金』で「利用したいと思ったことがない」、「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



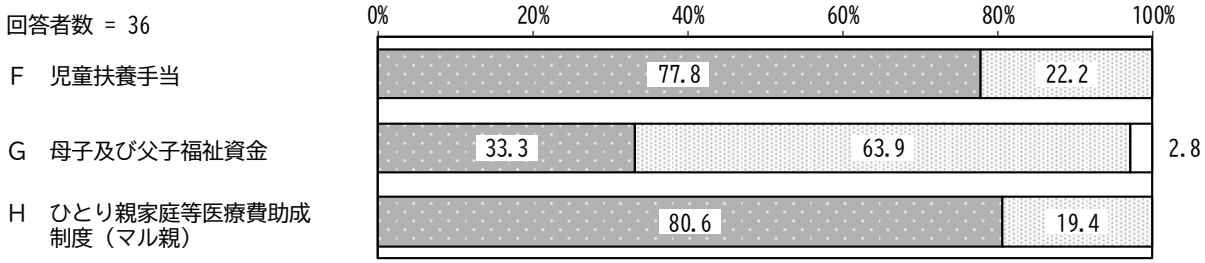
（２）（利用したことがある人にも、ない人にもお聞きします）
今後、利用することに興味がありますか。

『Ａ　就学援助費』で「ある」の割合が高くなっています。一方、『Ｂ　生活保護』『Ｃ　生活福祉資金貸付制度』で「ない」の割合が高くなっています。



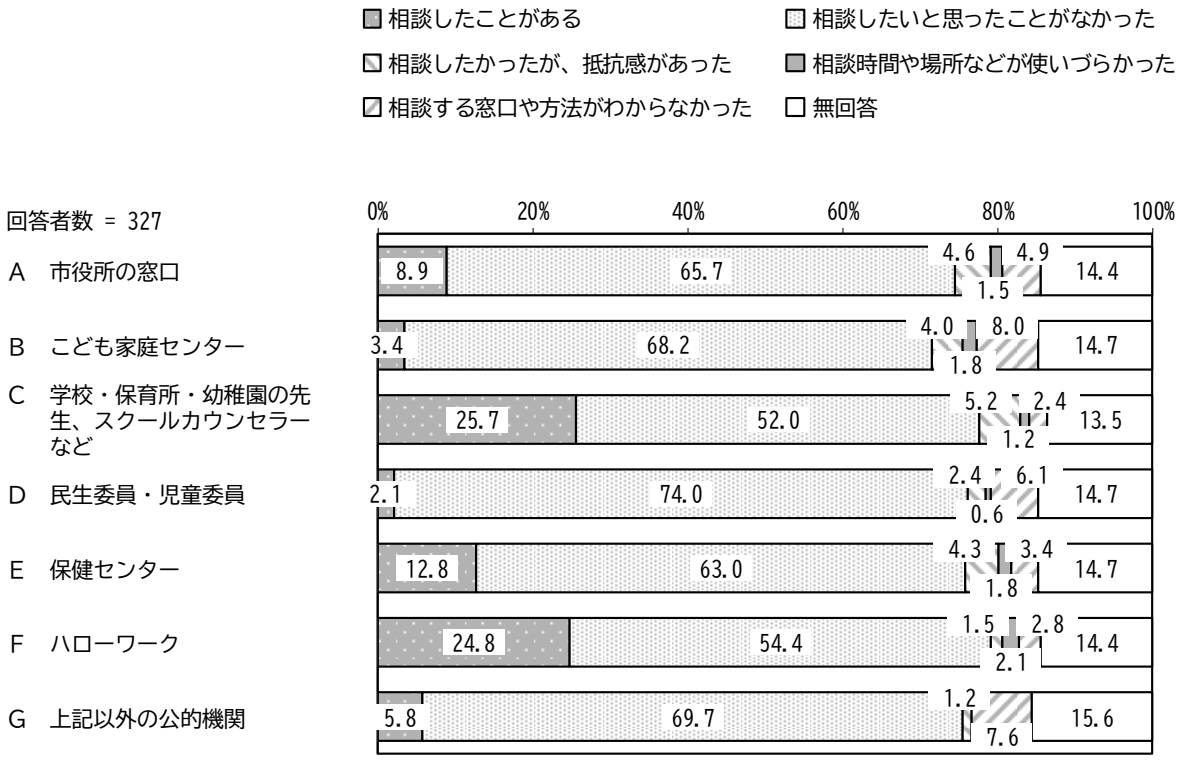
以下は、ひとり親世帯向けの制度です。ひとり親世帯の方のみお答えください。

『Ｆ　児童扶養手当』『Ｈ　ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親）』で「ある」の割合が高くなっています。一方、『Ｇ　母子及び父子福祉資金』で「ない」の割合が高くなっています。



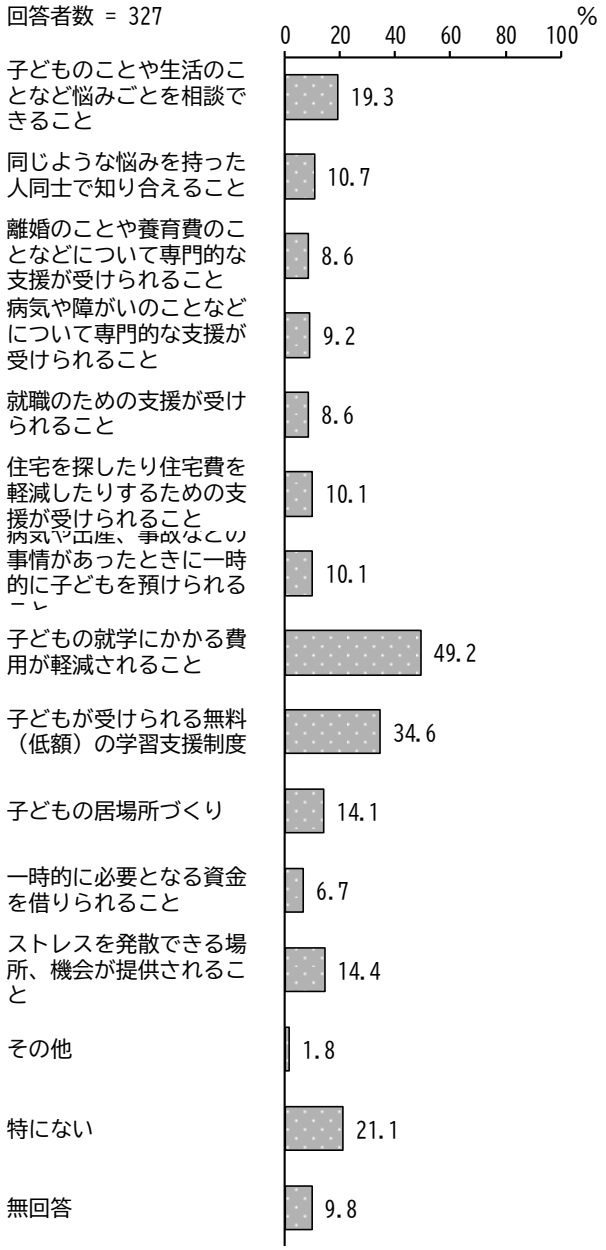
問 33　あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

『C　学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど』『F　ハローワーク』で「相談したことがある」の割合が高くなっています。一方、『D　民生委員・児童委員』で「相談したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



問 34　あなたが現在必要としていることで、重要だと思う支援等はどのようなものですか。（あてはまる番号すべてに○）

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 49.2%と最も高く、次いで「子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度」の割合が 34.6%、「特にない」の割合が 21.1%となっています。



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の２分の１以上中央値未満で「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
全　体	327	19.3	10.7	8.6	9.2	8.6	10.1	10.1
中央値の２分の１未満	34	20.6	11.8	17.6	17.6	8.8	14.7	5.9
中央値の２分の１以上中央値未満	52	19.2	11.5	19.2	11.5	9.6	13.5	11.5
中央値以上	205	22.0	11.7	4.9	7.3	7.8	9.8	11.2

区分	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	子どもが受けられる無料(低額)の学習支援制度	子どもの居場所づくり	一時的に必要となる資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他	特にない	無回答
全　体	49.2	34.6	14.1	6.7	14.4	1.8	21.1	9.8
中央値の２分の１未満	32.4	29.4	11.8	17.6	17.6	－	20.6	2.9
中央値の２分の１以上中央値未満	59.6	44.2	15.4	11.5	13.5	－	7.7	15.4
中央値以上	51.7	35.6	16.1	4.4	15.6	2.9	23.9	5.9

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が高くなっています。

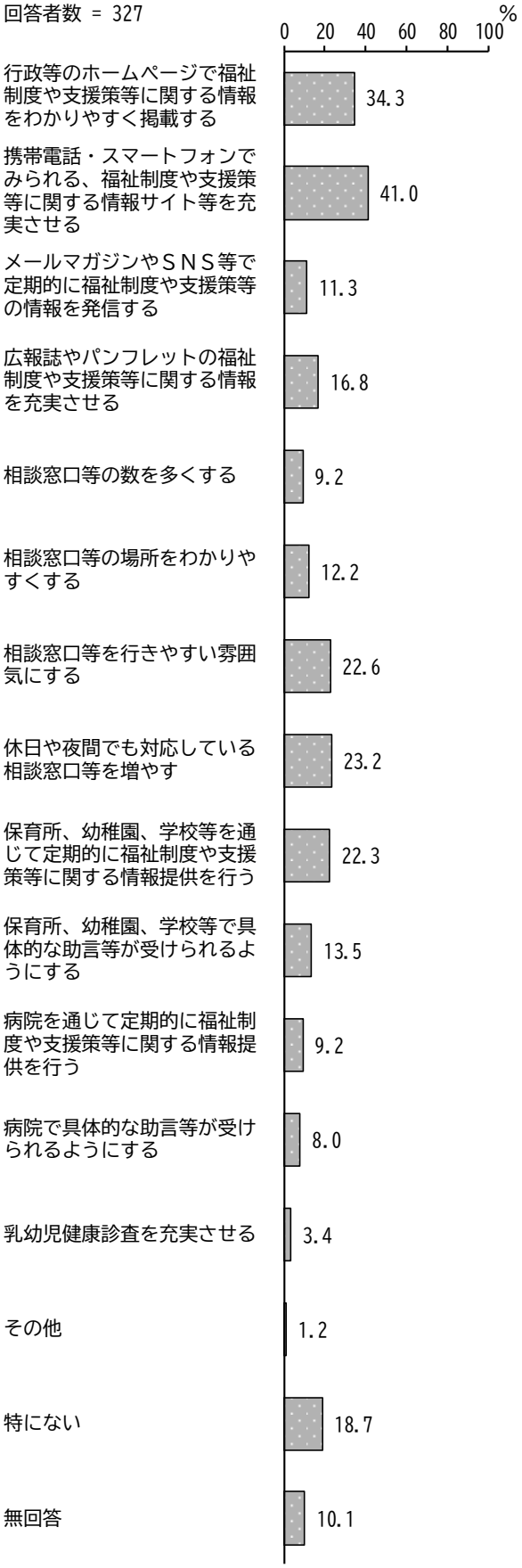
単位：％

区分	回答者数（件）	子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
全　体	327	19.3	10.7	8.6	9.2	8.6	10.1	10.1
ひとり親世帯	26	19.2	11.5	34.6	3.8	7.7	19.2	15.4
２世帯	226	18.1	10.6	5.3	6.6	6.2	8.4	8.8
３世帯	52	26.9	11.5	11.5	15.4	13.5	9.6	9.6
その他（不明等）	23	13.0	8.7	4.3	26.1	21.7	17.4	17.4

区分	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	子どもが受けられる無料(低額)の学習支援制度	子どもの居場所づくり	一時的に必要となる資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他	特にない	無回答
全　体	49.2	34.6	14.1	6.7	14.4	1.8	21.1	9.8
ひとり親世帯	73.1	53.8	19.2	19.2	19.2	－	7.7	－
２世帯	50.4	34.1	16.4	6.2	15.5	2.2	23.5	8.4
３世帯	32.7	28.8	5.8	5.8	9.6	－	17.3	19.2
その他（不明等）	47.8	30.4	4.3	－	8.7	4.3	21.7	13.0

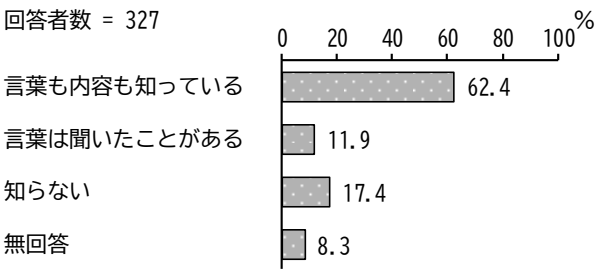
問 35　あなたが必要な支援を受けるために重要だと思うことを教えてください。
（あてはまる番号すべてに○）

「携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」の割合が 34.3%、「休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす」の割合が 23.2%となっています。



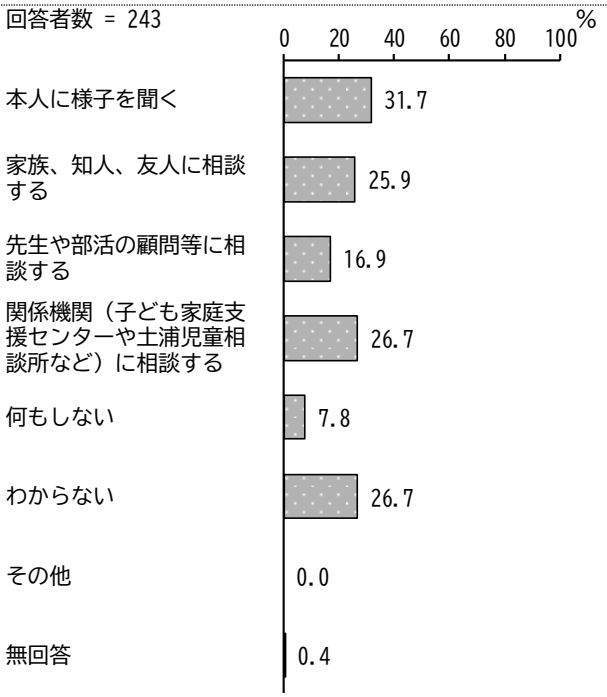
問 36　あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。（１つに○）

「言葉も内容も知っている」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 17.4%、「言葉は聞いたことがある」の割合が 11.9%となっています。



問 37　あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。（あてはまるものすべてに○）

「本人に様子を聞く」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「関係機関（子ども家庭支援センターや土浦児童相談所など）に相談する」、「わからない」の割合が 26.7%となっています。

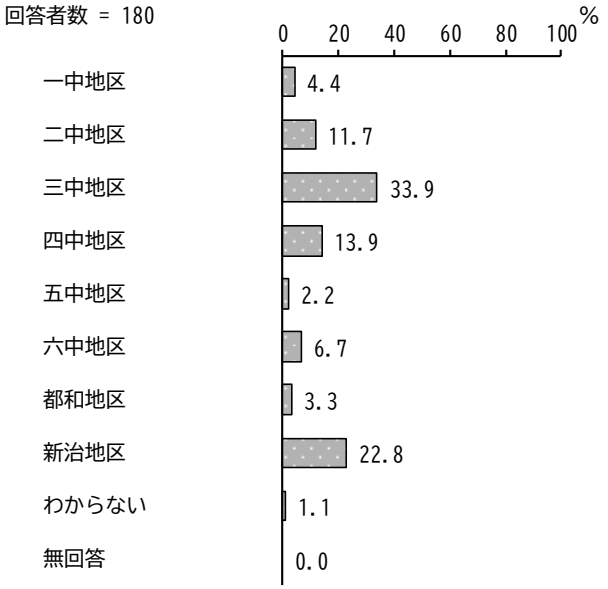


３　９年生

（１）あなたのことについて

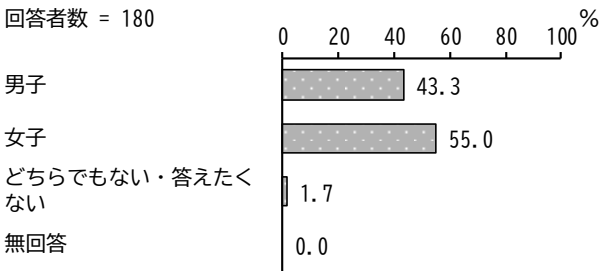
はじめに、お住まいの地区としてあてはまる番号１つを選択してください。

「三中地区」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「新治地区」の割合が 22.8%、「四中地区」の割合が 13.9%となっています。



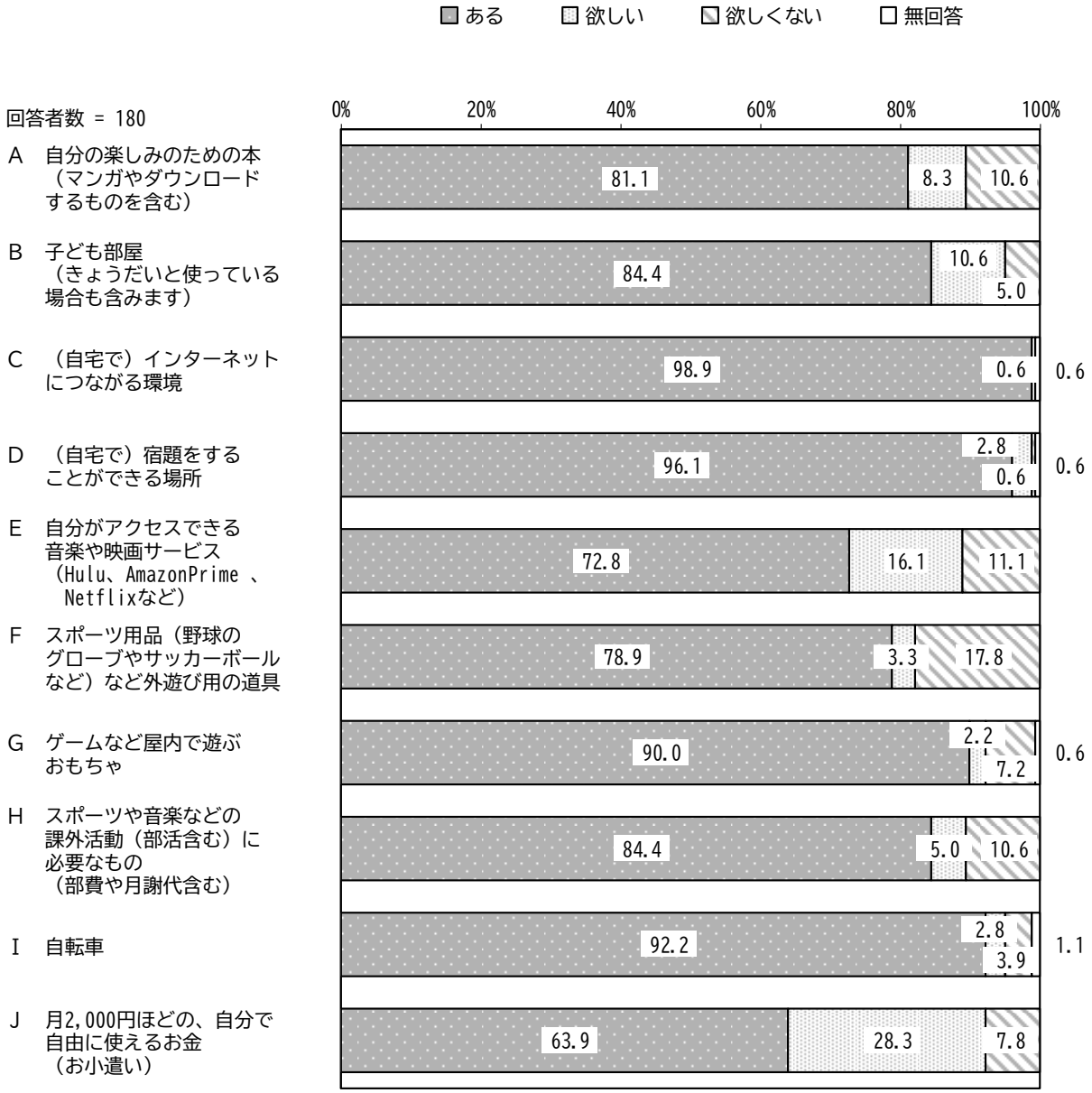
問１　あなたの性別を教えてください。（○は１つ）

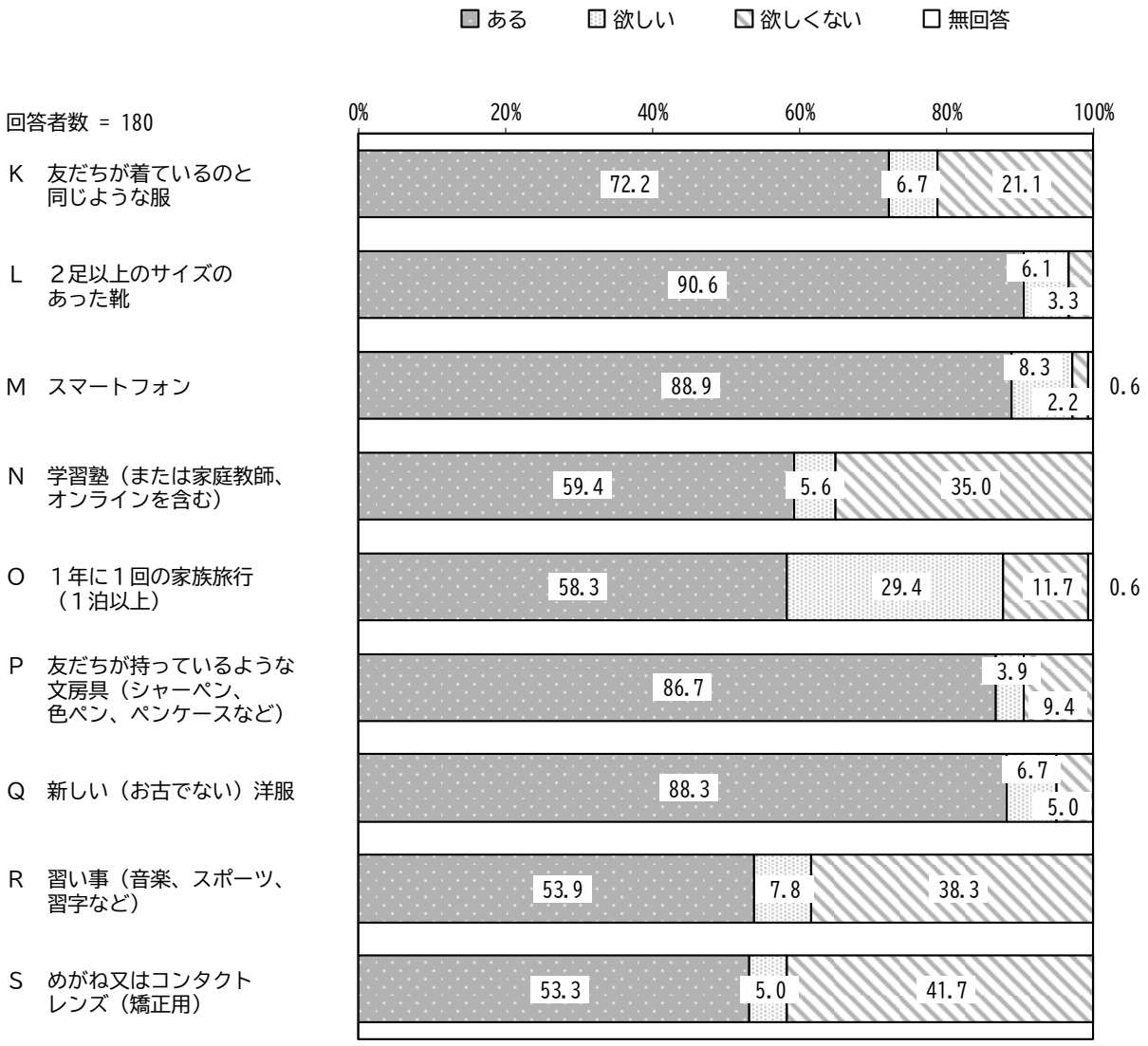
「女子」の割合が 55.0%、「男子」の割合が 43.3%となっています。



問２　あなたには、自分が使うことができる、以下のもの（こと）があり（でき）ますか。ある場合は「１　ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「２　欲しい」、いらないと思うものであれば「３　欲しくない」に○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

『C　（自宅で）インターネットにつながる環境』で「ある」の割合が高くなっています。一方、『S　めがね又はコンタクトレンズ（矯正用）』、で「欲しくない」の割合が高くなっています。

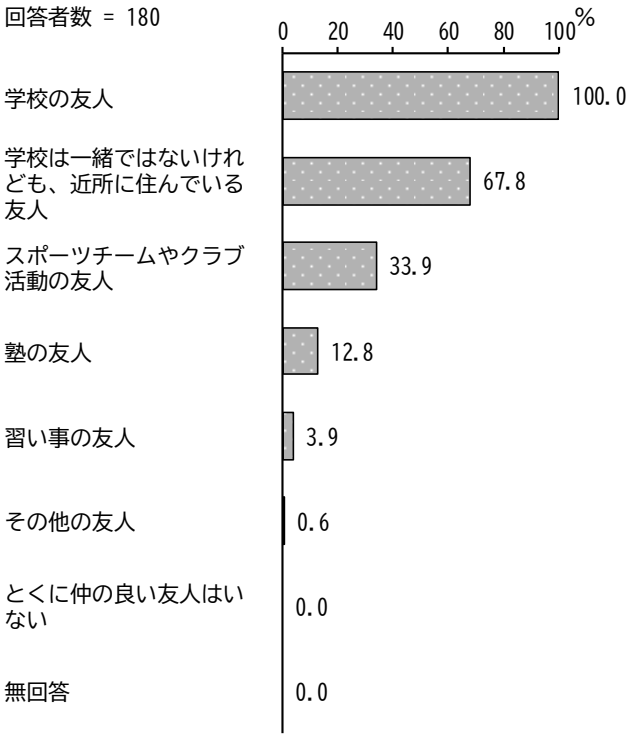



ある
欲しい
欲しくない
無回答
回答者数 = 180
0%
20%
40%
60%
80%
100%
K 友だちが着ているのと同じような服
72.2
6.7
21.1
L ２足以上のサイズのあった靴
90.6
6.1
3.3
M スマートフォン
88.9
8.3
2.2
0.6
N 学習塾（または家庭教師、オンラインを含む）
59.4
5.6
35.0
O １年に１回の家族旅行（１泊以上）
58.3
29.4
11.7
0.6
P 友だちが持っているような文房具（シャーペン、色ペン、ペンケースなど）
86.7
3.9
9.4
Q 新しい（お古でない）洋服
88.3
6.7
5.0
R 習い事（音楽、スポーツ、習字など）
53.9
7.8
38.3
S めがね又はコンタクトレンズ（矯正用）
53.3
5.0
41.7

（２）あなたの友人のことについて

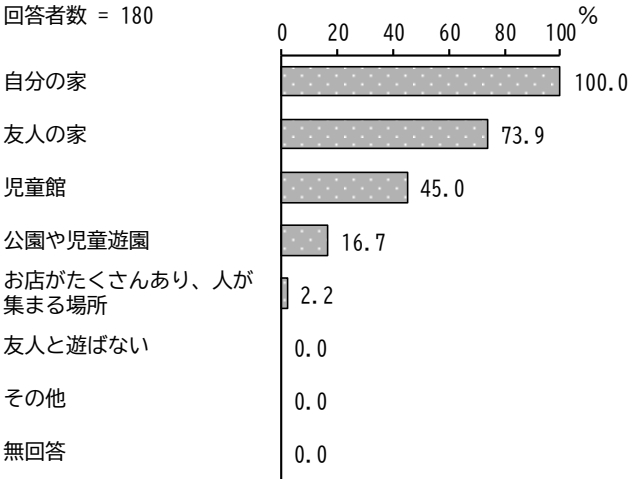
問３　あなたの仲が良い友人は、どのような友人ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「学校の友人」の割合が 100.0%と最も高く、次いで「学校は一緒ではないけれども、近所に住んでいる友」の割合が 67.8%、「スポーツチームやクラブ活動の友人」の割合が 33.9%となっています。



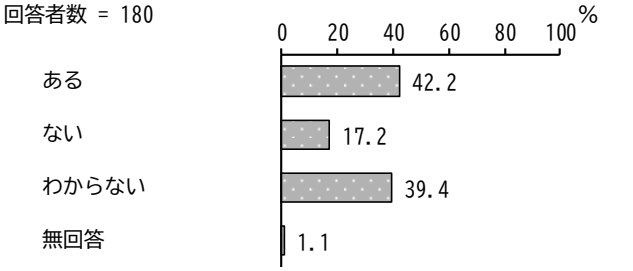
問３－１　あなたは、友人と遊ぶ時は、どこで遊びますか。（あてはまる番号すべてに○）

「自分の家」の割合が 100.0%と最も高く、次いで「友人の家」の割合が 73.9%、「児童館」の割合が 45.0%となっています。



問３－２　あなたは、将来なりたい職業がありますか。（あてはまる番号１つに○）

「ある」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 39.4%、「ない」の割合が 17.2%となっています。

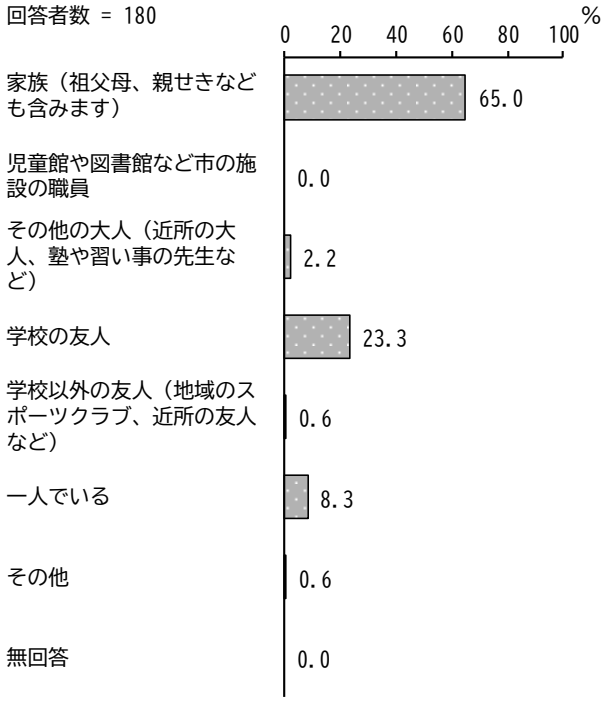


（３）あなたのふだんの生活について

問４　あなたは、（１）平日（学校に行く日）の放課後（夕方６時くらいまで）と、（２）週末（学校に行かない日）の昼間はだれと過ごしますか。一緒に過ごす事が一番多い人の番号を□に書いてください。

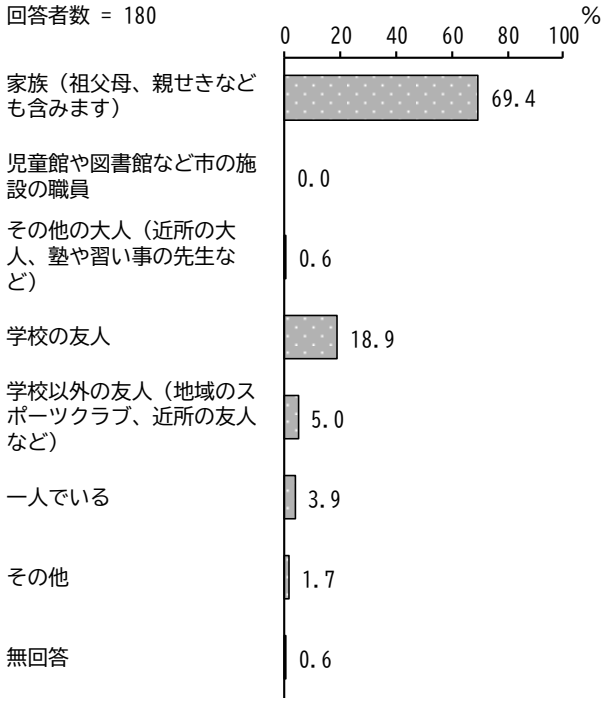
（１）平日（学校に行く日）

「家族（祖父母、親せきなども含みます）」の割合が 65.0%と最も高く、次いで「学校の友人」の割合が 23.3%となっています。



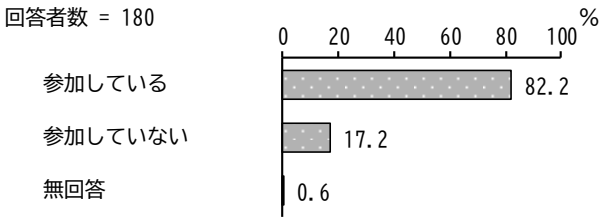
（２）週末

「家族（祖父母、親せきなども含みます）」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「学校の友人」の割合が 18.9%となっています。



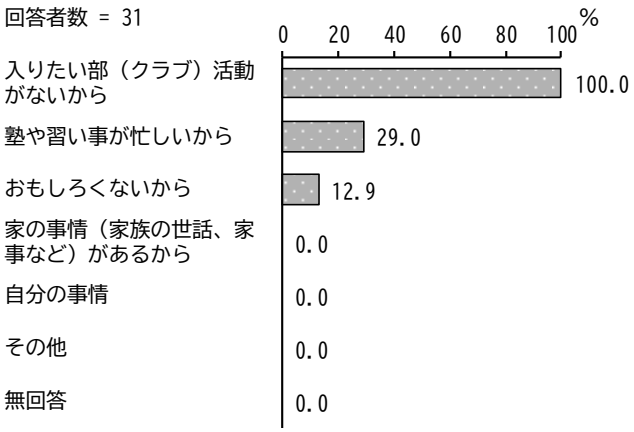
問５　あなたは、学校の部（クラブ）活動に参加していますか。（○は１つ）

「参加している」の割合が 82.2%、「参加していない」の割合が 17.2%となっています。



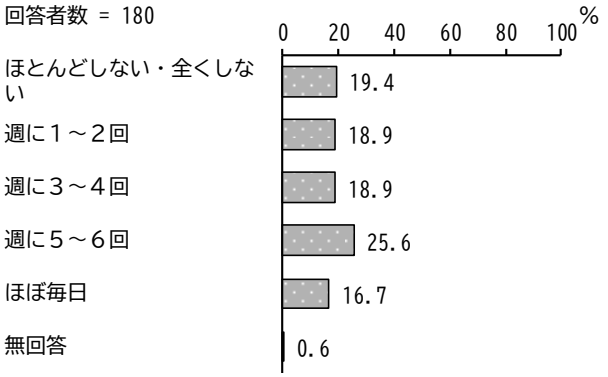
問５－１　学校の部（クラブ）活動に「２　参加していない」と答えた人におききします。参加しない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「入りたい部（クラブ）活動がないから」の割合が 100.0%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」の割合が 29.0%、「おもしろくないから」の割合が 12.9%となっています。



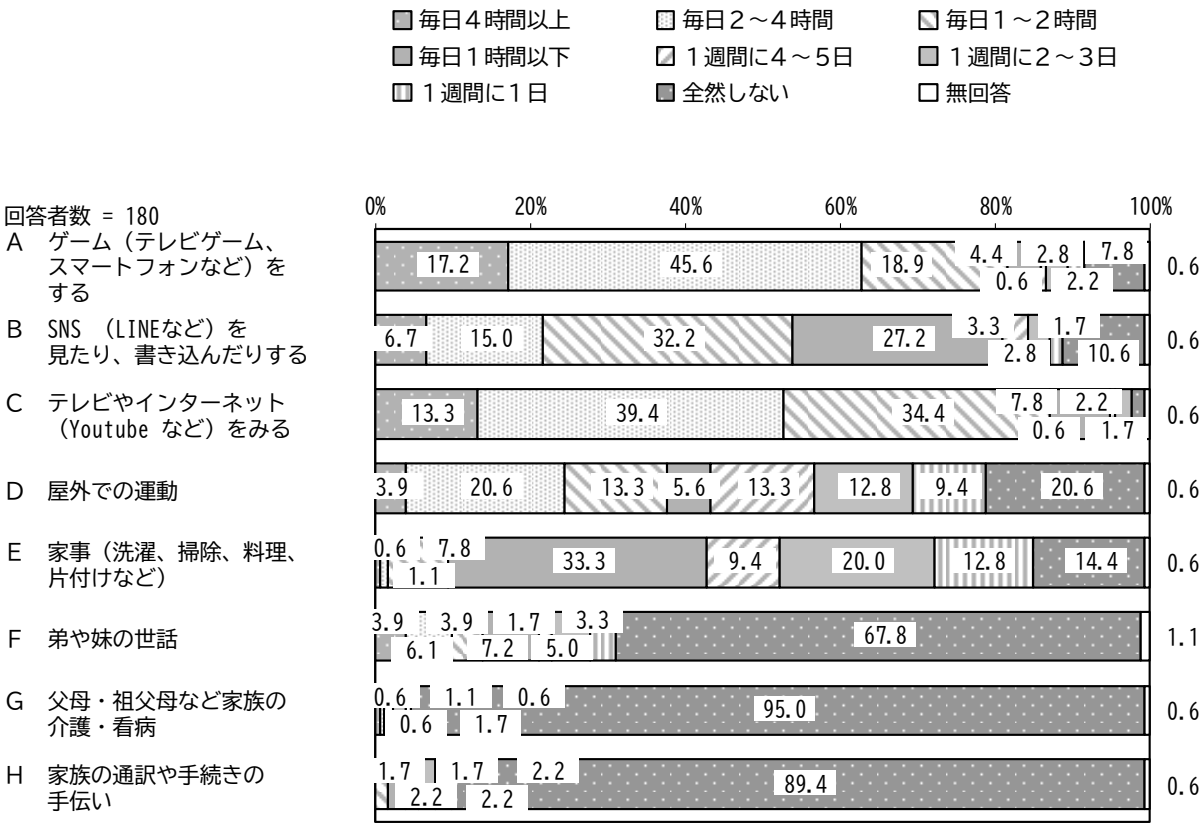
問６　あなたは、30 分以上からだを動かす遊びや習い事を、１週間でどれくらいしますか。（○は１つ）

「週に５～６回」の割合が 25.6%と最も高く、次いで「ほとんどしない・全くしない」の割合が 19.4%、「週に１～２回」、「週に３～４回」の割合が 18.9%となっています。



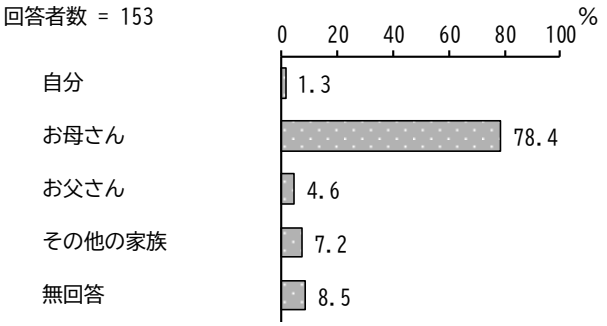
問７　あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。（それぞれ、○は１つ）

『Ａ　ゲーム（テレビゲーム、スマートフォンなど）をする』で「毎日２～４時間」の割合が、『Ｅ　家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど)』で「１週間に２～３日」の割合が高くなっています。また、『Ｇ　父母・祖父母など家族の介護・看病』で「全然しない」の割合が高くなっています。



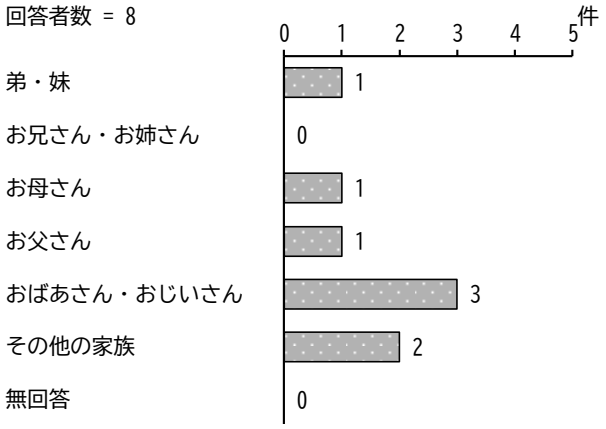
問７－１　「Ｅ」に１～７と答えた人にお聞きします。
家族の中で、家事を最も多く担っている人は誰ですか。（○は１つ）

「お母さん」の割合が 78.4%と最も高くなっています。



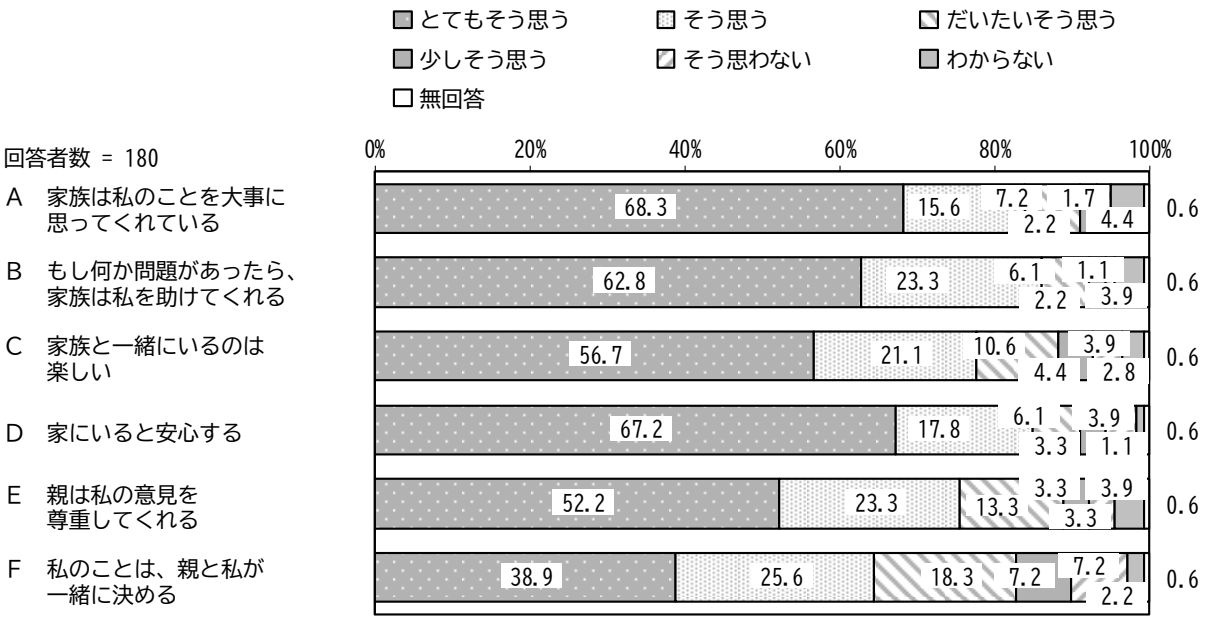
問７－２　「G」に１～７と答えた人にお聞きします。
あなたが介護・看病している人は誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「おばあさん・おじいさん」が３件となっています。「その他の家族」が２件、「弟・妹」、「お母さん」「お父さん」が１件となっています。



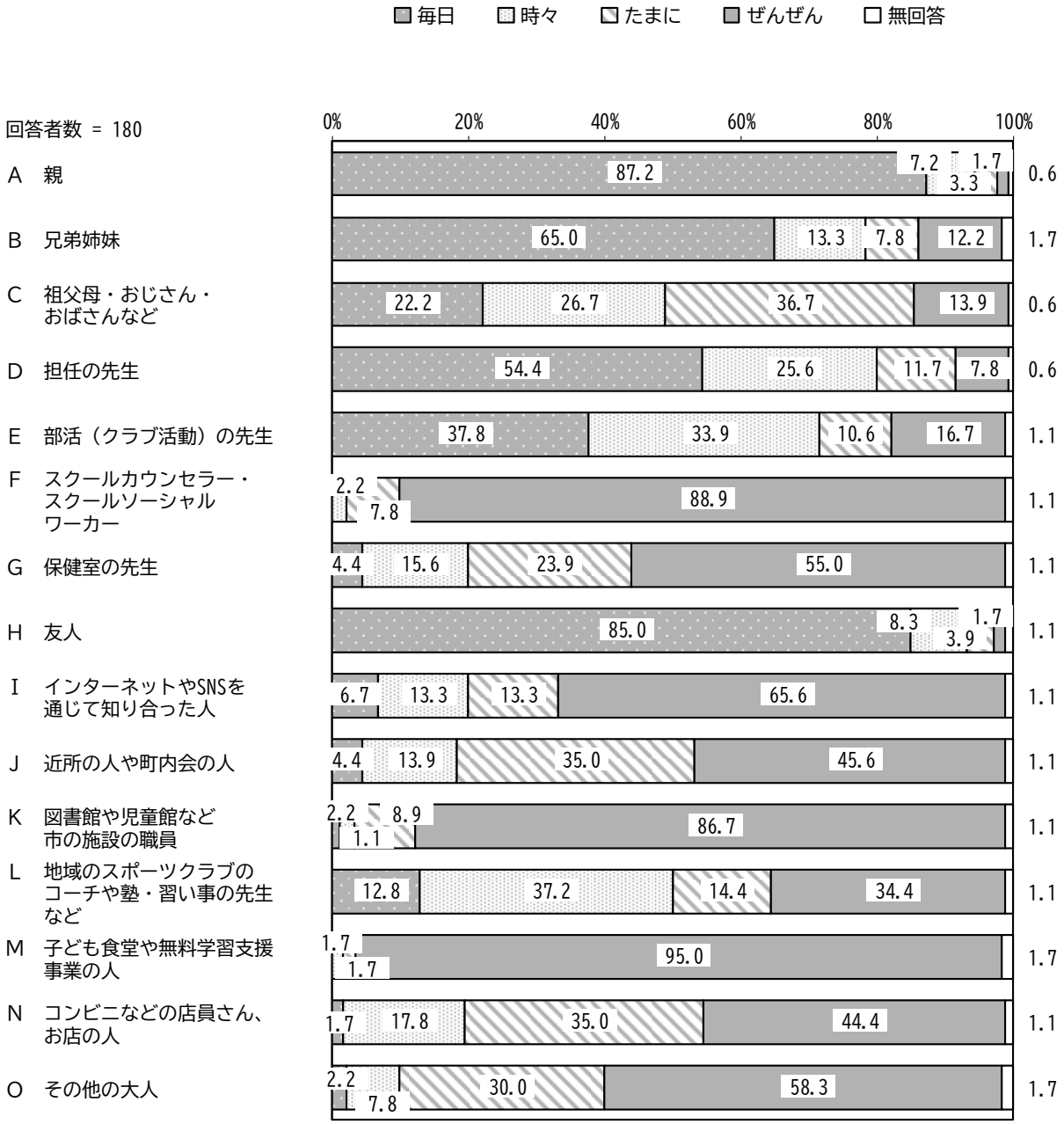
問８　あなたは、以下のことがらについて、どう思いますか。（それぞれ○は１つ）

『A　家族は私のことを大事に思ってくれている』、『D　家にいると安心する』で「とてもそう思う」の割合が高くなっています。また、『F　私のことは、親と私が一緒に決める』で「そう思う」の割合が高くなっています。



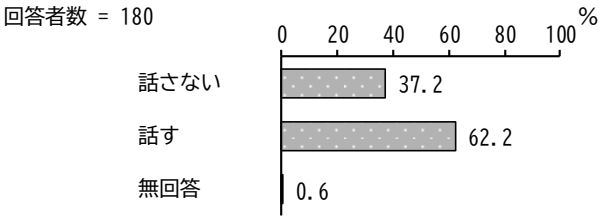
問９　あなたは、ちょっとした会話も含め、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。「１　毎日」から「４　ぜんぜん」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。電話、メール、LINE もふくめて考えてください。
（それぞれ、○は１つ）

『Ａ　親』、『Ｈ　友人』で「毎日」の割合が、『Ｃ　祖父母・おじさん・おばさんなど』、『Ｊ　近所の人や町内会の人』、『Ｎ　コンビニなどの店員さん、お店の人』で「たまに」の割合が高くなっています。また、『Ｌ　地域のスポーツクラブのコーチや塾・習い事の先生など』で「時々」の割合が高くなっています。



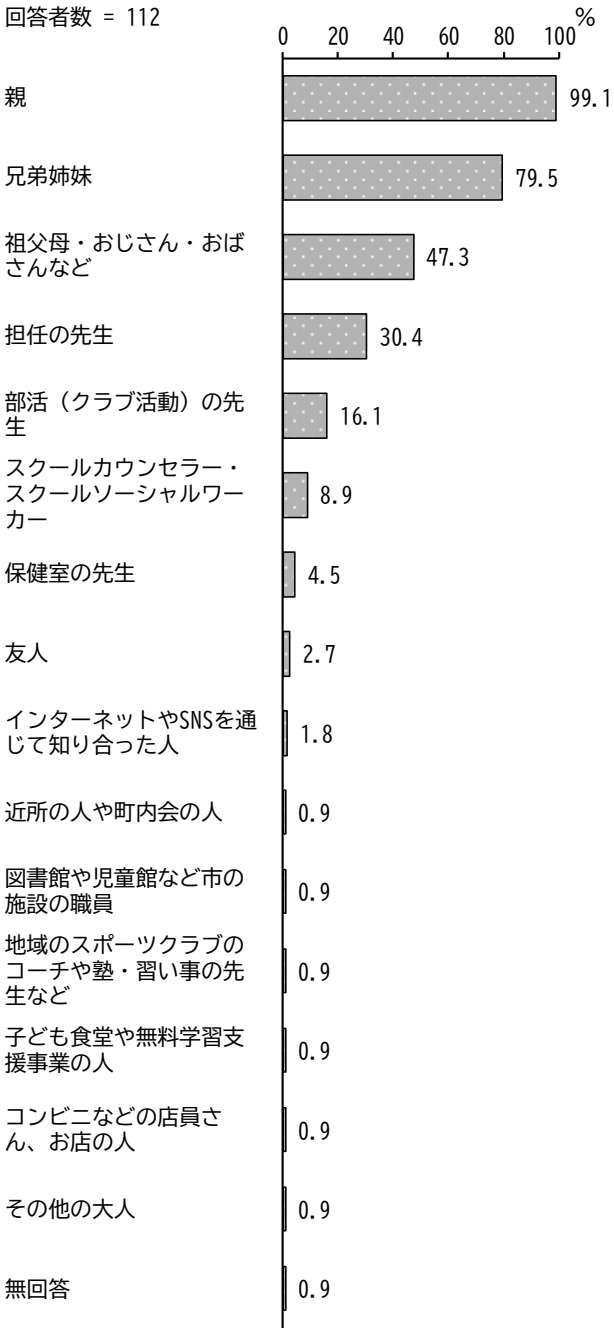
問９－１　あなたに困ったことや、悩んでいることがある時、そのことを誰かに話しますか。上記のＡ～Ｏの相手のうち、話す人の記号をすべて答えてください。

「話さない」の割合が 37.2%、「話す」の割合が 62.2%となっています。



話す人

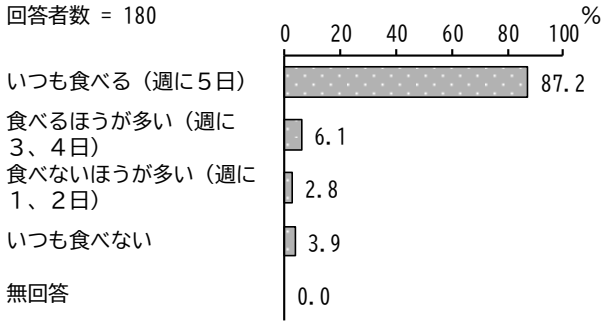
「親」の割合が 99.1%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」の割合が 79.5%、「祖父母・おじさん・おばさんなど」の割合が 47.3%となっています。



（４）食事のことや健康のことについて

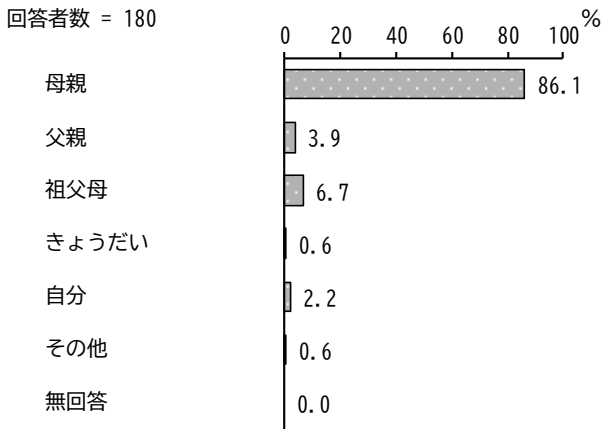
問 10　あなたは、平日（学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか。（○は１つ）

「いつも食べる（週に５日）」の割合が 87.2%と最も高くなっています。



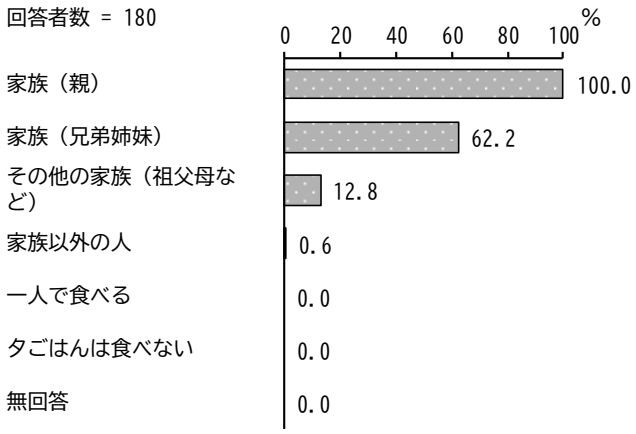
問 11　あなたが自宅で食事をする時、主にだれが作ってくれますか。
（あてはまるもの１つに○）

「母親」の割合が 86.1%と最も高くなっています。



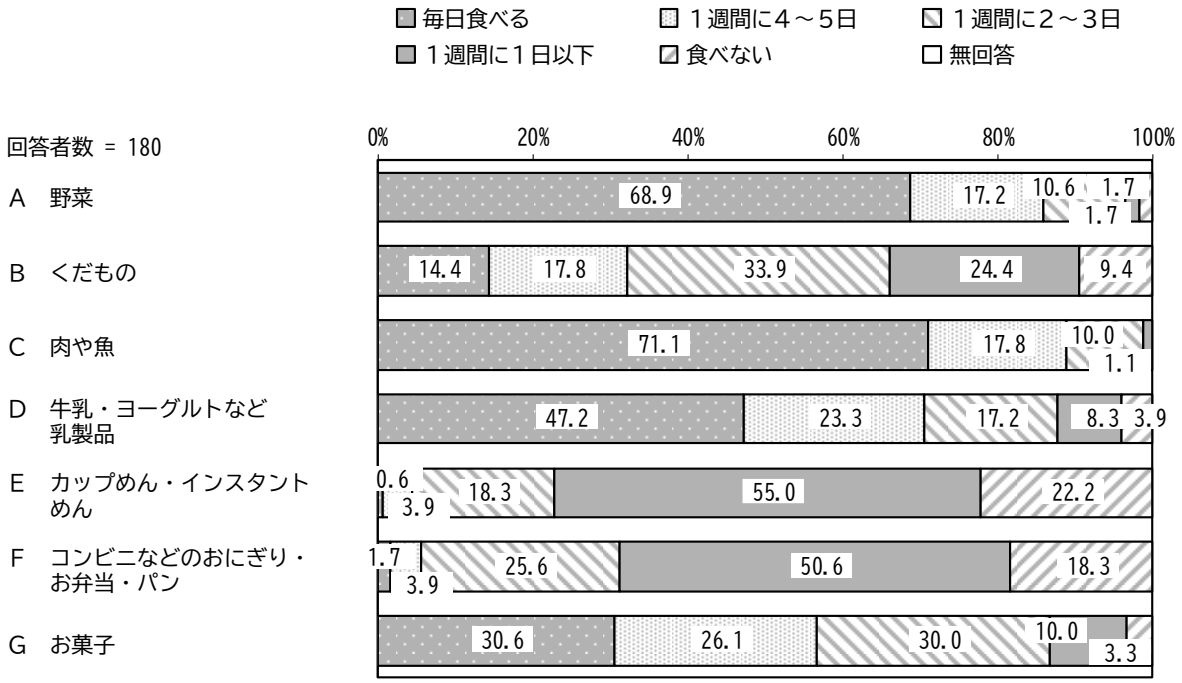
問 12　あなたは、平日（学校に行く日）に夕ごはんをだれと食べますか。
（あてはまる番号すべてに○）

「家族（親）」の割合が 100.0%と最も高く、次いで「家族（兄弟姉妹）」の割合が 62.2%、「その他の家族（祖父母など）」の割合が 12.8%となっています。



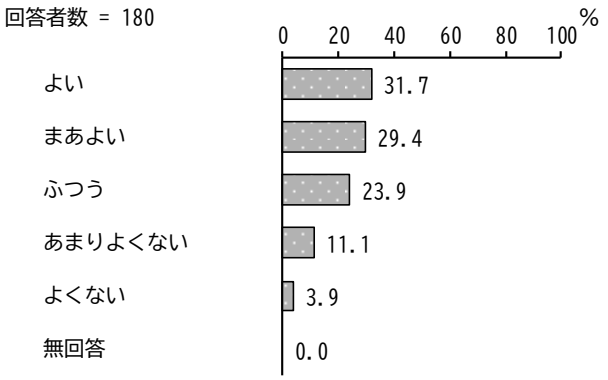
問 13　あなたは、給食をのぞいて、以下の食べ物をふだんどれくらい食べますか。
（それぞれ、○は１つ）

『A　野菜』、『C　肉や魚』で「毎日食べる」の割合が、『E　カップめん・インスタントめん』、『F　コンビニなどのおにぎり・お弁当・パン』で「１週間に１日以下」の割合が高くなっています。



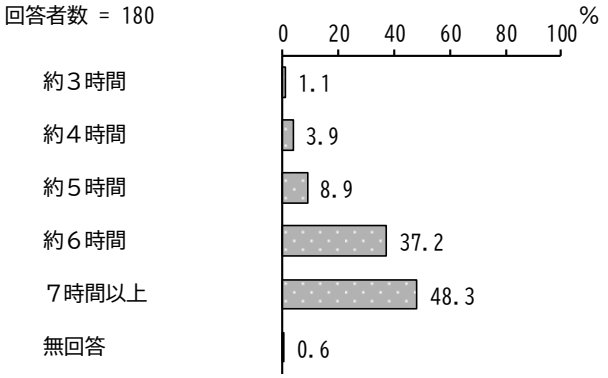
問 14　あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか。（○は１つ）

「よい」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「まあよい」の割合が 29.4%、「ふつう」の割合が 23.9%となっています。



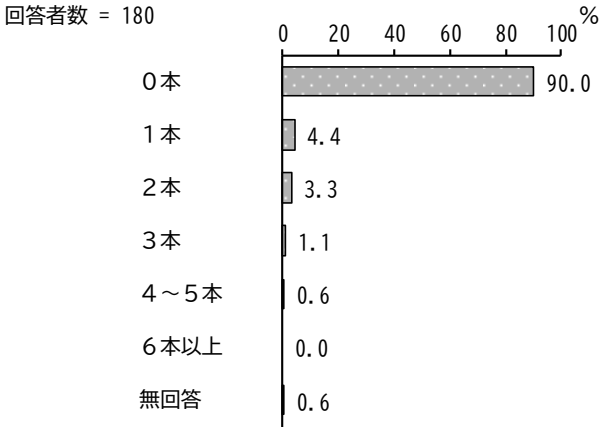
問 15　あなたの平均睡眠時間はどのくらいですか。（あてはまるもの１つに○）

「７時間以上」の割合が 48.3%と最も高く、次いで「約６時間」の割合が 37.2%となっています。



問 16　あなたは、今、虫歯がおおよそ何本くらいありますか。治療中のものもふくみます。（数字で答えてください）

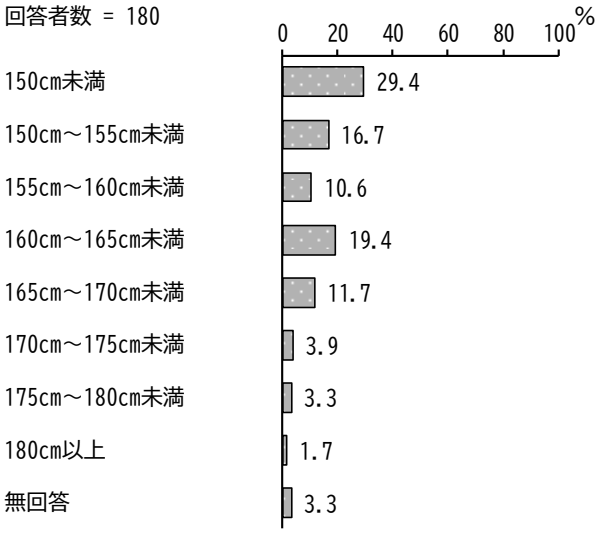
「０本」の割合が 90.0%と最も高くなっています。



問 17　あなたの身長・体重を教えてください。（□の中に数字で答えてください）

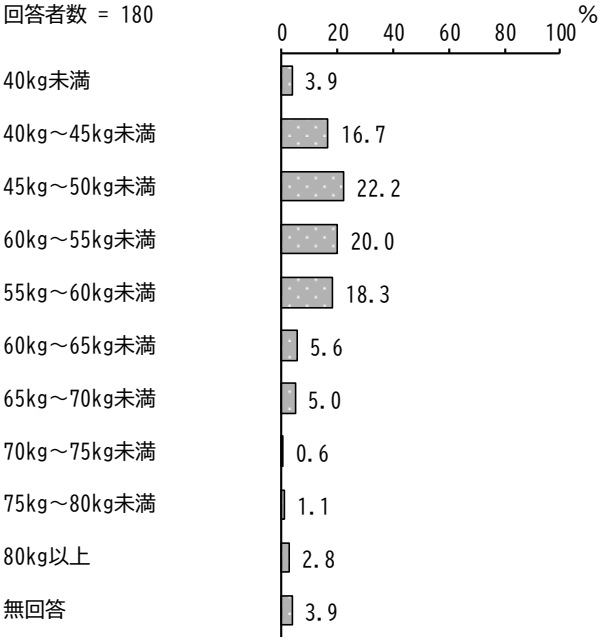
A　身長

「150cm 未満」の割合が 29.4%と最も高く、次いで「160cm～165cm 未満」の割合が 19.4%、「150cm～155cm 未満」の割合が 16.7%となっています。



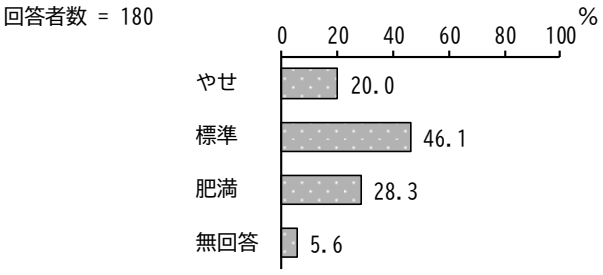
B　体重

「45kg～50kg 未満」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「60kg～55kg 未満」の割合が 20.0%、「55kg～60kg 未満」の割合が 18.3%となっています。



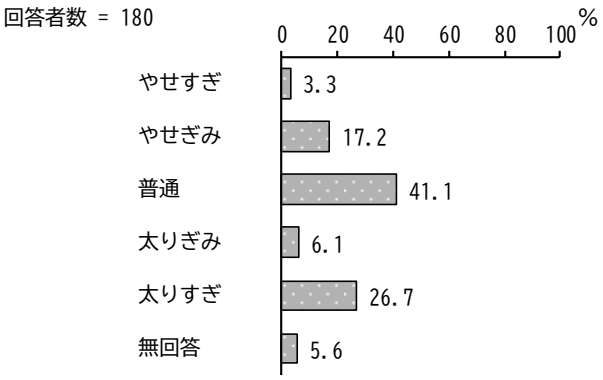
ＢＭＩ

「標準」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「肥満」の割合が 28.3%、「やせ」の割合が 20.0%となっています。



ローレル指数

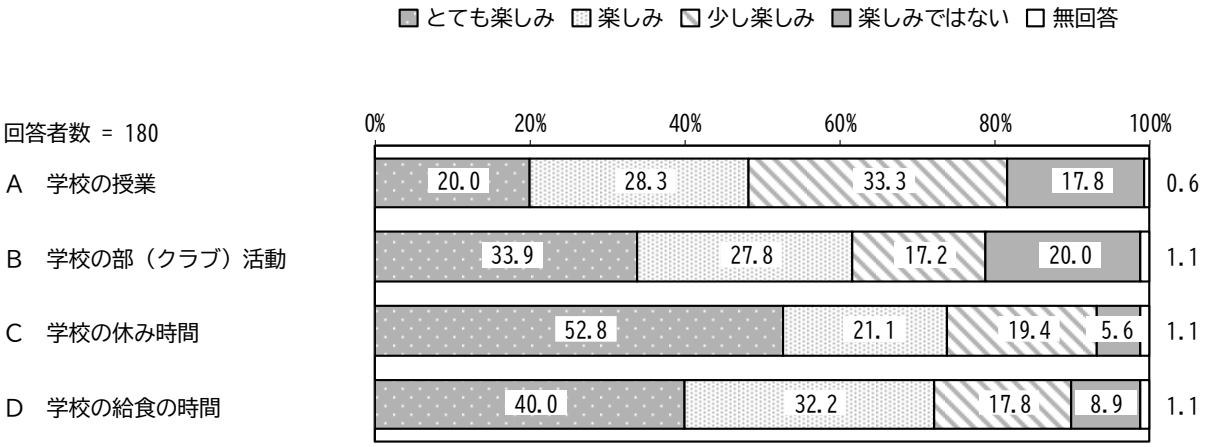
「普通」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「太りすぎ」の割合が 26.7%、「やせぎみ」の割合が 17.2%となっています。



（５）学校のことや勉強のことについて

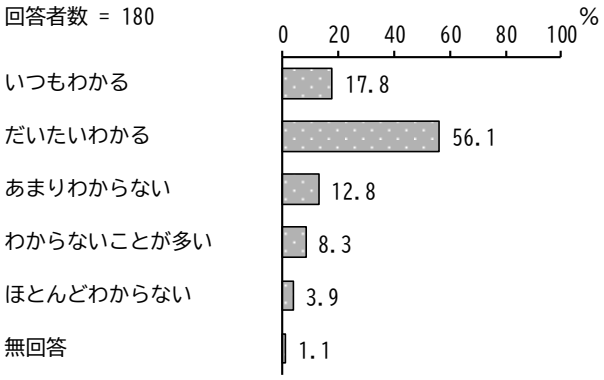
問 18　あなたの学校生活についておたずねします。次の項目について、「１　とても楽しみ」から「４　楽しみではない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

『Ａ　学校の授業』で「少し楽しみ」の割合が、『Ｃ　学校の休み時間』で「とても楽しみ」の割合が高くなっています。



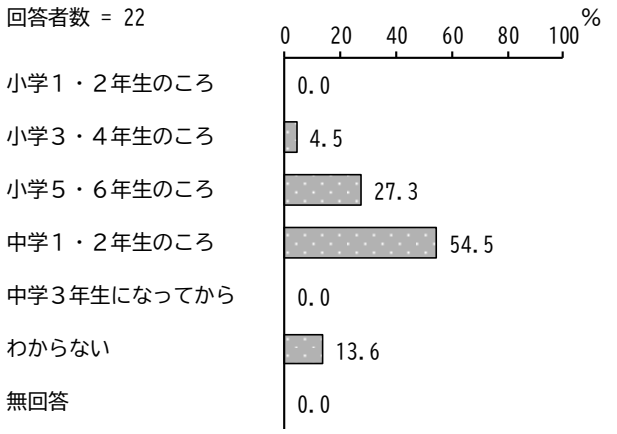
問 19　あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（○は１つ）

「だいたいわかる」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「いつもわかる」の割合が 17.8%、「あまりわからない」の割合が 12.8%となっています。



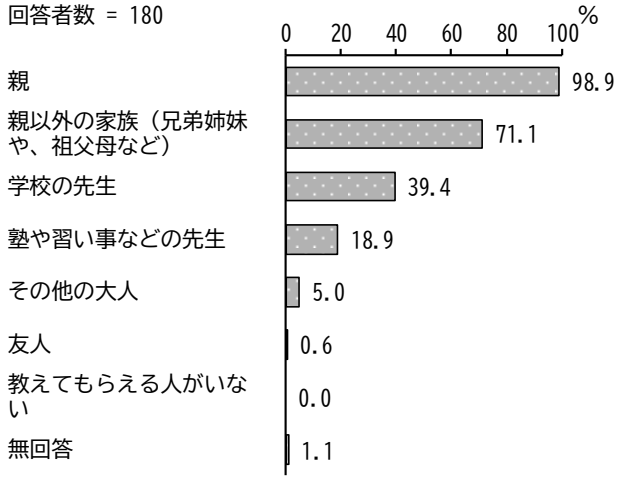
問 19－１　学校の授業が「４　わからないことが多い」または「５　ほとんどわからない」と答えた人におききします。いつごろから、授業がわからなくなりましたか。（○は１つ）

「中学１・２年生のころ」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「小学５・６年生のころ」の割合が 27.3%、「わからない」の割合が 13.6%となっています。



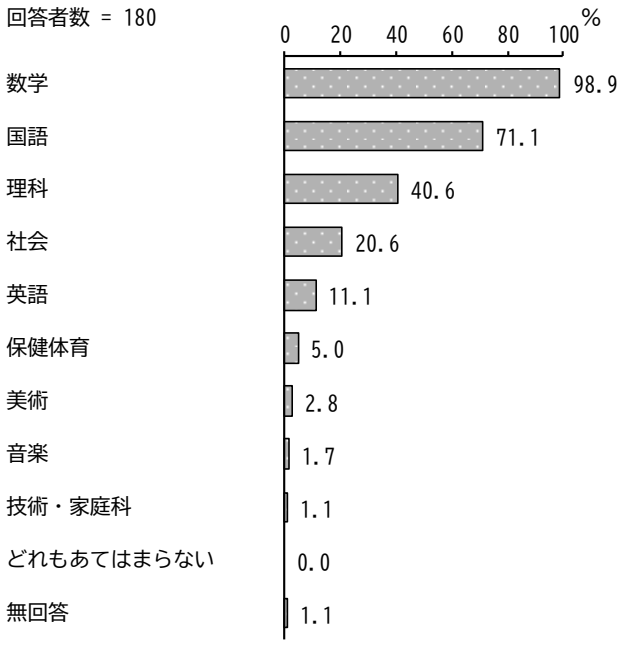
問 20　勉強がわからないときは、誰に教えてもらいますか。（あてはまる番号すべてに○）

「親」の割合が 98.9%と最も高く、次いで「親以外の家族（兄弟姉妹や、祖父母など）」の割合が 71.1%、「学校の先生」の割合が 39.4%となっています。



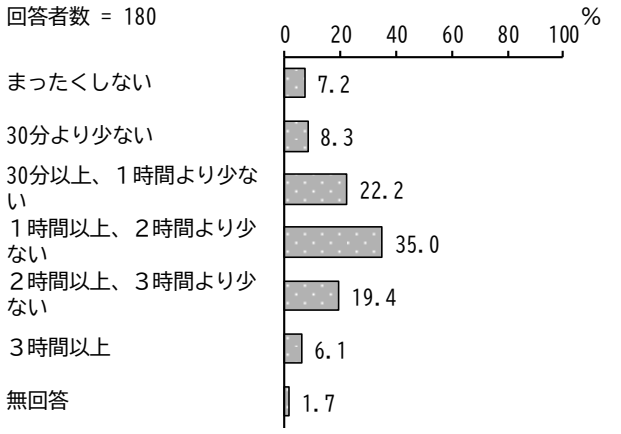
問 21　あなたの得意な教科は、どれですか。（あてはまる番号すべてに○）

「数学」の割合が 98.9%と最も高く、次いで「国語」の割合が 71.1%、「理科」の割合が 40.6%となっています。



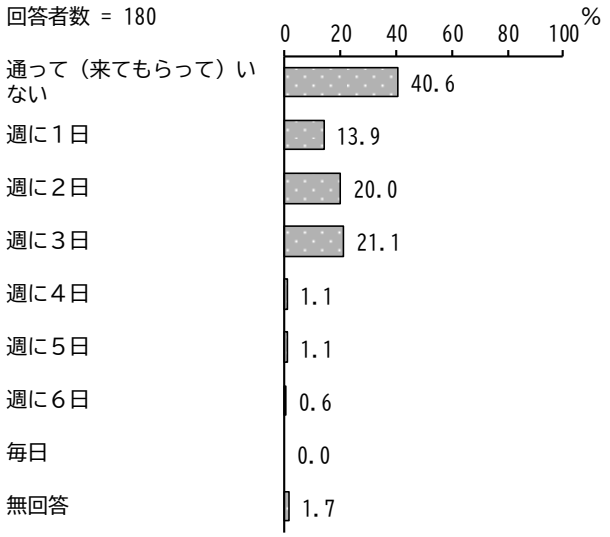
問 22　あなたは、ふだん（月～金曜日）学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。１日あたりの勉強時間を教えてください。（○は１つ）
※塾や宿題をやる時間もふくみます。

「１時間以上、２時間より少ない」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「30 分以上、１時間より少ない」の割合が 22.2%、「２時間以上、３時間より少ない」の割合が 19.4%となっています。



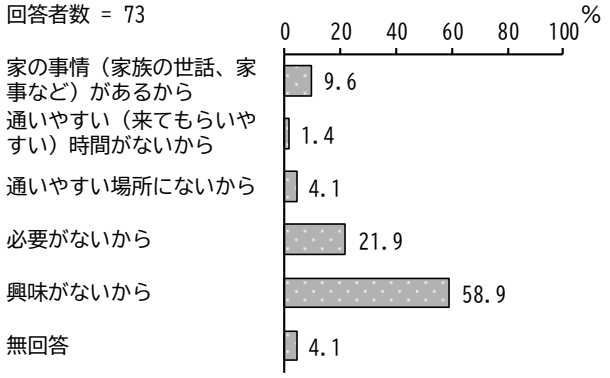
問 23　あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか（オンライン授業も含みます)。通っている（来てもらっている）場合、１週間に何日通って（来てもらって）いますか。両方やっている方は、合計した日数に○をつけてください（○は１つ）

「通って（来てもらって）いない」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「週に３日」の割合が 21.1%、「週に２日」の割合が 20.0%となっています。



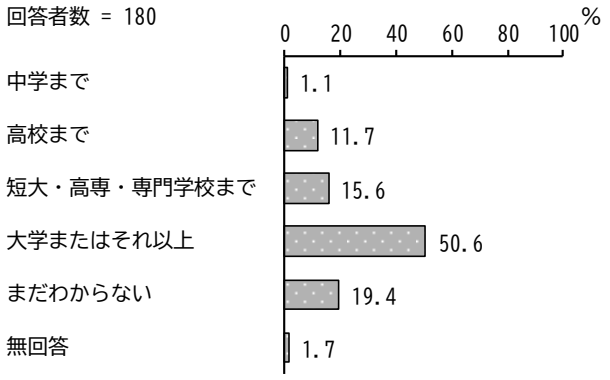
問 23－１　「１　通って（来てもらって）いない」と答えた人にお聞きします。通って（来てもらって）いない理由は何ですか。（○は１つ）

「興味がないから」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「必要がないから」の割合が 21.9%となっています。



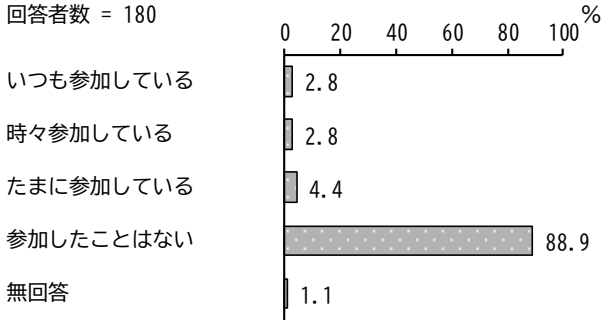
問 24　あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。現時点での希望に○をつけてください。（○は１つ）

「大学またはそれ以上」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 19.4%、「短大・高専・専門学校まで」の割合が 15.6%となっています。



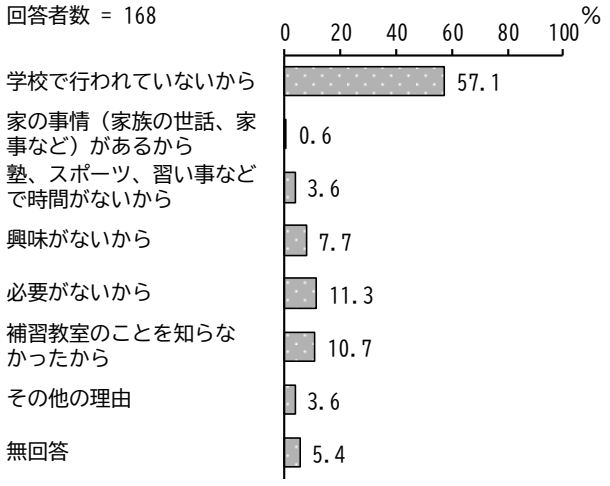
問 25　あなたは、学校での補習教室に参加していますか。もっとも近いものに○をつけてください。（○は１つ）

「参加したことはない」の割合が 88.9%と最も高くなっています。



問 25－１　学校での補習教室に「３　たまに参加している」または「４　参加したことはない」と答えた人におききします。あまり参加しない理由は何ですか。（○は１つ）

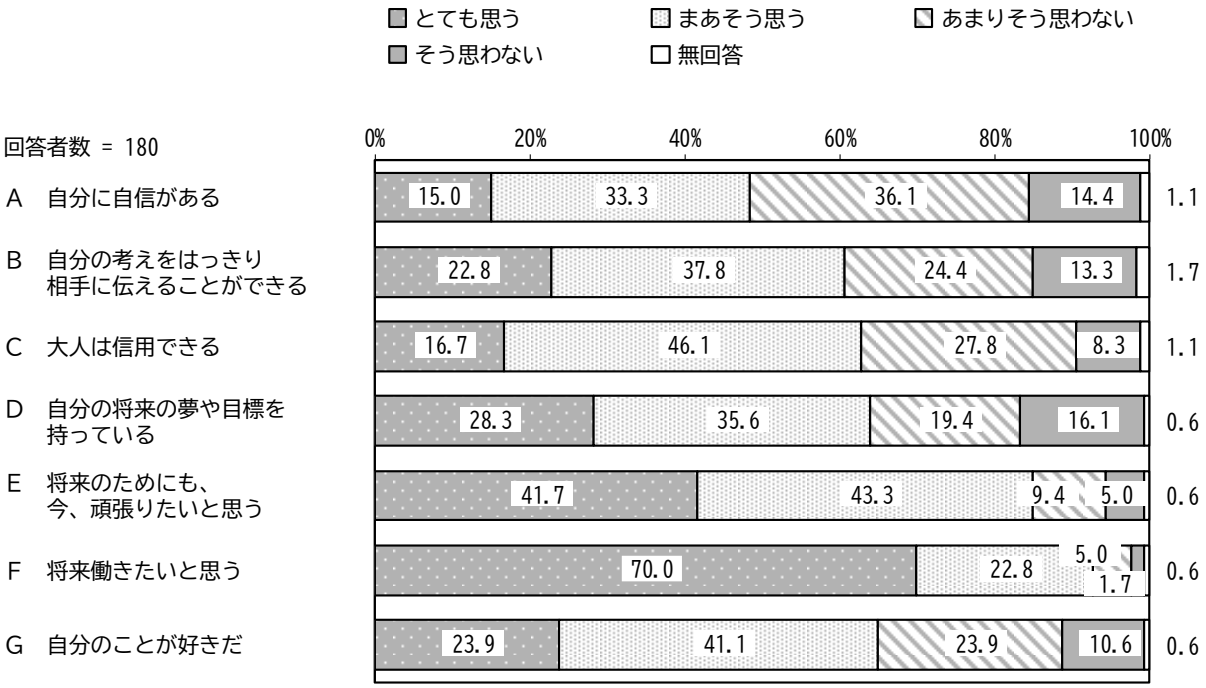
「学校で行われていないから」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「必要がないから」の割合が 11.3%、「補習教室のことを知らなかったから」の割合が 10.7%となっています。



（６）あなたが普段考えていることについて

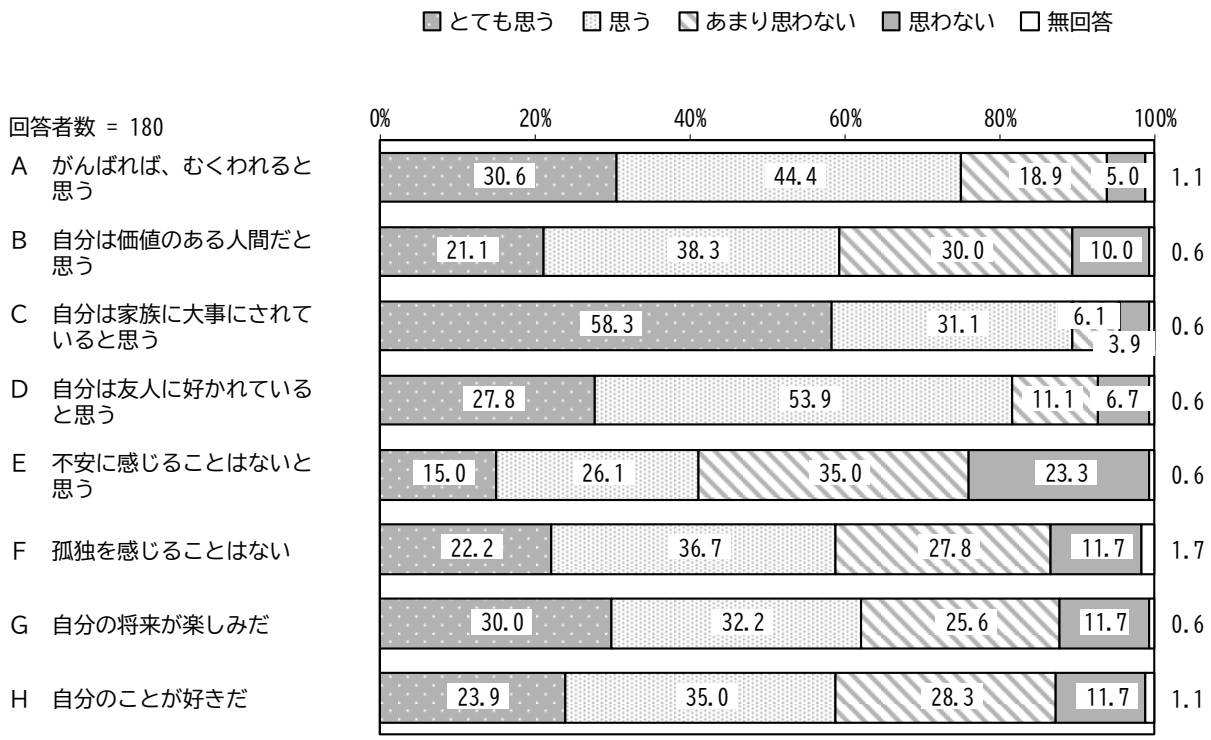
問 26　あなたが日常生活の中で感じていることについてお答えください。
（Ａ～Ｇそれぞれについて、あてはまるもの１つに○）

『Ａ　自分に自信がある』で「あまりそう思わない」の割合が高くなっています。一方、『Ｆ　将来働きたいと思う』で「とても思う」の割合が高くなっています。



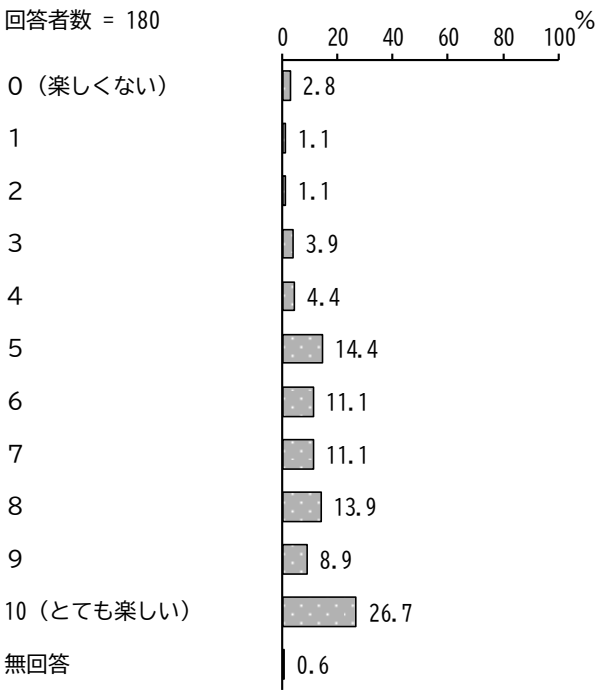
問 27　あなたの思いや気持ちについて、「１　とても思う」から「４　思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

『C　自分は家族に大事にされていると思う』で「とても思う」の割合が高くなっています。一方、『E　不安に感じることはないと思う』で「思わない」の割合が高くなっています。



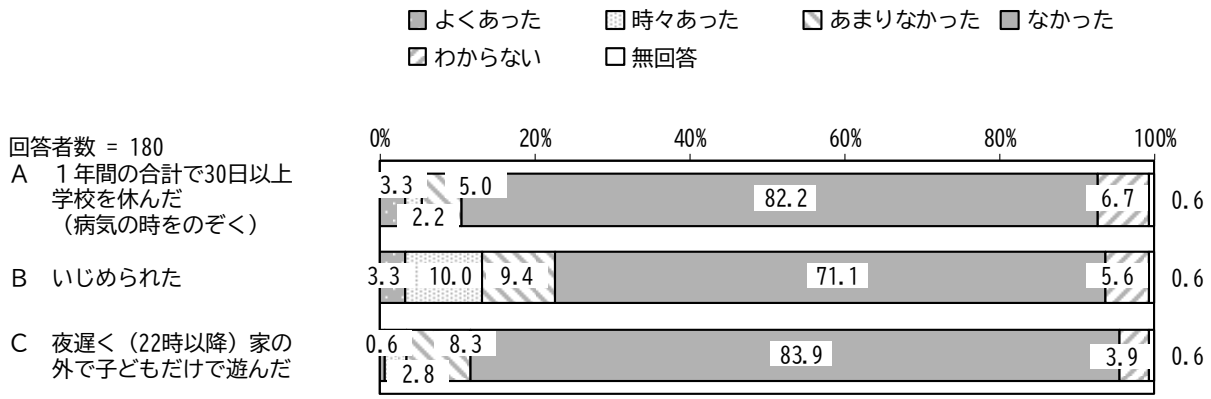
問 28　あなたは、毎日の生活が楽しいですか。（○は１つ）

「10（とても楽しい）」の割合が 26.7%と最も高く、次いで「５」の割合が 14.4%、「８」の割合が 13.9%となっています。



問 29　あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。（それぞれ、○は１つ）

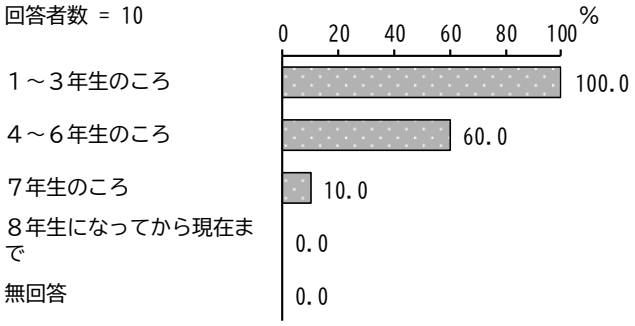
『Ａ　１年間の合計で 30 日以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）』、『Ｃ　夜遅く（22 時以降）家の外で子どもだけで遊んだ』で「なかった」の割合が高くなっています。一方、『Ｂ　いじめられた』で「時々あった」の割合が高くなっています。



問 29－１　「１　よくあった」または、「２　時々あった」と答えた人におききします。上のようなことがあった時期はいつですか。
（それぞれ、あてはまる番号すべてに○）

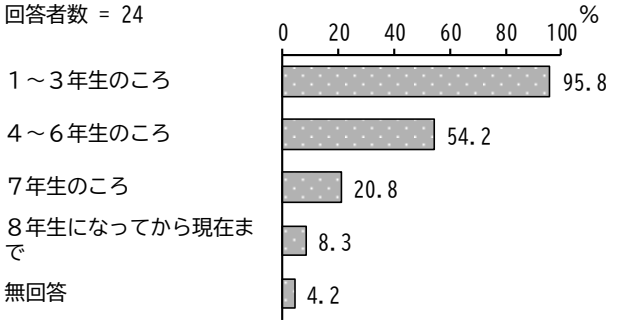
A　１年間の合計で 30 日以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）

「１～３年生のころ」の割合が 100.0%と最も高く、次いで「４～６年生のころ」の割合が 60.0%、「７年生のころ」の割合が 10.0%となっています。



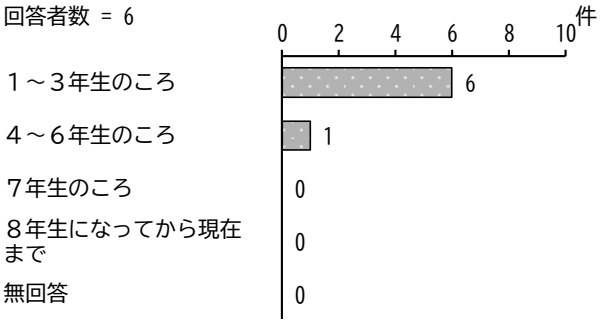
B　いじめられた

「１～３年生のころ」の割合が 95.8%と最も高く、次いで「４～６年生のころ」の割合が 54.2%、「７年生のころ」の割合が 20.8%となっています。



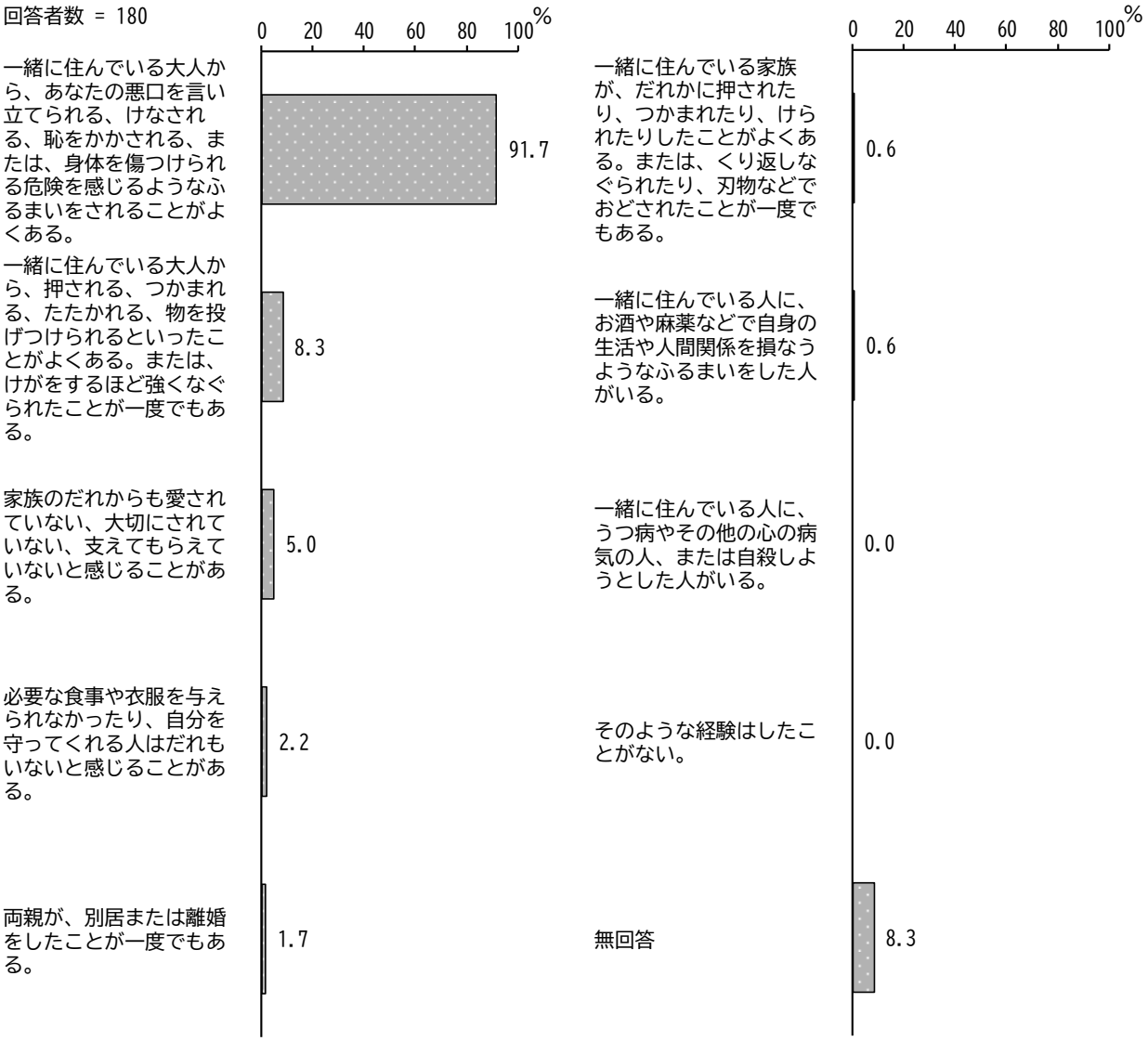
C　夜遅く（22 時以降）家の外で子どもだけで遊んだ

「１～３年生のころ」が６件となっています。「４～６年生のころ」が１件となっています。



問 30　あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。
（あてはまる番号すべてに○）

「一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある。」の割合が91.7%と最も高くなっています。

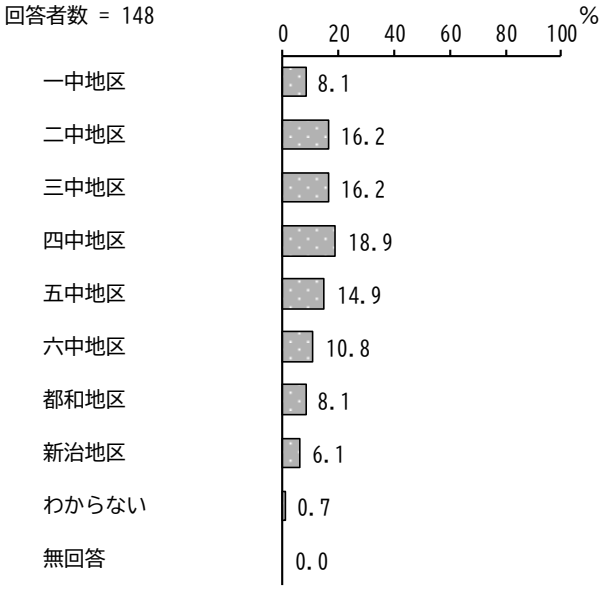


４　９年生保護者

（１）あなたのこと、あなたの世帯のことについて

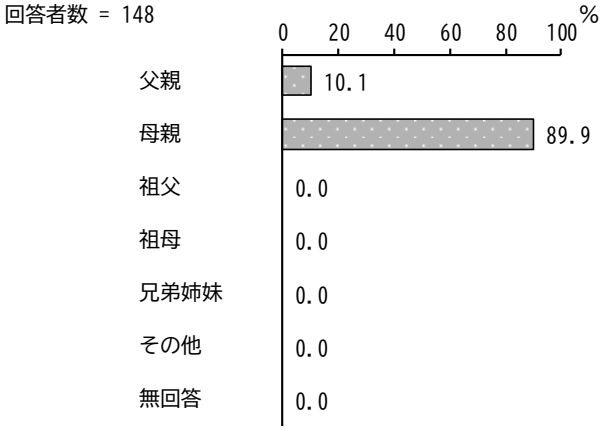
はじめに、お住まいの地区としてあてはまる番号１つを選択してください。

「四中地区」の割合が 18.9%と最も高く、次いで「二中地区」、「三中地区」の割合が 16.2%となっています。



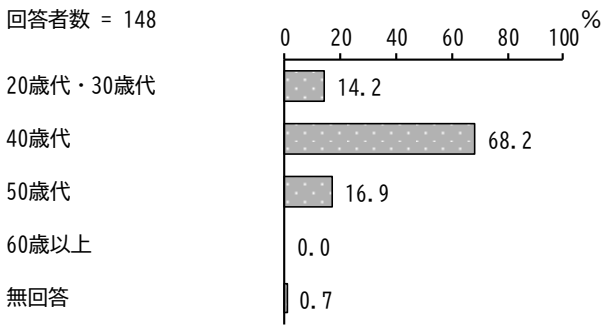
問１　お子さんとあなた（回答者）との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続き柄で、お答えください。（○は１つ）

「母親」の割合が 89.9%と最も高く、次いで「父親」の割合が 10.1%となっています。



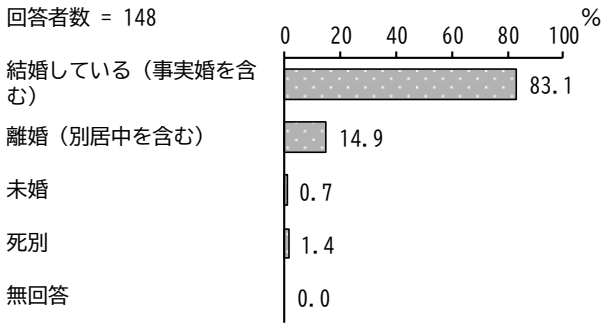
問２　あなたの年齢を教えてください。（枠内に数字で回答してください）

「40 歳代」の割合が 68.2%と最も高く、次いで「50 歳代」の割合が 16.9%、「20 歳代・30 歳代」の割合が 14.2%となっています。



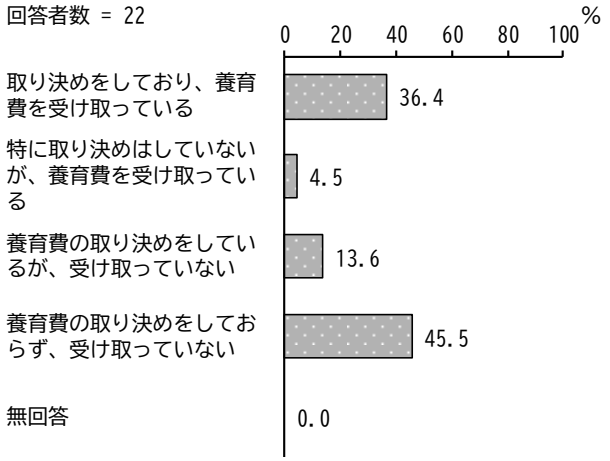
問３　現在のあなたの婚姻状況を教えてください。（○は１つ）

「結婚している（事実婚を含む）」の割合が 83.1%と最も高く、次いで「離婚（別居中を含む）」の割合が 14.9%となっています。



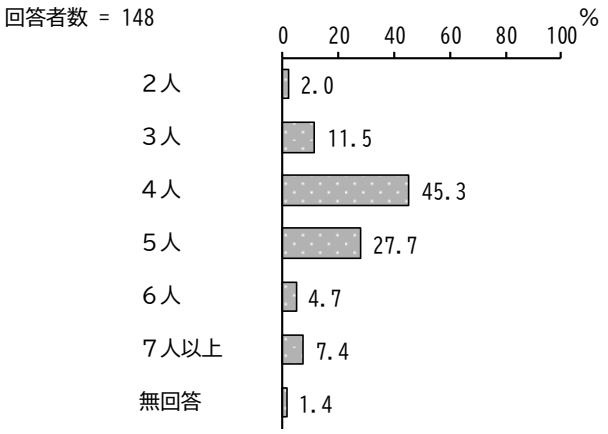
問３－１　問３で「２．離婚」を選んだ方にお伺いします。離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また、現在養育費を受け取っていますか。（○は１つ）

「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の割合が 36.4%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の割合が 13.6%となっています。



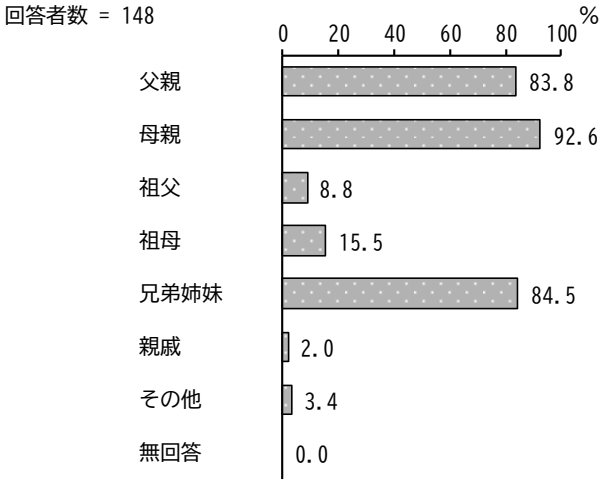
問４　お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください（あなたとお子さんも含む)。単身赴任などで別居しているご家族も含めてください。

「４人」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「５人」の割合が 27.7%、「３人」の割合が 11.5%となっています。



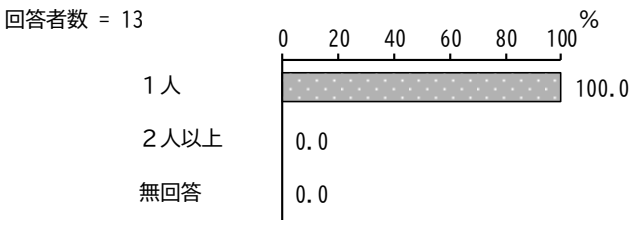
問５　お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。複数いる場合は、人数もお教えください。
（あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字で回答してください）

「母親」の割合が 92.6%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」の割合が 84.5%、「父親」の割合が 83.8%となっています。



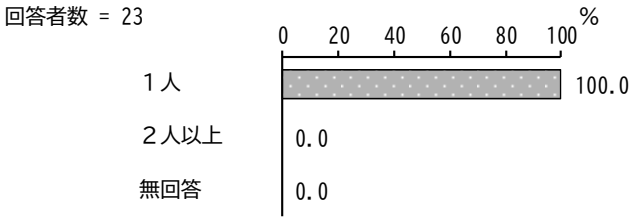
祖父の人数

「１人」の割合が 100.0%となっています。



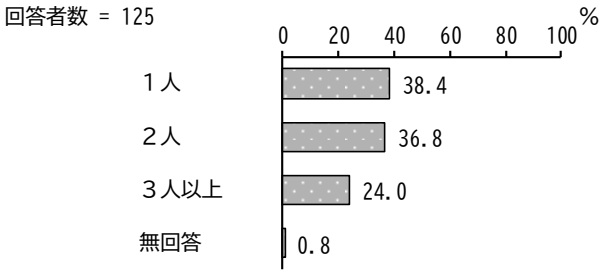
祖母の人数

「１人」の割合が 100.0%となっています。



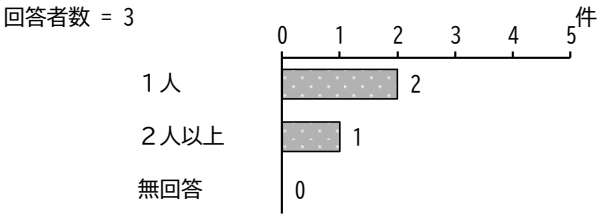
兄弟姉妹の人数

「１人」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「２人」の割合が 36.8%、「３人以上」の割合が 24.0%となっています。



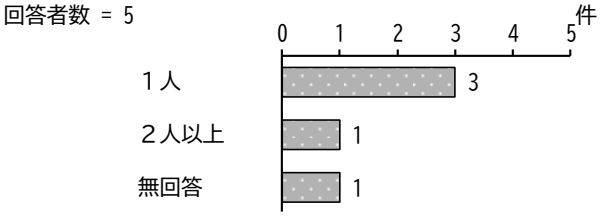
親戚の人数

「１人」が２件、「２人以上」が１件となっています。



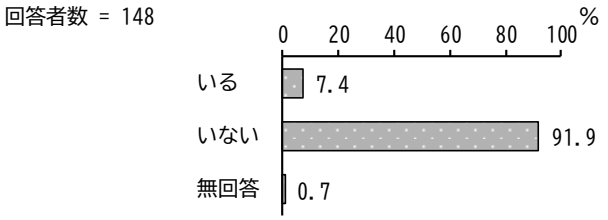
その他の人数

「１人」が３件、「２人以上」が１件となっています。



問６　お子さんと同居している大人の家族の中に、高齢・障がいまたは病気などによって、介護や看護が必要な方はいますか。（○は１つ）

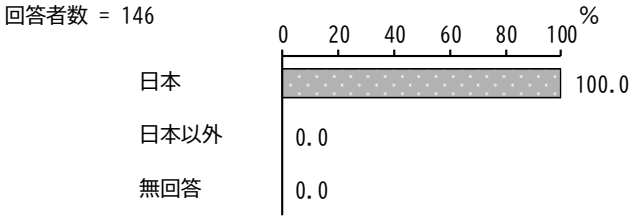
「いる」の割合が 7.4%、「いない」の割合が 91.9%となっています。



問７　お子さんのご両親の国籍にあてはまる番号を、それぞれ教えてください。（○は１つ）

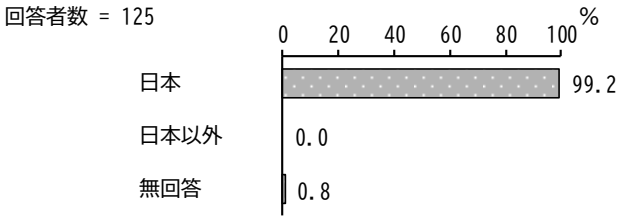
お母さん

「日本」の割合が 100.0%となっています。



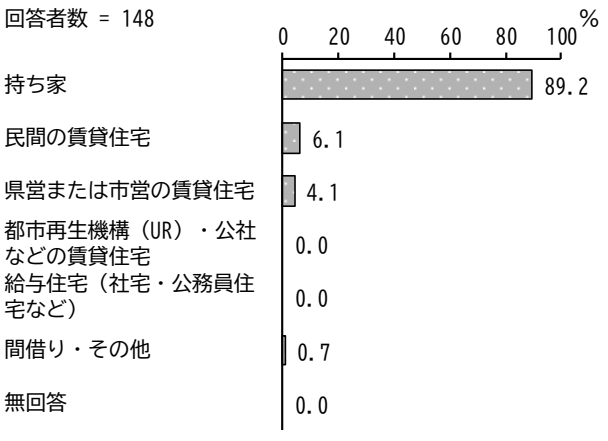
お父さん

「日本」の割合が 99.2%となっています。



問８　現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。（○は１つ）

「持ち家」の割合が 89.2%と最も高くなっています。



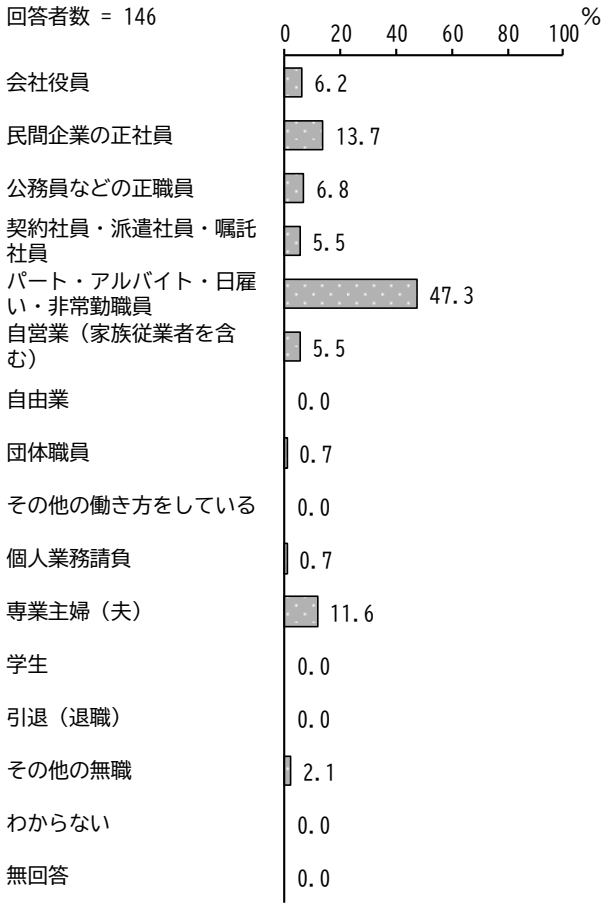
（２）お子さんのお母さんとお父さんの職業について

全員におうかがいします。

問９　お子さんのお母さんとお父さんの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。
お母さん、お父さんがいない場合は、空欄で結構です。
（それぞれ、あてはまる番号１つを□に書いてください）

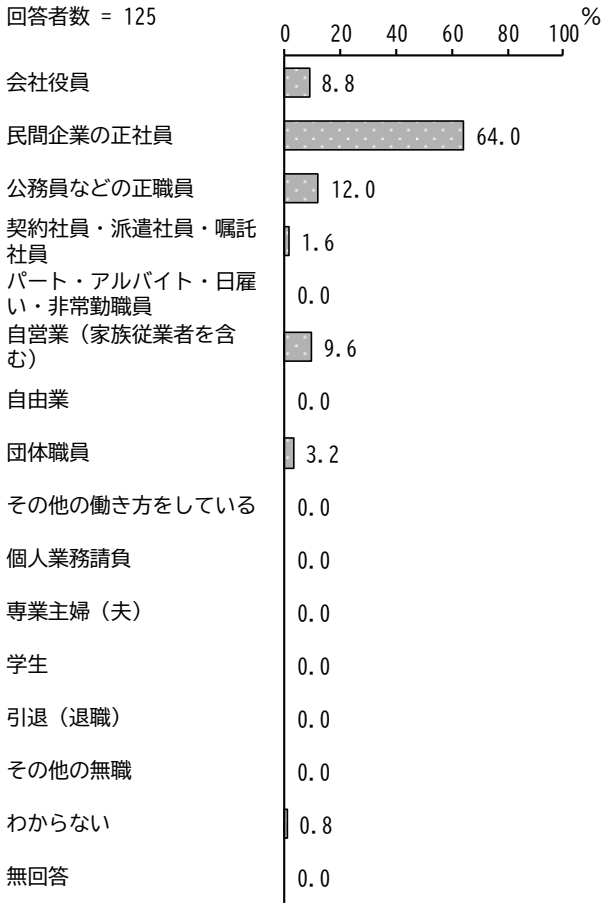
お母さん

「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「民間企業の正社員」の割合が 13.7%、「専業主婦（夫）」の割合が 11.6%となっています。



お父さん

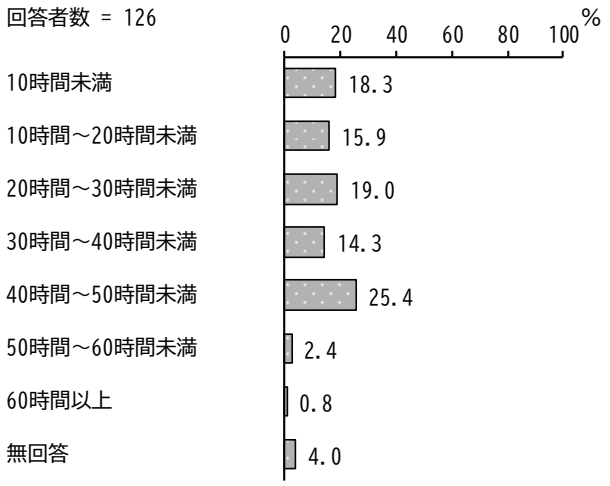
「民間企業の正社員」の割合が 64.0%と最も高く、次いで「公務員などの正職員」の割合が 12.0%となっています。



問９－１　問９で「１」～「10」を選んだ職業をおもちの方におうかがいします。１週間に平均何時間、お仕事をされていますか。（枠内に数字で回答してください）

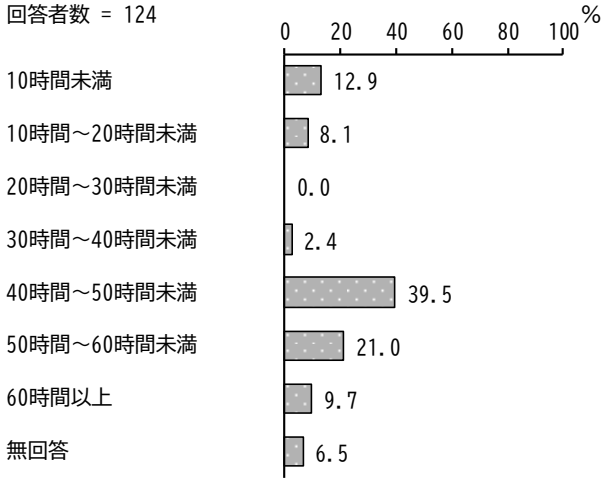
お母さん

「40 時間～50 時間未満」の割合が 25.4%と最も高く、次いで「20 時間～30 時間未満」の割合が 19.0%、「10 時間未満」の割合が 18.3%となっています。



お父さん

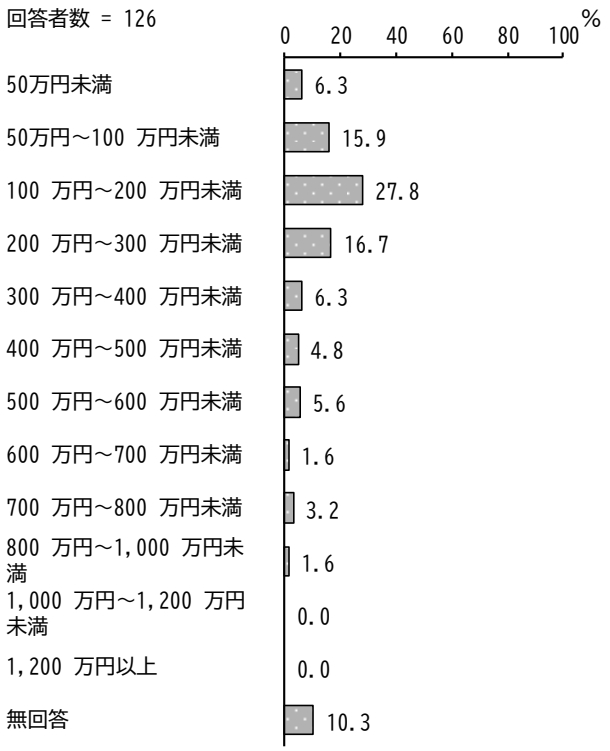
「40 時間～50 時間未満」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「50 時間～60 時間未満」の割合が 21.0%、「10 時間未満」の割合が 12.9%となっています。



問９－２　問９で「１」～「10」を選んだ方におうかがいします。昨年１年間（令和５年１月～12 月）を合計したお仕事からの収入（税込）は、およそいくらですか。（枠内に数字で回答してください）

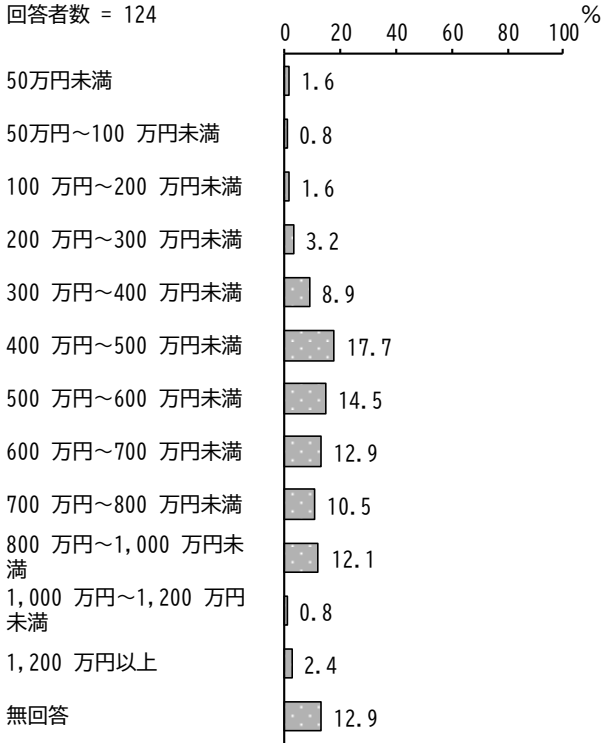
お母さん

「100 万円～200 万円未満」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「200 万円～300 万円未満」の割合が 16.7%、「50 万円～100 万円未満」の割合が 15.9%となっています。



お父さん

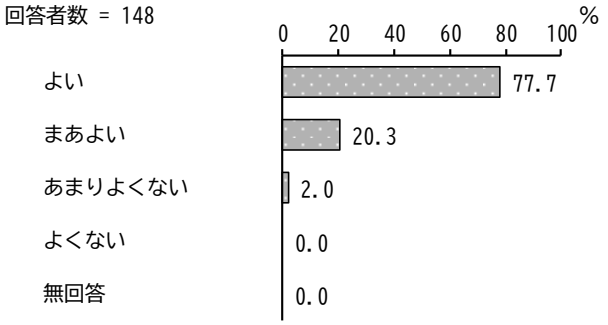
「400 万円～500 万円未満」の割合が 17.7%と最も高く、次いで「500 万円～600 万円未満」の割合が 14.5%、「600 万円～700 万円未満」の割合が 12.9%となっています。



（３）お子さんの健康状態について

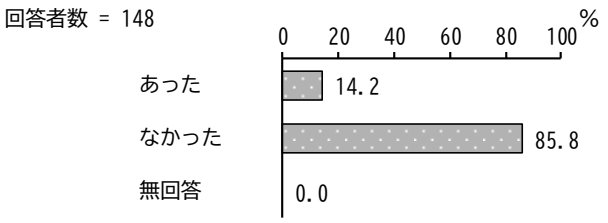
問 10　お子さんの健康状態について最も近いものに○をつけてください。（○は１つ）

「よい」の割合が 77.7%と最も高く、次いで「まあよい」の割合が 20.3%となっています。



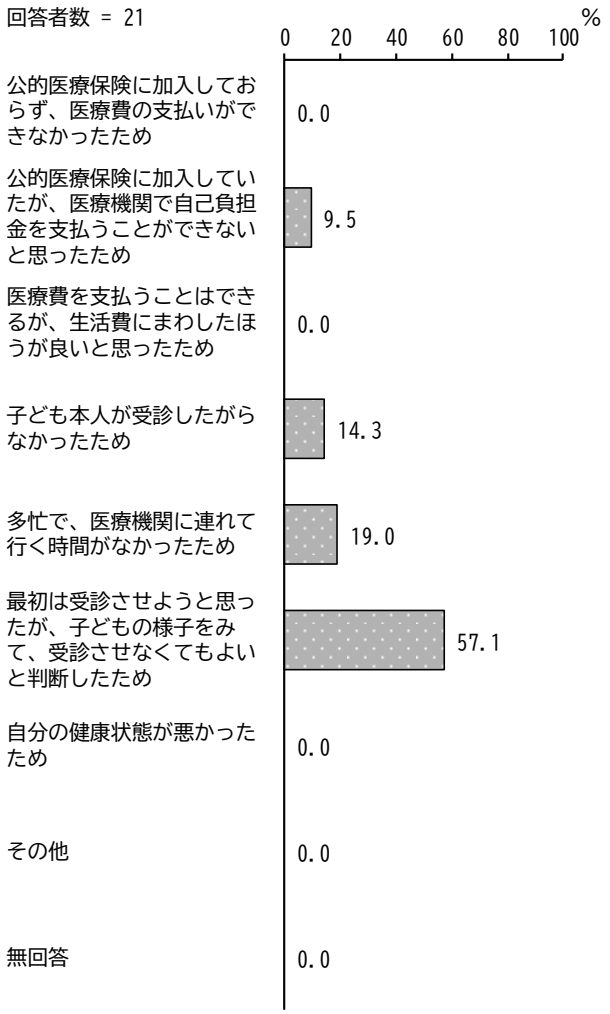
問 11　過去１年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。（○は１つ）

「あった」の割合が 14.2%、「なかった」の割合が 85.8%となっています。



問11－1　問11で「1　あった」を選んだ方におうかがいします。その理由は、何ですか。以下の中から、最も近いものに○をつけてください。（○は1つ）

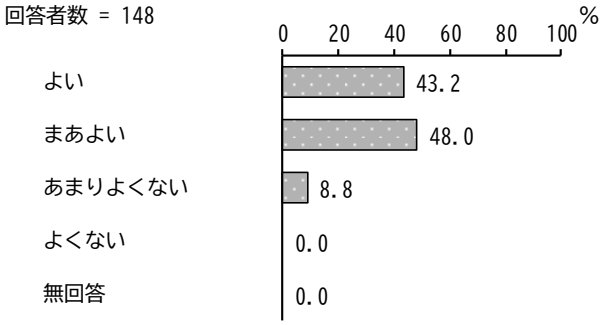
「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため」の割合が57.1%と最も高く、次いで「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の割合が19.0%、「子ども本人が受診したがらなかったため」の割合が14.3%となっています。



（４）あなた（回答者）について

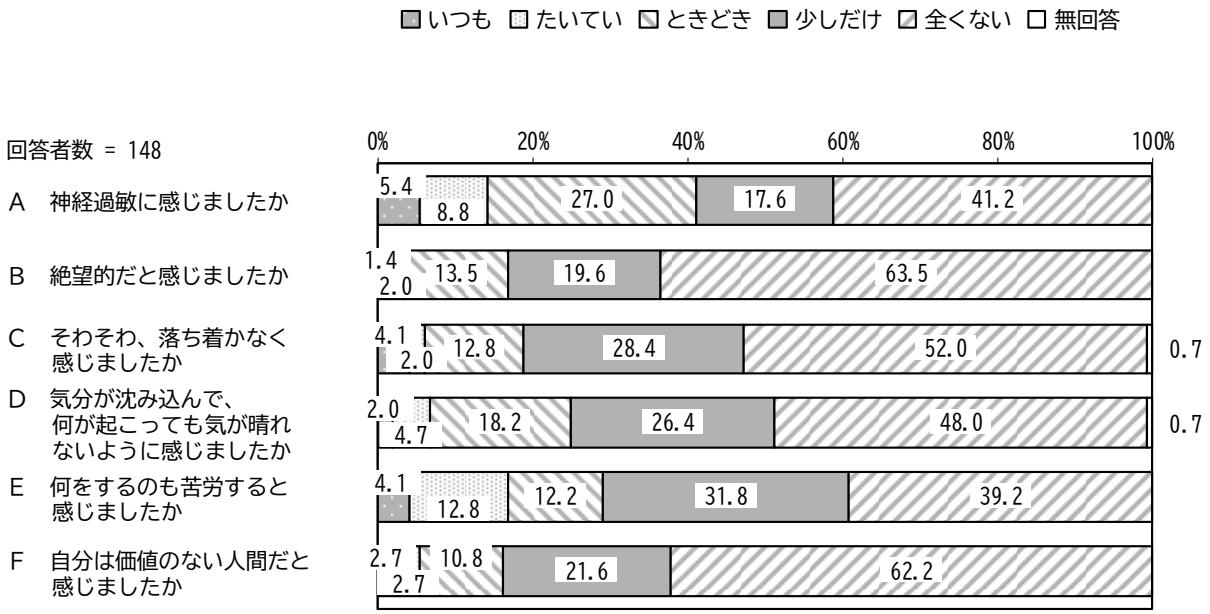
問 12　あなたの健康状態について最も近いものに○をつけてください。（○は１つ）

「まあよい」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「よい」の割合が 43.2%となっています。



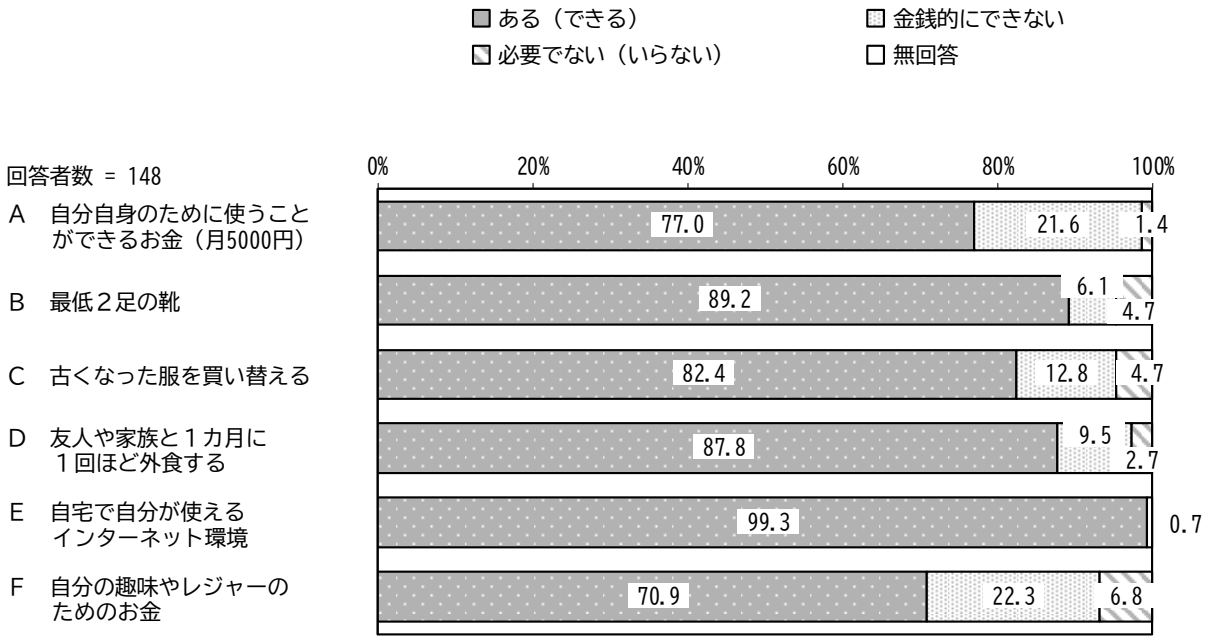
問 13　次のＡからＦの質問について、あなたは、ここ１か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

『Ｅ　何をするのも苦労すると感じましたか』で「たいてい」の割合が、『Ａ　神経過敏に感じましたか』で「ときどき」の割合が高くなっています。また、『Ｂ　絶望的だと感じましたか』『Ｆ自分は価値のない人間だと感じましたか』で「全くない」の割合が高くなっています。



問 14　あなた自身には、自分が持っている（できる）以下のものがありますか。「ある（できる）」、「金銭的にできない」「必要でない（いらない）」のうち最もあてはまるものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

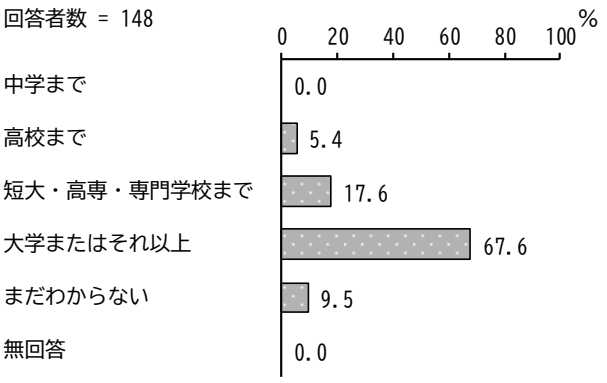
『Ｅ　自宅で自分が使えるインターネット環境』で「ある（できる）」の割合が高くなっています。一方、『Ａ　自分自身のために使うことができるお金（月 5000 円）』『Ｆ　自分の趣味やレジャーのためのお金』で「金銭的にできない」の割合が高くなっています。



（５）お子さんにしていることについて

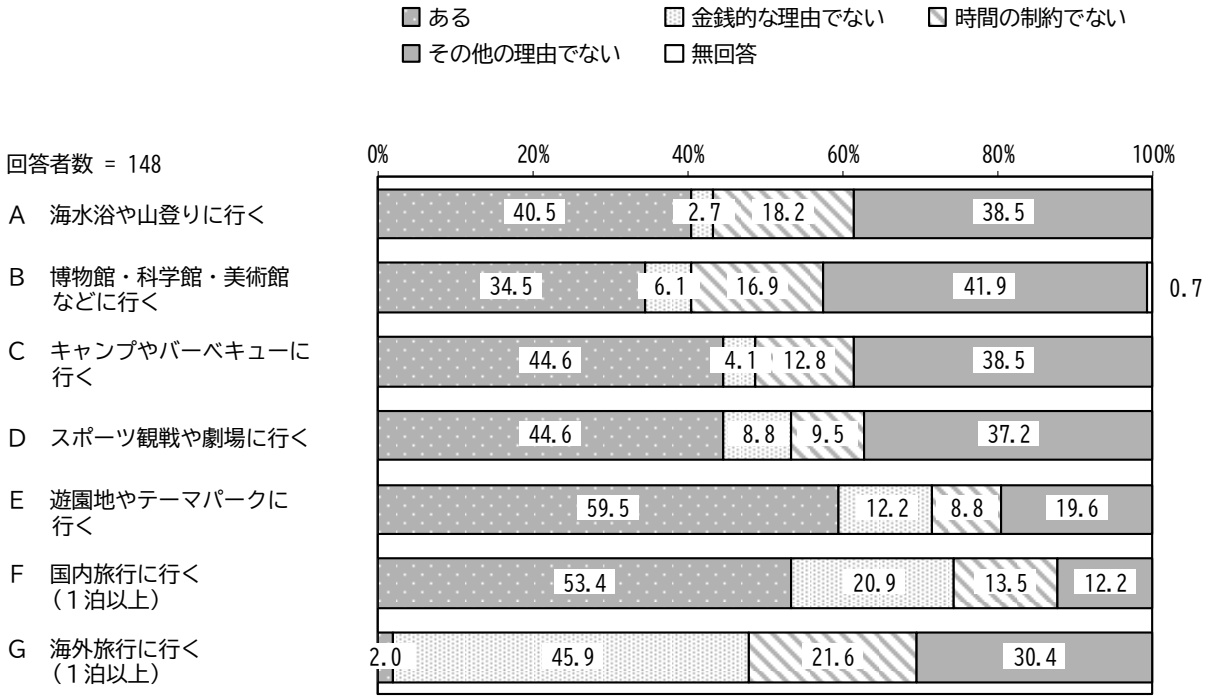
問 15　お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。（○は１つ）

「大学またはそれ以上」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」の割合が 17.6%となっています。



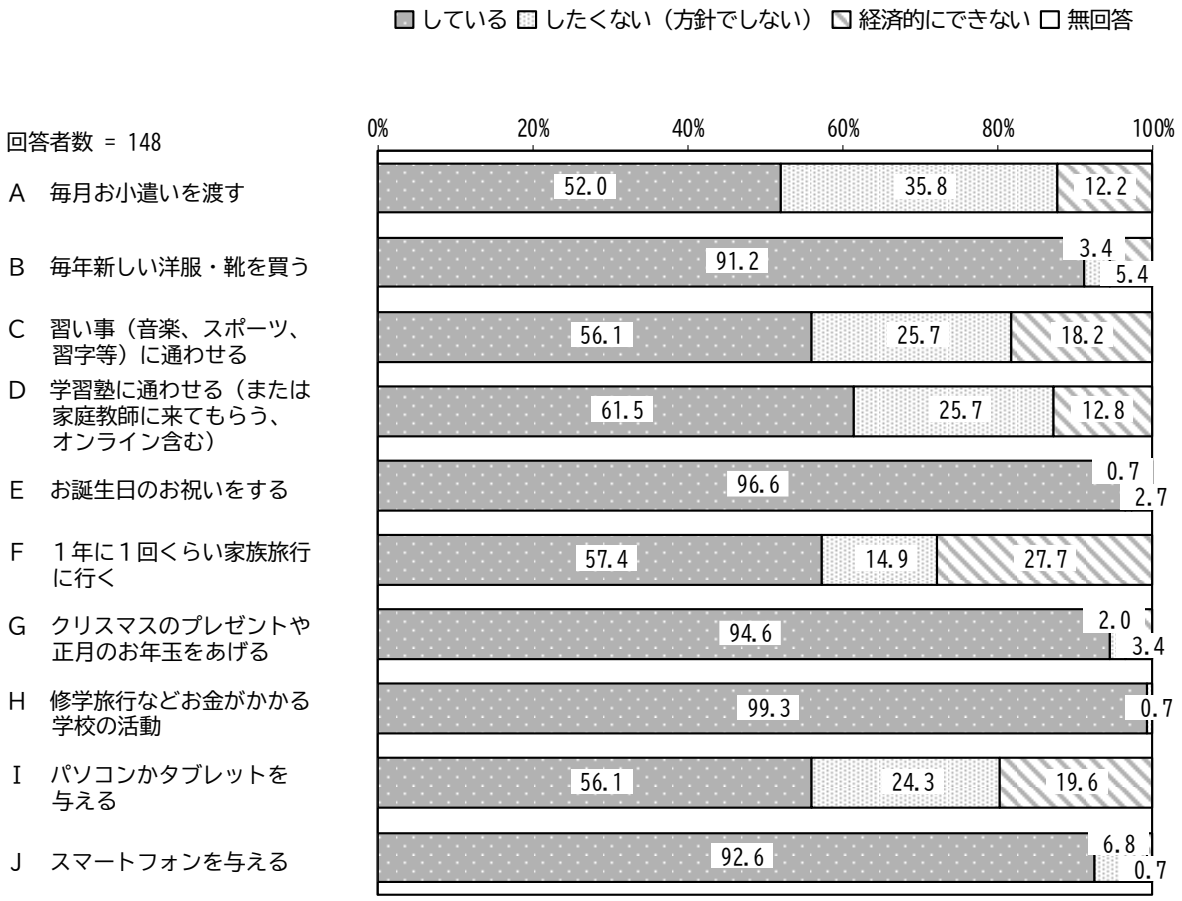
問 16　過去１年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

『Ｅ　遊園地やテーマパークに行く』で「ある」の割合が高くなっています。一方、『Ｇ　海外旅行に行く（１泊以上)』で「金銭的な理由でない」の割合が高くなっています。



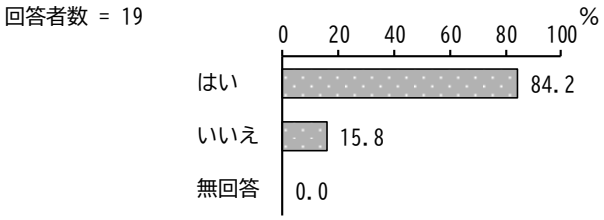
問17　あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Jについて、「1している」「2していない、したくない（方針でしない）」「3していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ、○は1つ）

『H　修学旅行などお金がかかる学校の活動』で「している」の割合が高くなっています。一方、『A　毎月お小遣いを渡す』で「したくない（方針でしない）」の割合が、『F　1年に1回くらい家族旅行に行く』で「経済的にできない」の割合が高くなっています。



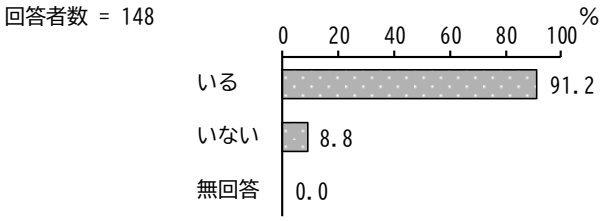
問17－１　問17のＤで「３」と答えた人にお聞きします。無料の学習塾があったらお子さんを通わせたいですか。（○は１つ）

「はい」の割合が84.2%、「いいえ」の割合が15.8%となっています。



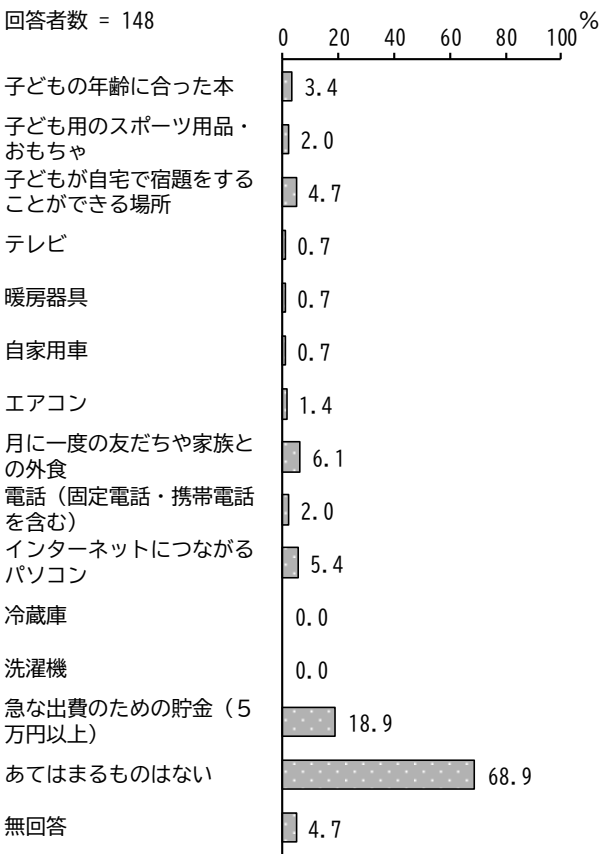
問18　あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。（○は１つ）

「いる」の割合が91.2%、「いない」の割合が8.8%となっています。



問19　次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「あてはまるものはない」の割合が68.9%と最も高く、次いで「急な出費のための貯金（５万円以上）」の割合が18.9%となっています。

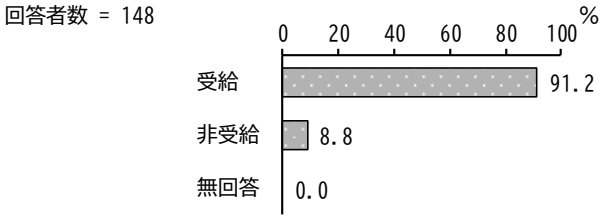


（６）家計の状況について

問 20　あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金を受給していますか。
（受給か非受給に○）

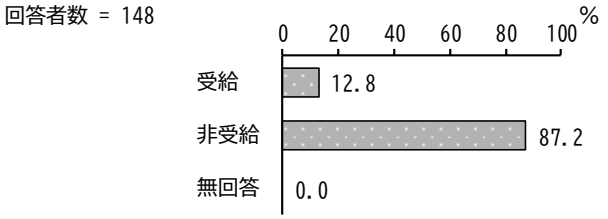
A　児童手当

「受給」の割合が 91.2%、「非受給」の割合が 8.8%となっています。



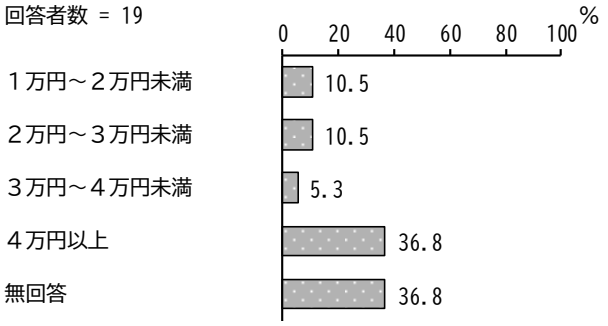
B　児童扶養手当

「受給」の割合が 12.8%、「非受給」の割合が 87.2%となっています。



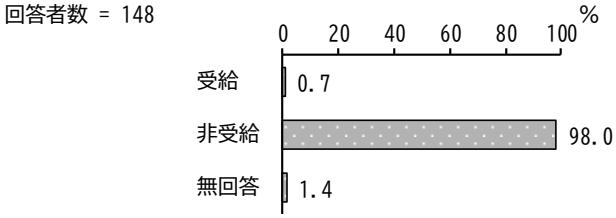
B　金額（１ヵ月あたり）

「４万円以上」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「１万円～２万円未満」、「２万円～３万円未満」の割合が 10.5%となっています。



C　特別児童扶養手当

「受給」の割合が 0.7%、「非受給」の割合が 98.0%となっています。



C　1級　金額（1ヵ月あたり）

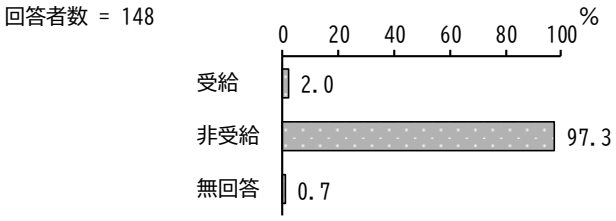
有効な回答がありませんでした。

C　2級　金額（1ヵ月あたり）

有効な回答がありませんでした。

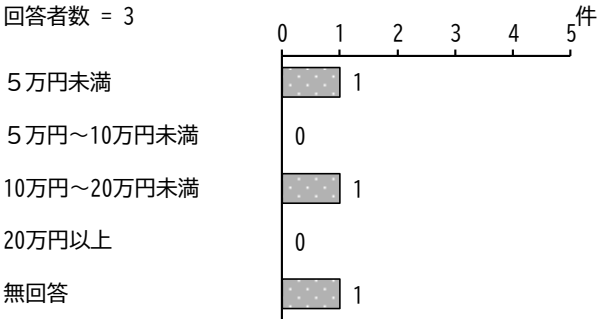
D　年金（遺族年金、老齢年金など）

「受給」の割合が 2.0%、「非受給」の割合が 97.3%となっています。



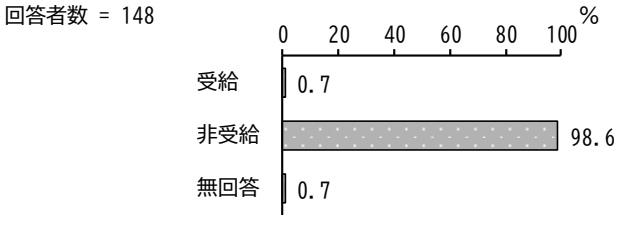
D　年金　金額（1ヵ月あたり）

「5万円未満」、「10 万円～20 万円未満」が1件となっています。



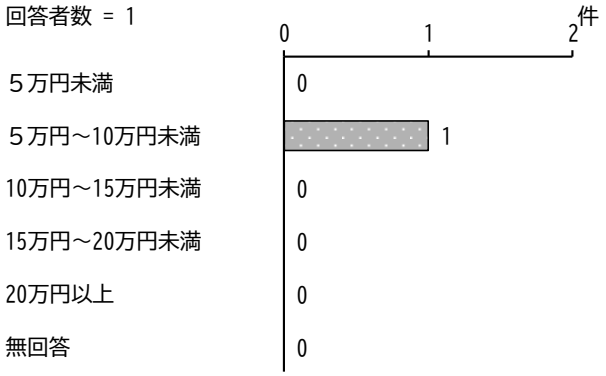
E　生活保護

「受給」の割合が 0.7%、「非受給」の割合が 98.6%となっています。



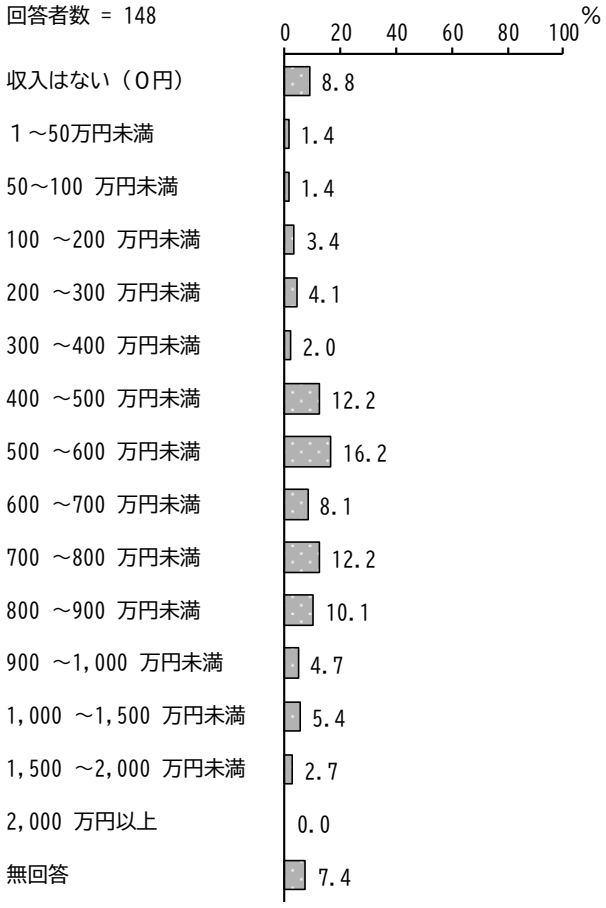
E　生活保護　金額（１ヵ月あたり）

「５万円～10 万円未満」が１件となっています。



問 21　上記問 20 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入はいくらですか。（○は１つ）
※収入には、勤労収入（パート、アルバイトを含む）、事業収入（自営業等）、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金を含みますが、上記問 20 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金は除いてお考えください。
※複数の収入源がある場合（お父さんが勤労収入、お母さんに事業収入など）は、おおよその合算値(合計額)を教えてください。

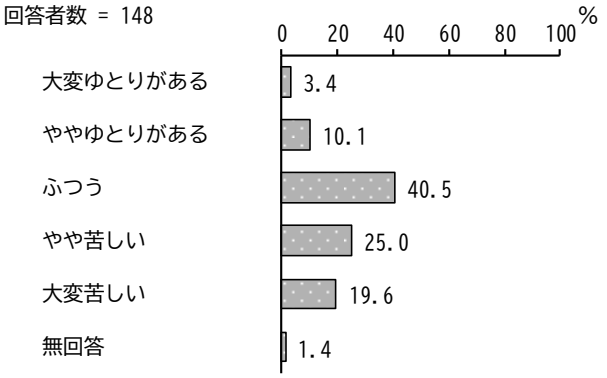
「500～600 万円未満」の割合が 16.2%と最も高く、次いで「400～500 万円未満」、「700～800 万円未満」の割合が 12.2%となっています。



（７）あなたのご家庭での生活について

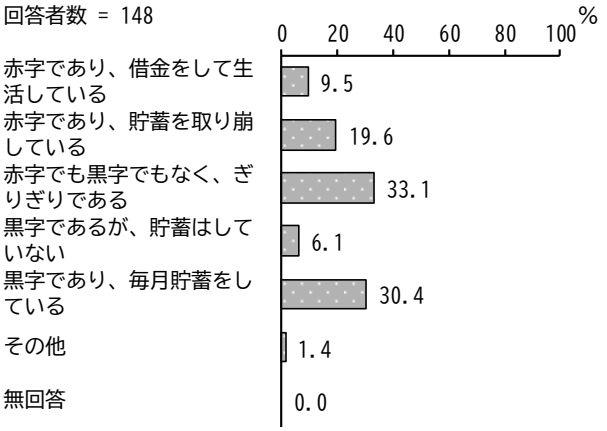
問 22　現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（○は１つ）

「ふつう」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 25.0%、「大変苦しい」の割合が 19.6%となっています。



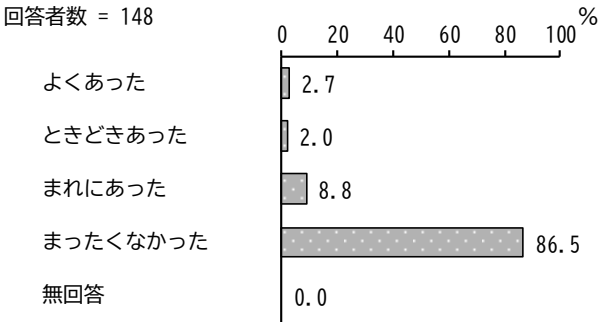
問 23　ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。（○は１つ）

「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「黒字であり、毎月貯蓄をしている」の割合が 30.4%、「赤字であり、貯蓄を取り崩している」の割合が 19.6%となっています。



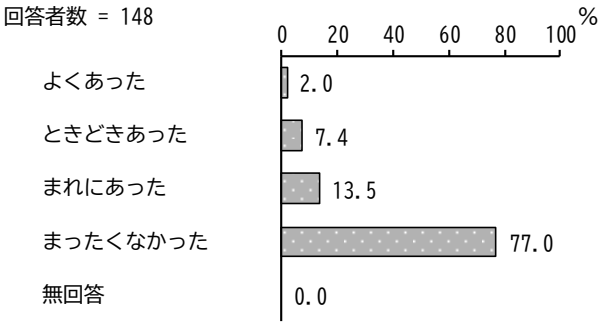
問 24　あなたのご家庭では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。（○は１つ）

「まったくなかった」の割合が 86.5%と最も高くなっています。



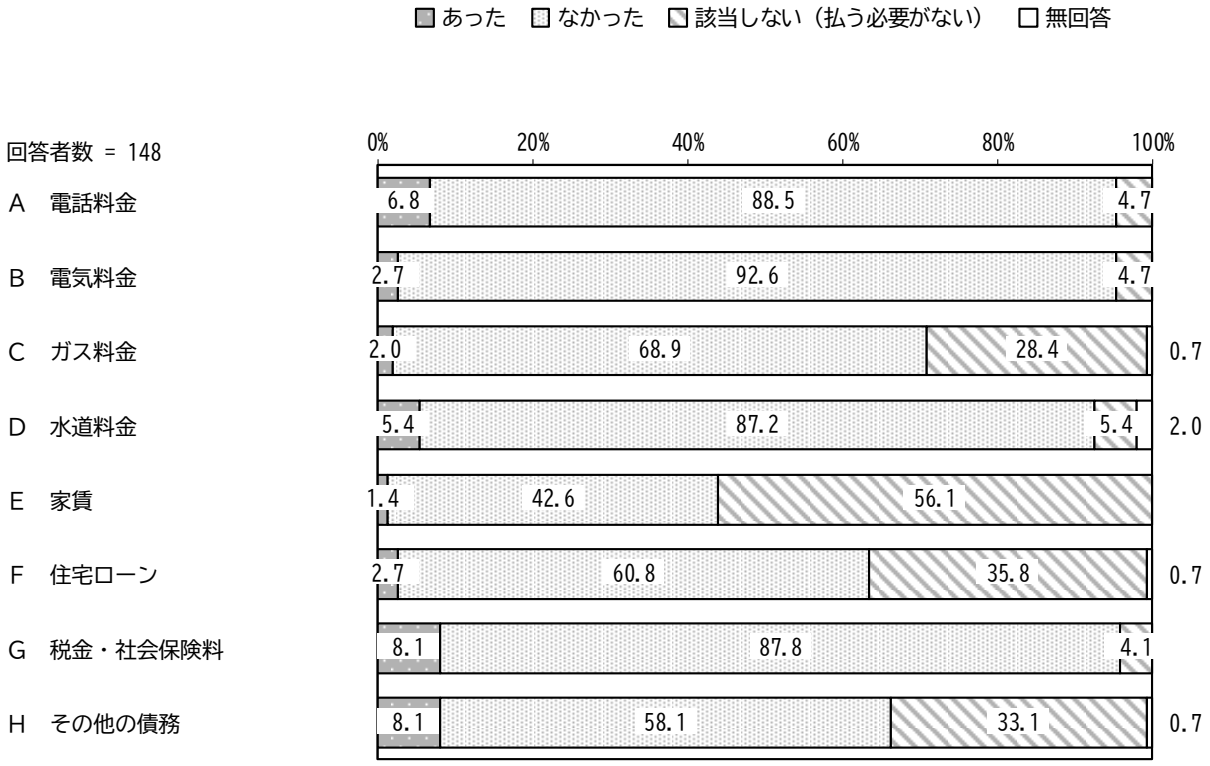
問 25　あなたのご家庭では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。（○は１つ）

「まったくなかった」の割合が 77.0%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が 13.5%となっています。



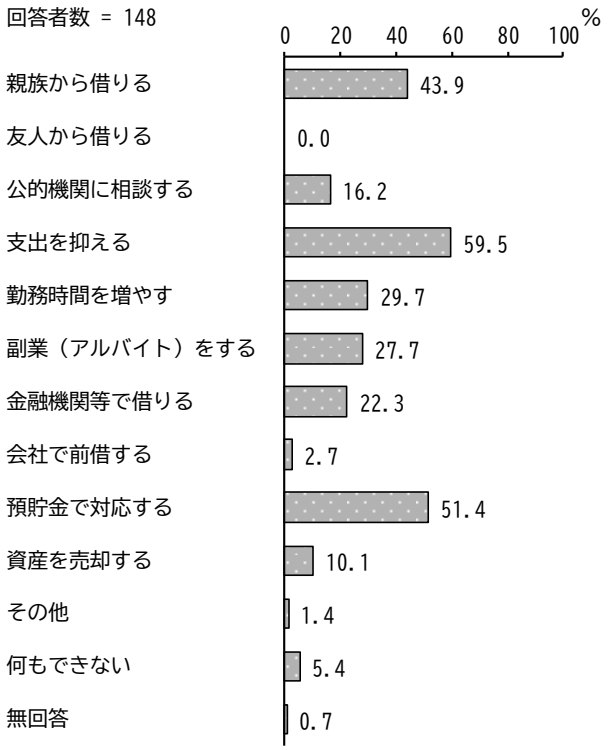
問 26　過去１年の間に、経済的な理由で、以下のＡ～Ｈのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。（それぞれ、○は１つ）

『Ｂ　電気料金』で「なかった」の割合が、『Ｅ　家賃』で「該当しない（払う必要がない）」の割合が高くなっています。



問 27　あなたのご家庭が、金銭的に困った状況に置かれたときに、どのような対応が可能ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「支出を抑える」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「預貯金で対応する」の割合が 51.4%、「親族から借りる」の割合が 43.9%となっています。

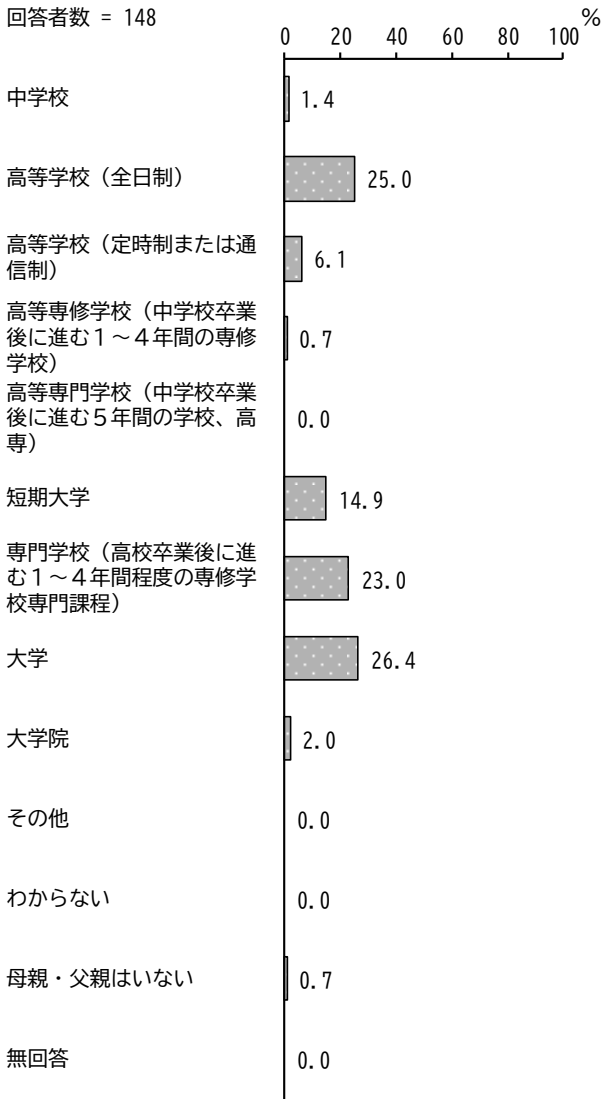


（８）お子さんのお母さんとお父さんのこれまでのご経験について

問 28　お子さんのお母さん・お父さんが、最後に卒業した学校は次のどれですか。
（それぞれ、あてはまる番号１つを□に書いてください）

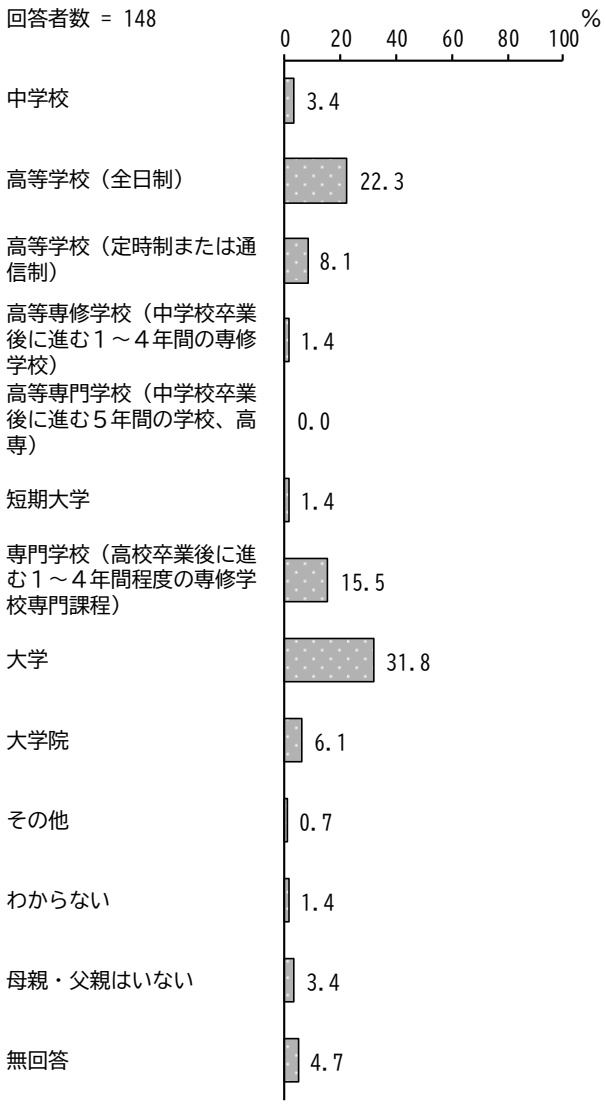
お母さん

「大学」の割合が 26.4%と最も高く、次いで「高等学校（全日制）」の割合が 25.0%、「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」の割合が 23.0%となっています。



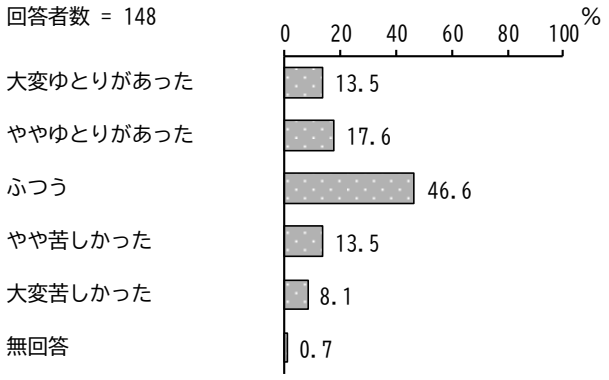
お父さん

「大学」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「高等学校（全日制）」の割合が 22.3%、「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」の割合が 15.5%となっています。



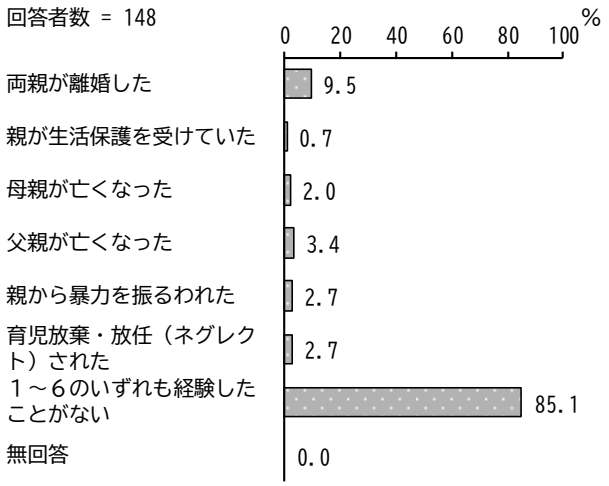
問 29　あなたが 15 歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。（○は１つ）

「ふつう」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「ややゆとりがあった」の割合が 17.6%、「大変ゆとりがあった」、「やや苦しかった」の割合が 13.5%となっています。



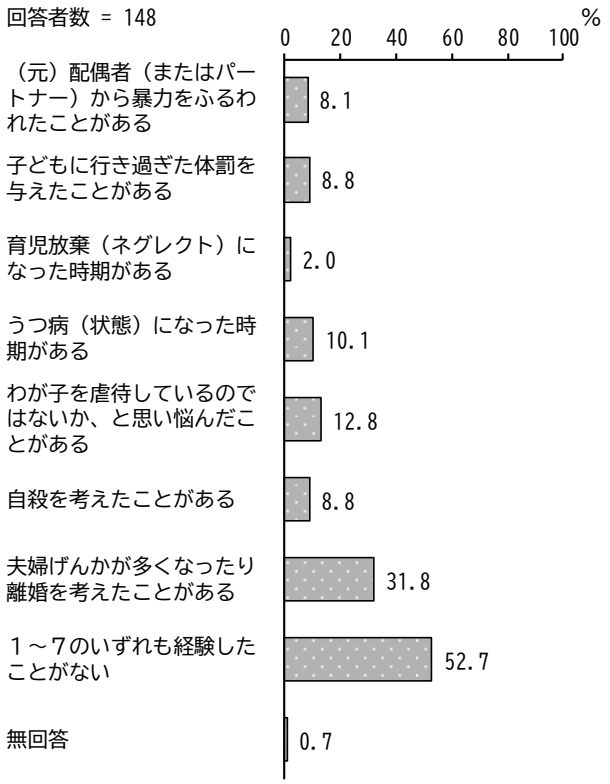
問 30　あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「１～６のいずれも経験したことがない」の割合が 85.1%と最も高くなっています。



問 31　あなたはお子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

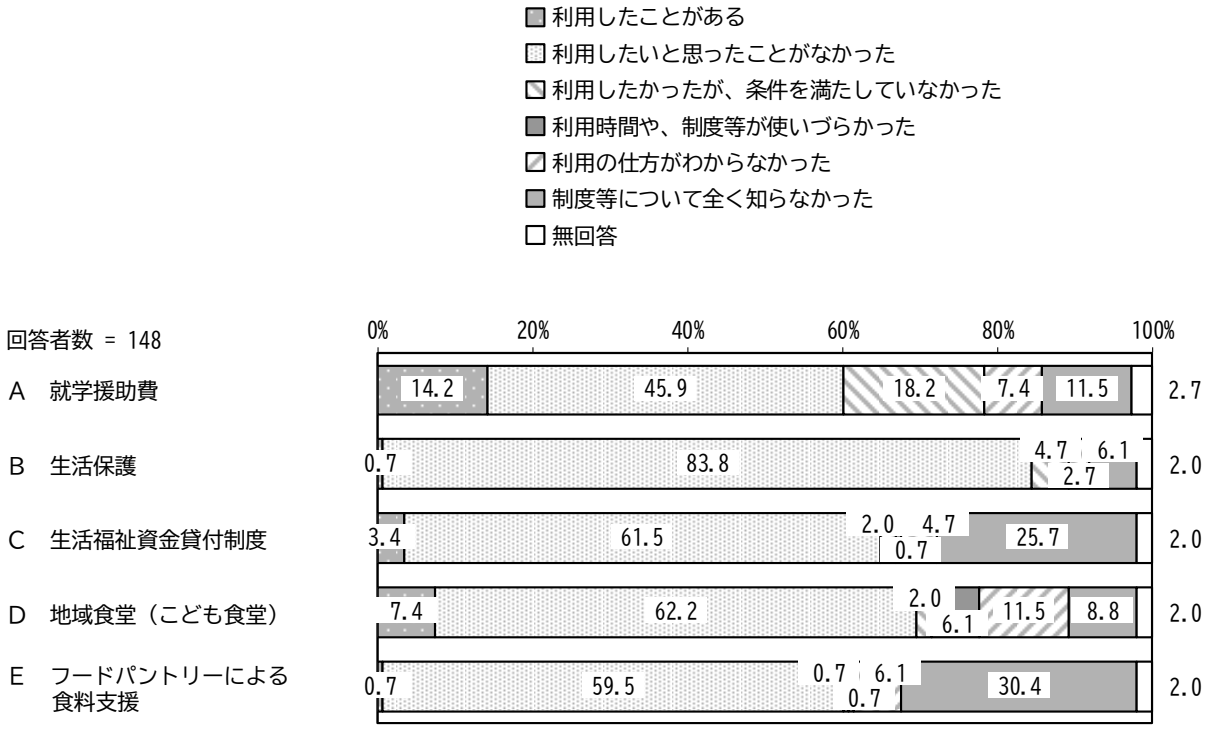
「１～７のいずれも経験したことがない」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「夫婦げんかが多くなったり離婚を考えたことがある」の割合が 31.8%、「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」の割合が 12.8%となっています。



（９）公的支援の利用状況について

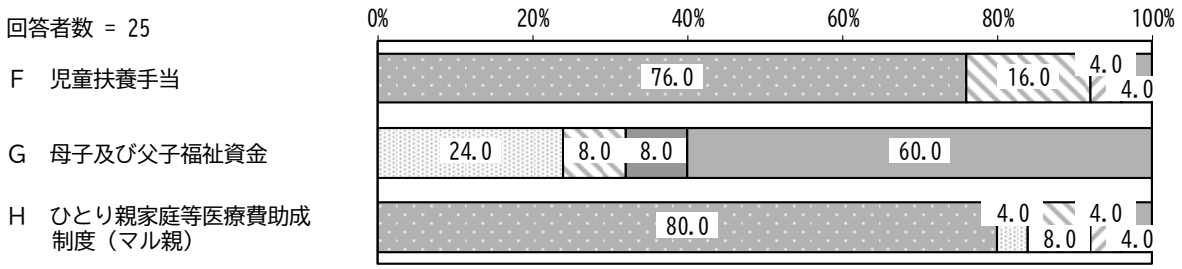
問 32　あなたのご家庭では、（１）以下のＡ～Ｈの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。

『Ａ　就学援助費』で「利用したことがある」「利用したかったが、条件を満たしていなかった」の割合が高くなっています。また、『Ｃ　生活福祉資金貸付制度』『Ｅ　フードパントリーによる食料支援』で「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



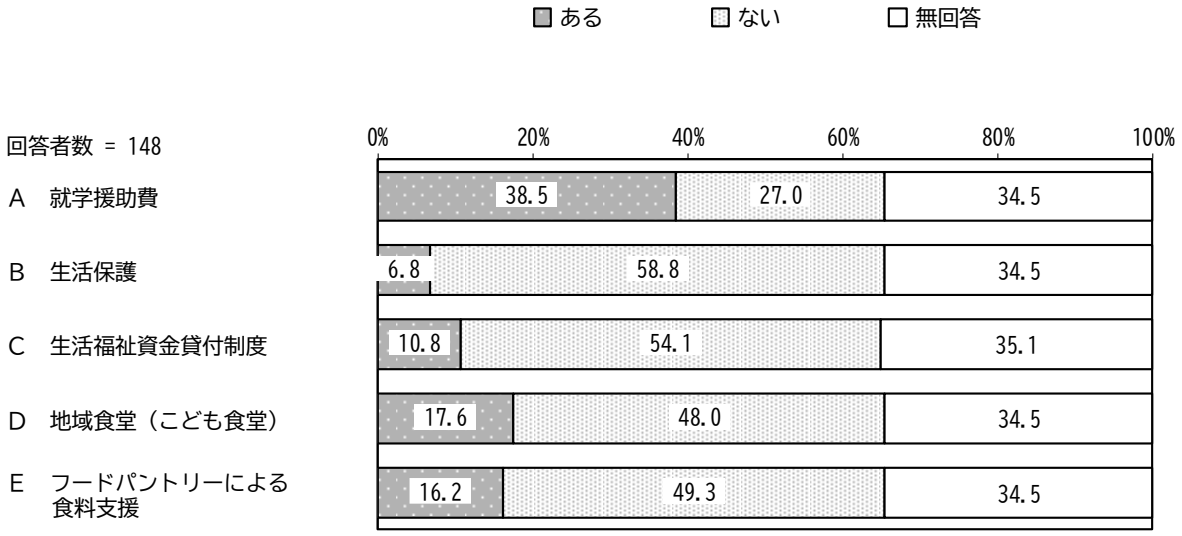
以下は、ひとり親世帯向けの制度です。ひとり親世帯の方のみお答えください。

『Ｆ　児童扶養手当』『Ｈ　ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親）』で「利用したことがある」の割合が高くなっています。一方、『Ｇ　母子及び父子福祉資金』で「利用したいと思ったことがなかった」「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



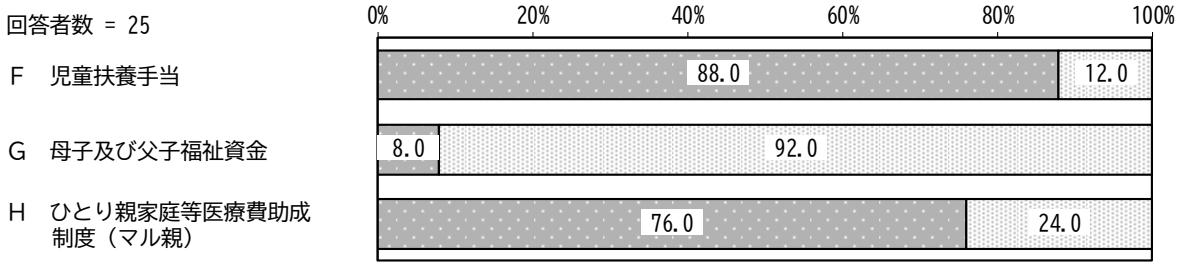
あなたのご家庭では、（２）（利用したことがある人にも、ない人にもお聞きします）
今後、利用することに興味がありますか。

『Ａ　就学援助費』で「ある」の割合が高くなっています。一方、『Ｂ　生活保護』『Ｃ　生活福祉資金貸付制度』で「ない」の割合が高くなっています。



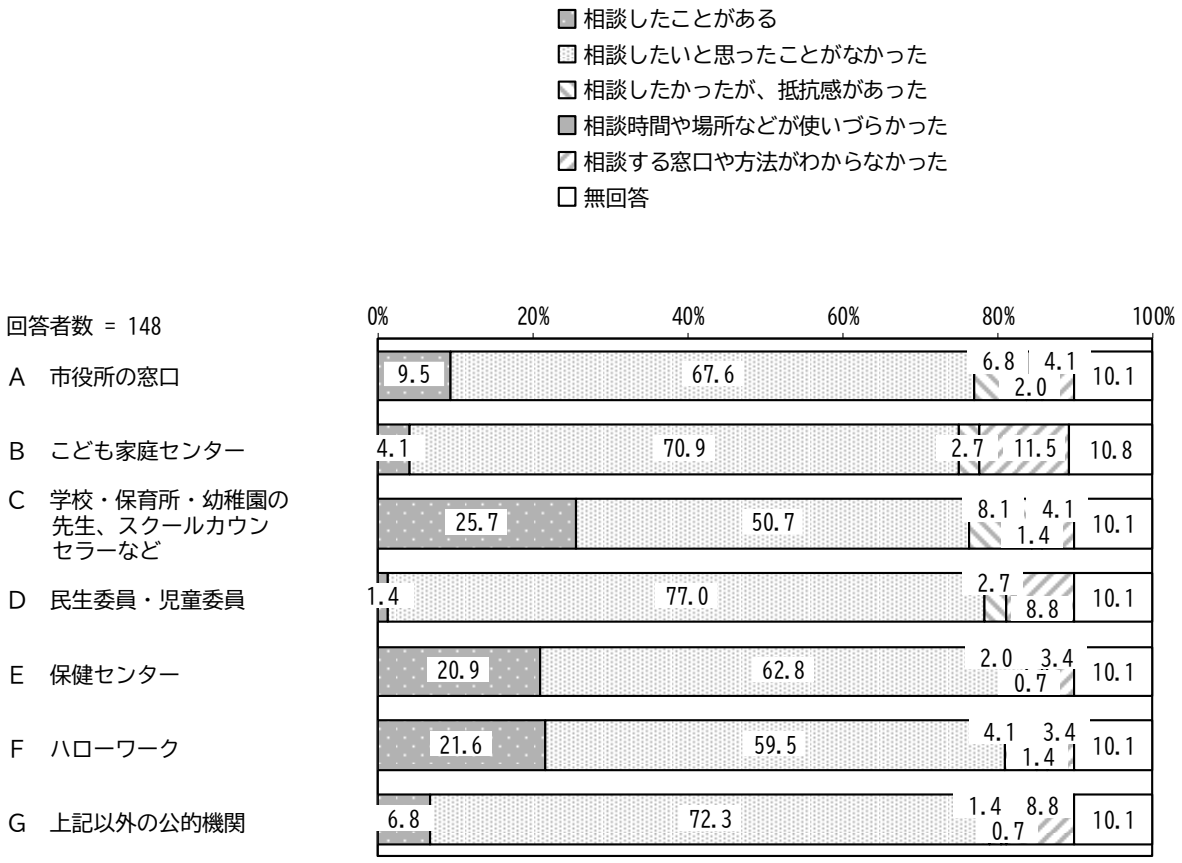
以下は、ひとり親世帯向けの制度です。ひとり親世帯の方のみお答えください。

『Ｆ　児童扶養手当』『Ｈ　ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親）』で「ある」の割合が高くなっています。一方、『Ｇ　母子及び父子福祉資金』で「ない」の割合が高くなっています。



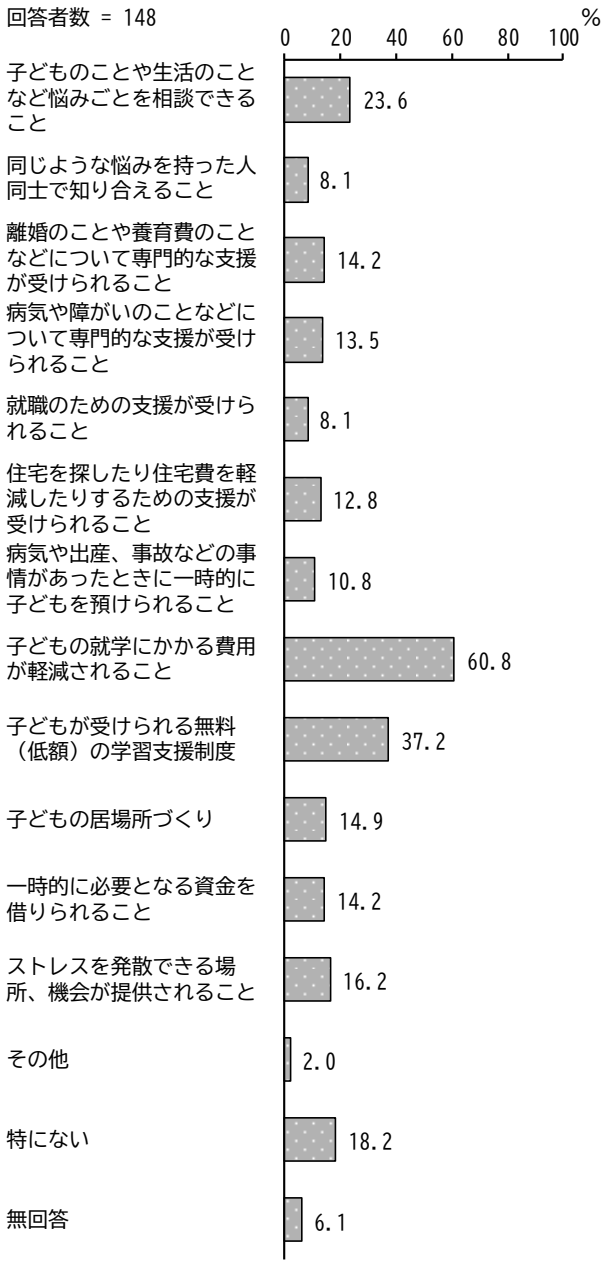
問 33　あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

『C　学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど』『E　保健センター』『F　ハローワーク』で「相談したことがある」の割合が高くなっています。一方、『D　民生委員・児童委員』で「相談したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



問 34　あなたが現在必要としていることで、重要だと思う支援等はどのようなものですか。（あてはまる番号すべてに○）

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度」の割合が 37.2%、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が 23.6%となっています。



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の２分の１未満で「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
全　体	148	23.6	8.1	14.2	13.5	8.1	12.8	10.8
中央値の２分の１未満	26	46.2	7.7	23.1	15.4	11.5	23.1	15.4
中央値の２分の１以上中央値未満	30	6.7	3.3	30.0	13.3	6.7	16.7	10.0
中央値以上	79	25.3	8.9	7.6	13.9	8.9	10.1	11.4

区分	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度	子どもの居場所づくり	一時的に必要となる資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他	特にない	無回答
全　体	60.8	37.2	14.9	14.2	16.2	2.0	18.2	6.1
中央値の２分の１未満	65.4	42.3	19.2	30.8	19.2	－	15.4	3.8
中央値の２分の１以上中央値未満	66.7	46.7	26.7	20.0	20.0	－	13.3	6.7
中央値以上	60.8	34.2	8.9	8.9	15.2	2.5	20.3	2.5

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が高くなっています。

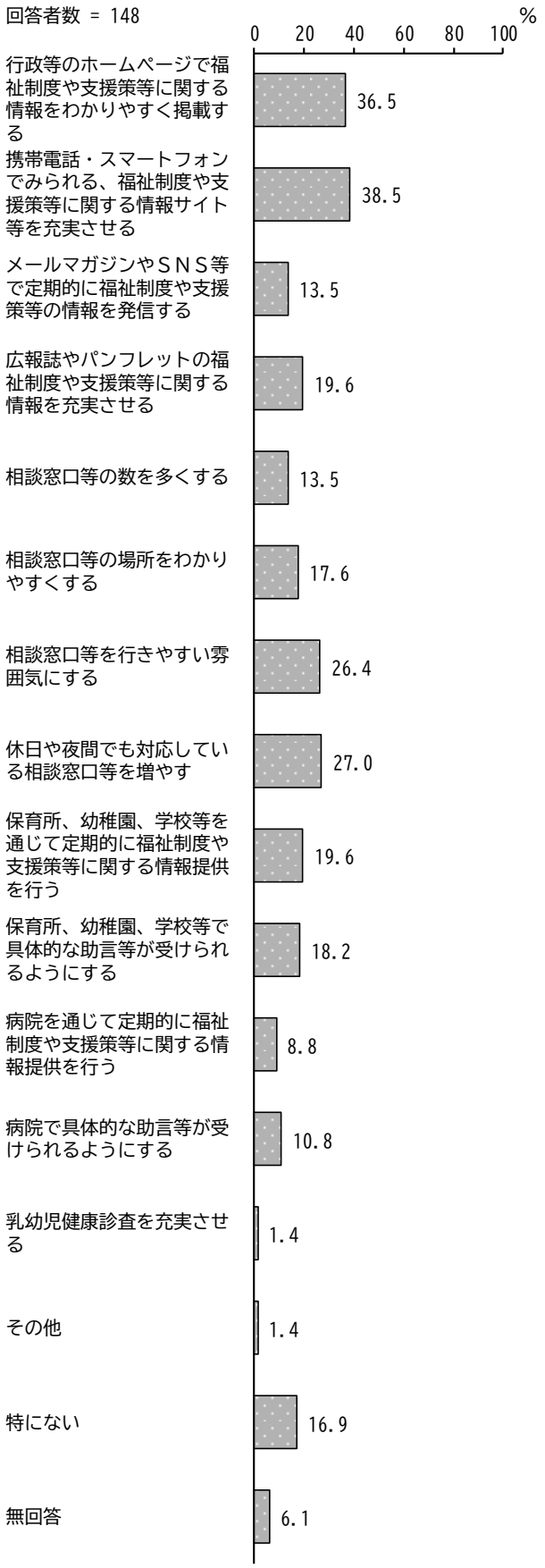
単位：％

区分	回答者数（件）	子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
全　体	148	23.6	8.1	14.2	13.5	8.1	12.8	10.8
ひとり親世帯	19	31.6	15.8	42.1	21.1	5.3	26.3	15.8
２世帯	97	20.6	7.2	9.3	10.3	6.2	13.4	11.3
３世帯	24	33.3	4.2	16.7	20.8	16.7	4.2	8.3
その他（不明等）	8	12.5	12.5	－	12.5	12.5	－	－

区分	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度	子どもの居場所づくり	一時的に必要となる資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他	特にない	無回答
全　体	60.8	37.2	14.9	14.2	16.2	2.0	18.2	6.1
ひとり親世帯	89.5	47.4	21.1	26.3	15.8	－	－	－
２世帯	60.8	39.2	13.4	12.4	15.5	2.1	19.6	7.2
３世帯	33.3	16.7	16.7	12.5	20.8	－	25.0	8.3
その他（不明等）	75.0	50.0	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	－

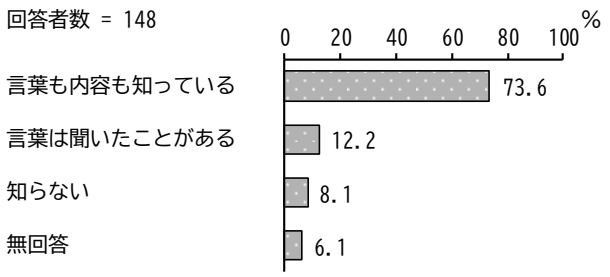
問 35　あなたが必要な支援を受けるために重要だと思うことを教えてください。
（あてはまる番号すべてに○）

「携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」の割合が 36.5%、「休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす」の割合が 27.0%となっています。



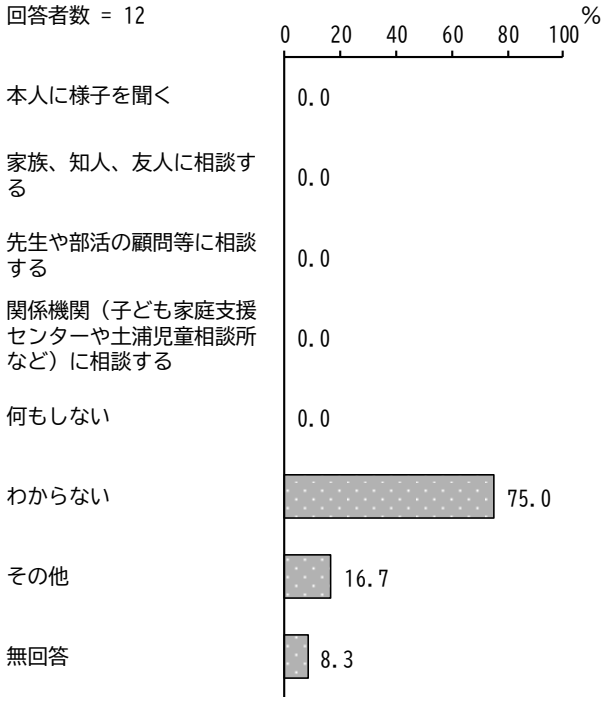
問 36　あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。（１つに○）

「言葉も内容も知っている」の割合が 73.6%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が 12.2%となっています。



問 37　あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。（あてはまるものすべてに○）

「わからない」の割合が 75.0%と最も高くなっています。

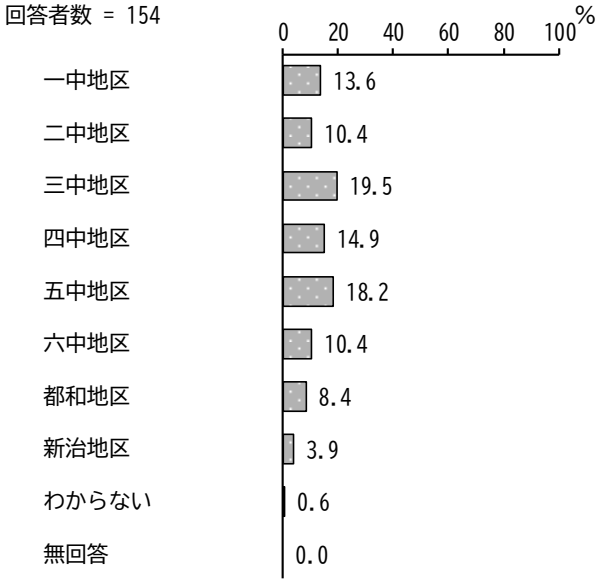


5　17歳

（1）あなたのことについて

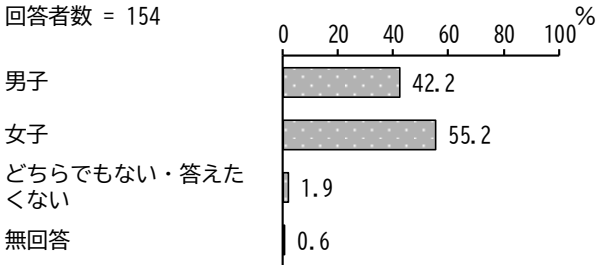
はじめに、お住まいの地区としてあてはまる番号１つを選択してください。

「三中地区」の割合が 19.5%と最も高く、次いで「五中地区」の割合が 18.2%、「四中地区」の割合が 14.9%となっています。



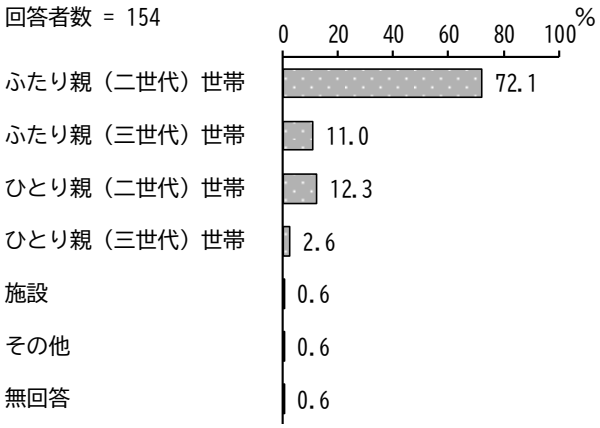
問１　あなたの性別を教えてください。（○は１つ）

「女子」の割合が 55.2%、「男子」の割合が 42.2%となっています。



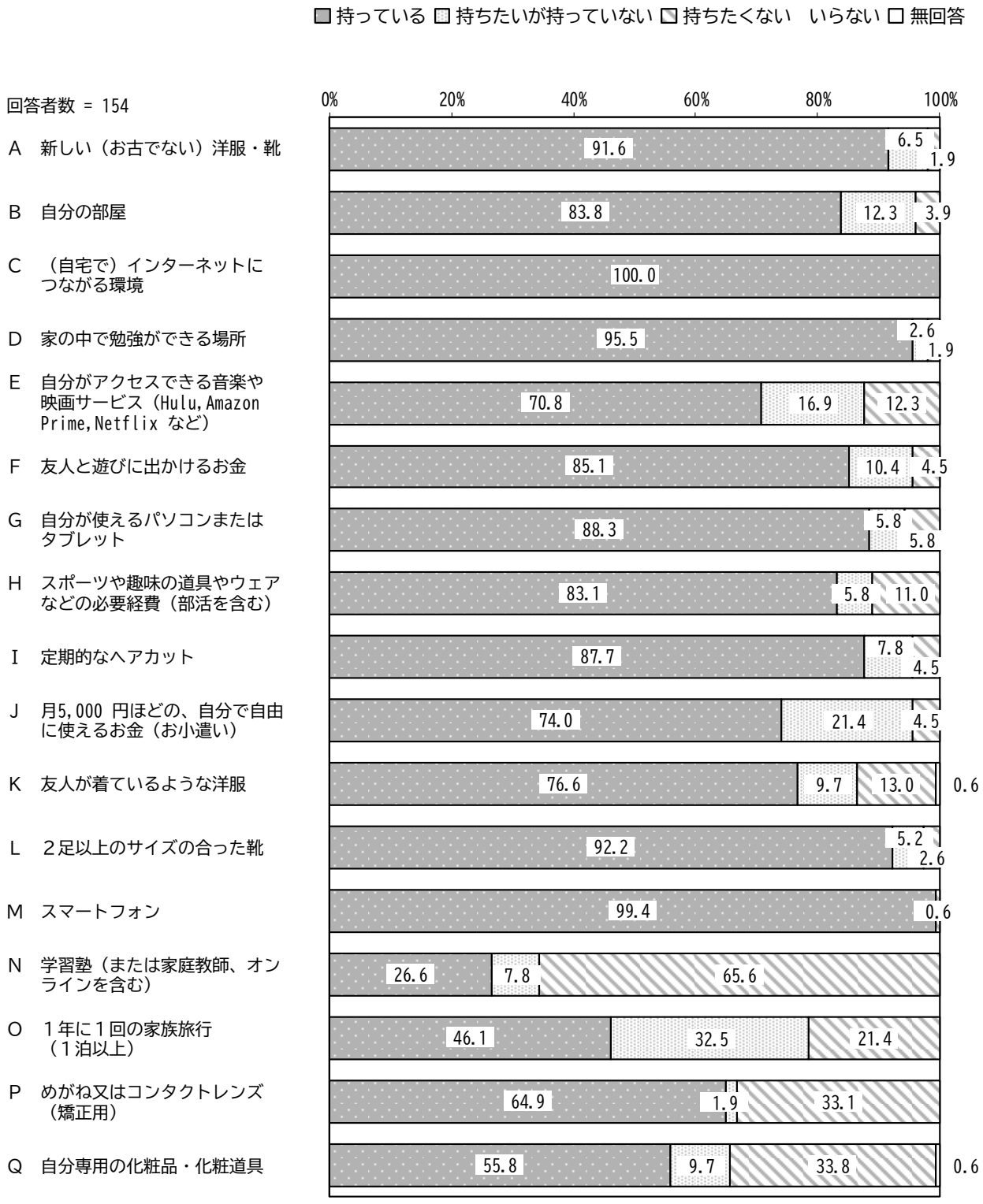
問２　あなたの家族は以下のどれに最も近いですか。（○は１つ）

「ふたり親（二世代）世帯」の割合が 72.1%と最も高く、次いで「ひとり親（二世代）世帯」の割合が 12.3%、「ふたり親（三世代）世帯」の割合が 11.0%となっています。



問３　あなたは、次のＡ～Ｑの物品を持っていますか。それぞれ、あなたの状況に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

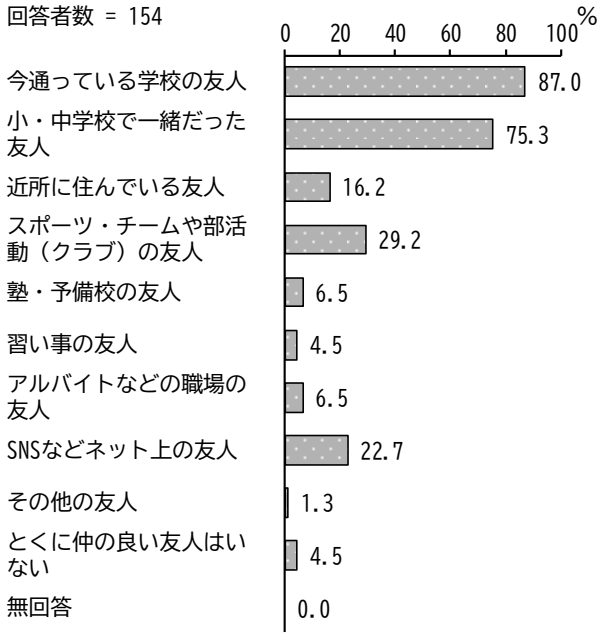
『Ｎ　学習塾（または家庭教師、オンラインを含む）』で「持ちたくない　いらない」の割合が、『Ｏ　１年に１回の家族旅行（１泊以上）』で「持ちたいが持っていない」の割合が高くなっています。



（２）あなたの普段の生活について

問４　あなたの仲が良い友人は、どのような友人ですか。（あてはまる番号すべてに○）

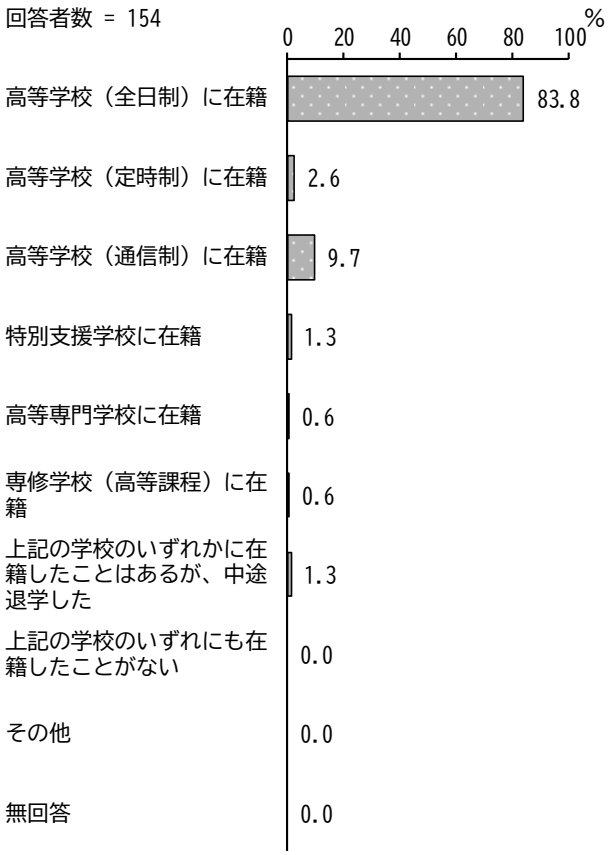
「今通っている学校の友人」の割合が 87.0%と最も高く、次いで「小・中学校で一緒だった友人」の割合が 75.3%、「スポーツ・チームや部活動（クラブ）の友人」の割合が 29.2%となっています。



（3）学校のことや勉強のことについて

問5　あなたは、現在、学校に在籍していますか。以下の中から、あてはまるものに○をしてください。（○は1つ）

「高等学校（全日制）に在籍」の割合が 83.8%と最も高くなっています。

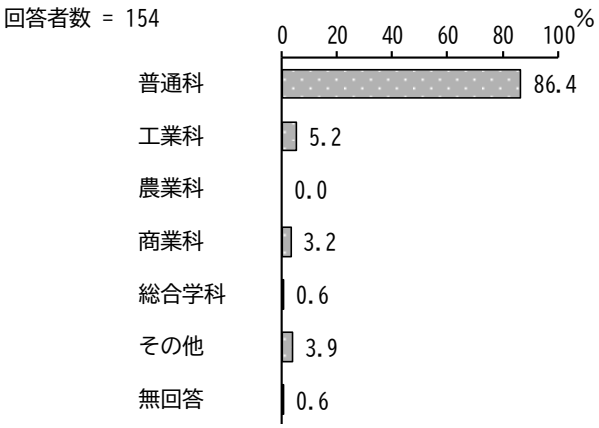


1～7とお答えになった方にお聞きします。

＊中学校卒業以降、学校に在籍していない方は問 12 へお進みください。

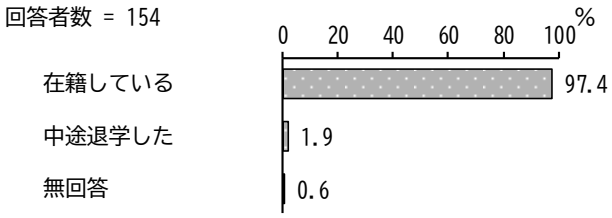
問6　あなたが在籍している（していた）高等学校等の学科は、以下のどれにあたりますか。（○は1つ）

「普通科」の割合が 86.4%と最も高くなっています。



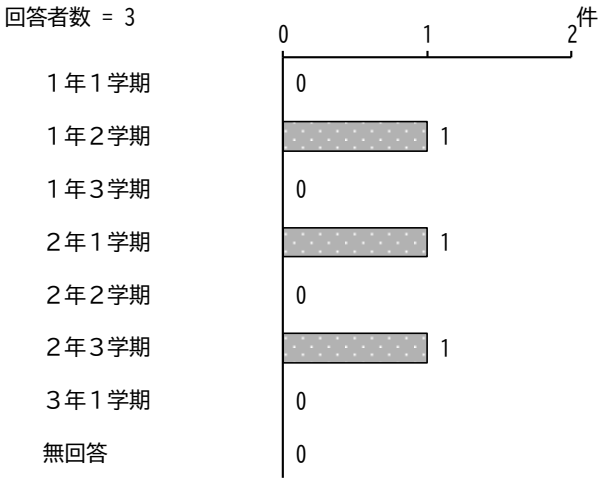
問６－１　その学校に、いまも在籍していますか。中途退学した場合、最後に通った学期はいつですか。（○は１つ）

「在籍している」の割合が 97.4%、「中途退学した」の割合が 1.9%となっています。



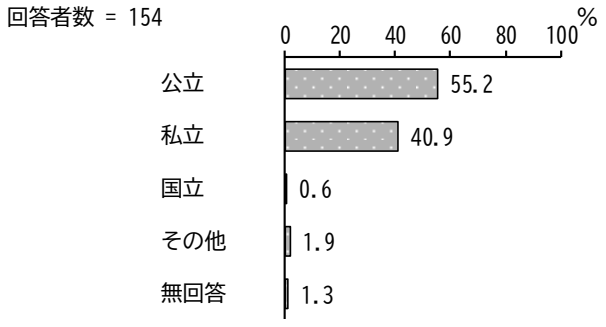
最後に通った学期

「１年２学期」、「２年１学期」、「２年３学期」が１件となっています。



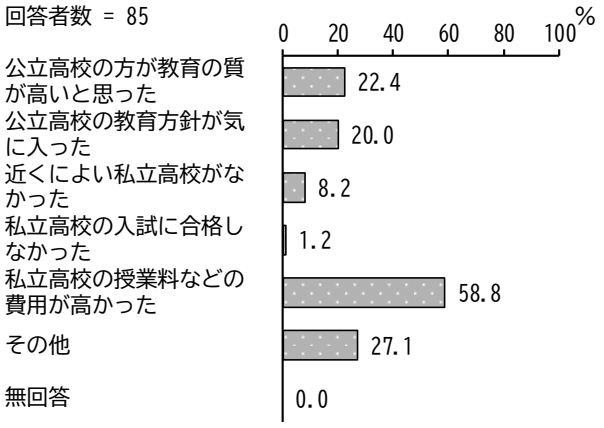
問６－２　学校の設置者は、以下のどれにあたりますか。（○は１つ）

「公立」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「私立」の割合が 40.9%となっています。



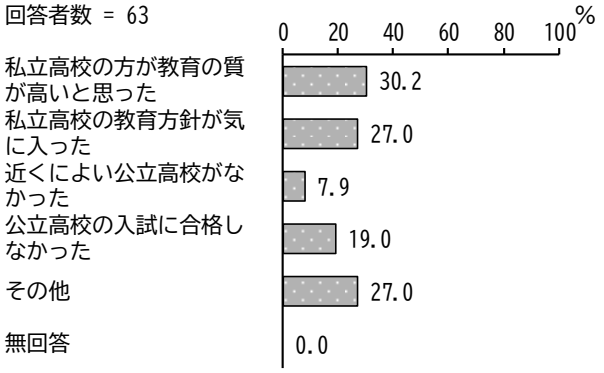
問６－３　学校の設置者で「１　公立」を選んだ方にお聞きします。
公立の高等学校に進学したのは、なぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

「私立高校の授業料などの費用が高かった」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「公立高校の方が教育の質が高いと思った」の割合が 22.4%、「公立高校の教育方針が気に入った」の割合が 20.0%となっています。



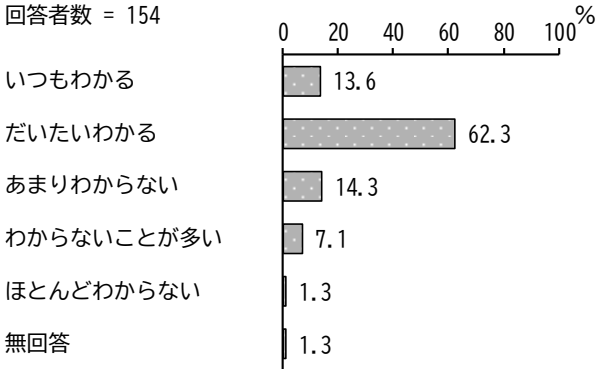
問６－４　学校の設置者で「２　私立」を選んだ方にお聞きします。
私立の高等学校に進学したのは、なぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

「私立高校の方が教育の質が高いと思った」の割合が 30.2%と最も高く、次いで「私立高校の教育方針が気に入った」の割合が 27.0%、「公立高校の入試に合格しなかった」の割合が 19.0%となっています。



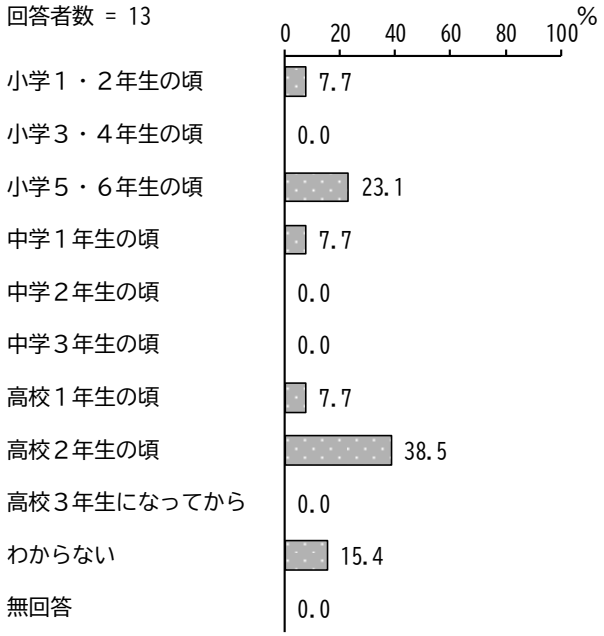
問７　あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（○は１つ）

「だいたいわかる」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「あまりわからない」の割合が 14.3%、「いつもわかる」の割合が 13.6%となっています。



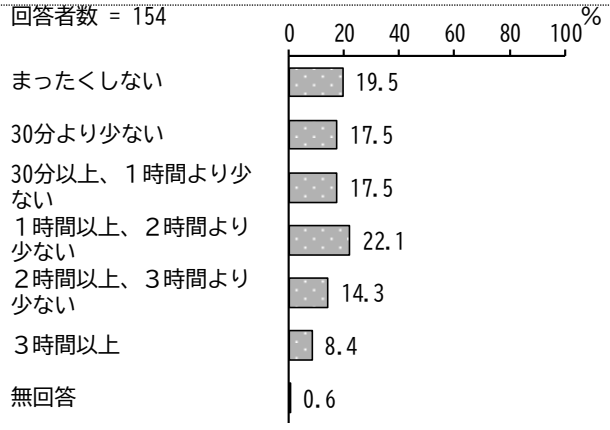
問７－１学校の授業が「４わからないことが多い」または「５ほとんどわからない」を選んだ方にお聞きします。
いつごろから、授業がわからなくなりましたか。（○は１つ）

「高校２年生の頃」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「小学５・６年生の頃」の割合が 23.1%、「わからない」の割合が 15.4%となっています。



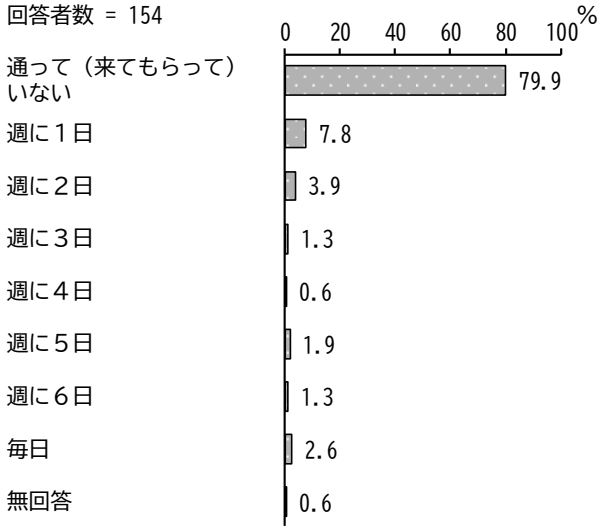
問８　あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。１日あたりの勉強時間を教えてください。（○は１つ）
※塾や宿題をやる時間も含みます

「１時間以上、２時間より少ない」の割合が 22.1%と最も高く、次いで「まったくしない」の割合が 19.5%、「30 分より少ない」、「30 分以上、１時間より少ない」の割合が 17.5%となっています。



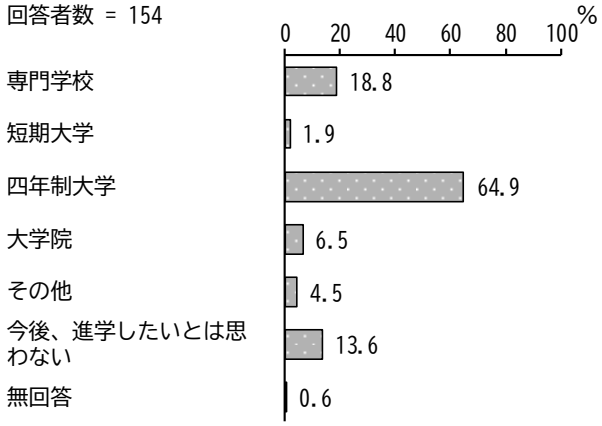
問９　あなたは、塾や予備校に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか（オンラインも含む)。通って（来てもらって）いる場合、１週間に何日通って（来てもらって）いますか。両方やっている方は、合計した日数に○をつけてください。
（○は１つ）

「通って（来てもらって）いない」の割合が79.9%と最も高くなっています。



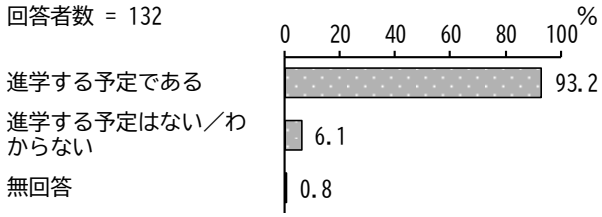
問 10　あなたは、今後、通いたいと希望する学校がありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

「四年制大学」の割合が 64.9%と最も高く、次いで「専門学校」の割合が 18.8%、「今後、進学したいとは思わない」の割合が 13.6%となっています。



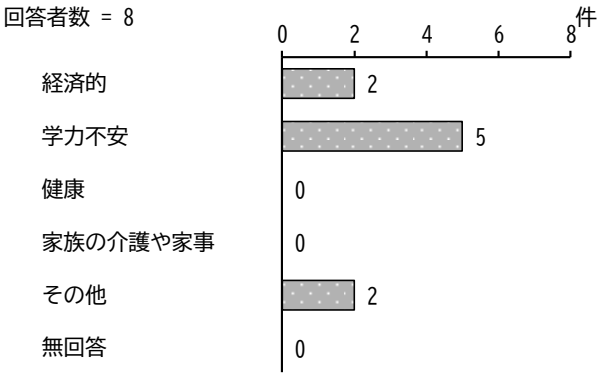
問 10－１　今後の進学を希望する方にお聞きします。
希望する学校に進学する予定はありますか。いまの時点での見込みでかまいません。「進学する予定はない」「わからない」場合は、その理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「進学する予定である」の割合が 93.2%、「進学する予定はない／わからない」の割合が 6.1%となっています。



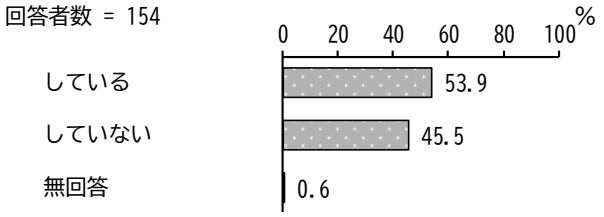
理由（あてはまる番号すべてに○）

「学力不安」が５件となっています。「経済的」が２件となっています。



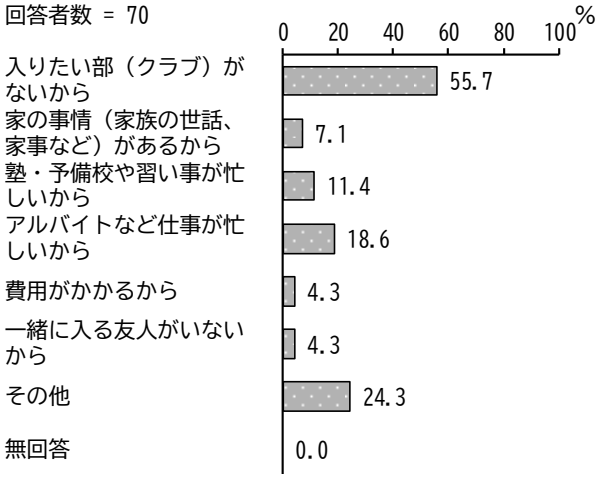
問 11　あなたは、学校の部（クラブ）活動に参加していますか。（○は１つ）

「している」の割合が 53.9%、「していない」の割合が 45.5%となっています。



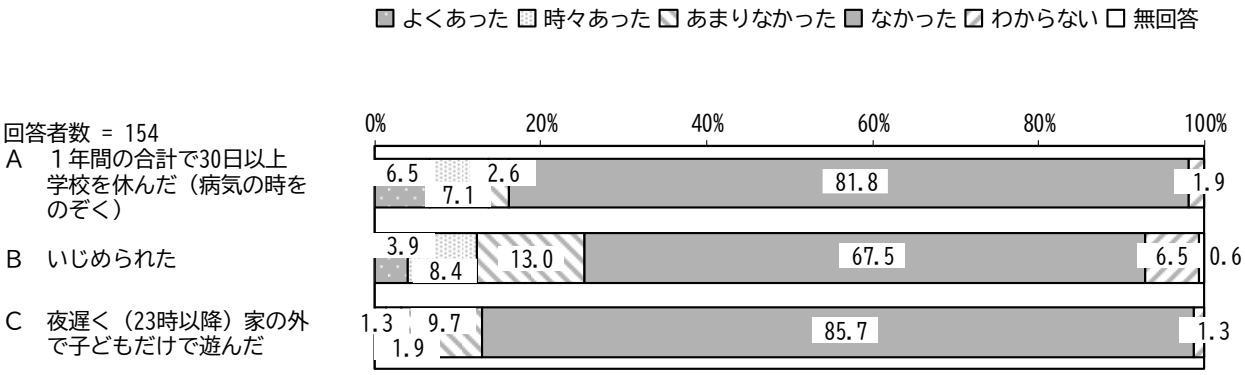
問 11－１　学校の部（クラブ）活動を「２していない」と答えた人にお聞きします。参加しない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「入りたい部（クラブ）がないから」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「アルバイトなど仕事が忙しいから」の割合が 18.6%、「塾・予備校や習い事が忙しいから」の割合が 11.4%となっています。



問 12　あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。
（それぞれ、○は１つ）

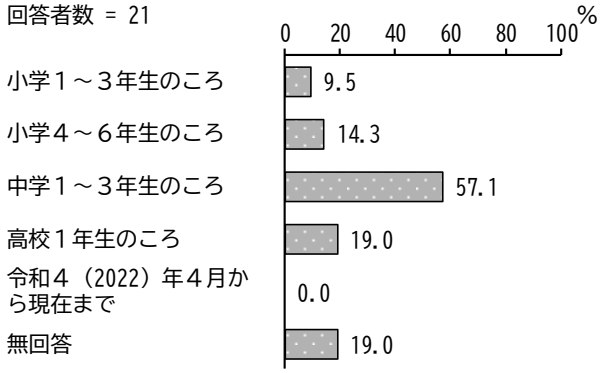
『Ａ　１年間の合計で 30 日以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）』『Ｃ　夜遅く（23 時以降）家の外で子どもだけで遊んだ』で「なかった」の割合が高くなっています。



問12－１　「１　よくあった」または、「２　時々あった」と答えた人におききします。上のようなことがあった時期はいつですか。
（それぞれ、あてはまる番号すべてに○）

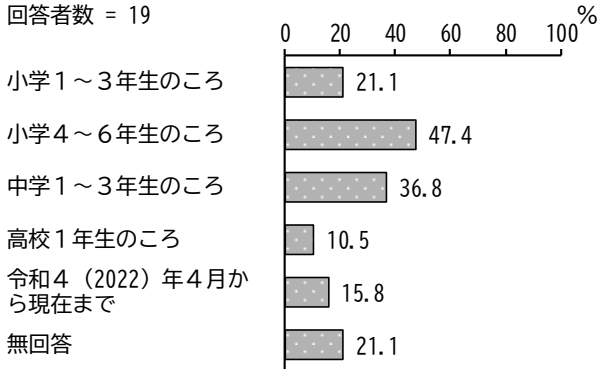
A　１年間の合計で30日以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）

「中学１～３年生のころ」の割合が57.1%と最も高く、次いで「高校１年生のころ」の割合が19.0%、「小学４～６年生のころ」の割合が14.3%となっています。



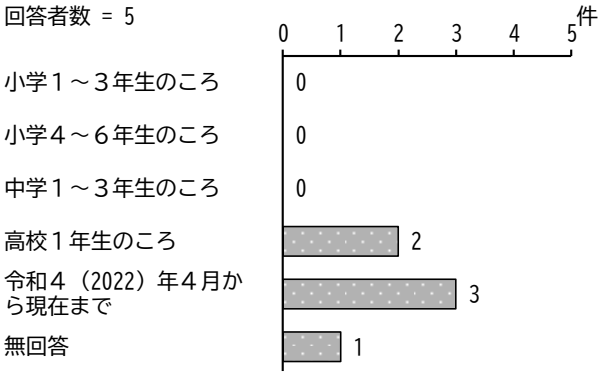
B　いじめられた

「小学４～６年生のころ」の割合が47.4%と最も高く、次いで「中学１～３年生のころ」の割合が36.8%、「小学１～３年生のころ」の割合が21.1%となっています。



C　夜遅く（23時以降）家の外で子どもだけで遊んだ

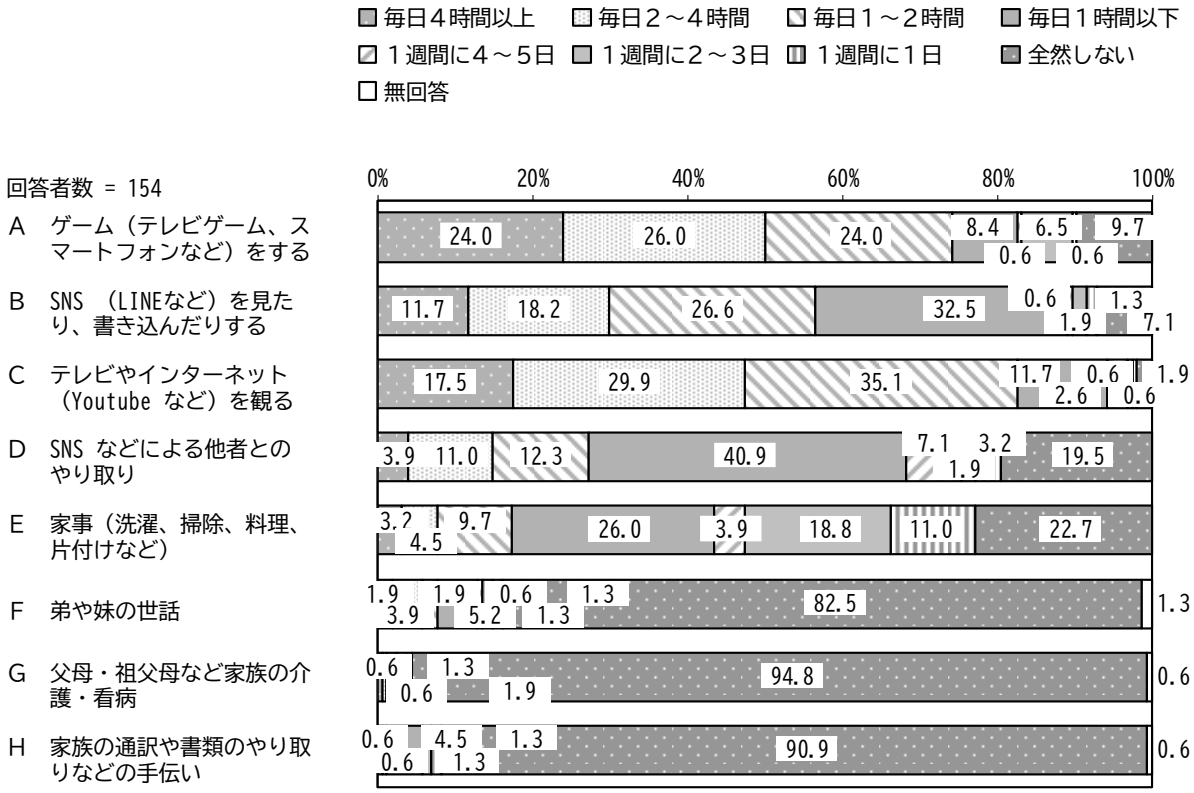
「令和４（20　22）年４月から現在まで」が３件となっています。「高校１年生のころ」が２件となっています。



（４）あなたの生活について

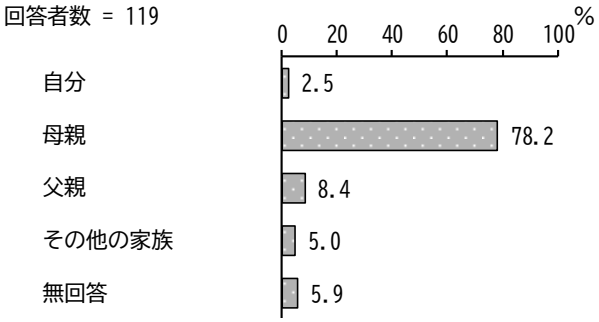
問 13　あなたは、以下の活動をふだんどれくらいしますか。（それぞれ、○は１つ）

『C　テレビやインターネット（Youtube など）を観る』で「毎日１～２時間」の割合が、『D SNS などによる他者とのやり取り』で「毎日１時間以下」の割合が高くなっています。



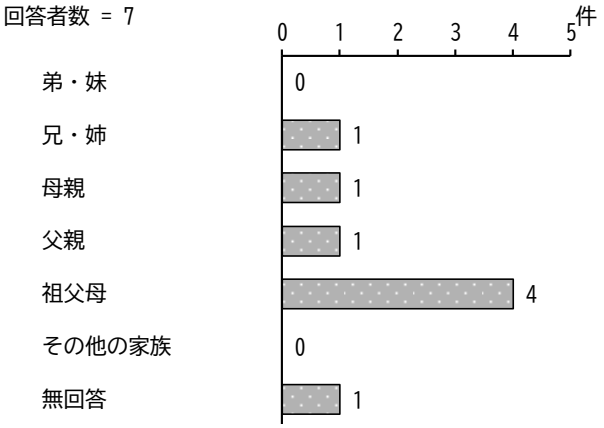
問 13－１　「Ｅ」に１～７と答えた人にお聞きします。
家族の中で、家事を最も多く担っている人は誰ですか？（○は１つ）

「母親」の割合が 78.2%と最も高くなっています。



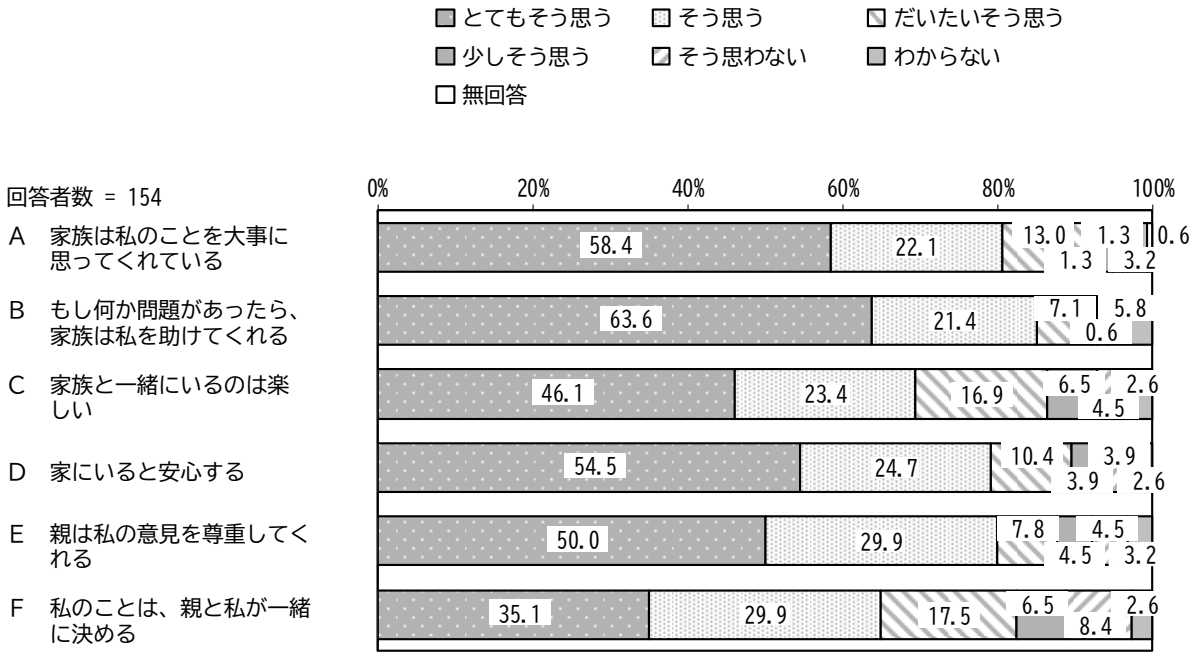
問13－２　「G」で１～７と答えた人にお聞きします。
あなたが介護・看病している人は誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「祖父母」が４件となっています。「兄・姉」、「母親」、「父親」が１件となっています。



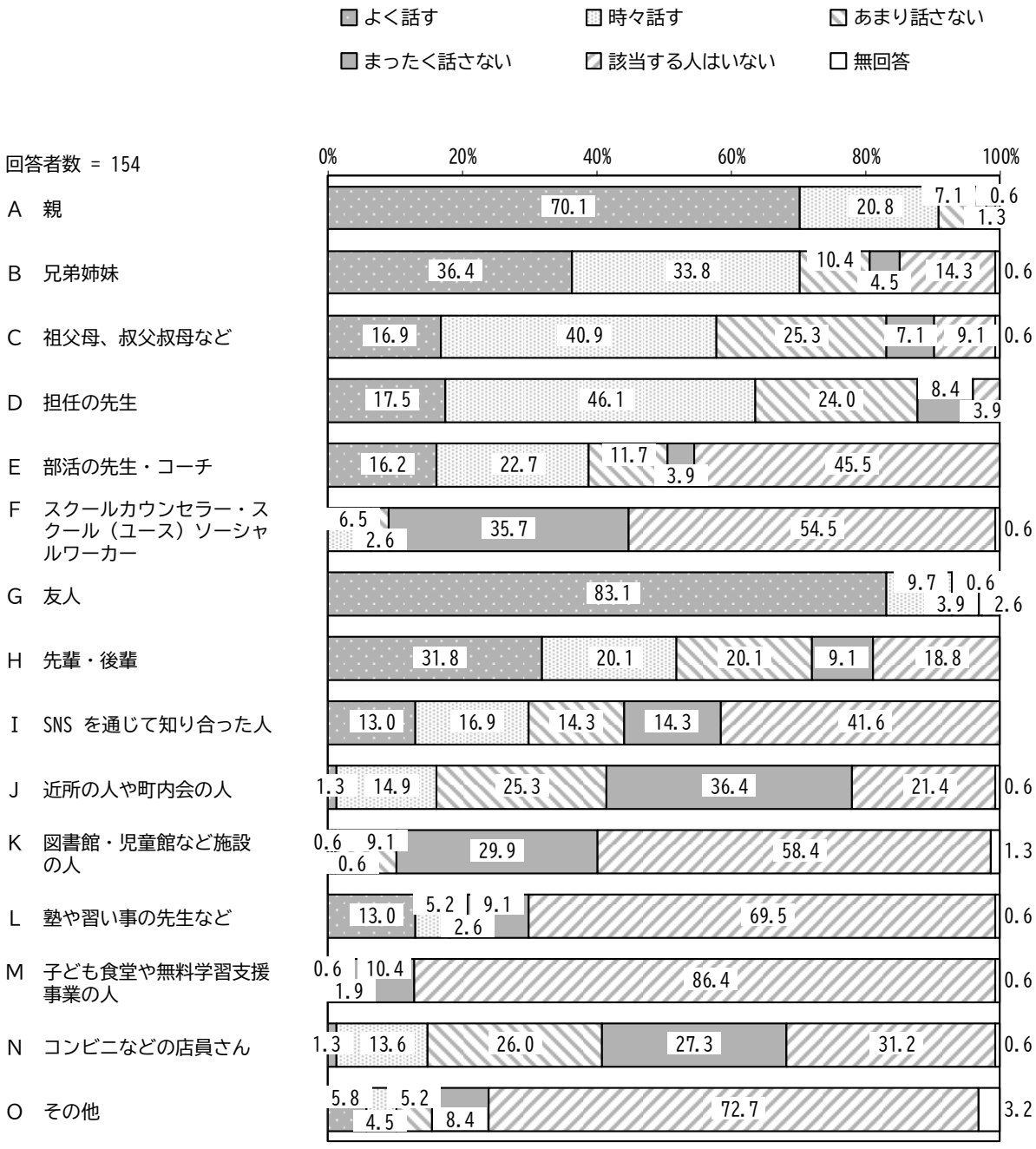
問14　あなたは、以下のことがらについて、どう思いますか？（それぞれ、○は１つ）

『B　もし何か問題があったら、家族は私を助けてくれる』で「とてもそう思う」の割合が、『E　親は私の意見を尊重してくれる』『F　私のことは、親と私が一緒に決める』で「そう思う」の割合が高くなっています。



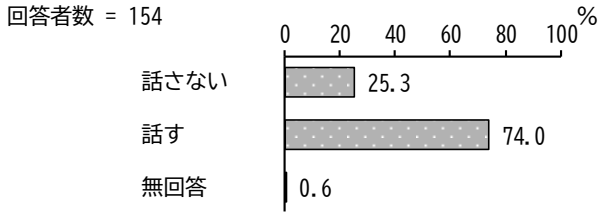
問15　あなたは、ちょっとした会話も含め、他の人とどれくらい話しますか。A～Oのそれぞれについて、電話、メール、LINEも含めて、最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、○は1つ）

『D　担任の先生』で「時々話す」の割合が、『G　友人』で「よく話す」の割合が高くなっています。



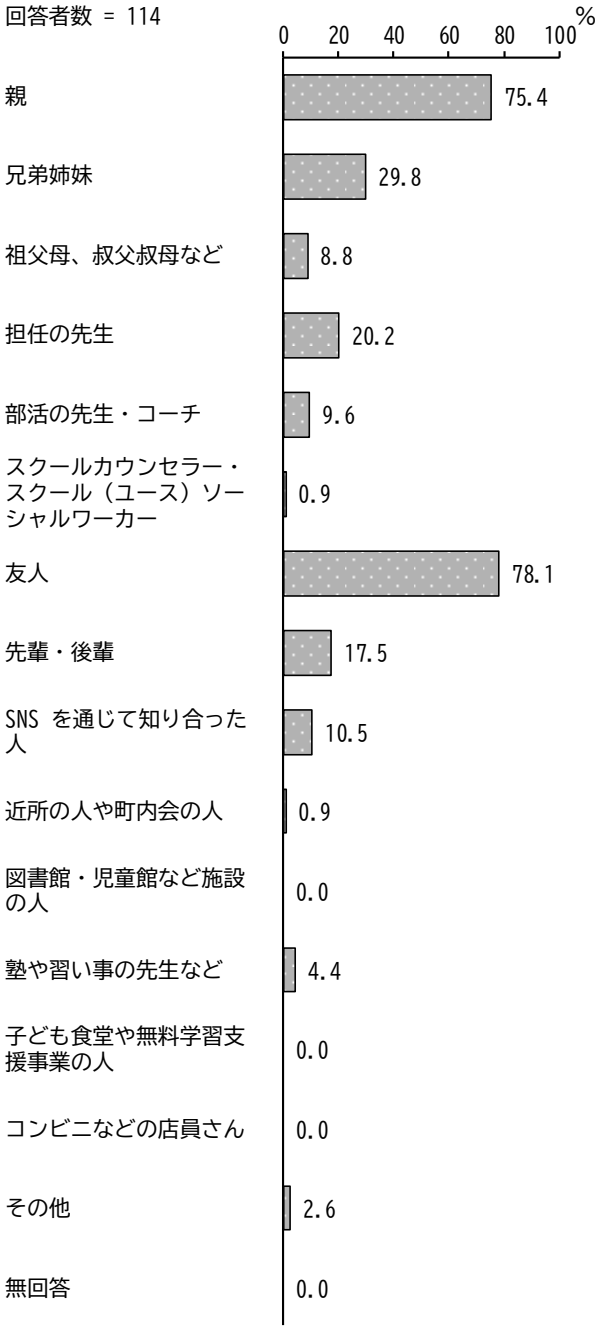
問 15－１　あなたに困ったことや、悩んでいることがある時、そのことを誰かに話しますか。上記のＡ～Ｏの相手のうち、話す人の記号をすべて答えてください。

「話さない」の割合が 25.3%、「話す」の割合が 74.0%となっています。



相手

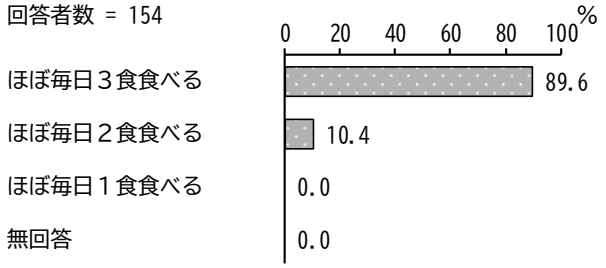
「友人」の割合が 78.1%と最も高く、次いで「親」の割合が 75.4%、「兄弟姉妹」の割合が 29.8%となっています。



（５）食事のことについて

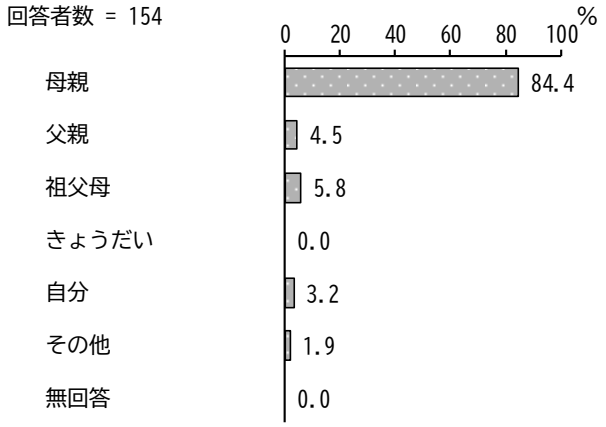
問 16　あなたは、平日（学校や仕事に行く日）に、一日３食を食べますか。
（○は１つ）

「ほぼ毎日３食食べる」の割合が 89.6%と最も高く、次いで「ほぼ毎日２食食べる」の割合が 10.4%となっています。



問 17　あなたが自宅で食事をする時、主にだれが作ってくれますか。（○は１つ）

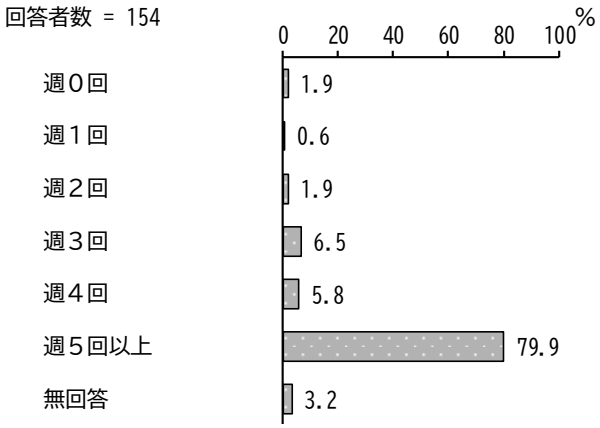
「母親」の割合が 84.4%と最も高くなっています。



問 18　あなたは、平日（学校や仕事に行く日）の夕食に何を食べますか。以下のＡ～Ｆについて、１週間の回数について、最もよくあるパターンを書いてください。（カッコの中に数字で答えてください）

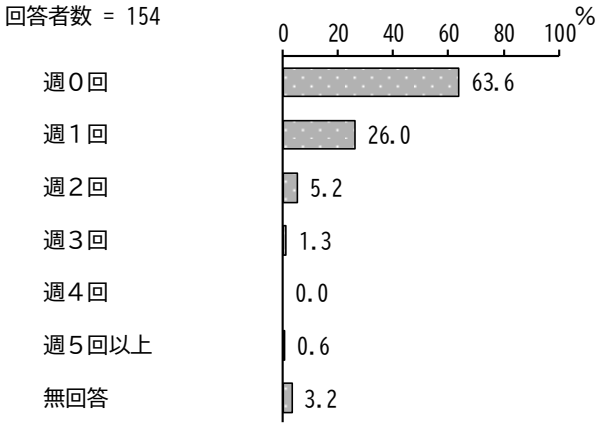
Ａ　家族か自分が作った食事

「週５回以上」の割合が 79.9%と最も高くなっています。



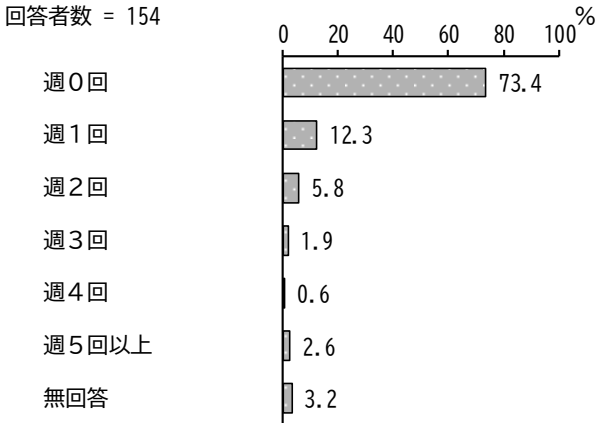
Ｂ　飲食店での外食

「週０回」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「週１回」の割合が 26.0%となっています。



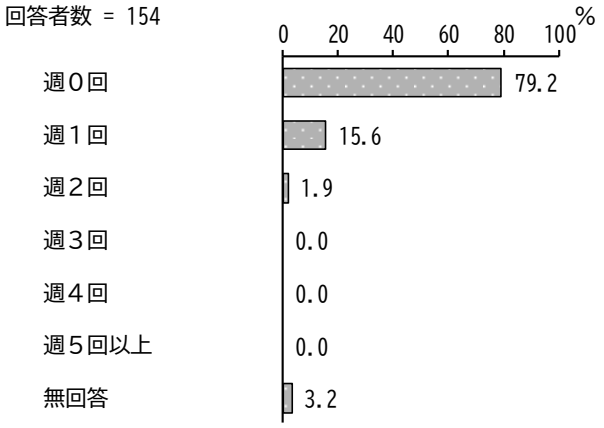
Ｃ　コンビニなどで購入したもののみ

「週０回」の割合が 73.4%と最も高く、次いで「週１回」の割合が 12.3%となっています。



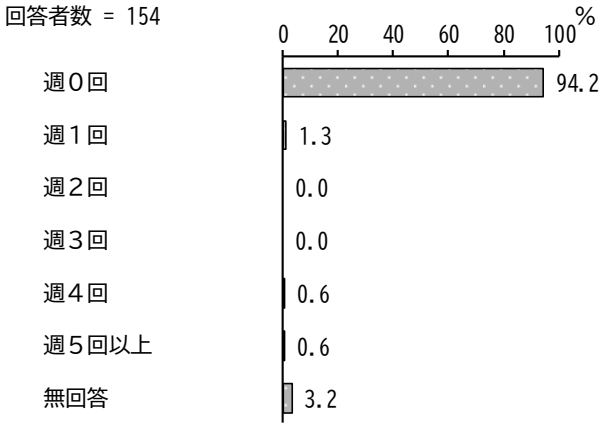
D　ファーストフード

「週０回」の割合が 79.2%と最も高く、次いで「週１回」の割合が 15.6%となっています。



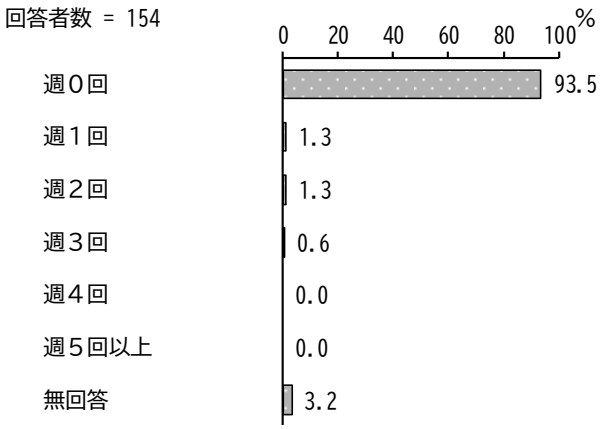
E　その他

「週０回」の割合が 94.2%と最も高くなっています。



F　夕食を食べない

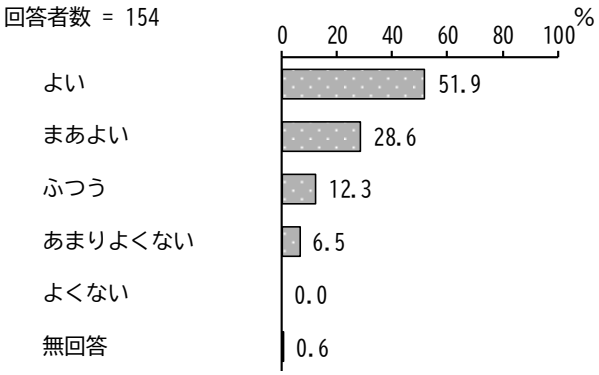
「週０回」の割合が 93.5%と最も高くなっています。



（６）健康のことについて

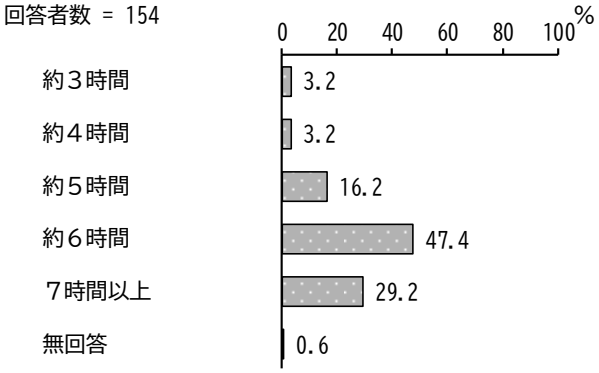
問 19　あなたの健康状態についておうかがいします。最も近いものに○をつけてください。（あてはまる番号１つに○）

「よい」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「まあよい」の割合が 28.6%、「ふつう」の割合が 12.3%となっています。



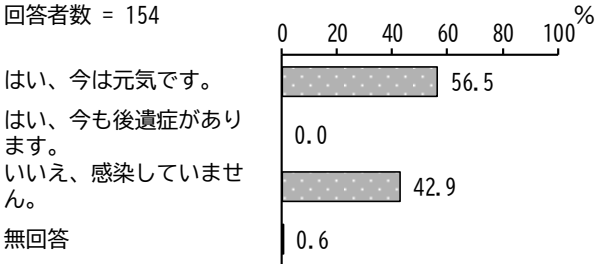
問 20　あなたの平均睡眠時間はどのくらいですか。（あてはまる番号１つに○）

「約６時間」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「７時間以上」の割合が 29.2%、「約５時間」の割合が 16.2%となっています。



問 21　あなたは、新型コロナウイルスに感染しましたか？（○は１つ）

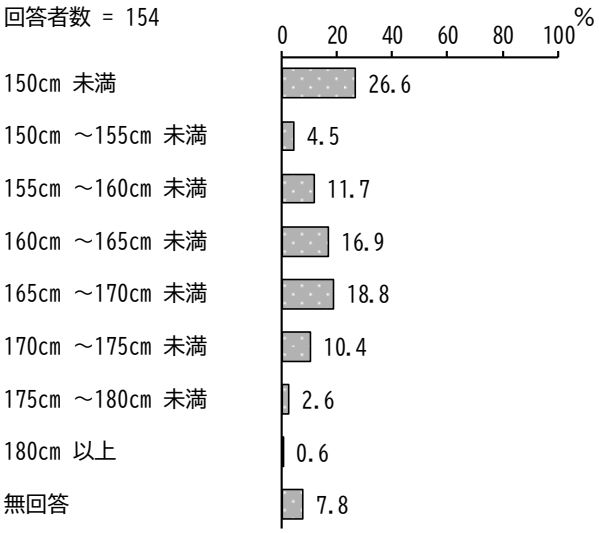
「はい、今は元気です。」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「いいえ、感染していません。」の割合が 42.9%となっています。



問 22　あなたの身長・体重を教えてください。（□の中に数字で答えてください）

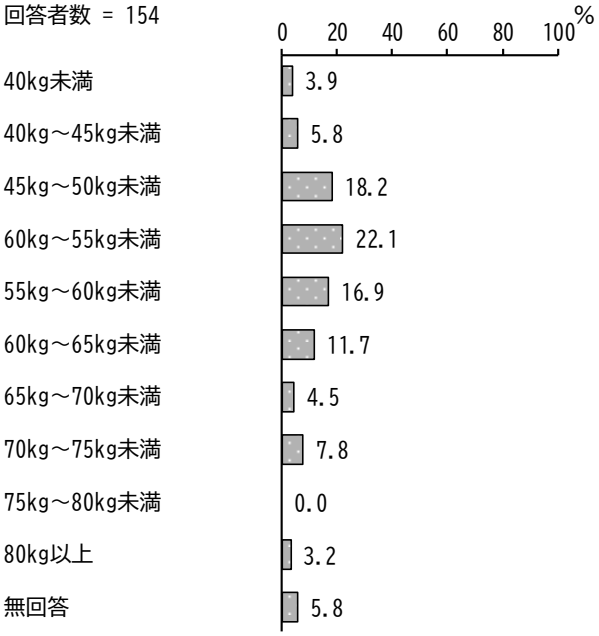
A　身長

「150cm 未満」の割合が 26.6%と最も高く、次いで「165cm～170cm 未満」の割合が 18.8%、「160cm～165cm 未満」の割合が 16.9%となっています。



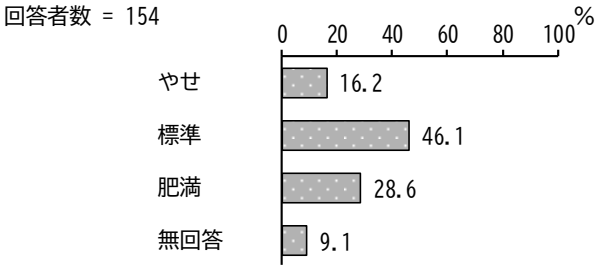
B　体重

「60kg～55kg 未満」の割合が 22.1%と最も高く、次いで「45kg～50kg 未満」の割合が 18.2%、「55kg～60kg 未満」の割合が 16.9%となっています。



ＢＭＩ

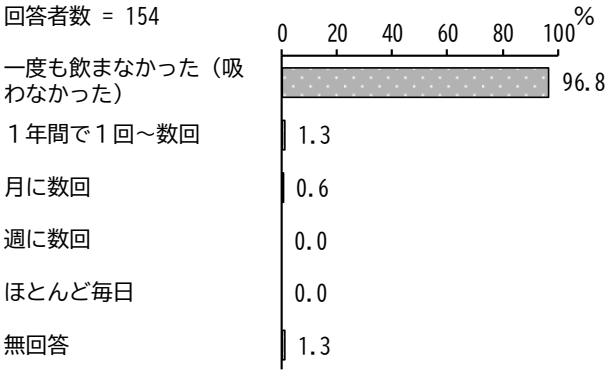
「標準」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「肥満」の割合が 28.6%、「やせ」の割合が 16.2%となっています。



問 23　この１年間に、アルコールを飲んだり、タバコ（電子タバコ）を吸ったりすることはありましたか？　ある場合、どのくらいの頻度でありましたか？（それぞれ最も近い頻度の数字を書いてください。）

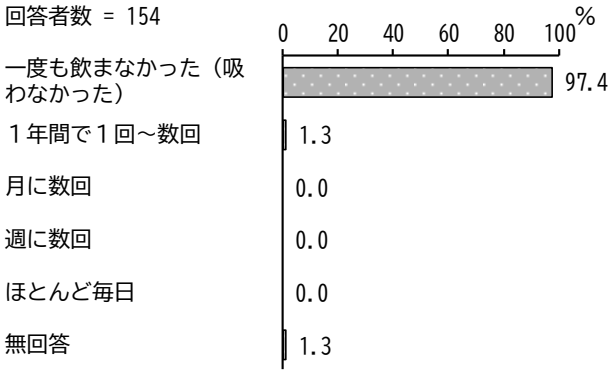
アルコール

「一度も飲まなかった（吸わなかった）」の割合が 96.8%と最も高くなっています。



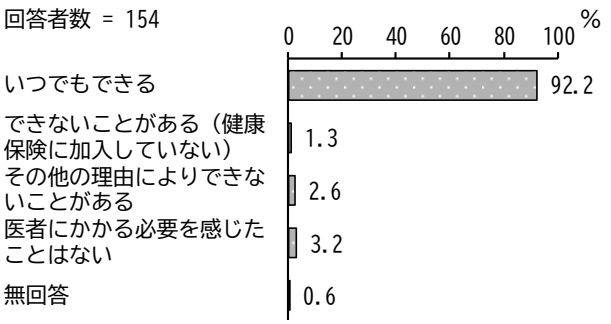
タバコ

「一度も飲まなかった（吸わなかった）」の割合が 97.4%と最も高くなっています。



問 24　あなたは、自分が必要と思う時に、医者または歯医者にかかることができますか。健診も含めてお答えください。（○は１つ）

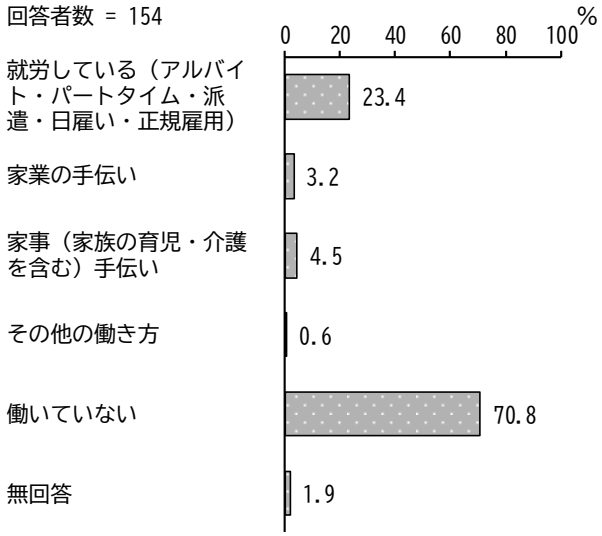
「いつでもできる」の割合が 92.2%と最も高くなっています。



（7）アルバイトなどのお仕事について

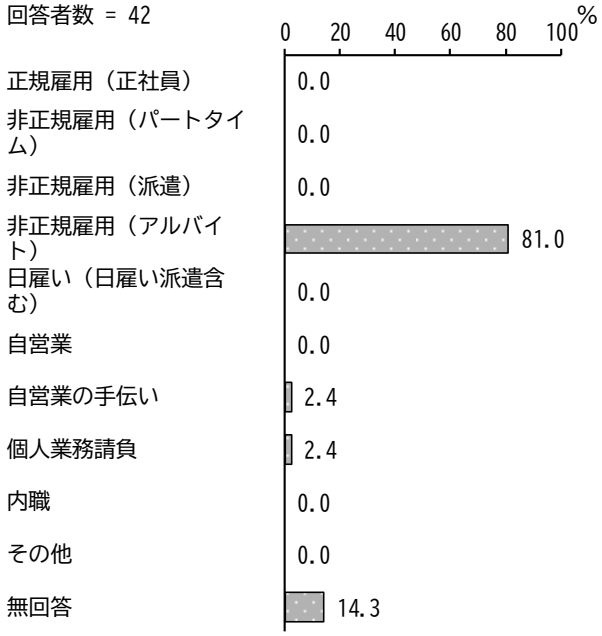
問 25　あなたは、現在、働いていますか。以下の中から、最もあてはまるものに○をしてください。（あてはまる番号すべてに○）

「働いていない」の割合が 70.8%と最も高く、次いで「就労している（アルバイト・パートタイム・派遣・日雇い・正規雇用）」の割合が 23.4%となっています。



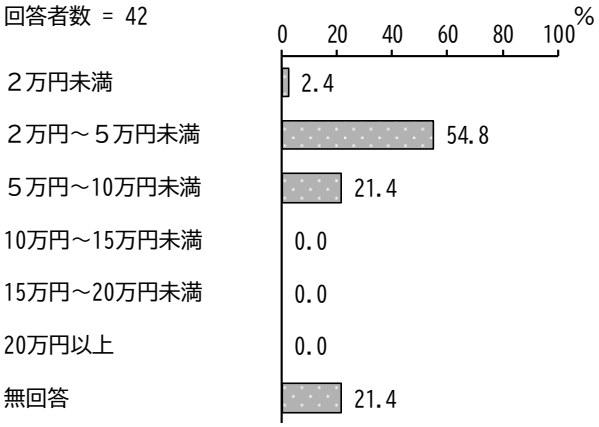
問 25－1　収入を伴う仕事（学生のアルバイトを含む）をしている方にお聞きします。あなたの現在のお仕事の雇用形態を教えてください。複数のお仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてお答えください。（○は１つ）

「非正規雇用（アルバイト）」の割合が 81.0%と最も高くなっています。



問 25－２　収入を伴う仕事（学生のアルバイトを含む）をしている方全員にお聞きします。そのお仕事から、平均して毎月どれくらいの収入（手取り）がありますか。

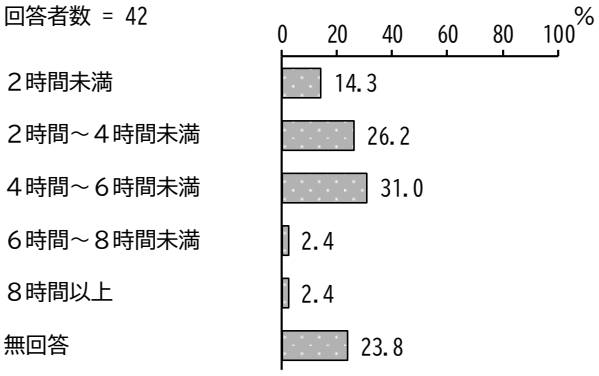
「２万円～５万円未満」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「５万円～10 万円未満」の割合が 21.4%となっています。



問 25－３　１日あたり（平日と休日）、平均何時間働いていますか。残業時間を含めてお答えください。

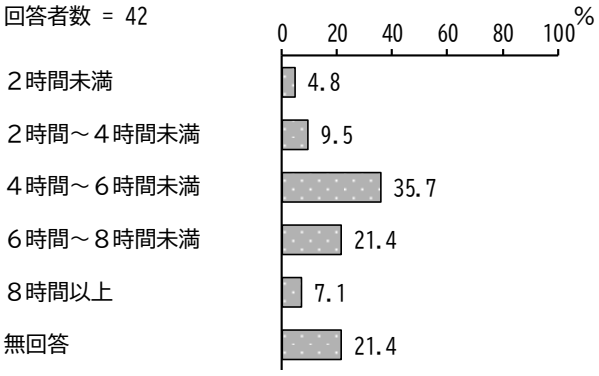
平日の就労時間

「４時間～６時間未満」の割合が 31.0%と最も高く、次いで「２時間～４時間未満」の割合が 26.2%、「２時間未満」の割合が 14.3%となっています。



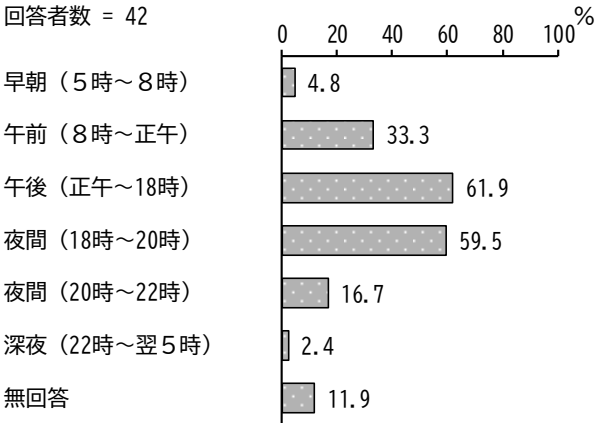
休日の就労時間

「４時間～６時間未満」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「６時間～８時間未満」の割合が 21.4%となっています。



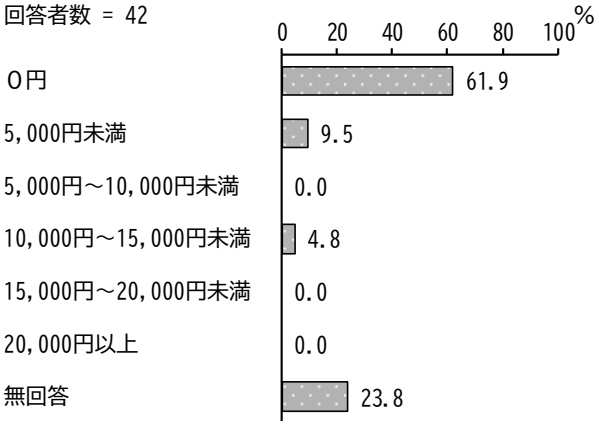
問 25－４　あなたが、ふだん働いている時間帯は、次のどれにあたりますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（あてはまる番号すべてに○）

「午後（正午～18 時）」の割合が 61.9%と最も高く、次いで「夜間（18 時～20 時）」の割合が 59.5%、「午前（８時～正午）」の割合が 33.3%となっています。



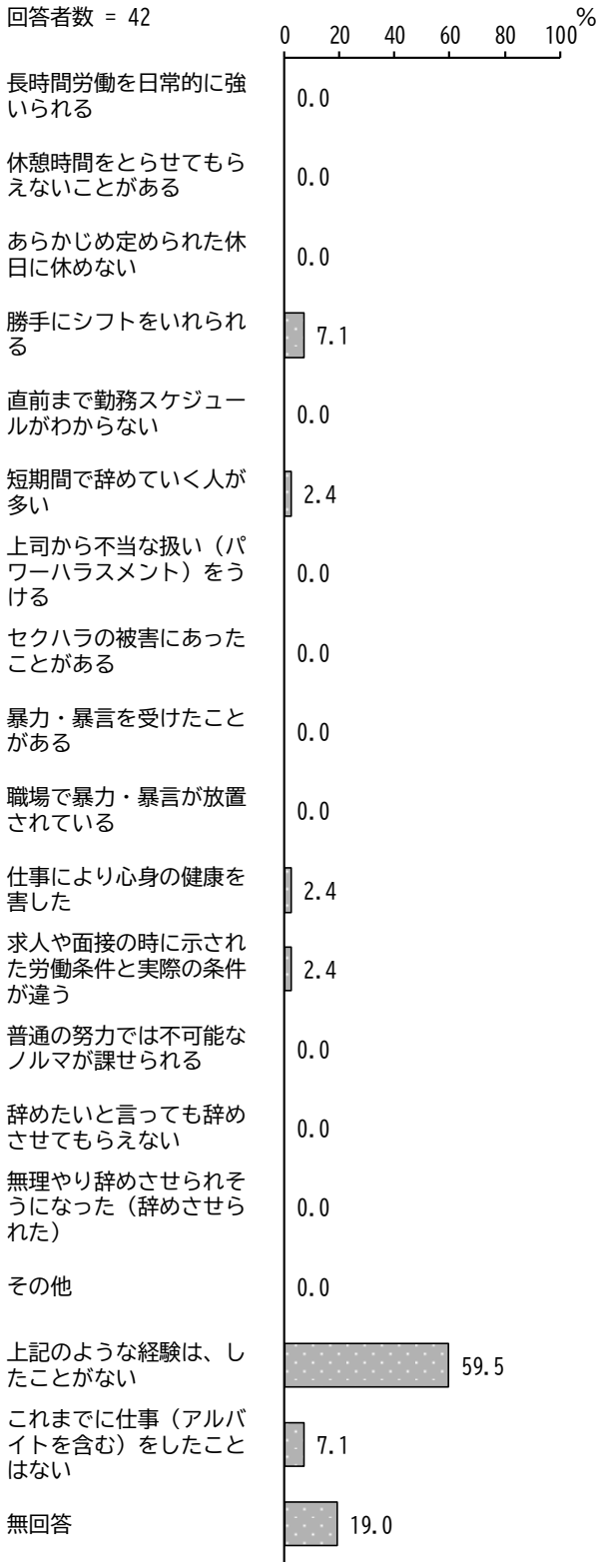
問 25－５　収入を伴う仕事（学生のアルバイトを含む）をしている方全員にお聞きします。あなたは現在、生活費を、同居または別居の家族に渡していますか。平均の月額をお書きください。（渡していない場合は「０」）

「０円」の割合が 61.9%と最も高くなっています。



問 26　あなたは、これまでに職場で以下のような経験をしたことがありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

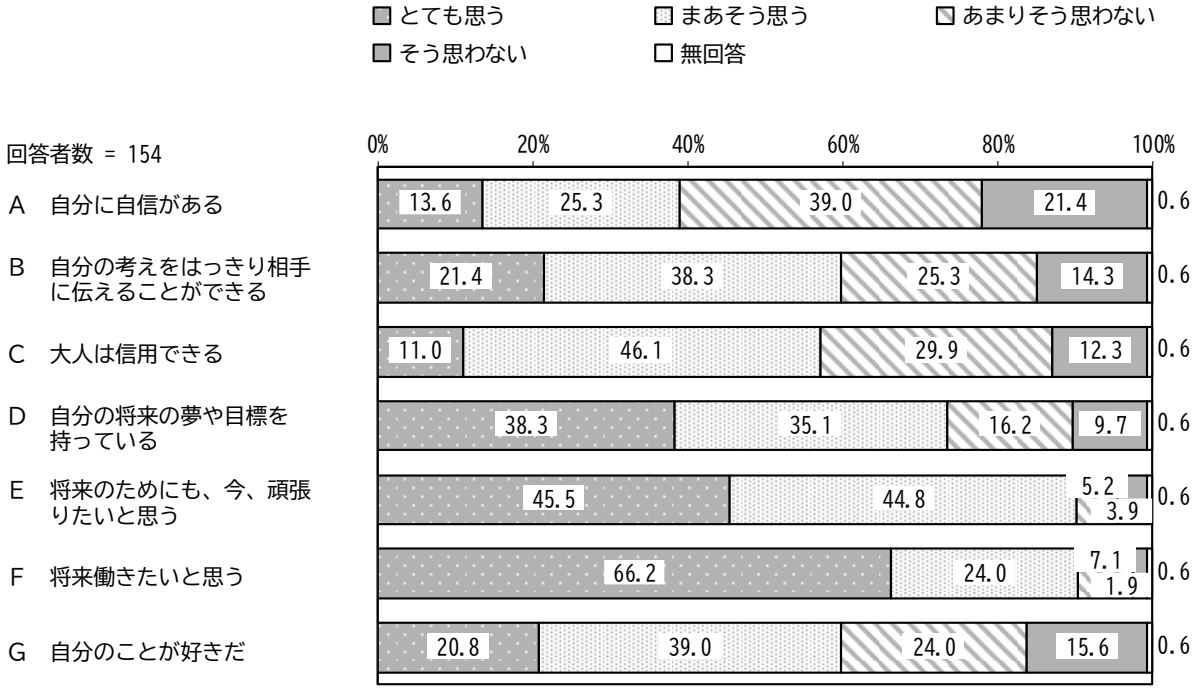
「上記のような経験は、したことがない」の割合が 59.5%と最も高くなっています。



（8）あなたが普段考えていることについて

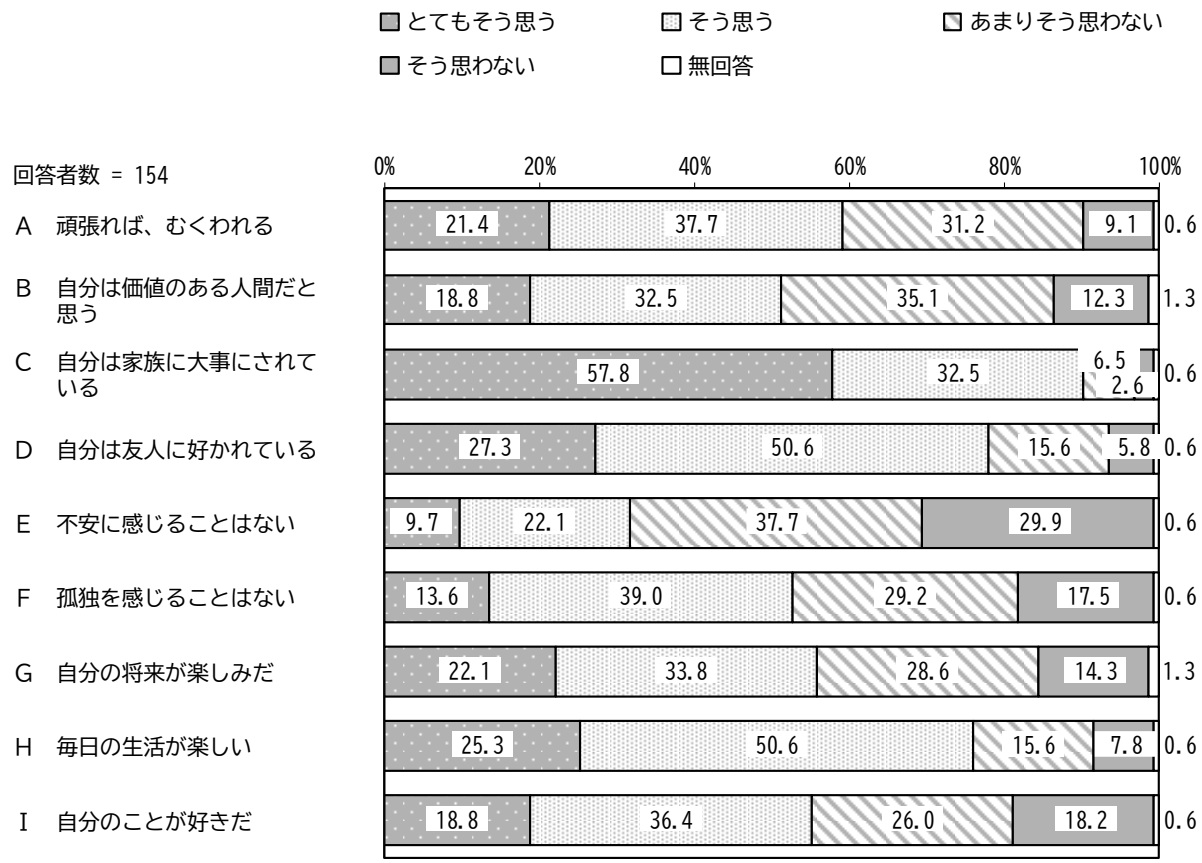
問 27　あなたが日常生活の中で感じていることについてお答えください。
（A～Gそれぞれ、○は1つ）

『A　自分に自信がある』で「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が、高くなっています。一方、『F　将来働きたいと思う』で「とても思う」の割合が高くなっています。



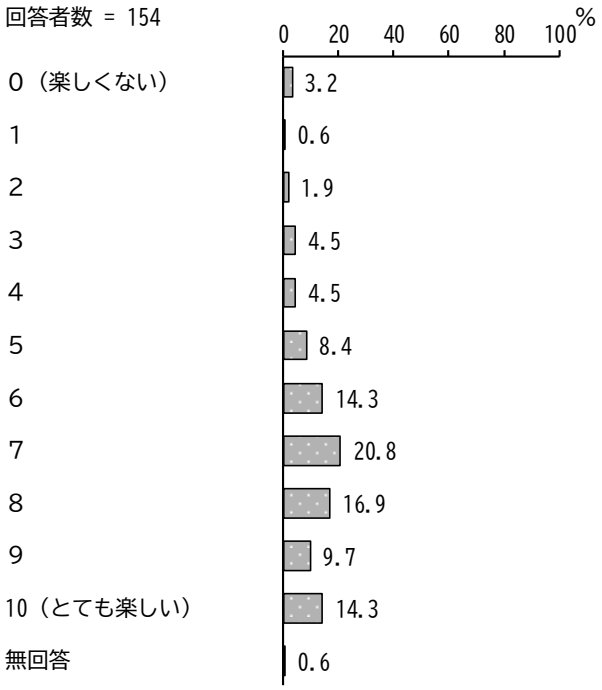
問 28　以下のＡ～Ｉの意見について、あなたはどう思いますか。それぞれあなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

『Ｃ　自分は家族に大事にされている』で「とてもそう思う」の割合が、『Ｄ　自分は友人に好かれている』『Ｈ　毎日の生活が楽しい』で「そう思う」の割合が高くなっています。



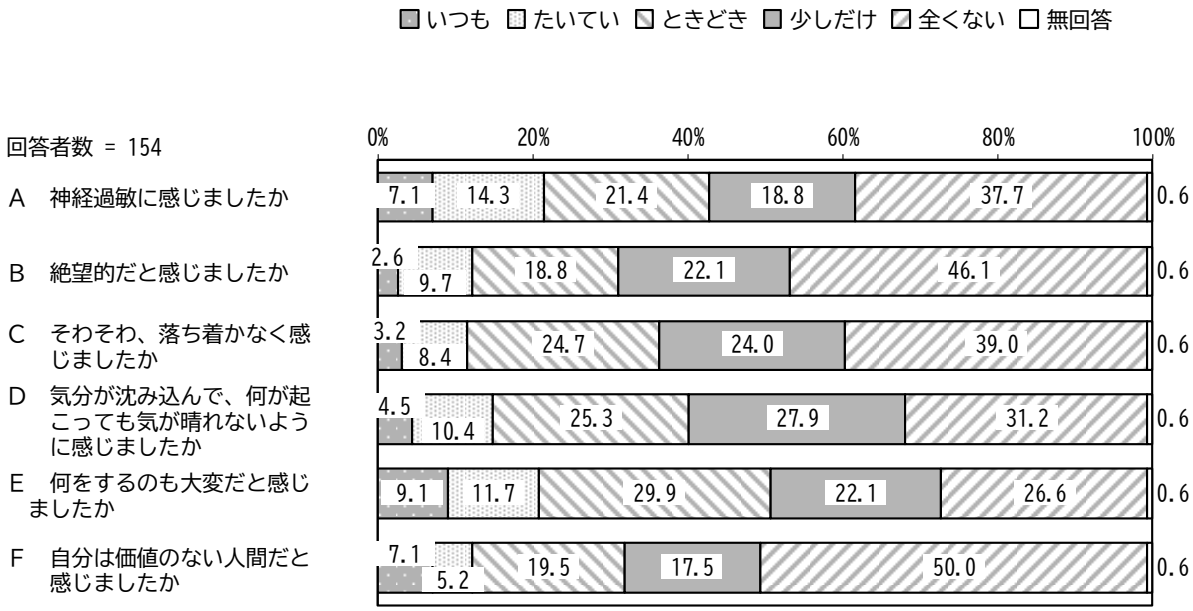
問 29　あなたは、毎日の生活が楽しいですか。（○は１つ）

「７」の割合が 20.8%と最も高く、次いで「８」の割合が 16.9%、「６」、「10（とても楽しい）」の割合が 14.3%となっています。



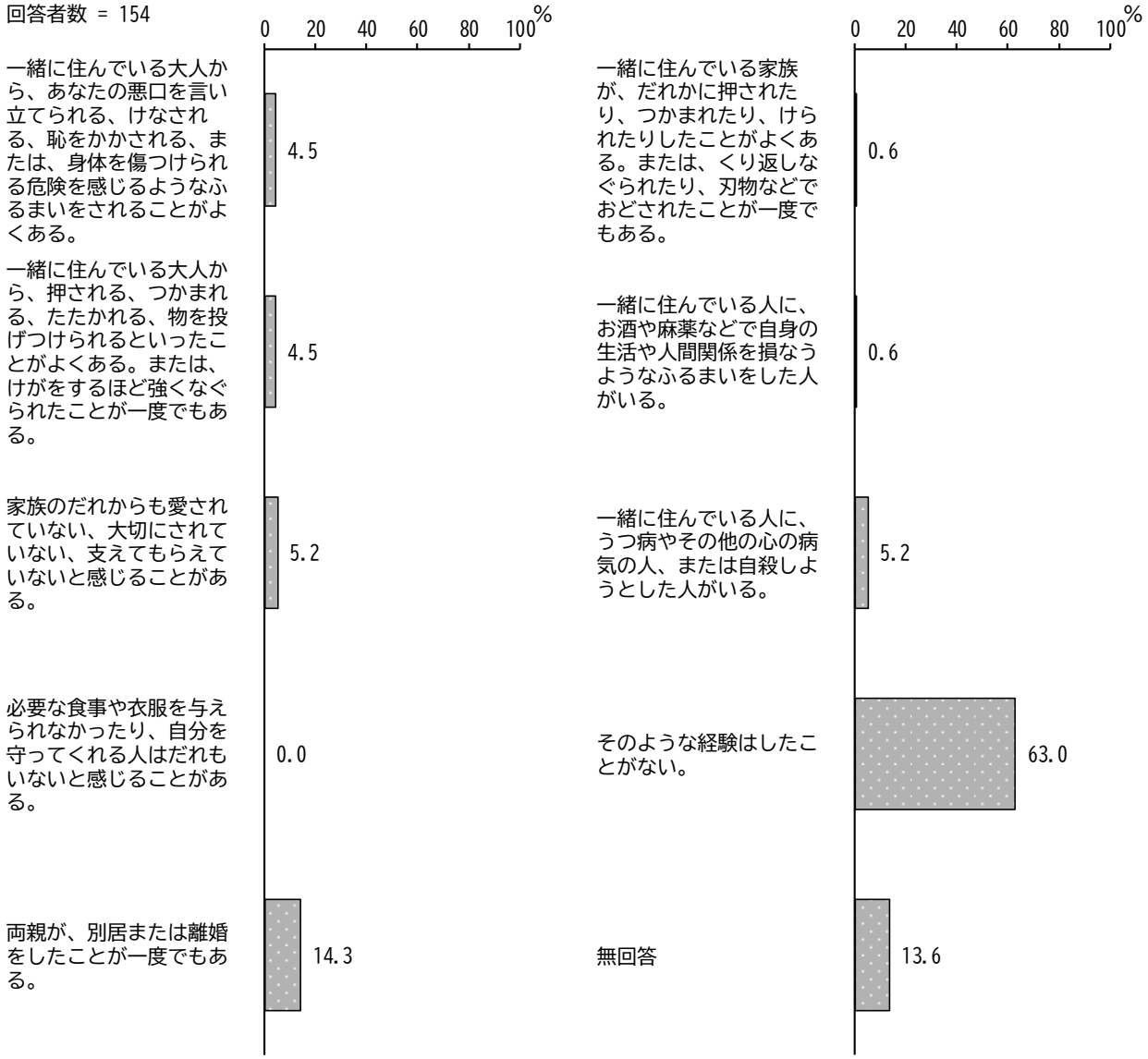
問 30　次のＡ～Ｆの質問について、あなたは、ここ１か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。（それぞれ、○は１つ）

『Ｂ　絶望的だと感じましたか』『Ｆ　自分は価値のない人間だと感じましたか』で「全くない」の割合が高くなっています。



問 31　あなたは今までに、以下の１～８のようなことがありましたか。
（あてはまる番号すべてに○）

「そのような経験はしたことがない。」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある。」の割合が 14.3%となっています。

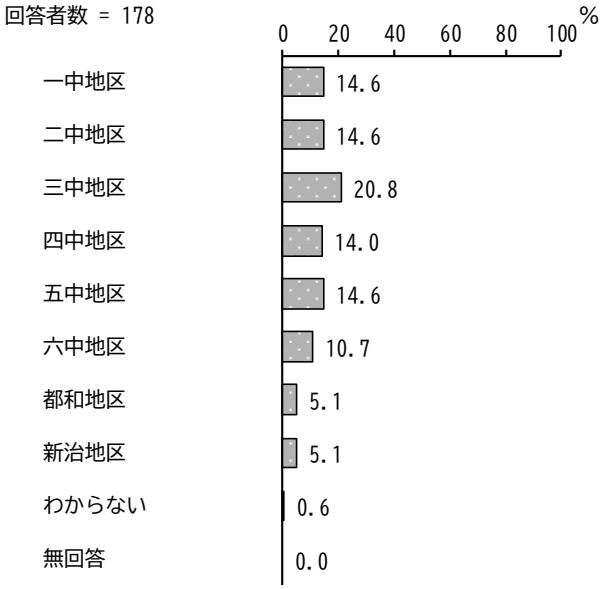


6　17 歳保護者

（１）あなたのこと、あなたの世帯のことについて

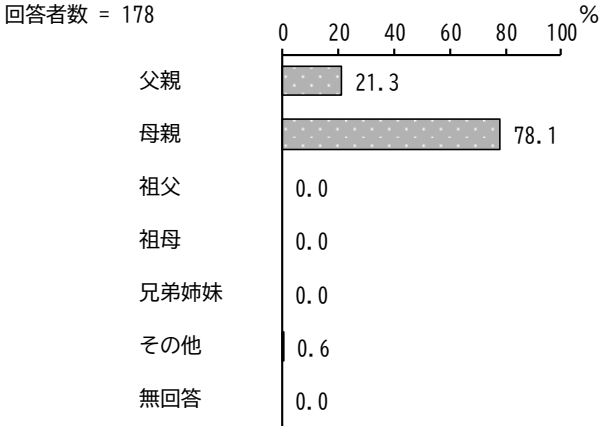
はじめに、お住まいの地区としてあてはまる番号１つを選択してください。

「三中地区」の割合が 20.8%と最も高く、次いで「一中地区」、「二中地区」、「五中地区」の割合が 14.6%となっています。



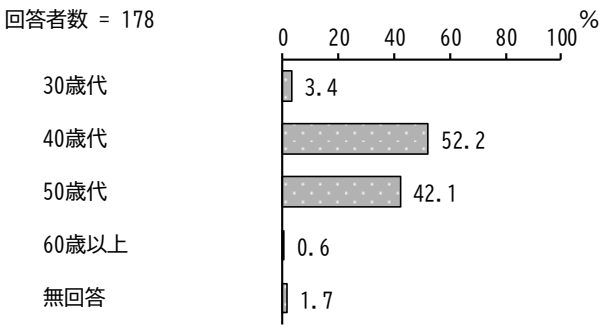
問１　お子さんとあなた（回答者）との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続き柄で、お答えください。（○は１つ）

「母親」の割合が 78.1%と最も高く、次いで「父親」の割合が 21.3%となっています。



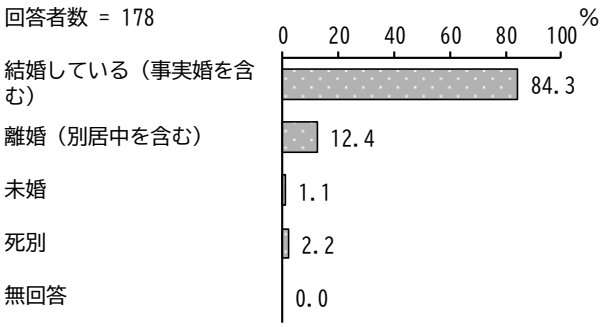
問２　あなたの年齢を教えてください。（枠内に数字で回答してください）

「40 歳代」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「50 歳代」の割合が 42.1%となっています。



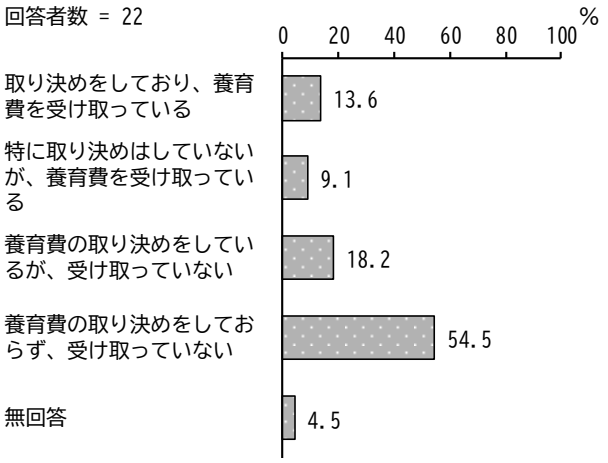
問３　現在のあなたの婚姻状況を教えてください。（○は１つ）

「結婚している（事実婚を含む）」の割合が 84.3%と最も高く、次いで「離婚（別居中を含む）」の割合が 12.4%となっています。



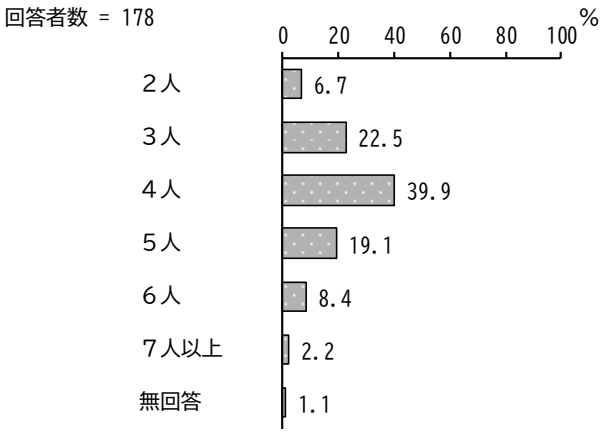
問３－１　問３で「２．離婚」を選んだ方にお伺いします。離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また、現在養育費を受け取っていますか。（○は１つ）

「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の割合が 18.2%、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の割合が 13.6%となっています。



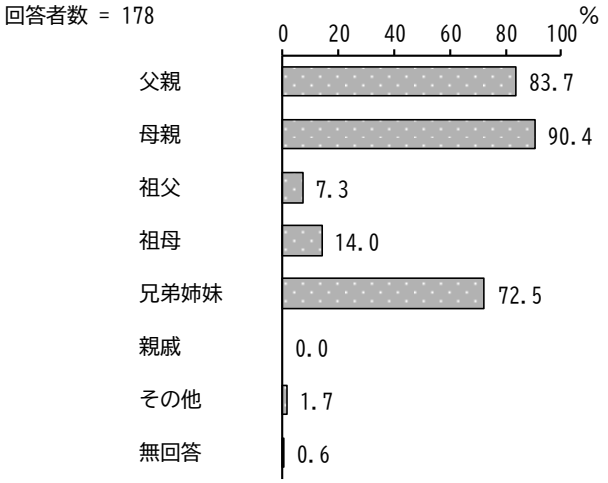
問４　お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください（あなたとお子さんも含む)。単身赴任などで別居しているご家族も含めてください。

「４人」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「３人」の割合が 22.5%、「５人」の割合が 19.1%となっています。



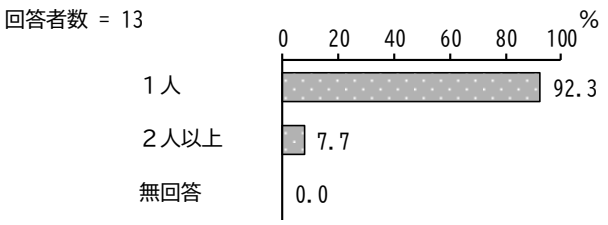
問５　お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。複数いる場合は、人数もお教えください。
（あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字で回答してください）

「母親」の割合が 90.4%と最も高く、次いで「父親」の割合が 83.7%、「兄弟姉妹」の割合が 72.5%となっています。



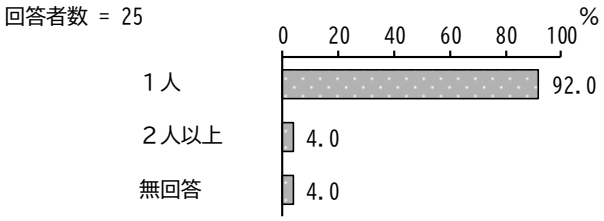
祖父の人数

「１人」の割合が 92.3%、「２人以上」の割合が 7.7%となっています。



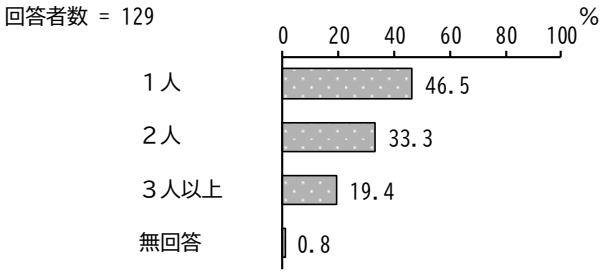
祖母の人数

「１人」の割合が 92.0%、「２人以上」の割合が 4.0%となっています。



兄弟姉妹の人数

「１人」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「２人」の割合が 33.3%、「３人以上」の割合が 19.4%となっています。

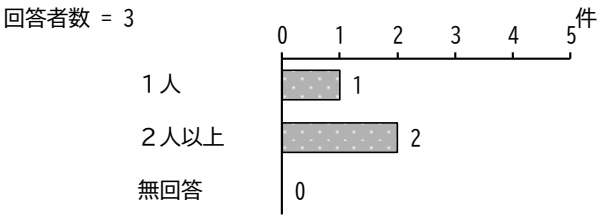


親戚の人数

有効回答がありませんでした。

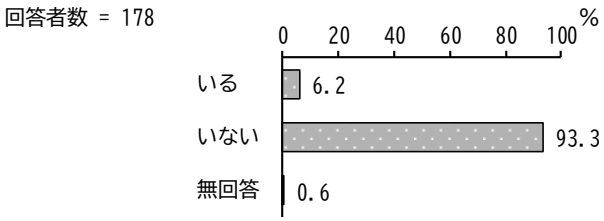
その他の人数

「１人」が１件、「２人以上」が２件となっています。



問６　お子さんと同居している大人の家族の中に、高齢・障がいまたは病気などによって、介護や看護が必要な方はいますか。（○は１つ）

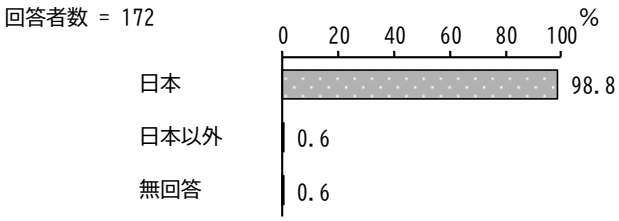
「いる」の割合が 6.2%、「いない」の割合が 93.3%となっています。



問７　お子さんのご両親の国籍を、教えてください。
（それぞれあてはまる番号１つに○）

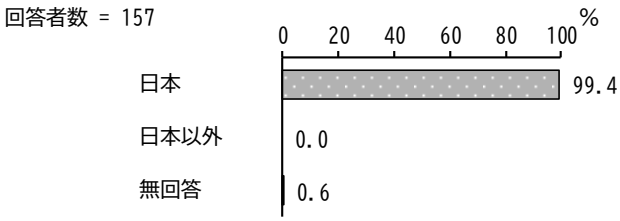
お母さん

「日本」の割合が 98.8%、「日本以外」の割合が 0.6%となっています。



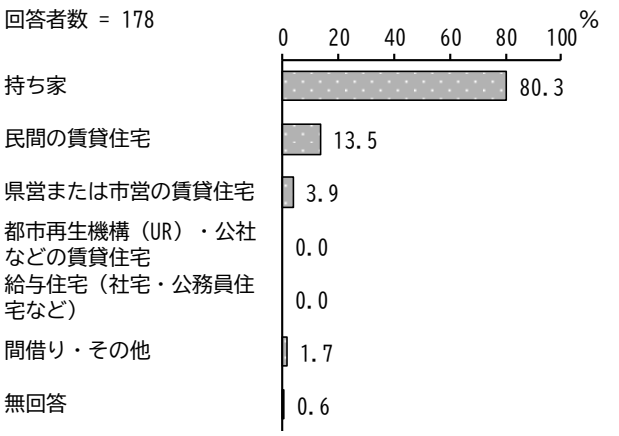
お父さん

「日本」の割合が 99.4%、「日本以外」の割合が 0.0%となっています。



問８　現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。
（○は１つ）

「持ち家」の割合が 80.3%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」の割合が 13.5%となっています。

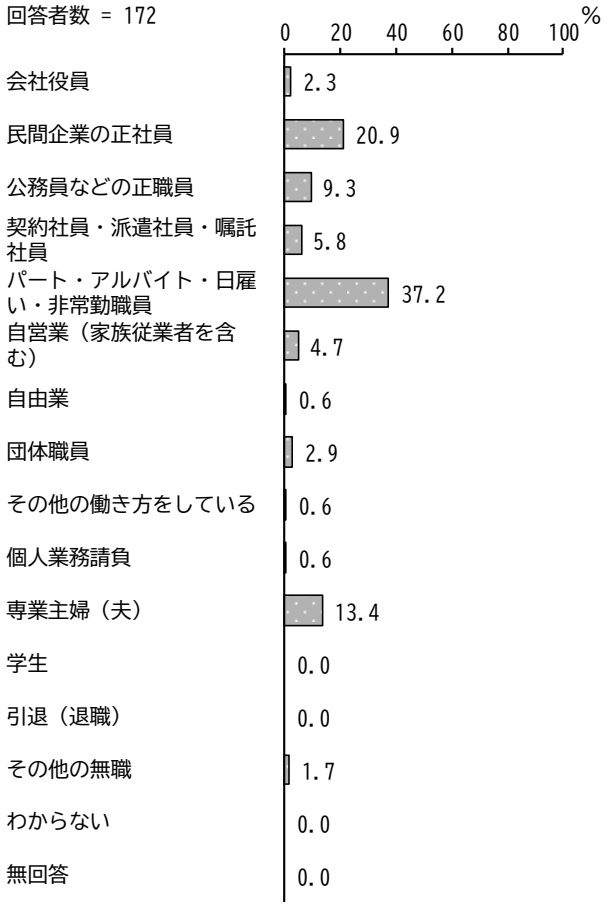


（２）お子さんのお母さんとお父さんの職業について

問９　お子さんのお母さんとお父さんの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。
お母さん、お父さんがいない場合は、空欄で結構です。
（それぞれ、あてはまる番号１つを□に書いてください）

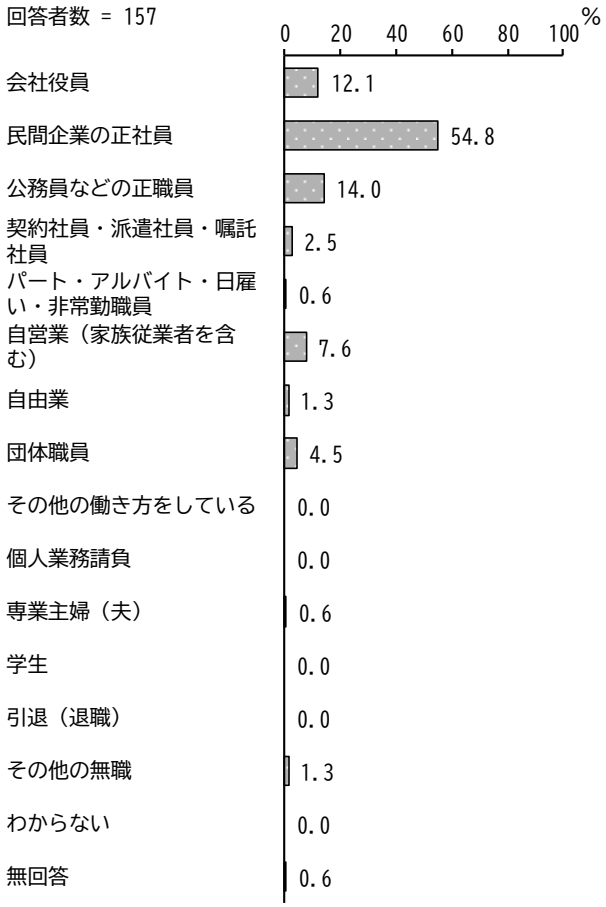
お母さん

「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「民間企業の正社員」の割合が 20.9%、「専業主婦（夫）」の割合が 13.4%となっています。



お父さん

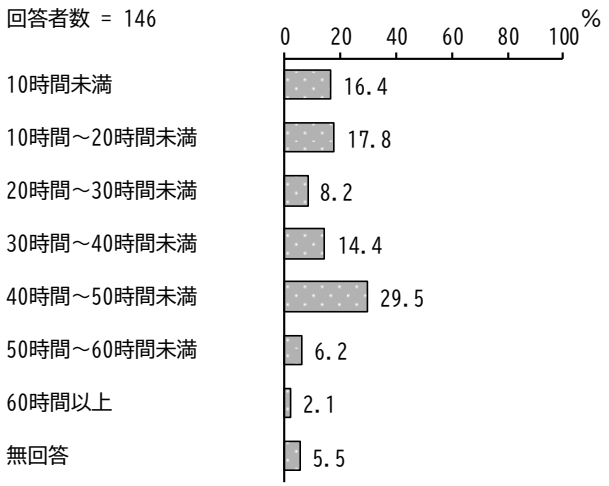
「民間企業の正社員」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「公務員などの正職員」の割合が 14.0%、「会社役員」の割合が 12.1%となっています。



問９－１　問９で「１」～「10」を選んだ方におうかがいします。１週間に平均何時間、お仕事をされていますか。（枠内に数字で回答してください）
※複数のお仕事をもっていらっしゃる場合は合算してください。

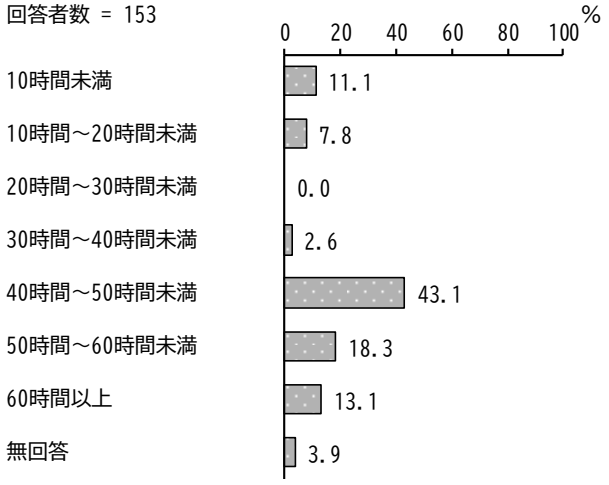
お母さん

「40 時間～50 時間未満」の割合が 29.5%と最も高く、次いで「10 時間～20 時間未満」の割合が 17.8%、「10 時間未満」の割合が 16.4%となっています。



お父さん

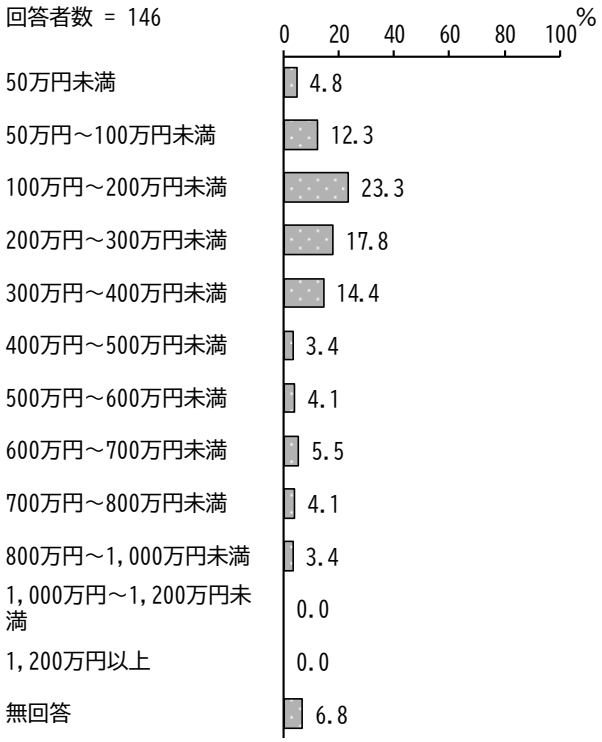
「40 時間～50 時間未満」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「50 時間～60 時間未満」の割合が 18.3%、「60 時間以上」の割合が 13.1%となっています。



問９－２　問９で「１」～「10」を選んだ方におうかがいします。昨年１年間（令和５年１月～12 月）を合計したお仕事からの収入（税込）は、およそいくらですか。
（枠内に数字で回答してください）
※収入なしの場合には、０をご記入ください。

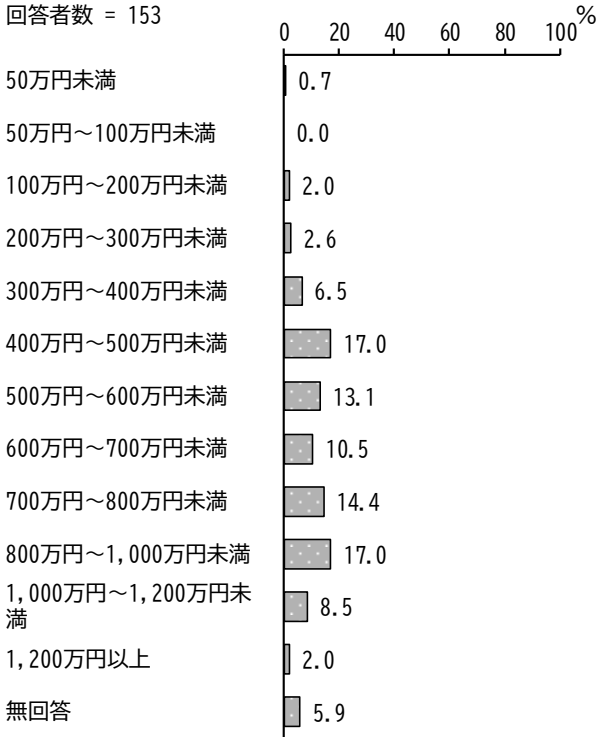
お母さん

「100 万円～200 万円未満」の割合が 23.3%と最も高く、次いで「200 万円～300 万円未満」の割合が 17.8%、「300 万円～400 万円未満」の割合が 14.4%となっています。



お父さん

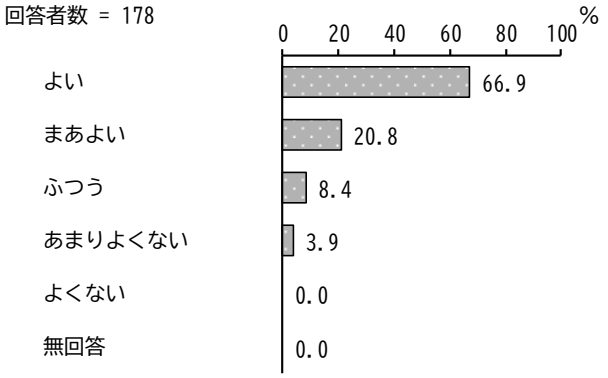
「400 万円～500 万円未満」、「800 万円～1,000 万円未満」の割合が 17.0%と最も高く、次いで「700 万円～800 万円未満」の割合が 14.4%となっています。



（３）お子さんの健康状態について

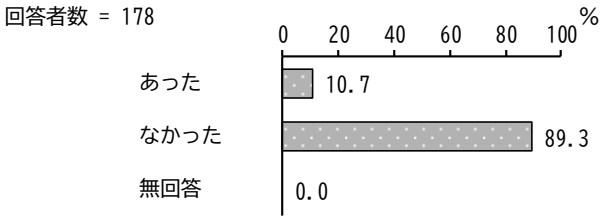
問 10　お子さんの健康状態について最も近いものに○をつけてください。（○は１つ）

「よい」の割合が 66.9%と最も高く、次いで「まあよい」の割合が 20.8%となっています。



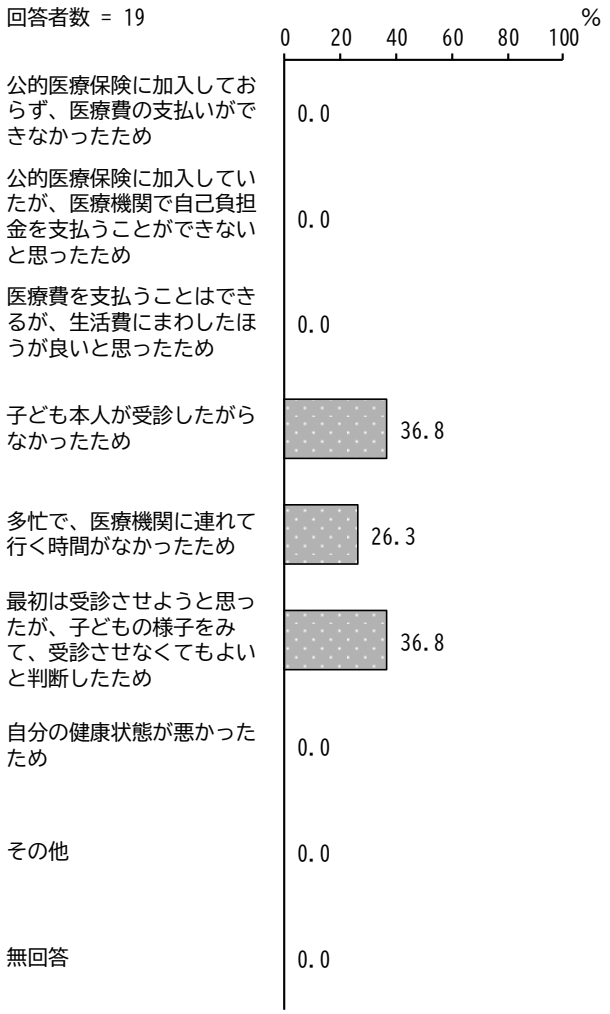
問 11　過去１年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。（○は１つ）

「あった」の割合が 10.7%、「なかった」の割合が 89.3%となっています。



問11－1　問11で「1　あった」を選んだ方におうかがいします。その理由は、何ですか。以下の中から、最も近いものに○をつけてください。（○は1つ）

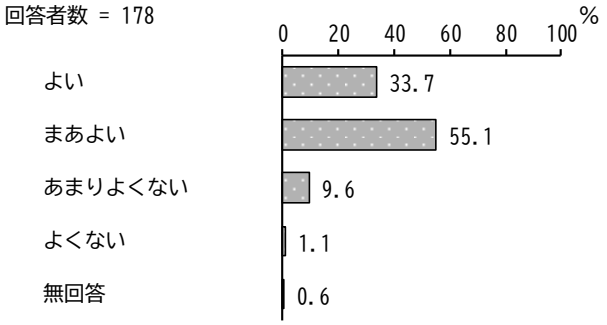
「子ども本人が受診したがらなかったため」、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため」の割合が36.8%と最も高く、次いで「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の割合が26.3%となっています。



（４）あなた（回答者）について

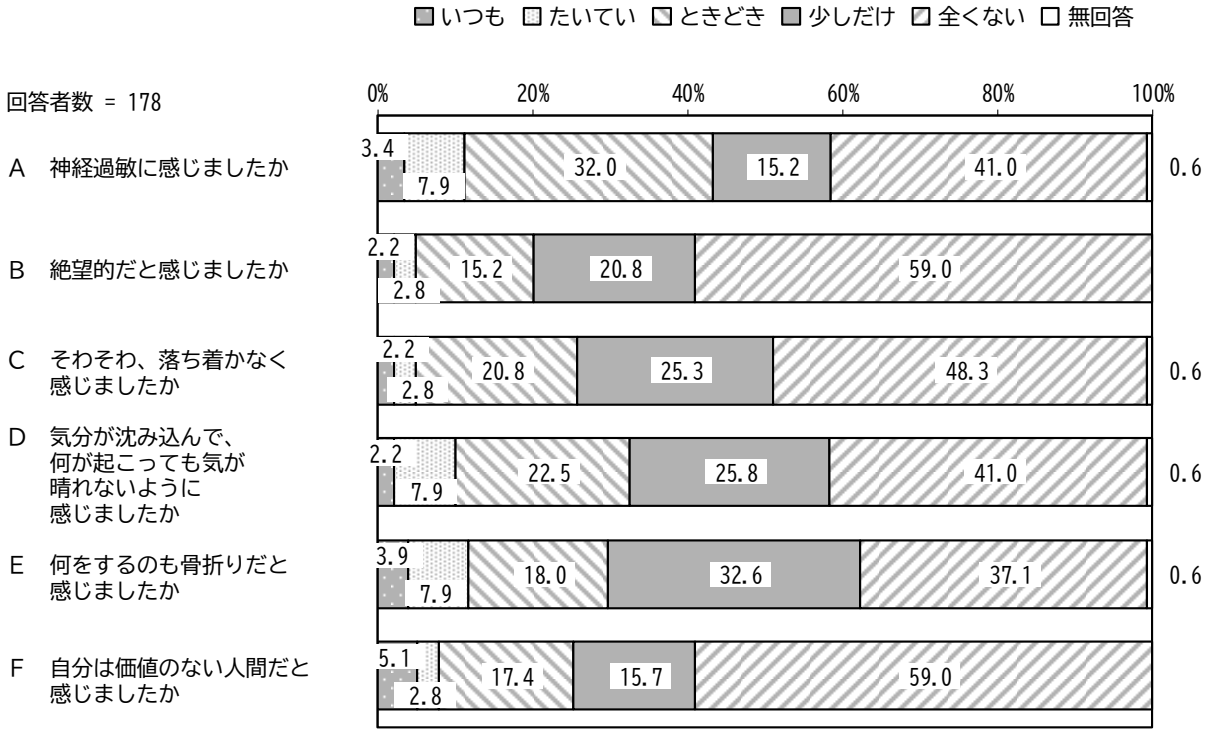
問 12　あなたの健康状態について最も近いものに○をつけてください。（○は１つ）

「まあよい」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「よい」の割合が 33.7%となっています。



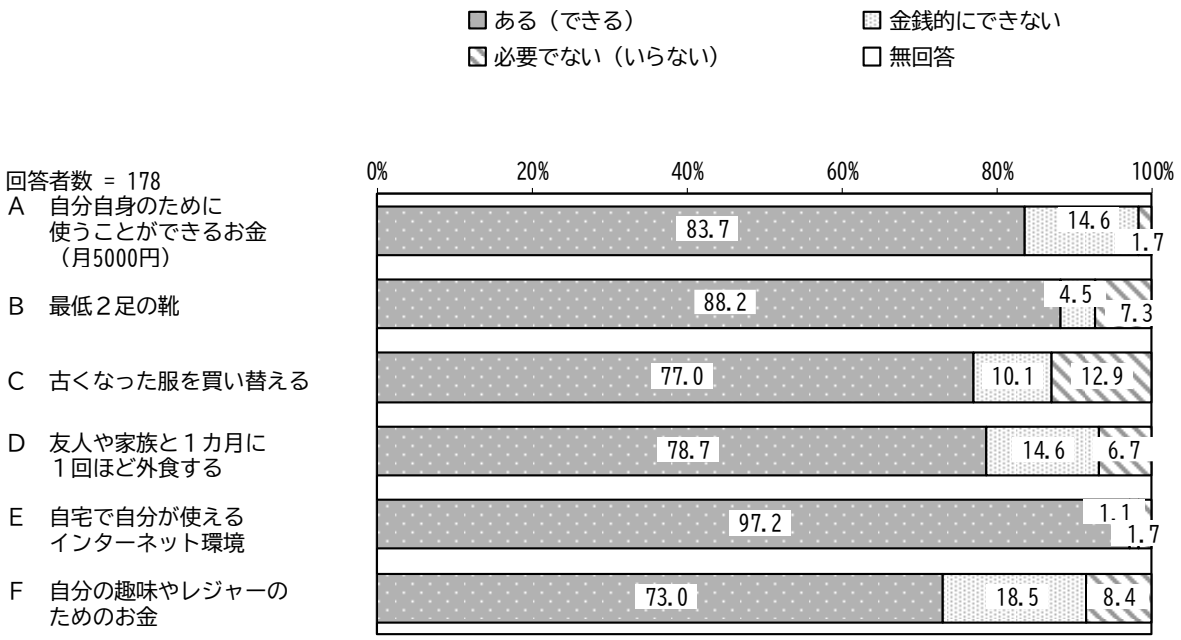
問 13　次のＡからＦの質問について、あなたは、ここ１か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

『Ａ　神経過敏に感じましたか』で「ときどき」の割合が、『Ｅ　何をするのも骨折りだと感じましたか』で「少しだけ」の割合が高くなっています。また、『Ｂ　絶望的だと感じましたか』『Ｆ自分は価値のない人間だと感じましたか』で「全くない」の割合が高くなっています。



問 14　あなた自身には、自分が持っている（できる）以下のものがありますか。「ある（できる）」、「金銭的にできない」「必要でない（いらない）」のうち最もあてはまるものに○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

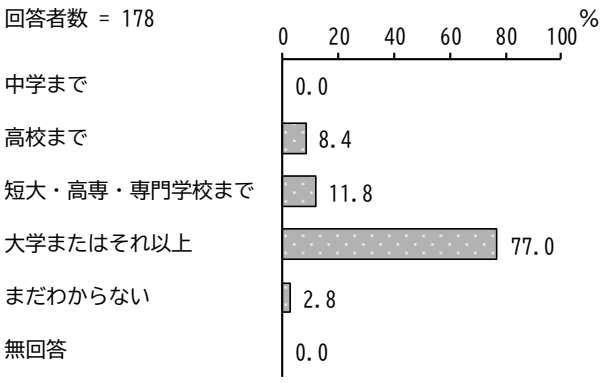
『Ｅ　自宅で自分が使えるインターネット環境』で「ある（できる）」の割合が、『Ｆ　自分の趣味やレジャーのためのお金』で「金銭的にできない」の割合が高くなっています。また、『Ｃ古くなった服を買い替える』で「必要でない（いらない）」の割合が高くなっています。



（５）お子さんにしていることについて

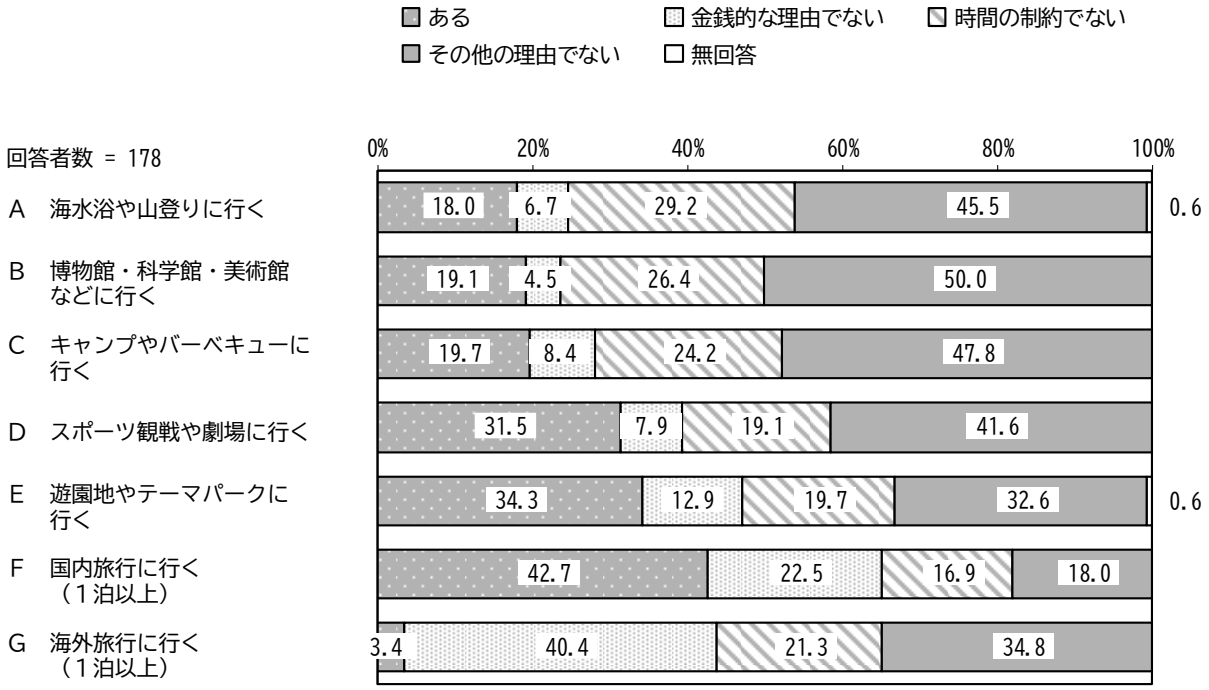
問 15　お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。（○は１つ）

「大学またはそれ以上」の割合が 77.0%と最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」の割合が 11.8%となっています。



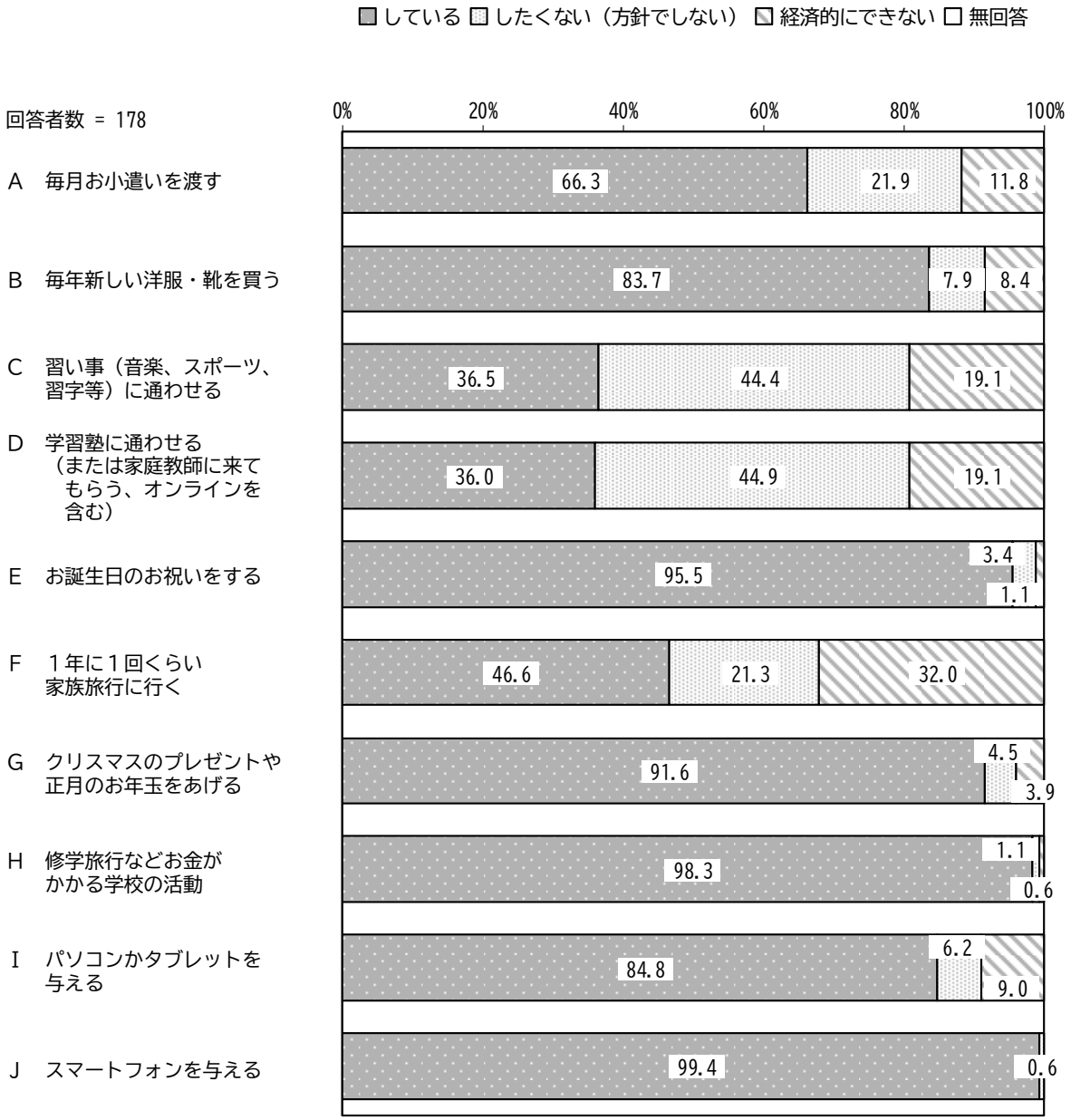
問 16　過去１年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。（それぞれ、○は１つ）

『Ｆ　国内旅行に行く（１泊以上)』で「ある」の割合が、『Ｇ　海外旅行に行く（１泊以上)』で「金銭的な理由でない」の割合が高くなっています。また、『Ａ　海水浴や山登りに行く』で「時間の制約でない」の割合が高くなっています。



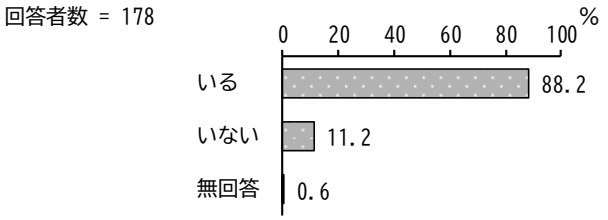
問17　あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。Ａ～Ｊについて、「１している」「２していない、したくない（方針でしない）」「３していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。
（それぞれ、○は１つ）

『Ｈ　修学旅行などお金がかかる学校の活動』『Ｊ　スマートフォンを与える』で「している」の割合が、『Ｃ　習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる』『Ｄ　学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう、オンラインを含む）』で「したくない（方針でしない）」の割合が高くなっています。また、『Ｆ　１年に１回くらい家族旅行に行く』で「経済的にできない」の割合が高くなっています。



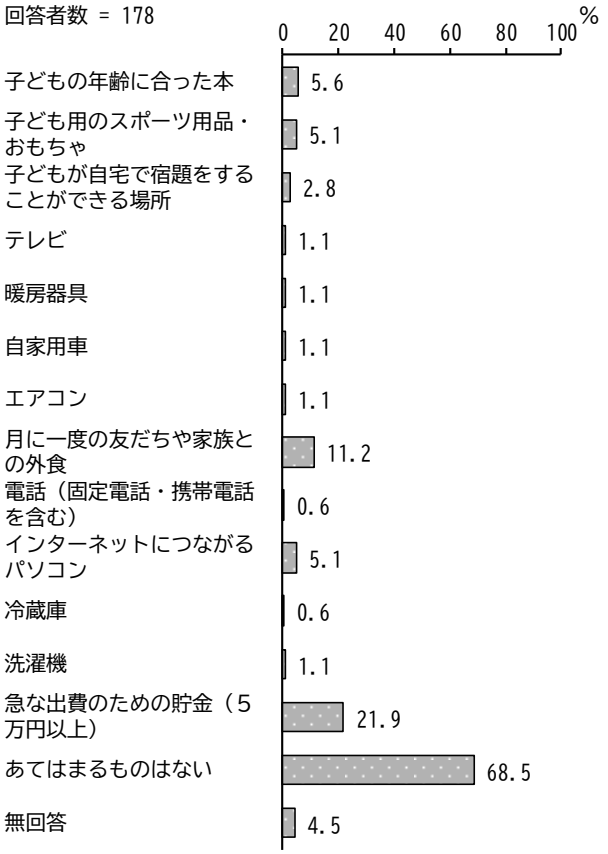
問 18　あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。（○は１つ）

「いる」の割合が 88.2%、「いない」の割合が 11.2%となっています。



問 19　次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「あてはまるものはない」の割合が 68.5%と最も高く、次いで「急な出費のための貯金（５万円以上）」の割合が 21.9%、「月に一度の友だちや家族との外食」の割合が 11.2%となっています。

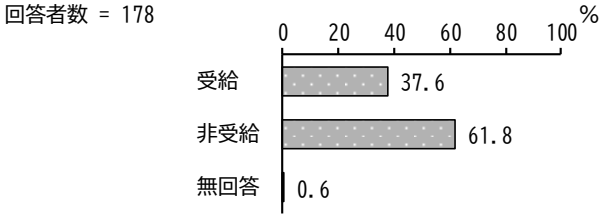


（６）家計の状況について

問 20　あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金を受給していますか。
（受給か非受給に○）
※該当する収入がない場合には、０とご記入ください。
※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含みます。
※「児童手当」は 15 歳までのお子さんのための手当です（所得制限あり）。「児童育成手当」「児童扶養手当」は、所得が一定水準以下のひとり親世帯等のための手当です。

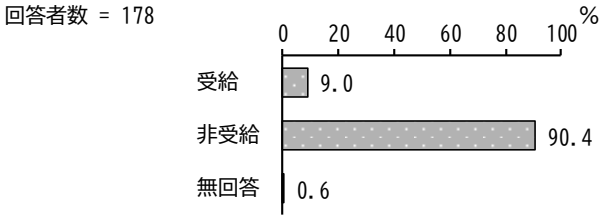
A　児童手当

「受給」の割合が 37.6%、「非受給」の割合が 61.8%となっています。



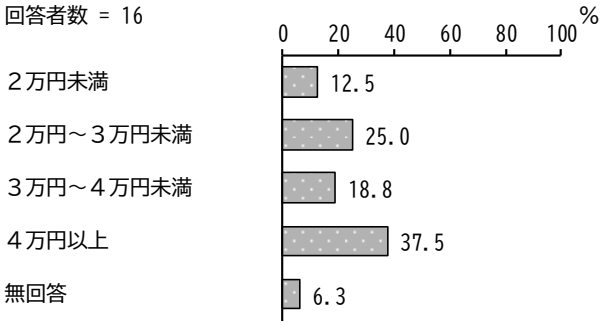
B　児童扶養手当（所得制限以下のひとり親世帯等への給付）

「受給」の割合が 9.0%、「非受給」の割合が 90.4%となっています。



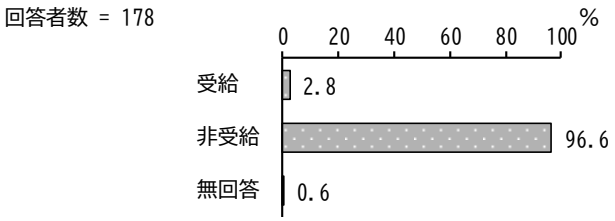
金額（１カ月あたり）

「４万円以上」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「２万円～３万円未満」の割合が 25.0%、「３万円～４万円未満」の割合が 18.8%となっています。



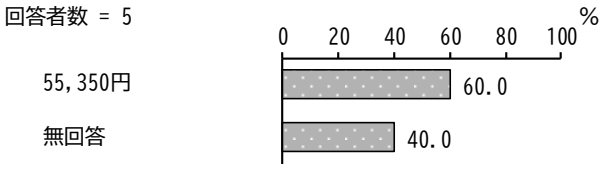
C　特別児童扶養手当（障がいのあるお子さんへの給付）

「受給」の割合が 2.8%、「非受給」の割合が 96.6%となっています。



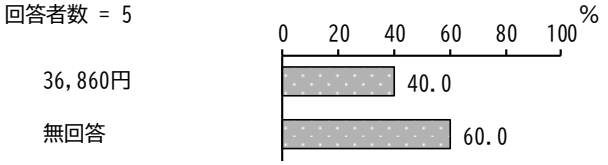
１級　金額（１カ月あたり）

「55,350 円」の割合が 60.0%となっています。



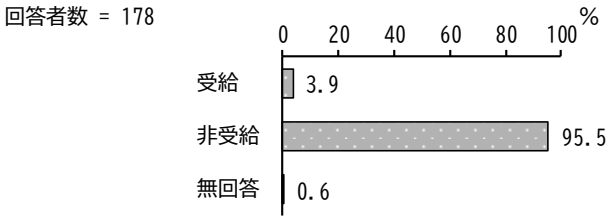
２級　金額（１カ月あたり）

「36,860 円」の割合が 40.0%となっています。



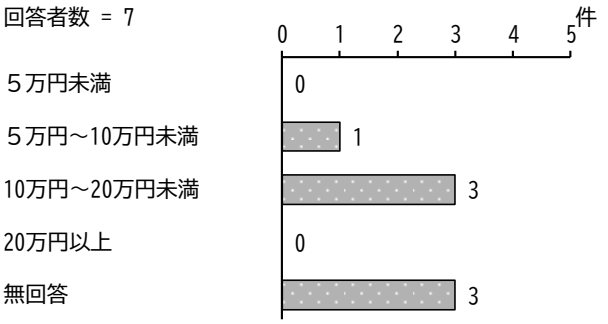
D　年金（遺族年金、老齢年金など）

「受給」の割合が 3.9%、「非受給」の割合が 95.5%となっています。



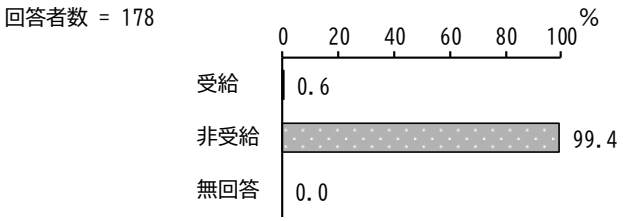
金額（１カ月あたり）

「10 万円～20 万円未満」が３件となっています。「５万円～10 万円 未満」が１件となっています。



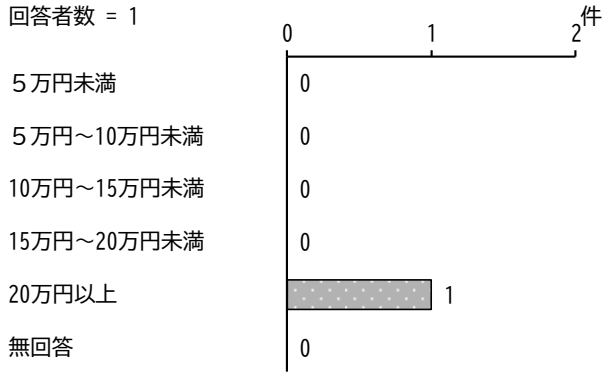
E　生活保護

「受給」の割合が 0.6%、「非受給」の割合が 99.4%となっています。



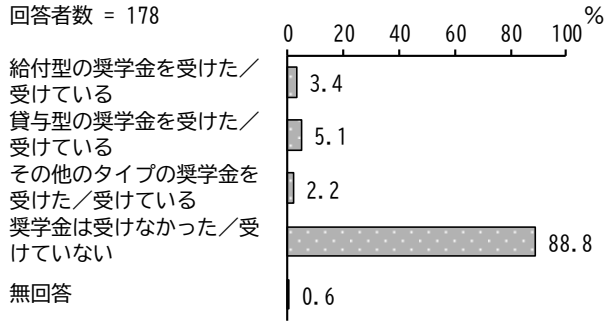
金額（１カ月あたり）

「20 万円以上」が１件となっています。



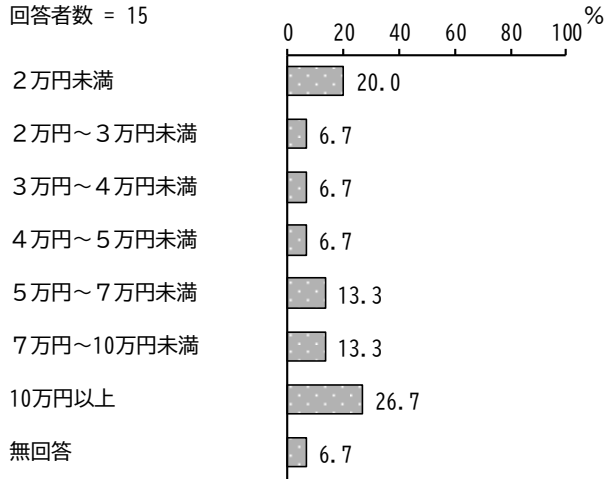
問 20－１　お子さんは、奨学金を受けましたか（受けていますか）。複数受けている場合は、直近のものについて教えてください。（○は１つ）

「奨学金は受けなかった／受けていない」の割合が 88.8%と最も高くなっています。



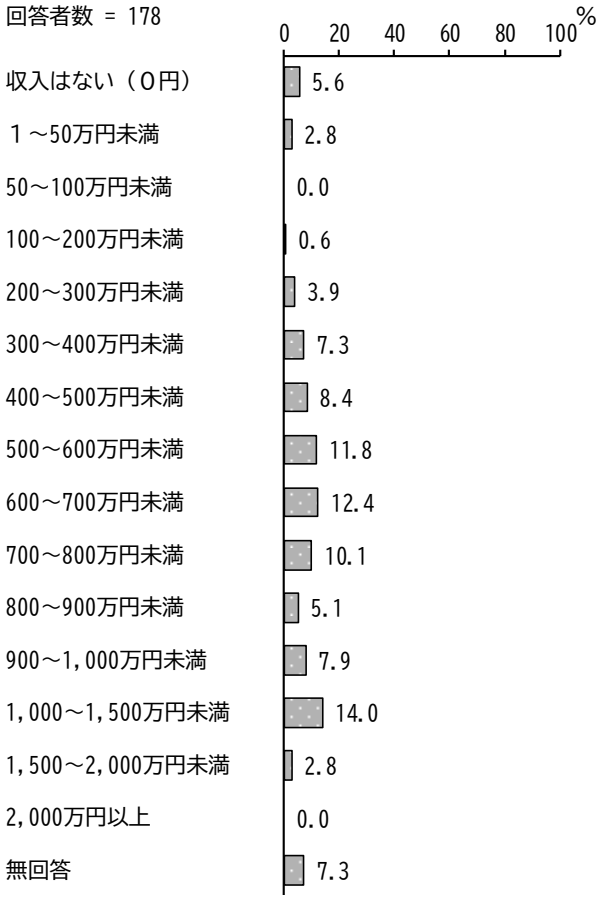
問 20－２「１　給付型の奨学金」または「２　貸与型の奨学金」を受けた（受けている）方におうかがいします。お子さんが、受けていた（受けている）奨学金は、１か月あたりいくらですか。

「10 万円以上」の割合が 26.7%と最も高く、次いで「２万円未満」の割合が 20.0%、「５万円～７万円未満」、「７万円～10 万円未満」の割合が 13.3%となっています。



問 21　上記問 20 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、およその年間収入はいくらですか。(○は１つ)
※収入には、勤労収入（パート、アルバイトを含む)、事業収入（自営業等)、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金を含みますが、上記問 20 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金は除いてお考えください。
※複数の収入源がある場合（お父さんが勤労収入、お母さんに事業収入など）は、おおよその合算値(合計額)を教えてください。

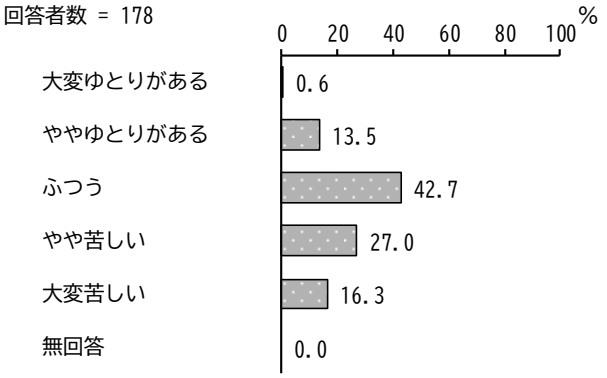
「1,000～1,500 万円未満」の割合が 14.0%と最も高く、次いで「600～700 万円未満」の割合が 12.4%、「500～600 万円未満」の割合が 11.8%となっています。



（７）あなたのご家庭での生活について

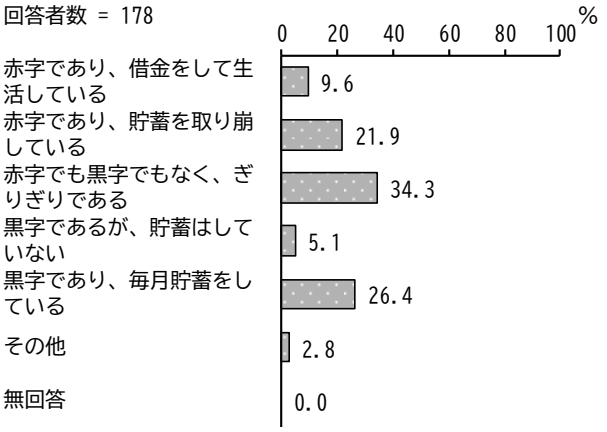
問 22　現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（○は１つ）

「ふつう」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 27.0%、「大変苦しい」の割合が 16.3%となっています。



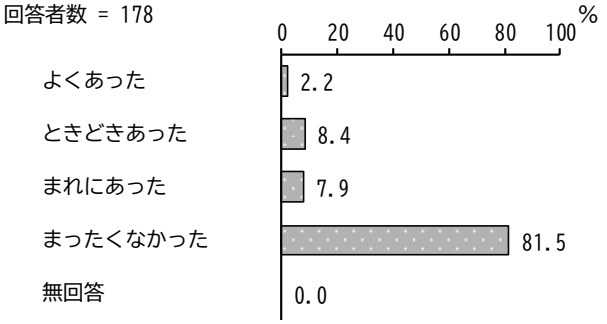
問 23　ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。（○は１つ）

「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「黒字であり、毎月貯蓄をしている」の割合が 26.4%、「赤字であり、貯蓄を取り崩している」の割合が 21.9%となっています。



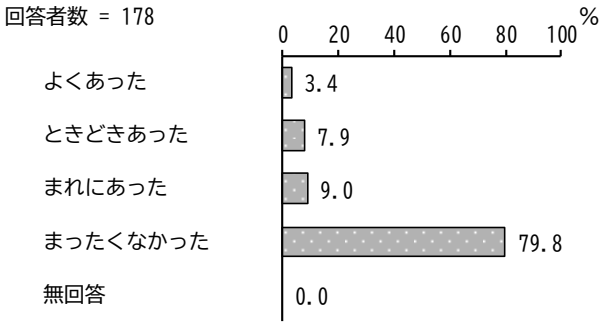
問 24　あなたのご家庭では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。（○は１つ）

「まったくなかった」の割合が 81.5%と最も高くなっています。



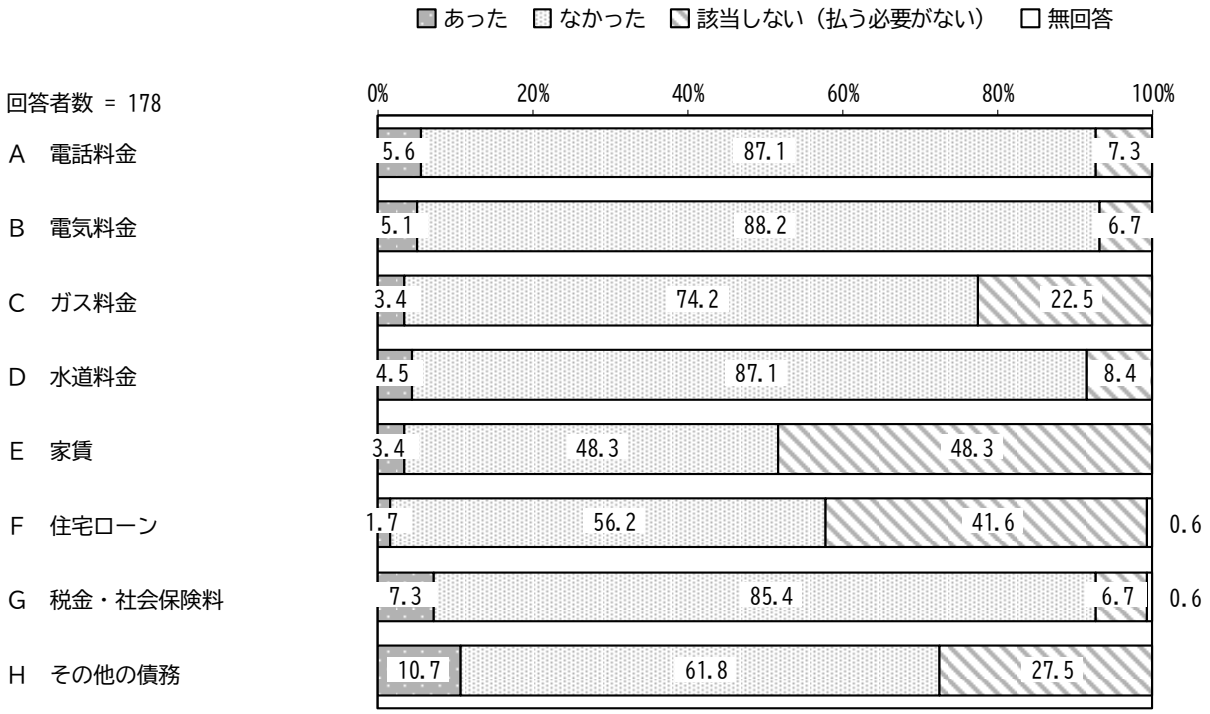
問 25　あなたのご家庭では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。（○は１つ）

「まったくなかった」の割合が 79.8%と最も高くなっています。



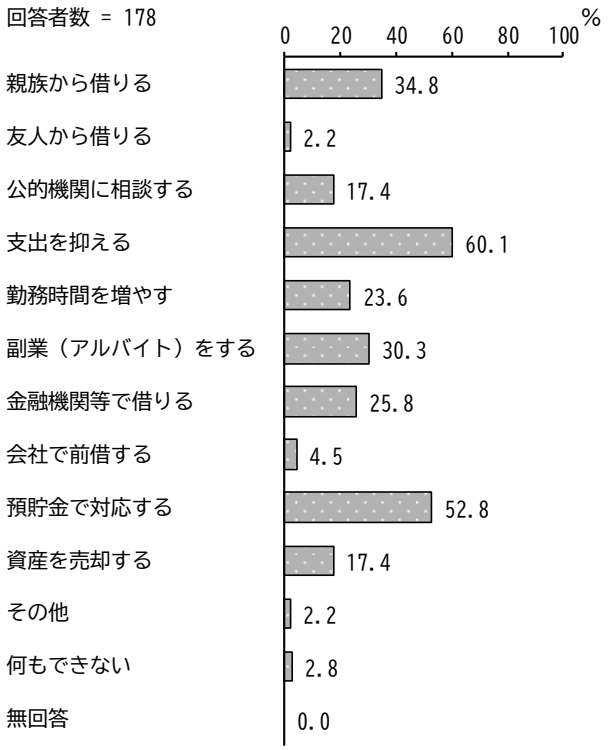
問 26　過去１年の間に、経済的な理由で、以下のＡ～Ｈのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。（それぞれ、○は１つ）

『Ｈ　その他の債務』で「あった」の割合が、『Ａ　電話料金』『Ｂ　電気料金』『Ｄ　水道料金』で「なかった」の割合が高くなっています。また、『Ｅ　家賃』で「該当しない（払う必要がない）」の割合が高くなっています。



問 27　あなたのご家庭が、金銭的に困った状況に置かれたときに、どのような対応が可能ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「支出を抑える」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「預貯金で対応する」の割合が 52.8%、「親族から借りる」の割合が 34.8%となっています。

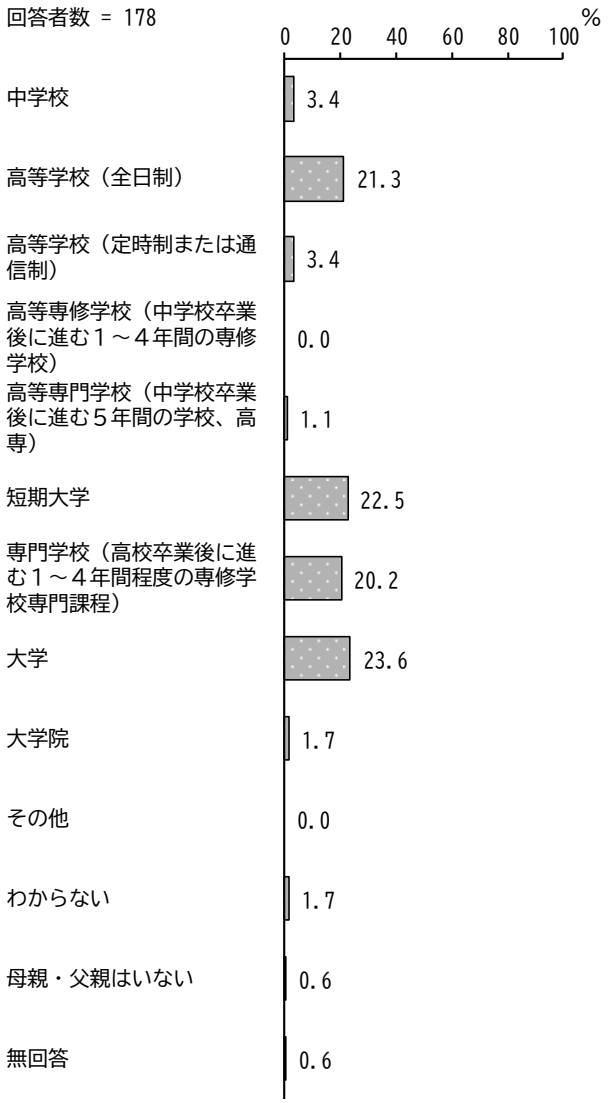


（８）お子さんのお母さんとお父さんのこれまでのご経験について

問 28　お子さんのお母さん・お父さんが、最後に卒業した学校は次のどれですか。
（それぞれ、あてはまる番号１つを□に書いてください）

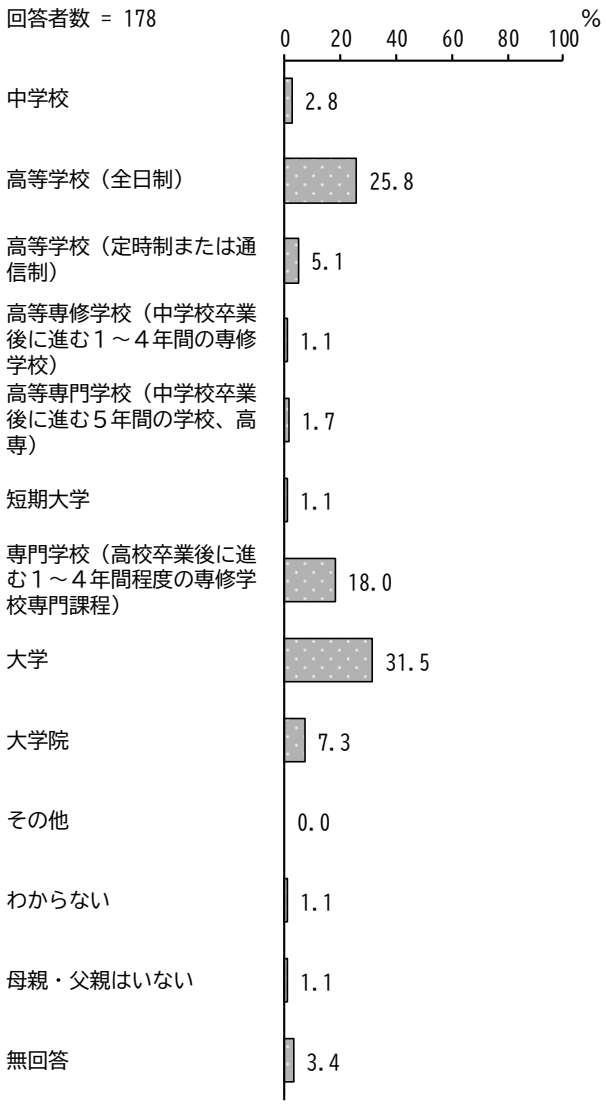
お母さん

「大学」の割合が 23.6%と最も高く、次いで「短期大学」の割合が 22.5%、「高等学校（全日制）」の割合が 21.3%となっています。



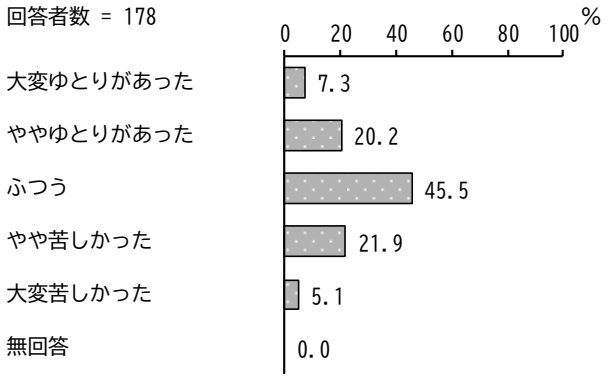
お父さん

「大学」の割合が 31.5%と最も高く、次いで「高等学校（全日制）」の割合が 25.8%、「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」の割合が 18.0%となっています。



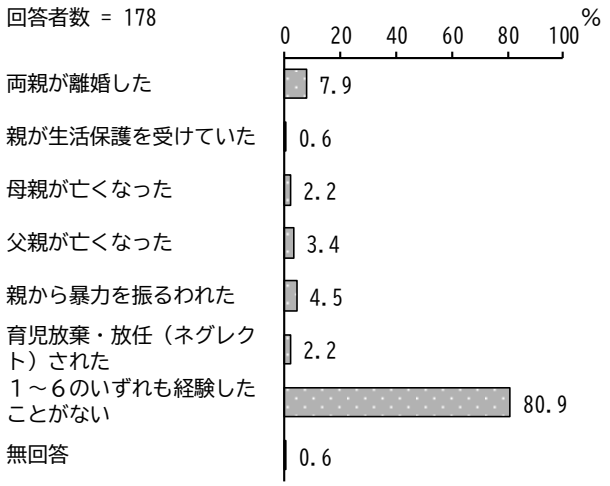
問 29　あなたが 15 歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。（○は１つ）

「ふつう」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「やや苦しかった」の割合が 21.9%、「ややゆとりがあった」の割合が 20.2%となっています。



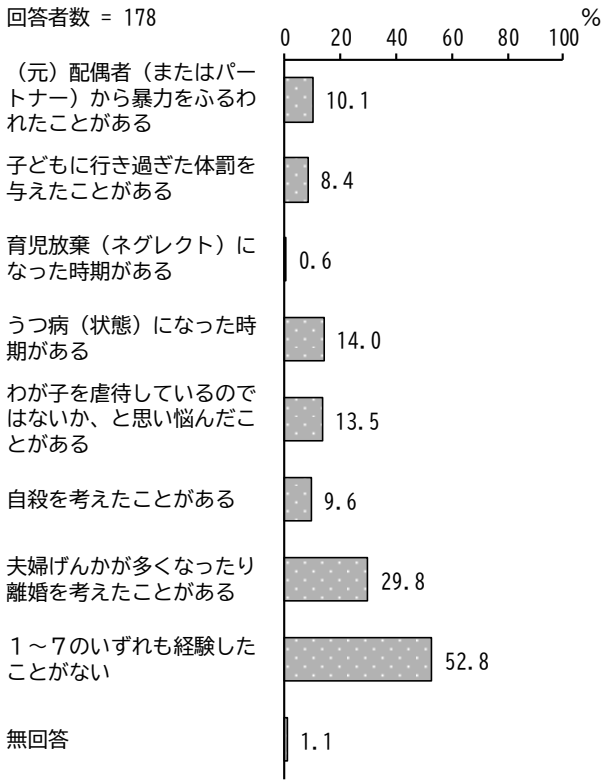
問 30　あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「１～６のいずれも経験したことがない」の割合が 80.9%と最も高くなっています。



問 31　あなたはお子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

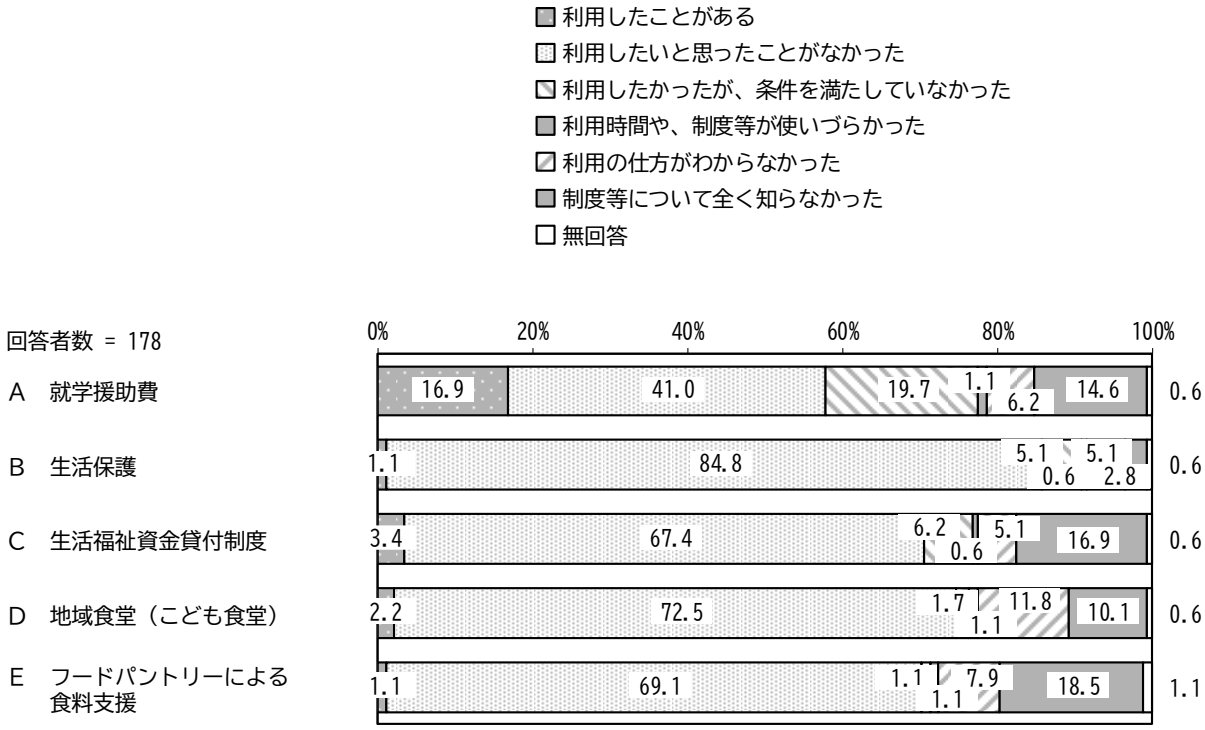
「１～７のいずれも経験したことがない」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「夫婦げんかが多くなったり離婚を考えたことがある」の割合が 29.8%、「うつ病（状態）になった時期がある」の割合が 14.0%となっています。



（９）公的支援の利用状況について

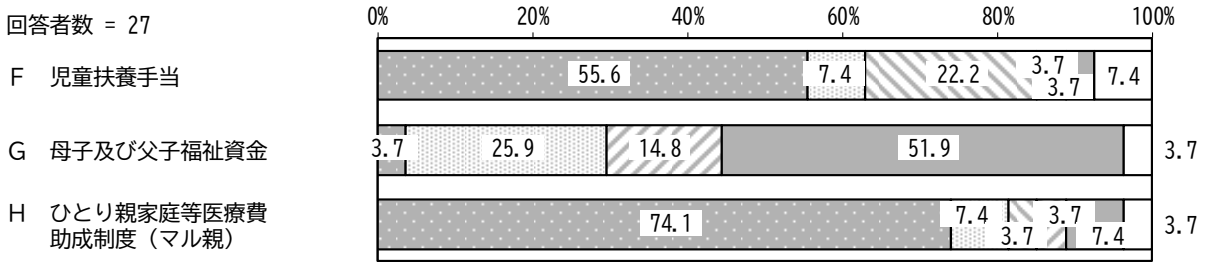
問 32　あなたのご家庭では、（１）以下のＡ～Ｉの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。

『Ａ　就学援助費』で「利用したことがある」「利用したかったが、条件を満たしていなかった」の割合が、『Ｂ　生活保護』で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



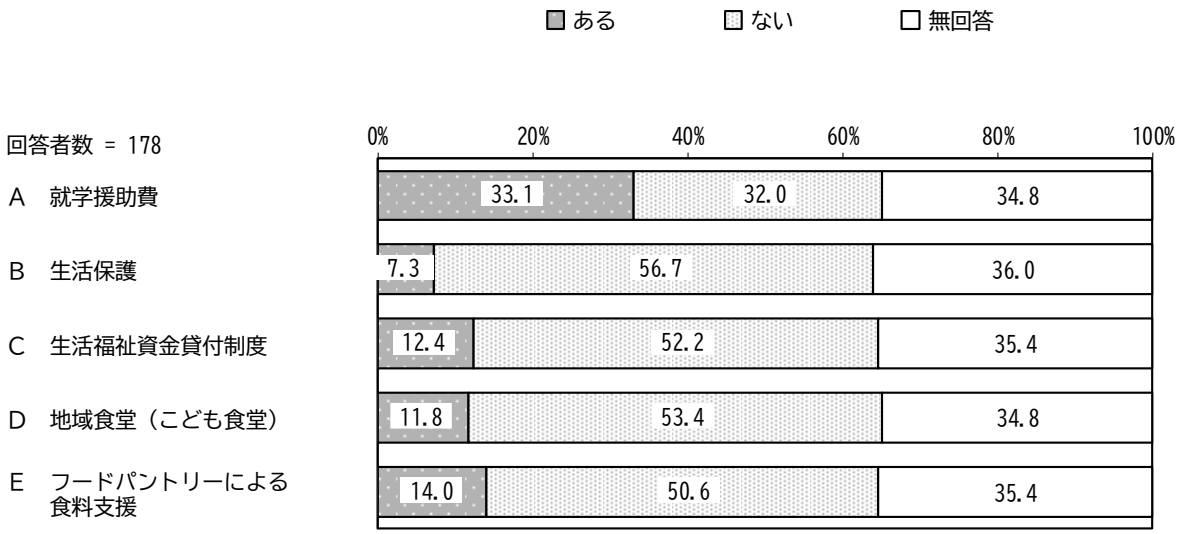
以下は、ひとり親世帯向けの制度です。ひとり親世帯の方のみお答えください。

『Ｆ　児童扶養手当』『Ｈ　ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親）』で「利用したことがある」の割合が高くなっています。一方、『Ｇ　母子及び父子福祉資金』で「利用したいと思ったことがなかった」「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



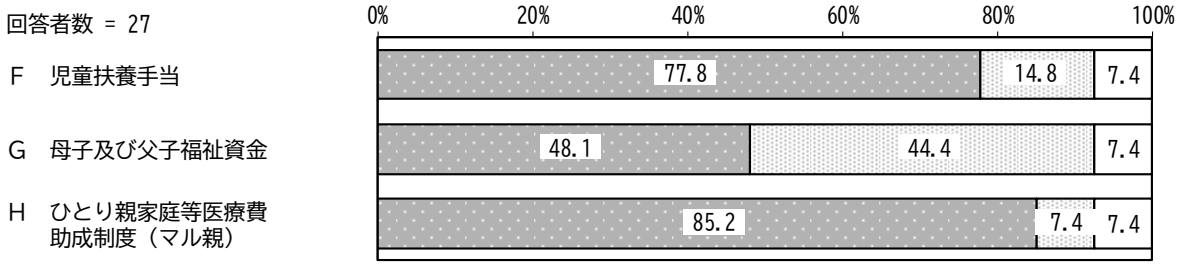
（２）（利用したことがある人にも、ない人にもお聞きします）今後、利用することに興味がありますか。（あるかないに○）

『Ａ　就学援助費』で「ある」の割合が高くなっています。



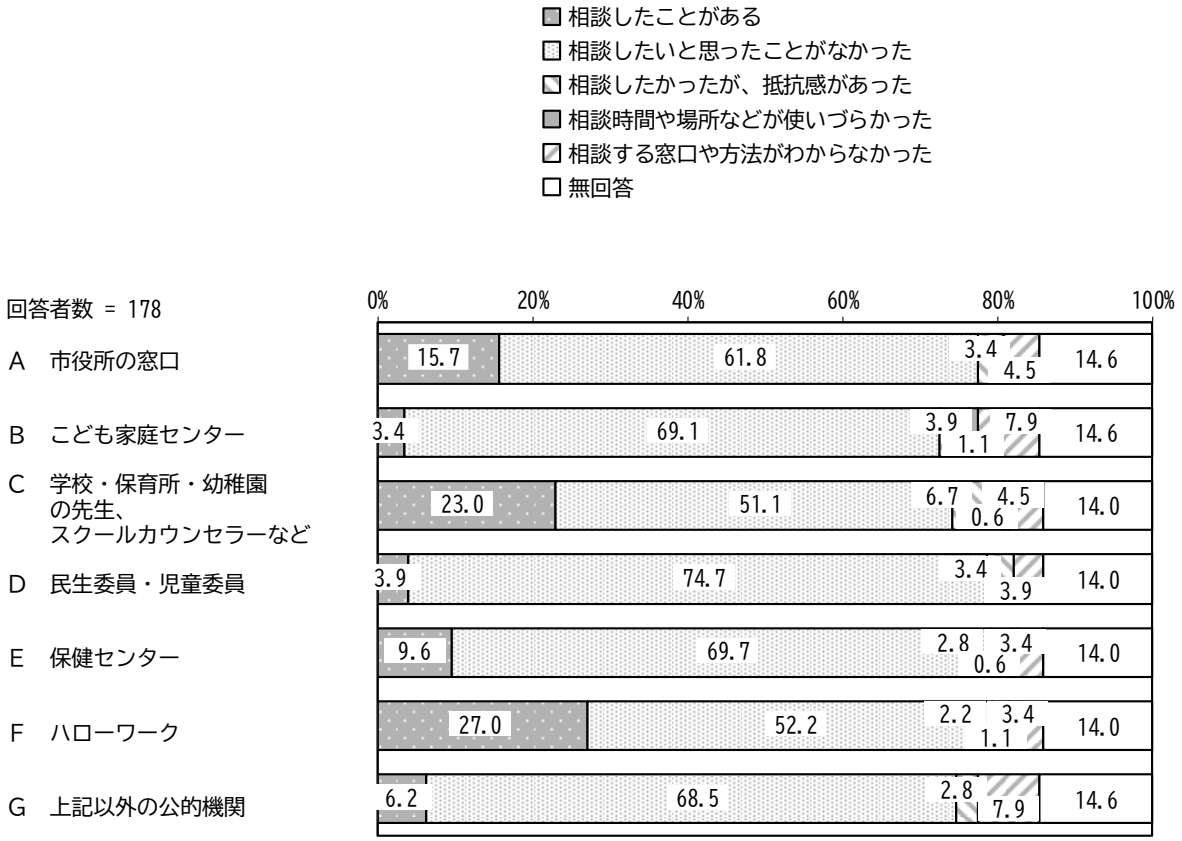
以下は、ひとり親世帯向けの制度です。ひとり親世帯の方のみお答えください。

『Ｆ　児童扶養手当』『Ｈ　ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親）』で「ある」の割合が高くなっています。一方、『Ｇ　母子及び父子福祉資金』で「ない」の割合が高くなっています。



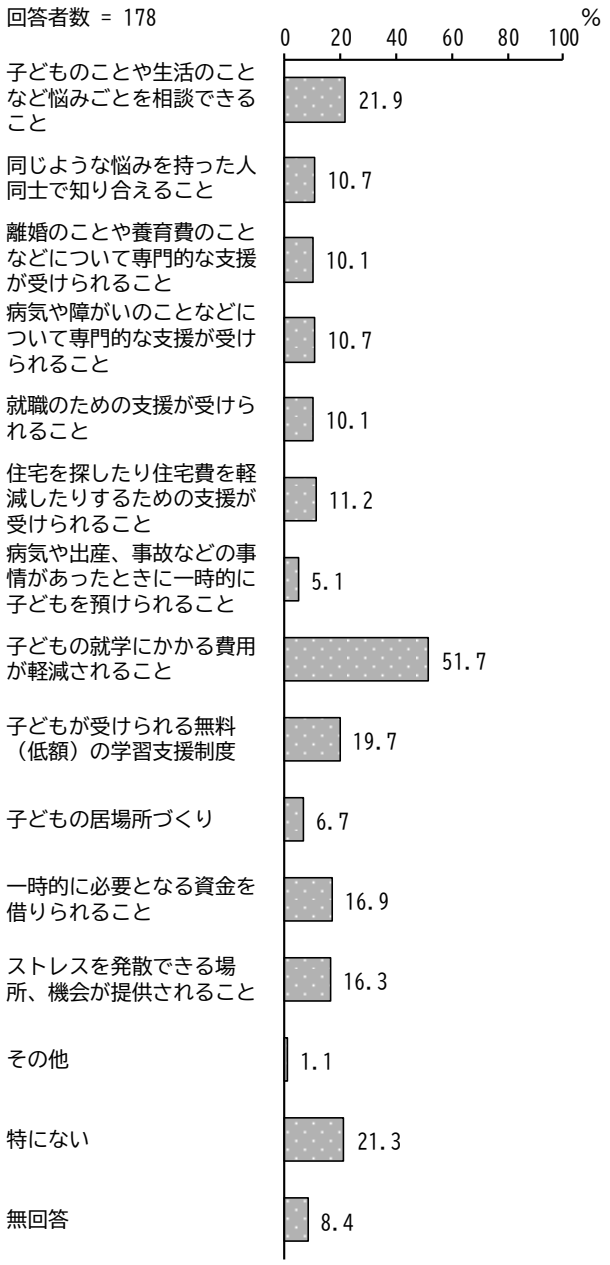
問 33　あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

『Ｆ　ハローワーク』で「相談したことがある」の割合が、『Ｄ　民生委員・児童委員』で「相談したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。また、『Ｂ　こども家庭センター』『Ｇ　上記以外の公的機関』で「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が高くなっています。



問 34　あなたが現在必要としていることで、重要だと思う支援等はどのようなものですか。（あてはまる番号すべてに○）

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が 21.9%、「特にない」の割合が 21.3%となっています。



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯で「一時的に必要となる資金を借りられること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
全　体	178	21.9	10.7	10.1	10.7	10.1	11.2	5.1
ひとり親世帯	25	16.0	8.0	12.0	－	12.0	20.0	4.0
２世帯	114	21.1	10.5	8.8	11.4	10.5	11.4	6.1
３世帯	26	26.9	11.5	15.4	15.4	11.5	7.7	－
その他（不明等）	13	30.8	15.4	7.7	15.4	－	－	7.7

区分	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度	子どもの居場所づくり	一時的に必要となる資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他	特にない	無回答
全　体	51.7	19.7	6.7	16.9	16.3	1.1	21.3	8.4
ひとり親世帯	72.0	28.0	4.0	40.0	16.0	－	20.0	－
２世帯	48.2	16.7	6.1	12.3	13.2	1.8	21.1	11.4
３世帯	53.8	19.2	7.7	7.7	23.1	－	23.1	3.8
その他（不明等）	38.5	30.8	15.4	30.8	30.8	－	23.1	7.7

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の２分の１未満で「一時的に必要となる資金を借りられること」の割合が高くなっています。

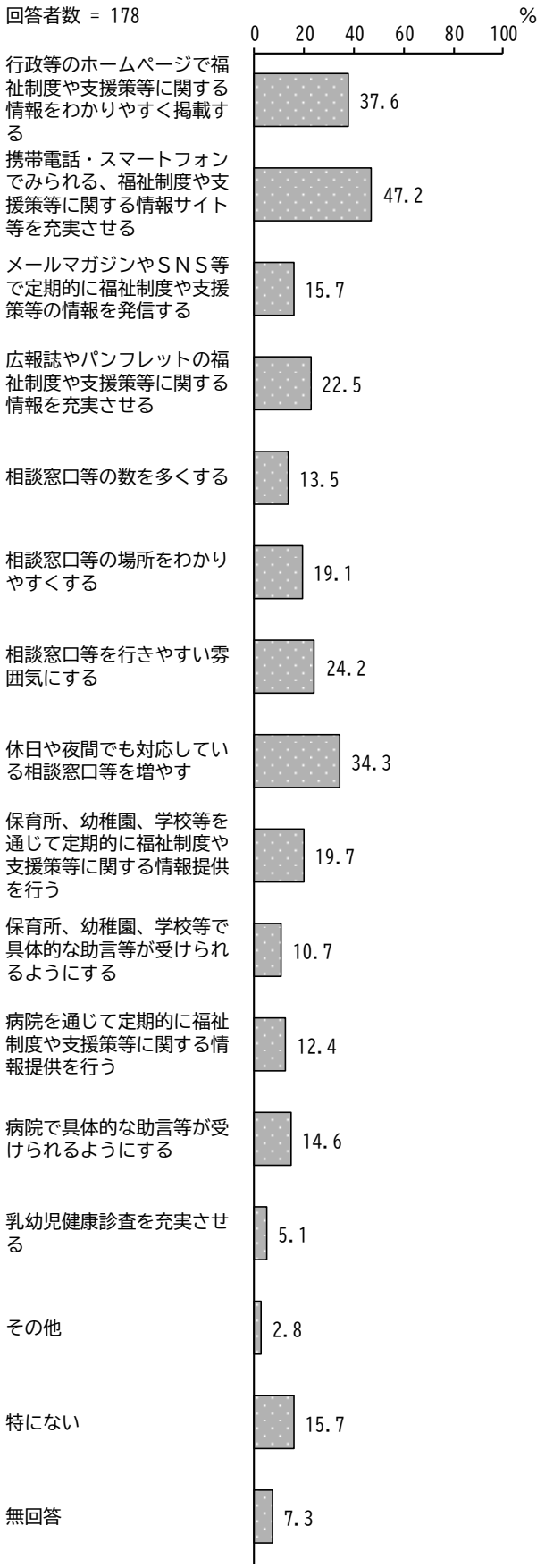
単位：％

区分	回答者数（件）	子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
全　体	178	21.9	10.7	10.1	10.7	10.1	11.2	5.1
中央値の２分の１未満	20	25.0	15.0	15.0	5.0	20.0	20.0	10.0
中央値の２分の１以上中央値未満	28	17.9	－	7.1	10.7	－	17.9	3.6
中央値以上	116	21.6	12.1	7.8	12.1	10.3	9.5	4.3

区分	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度	子どもの居場所づくり	一時的に必要となる資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他	特にない	無回答
全　体	51.7	19.7	6.7	16.9	16.3	1.1	21.3	8.4
中央値の２分の１未満	65.0	30.0	10.0	35.0	15.0	－	25.0	－
中央値の２分の１以上中央値未満	50.0	25.0	17.9	25.0	21.4	3.6	10.7	7.1
中央値以上	50.9	19.0	4.3	13.8	14.7	0.9	23.3	9.5

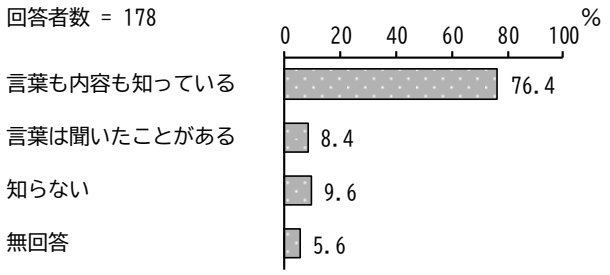
問 35　あなたが必要な支援を受けるために重要だと思うことを教えてください。
（あてはまる番号すべてに○）

「携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」の割合が 37.6%、「休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす」の割合が 34.3%となっています。



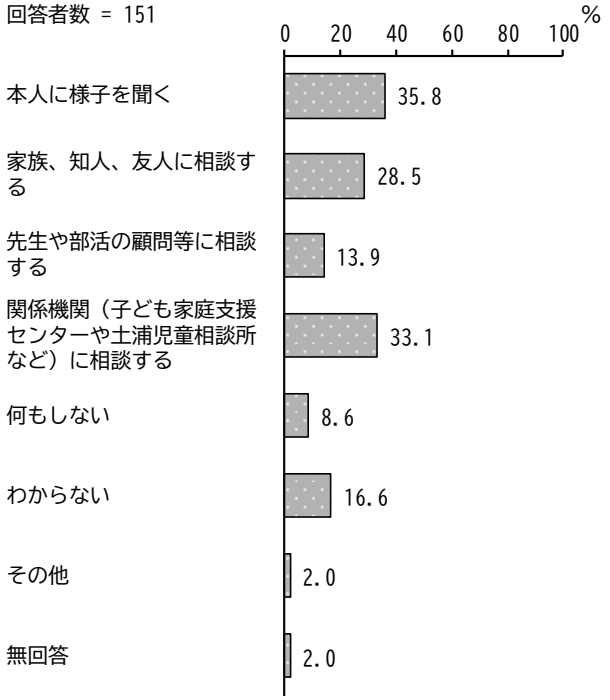
問 36　あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。（１つに○）

「言葉も内容も知っている」の割合が 76.4%と最も高くなっています。



問 37　あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。（あてはまるものすべてに○）

「本人に様子を聞く」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「関係機関（子ども家庭支援センターや土浦児童相談所など）に相談する」の割合が 33.1%、「家族、知人、友人に相談する」の割合が 28.5%となっています。



Ⅲ　自由回答

１　６年生

そのほか、あなたが、暮らしをよくするために、なんでもお願いできるとすれば、
どのようなことを希望しますか。なんでもいいので、書いてください。

【分類別の意見】

１　お金、物がほしい

- 物の値段をもっと安くしてもらいたい。
- 金。
- 少しのお金。
- お小遣いもっとほしい。
- 税金を少なく。
- お小遣いを上げて。
- スマホがほしい。
- 携帯がほしい。お金がほしい。
- お小遣いがほしい。
- たくさん金がほしい。
- 子供に電動自転車を、使わせてほしい。
- ソファー。
- お金がほしい。
- スマホがほしい。新しい家がほしい。
- スマホがほしいお小遣いを上げてほしい学童をやめて下校班で帰りたい。
- スマホがほしい。
- Switch がほしい。スマホがほしい。マイパソコンがほしい。
- スマートフォンがほしい。理由、クラスのだいたいの人がもっているから。スピーチで「もしも、１つもらえるとしたら」というお題で発表したら、男子にバカにされたから。
- お金がほしい。
- スマホがほしい。
- 金がほしい。
- いろいろなことにかかるお金がもっと安くなればいいと思う。
- お小遣いがほしい。
- 減税、物価を安くする。
- お金。
- 新築がほしい。三階建て。
- お金がほしい。
- 100 億円もらう。めちゃくちゃ豪華な家にする。信頼できる色んな人と暮らす。100 人のボディーガードマンを家に張り巡らせる（ただで）。
- スマホ買ってほしい。

- もっとお小遣いがほしい。
- スマホ。
- スマホなどをもつこと好きなことをたくさんやること。
- 食べ物を貧しい人に配る。
- お金がほしい。
- スマホほしい。
- 大金がほしい。
- スマホがほしい。
- お金がほしい。
- 税金を減らしてほしい。
- お金がほしい。
- これからも、ある程度普通の生活ができる。
- 各家庭に 50 万円ずつ配布してほしい。もしくは子供 1 人につき 10 万円ずつ配布してほしい。
- お金がほしい。
- お金が欲しい。
- ゲームしたいスマホほしい。
- お小遣いがほしい。
- 1000 万円がほしい。
- 欲しい物をなんでも買ってほしい。
- お金。
- お菓子がほしい。
- スマホがほしい。
- お金。
- スマホがほしい。
- お金がほしい。
- お小遣いがほしい。
- 「お金ください。」と希望する。世の中金なのでﾁｬﾘｰﾝ。
- お小遣いが欲しいスマホがほしい。
- お金がほしい。
- ルンバがほしい。エアドッグがほしい。
- 物価を下げてほしい。
- おもちゃのマインクラフトのレゴが全部ほしいお金がほしい。
- お金がほしい。
- スマホがほしい。
- 円安にしない税金を少なく添加物を少なく。

2　いじめや犯罪をなくしてほしい

- いじめを無くす。
- 安全に暮らしたい。
- 安全に暮らしたい。
- 病気や事件なくなるよう希望する。
- 犯罪者絶滅。
- 嫌な思いなく、過ごしたい。
- お金もらう。殴ったり暴力をしたりする人がいなくなるようにしてもらう戦争がなくなる世界にしてもらう。
- 暴言などを言われたくない。
- 誰もが、殺人、行方不明、みんながこんがらがることをしない正直な人。
- 暴言などを無くしたい。
- いじめがない。
- 災害や犯罪が起こらなくなること。
- 虐待をなくしてください。
- 犯罪、誘拐をなくしたい。
- クラスのいじめを一切なくす。

3　学校生活、勉強について

- 学校でサッカーがしたい。
- タイピングのゲームを学校のパソコンで出来るようにする。
- 昼休みがある日をふやしてほしい。
- 自分の事情を深く聞かないで受け入れてほしい。登校班をなくしてほしい。学校に財布やお菓子を持っていきたい。中学校でも自分の事情を深く聞かないで受け入れてほしい。値上げを抑えて値下げしてほしい。お母さんやお父さんの給料をもっと上げてほしい。税金を安くしてほしい。いちいち親に連絡しないでほしい。宿泊学習もう一回行きたい。
- 音楽を聞きながら授業を受けられるようにしたい。
- 体育をなくす。
- 学校をなくす。
- 登下校の道にちゃんとした歩道を作ってほしい。
- もう少し自由時間を増やしてほしい。
- 学校に寮を作ってほしい。自由に行きたい。
- テストの点数を上げてほしい。成績を上げてほしい。
- 宿題を皆で集まって宿題が出来る環境がほしい。
- みんなでなかよくしたい。
- 担任を変えてほしい。
- 学校の授業をお昼までにする。
- 二階に水道を作り、運動ができるスペースがほしい。
- きれいな学校に行きたい。
- 毎日宿題があるので、たまにはない日があってもいいなと思う。
- 休日を増やしてほしい。宿題を減らしてほしい。

４　家庭生活、家族について

- お父さんは煙草をやめてがんにならず長生きしてほしい。
- 家族が病気になりませんように。
- もう少し家族で過ごす時間を増やす。
- パパがほしい。
- 親が優しくなってくれること。
- 親に少しでも自分の意見を聞いてもらって自分の意見で少しでも行動したい。
- 喫煙回数を減らしてもらう。
- お母さんを支えるお父さんが生き返ってほしい。
- たばこ、おさけやめてほしい。しゃっきんをしないでほしい。けんかしないでほしい。
- 家族みんなが幸せになってもらいたい。
- ママとパパの仲が良くなってほしい。
- 親が勝手に期待して出来ず、まあまあのときにすぐ怒鳴らないでもらいたい。勉強用のワークを投げないでほしい。八つ当たりしないでほしい。
- 家族で楽しめる所をもっと作ってほしい。
- 犬に囲まれたい。出かけたい。
- 家族みんなで旅行にいきたい。
- 一人部屋がほしい家族で喧嘩しない。
- 団らんの時間を増やしたい（カードゲームなど）。
- 家族の時間を作る。
- 家族が、健康なこと。
- お父さんとお母さんにもっと仕事を休んでほしい。お金がないとダメだけど自分を大切にしてほしい。頑張りすぎないでほしい。
- 犬を飼いたい。ハムスターを飼いたい。モルモットを飼いたい。動物を飼いたい。
- 自分の部屋がほしい。
- 片付けてほしい。
- お母さんがほしい。
- お父さんとまた一緒に暮らしたい。
- 大きなお家がほしい。
- 両親が離婚とか、事故に合わないで家族仲良く過ごしてほしい。
- お兄ちゃんから悪口を言われたり、殴られたり蹴られたり、ものを奪われたりしたことがぼくや家族にあってそれがなくなったらいいなと思う。もしかしたらお兄ちゃんは障害者なのかもしれないとみんな考えている。
- もう少し、少しだけ楽に暮らせるように勉強はとかあまり言わないでほしい。あまり心配されるのが得意じゃないからつらそうでもほっといてほしい。自分で我慢できるから相談して、と言わないでほしい。
- 学校に、スクールカウンセラーの他にもっと気軽に話せる人がほしい。
- 犬猫飼いたい、ゲームに課金してみたい、インテリアなどおしゃれにしたい。
- 兄がいつもゲームで怒鳴ったり、気に食わなかったら叩いてきたり殴ってきたり蹴ったりしてくる。
- 帰ってきたら家族がいる。
- 家族喧嘩をしない。

- もっと家族といたい。
- 家族目標を決める。
- 家の中をきれいにする。
- 一人になりたい。
- 棚を増やす勉強机を広くしたい。
- 自分の部屋がほしい。
- 私のことを思って育ててくれてありがとう。
- ずっとゲームしたい。
- 自分の部屋がほしい。動物がほしい。
- 一軒家になりたい。
- 電車新幹線の見える家にすみたい。
- 家を大きくする。家族の時間を増やす。みんな仲良くする。
- もっとゲームをしたい。
- もう少し望みどおりの生活にしたい。
- 家族で気分転換に旅行に行きたい。地域の人と仲良くなりたい。

5　遊ぶ場所、公園、施設について

- 歩いて行けるところに公園を設置する。公民館の滑り台を新しくする。救急車が家の前まで来られるようにする。道路を広くする。ガタガタ道を減らす。近くに潰れないコンビニがほしい。近くに潰れないゲームセンターがほしい。
- 施設を充実させる。
- 公園を作ってほしい。
- サッカーができるでかい公園。
- 家の近くに図書館などがあってほしい。
- 友達と遊ぶ場所が少ない。
- モール 505 をもっとお店を増やしてほしいわ(惣菜店等食べ物屋が欲しい)。
- 遊べる場所を多くするか広くしてほしい。
- 公園にバスケットリングをつけてほしい。
- 家の近くに本屋をつくる。
- 家の近くに大きい公園がほしい家の周辺が夜になると暗いので電気がほしい。
- 近所に公園がほしい。
- 図書館が近くにほしい。
- ディズニー行きたい。
- 気軽に相談できる施設がほしい。
- 怒らず相談をできるところを増やしてほしい。
- バスケ習いたい。
- 土浦にみんなが室内で体を動かせるテーマパークがほしい。

6　平和について

- 自然災害、戦争がなくなる。
- 世界を戦争のない国にしたい。
- 平和にくらす。
- 平和。
- みんな幸せな世界、災害が起きない。
- 戦争を無くしてほしい。災害を無くしてほしい。
- 世界が平和になってほしい。
- 平和になってほしい。
- 平和。
- 本当に大切なことにみんなが気付ければそれはもう平和だと思うので、みんな自身が大切なことに気づくことができる。
- 戦争や争いをなくす。
- 平和に生きられたら楽しい。
- 世界が平和になる。戦争をしないでほしい。傷つく人がいるのは嫌だ。
- 自然災害がなく、人を殺したりする人いないで、動物たちも、苦しまない世界になりたい。

7　人、悩みについて

- 近所の人におかえりと言われた時になんてこたえていいか教えてほしい。
- 自分が成長できるような環境。
- 大人からの理不尽をなくしてほしい。
- ゴミ拾いのボランティアをする人を増やしてほしい。
- 食品ロスを減らして地球にいる人みんなが幸せに暮らしたい。
- 誰もが自分と仲が良い人たちがこの世にいること。
- 悩みを聞いてほしい。
- 自分の意見を言える時間と場所を作ってほしい。
- みんな平等に。
- 上下関係をよくする。
- 自分が好きなことをたくさんしたい。
- 優しいこころをもちたい。
- みんな仲良く。
- みんなが優しくなる。

8　笑顔、幸せ、満足について

- みんなが笑顔になれるところがほしい。
- 満足しているので、今のところはない。
- ただ、幸せに暮らしたい。
- 楽しく過ごす。
- 楽しい思い出。
- ずっと幸せでいたい。

9　その他

- 大きいナメクジを駆除する。隣のバカ犬を利口にする。
- 本当にない。
- わからない。
- 明るい未来。
- エアフォースワンアースデイがほしい。
- 思いつかない。
- わかってほしい。
- 満足している。
- 交通機関の発達。
- 港町の方､もう少し自動販売機を増やしていただけると嬉しい。
- 病気をなくす。
- 宝くじの１等が当たる。
- 特に無い。
- ごみを捨てないでしっかりと持ち帰る。
- 今のままがいい。
- 何もない。
- 何でも値上がりのニュースが多いので、私が大人になるまで値上がりが続いていくと思うと心配になる。
- 近くに池がほしい。空気がきれいなところに行きたい。
- いっぱい時間がほしい。

このアンケートの感想や大人の人に言いたいことなどがありましたら、下の欄に書いてください。悩んでいることや、心配なこと、なんとかして欲しいこと、など、なんでも書いてください。

【分類別の意見】

1　学校生活、進路について

- 学校でサッカーしたい。
- 今後の進学先について。
- 自分の進路が少し不安。
- 将来のために必要な勉強をしたいけど将来の夢が見つからない。
- 学校の体育の先生と主任が嫌い。
- 校庭と駐車場の間に仕切りがないため、校庭でボール遊びがやりづらい、整備してほしい。校庭のスペースが狭い。
- ちゃんと勉強についていけるか心配。
- 学校面倒くさい。
- みんなと同じように生活したい。

2　友達について

- 友達と一緒に話をし、２人で遊べられたらいい。
- イジメ、友達とのトラブル。
- 友達だと思ったらいじめなどをしてきて心が成長していないのでそのような人について思い出して変な気分になった。

3　悩み、相談について

- 関係があまり良くない友達がいるから小学校最後の１年間を仲良く終われるように少しでもいいから話せるぐらいの関係になりたい。
- これは、誰にも知られたくないけど、私が４年生のときに、担任の先生が差別みたいなことをしていた。自分のお気に入りの生徒だけ優しく接して、それ以外の生徒（私も含めて）に冷たい態度で接してきて、私のことを無視してきたことがあったので、今まで誰にも話せていなかったので、話すことができてよかった。
- ほとんどの人は悩みがあっても人に相談できないと思う。
- おばあちゃんが借金をしていて、そのお金をはらうのがパパで、もうはらえないぐらいまできていて、もうだめかも。
- 人間関係、自己肯定感が低くて将来に希望を持てない。
- どうしたら仲良くしたい人と仲良くなれる。なぜ友達と一緒にいるのに、みんなと離れている気がするの。
- この先またいじめられないか心配、不安、学校でまたからかわれたりしないか心配、不安。
- 相談したいけど勇気がでなくて相談できないので、勇気を出す方法を知りたい。
- 病気のこと。

- 最近クラスの人に避けられている気がする。まあ元々被害妄想が強い性格なので私が勝手に被害妄想しているだけ。なんかもっと目立って明るくなったらみんなに好かれて良い友達が出来るのだろうか。最近クラス女子たちの間でコスメやらスマホやらが流行っているらしいので私もそういうのをした方がいいのか。母親にも人に興味が無さすぎるとか感じ悪すぎるとか言われているのでもっと愛想よくしたら好感度上がる。どうしたら良いのか。
- クラスでいじめがある。
- 自分が心配性なところが、心配。お友達から仲間はずれになってしまったらと思うと不安。
- スクールカウンセラーに相談したから大丈夫。

４　アンケートについて

- 質問をすくなくしてほしい。
- 身長の入れ方がわからなかった。体重は教えたくなかった。
- アンケートで弟妹がいない場合もあるが「いない」の選択肢がない。
- からかってこないで。
- 長かった（アンケートに対して）。
- アンケートが長かった。
- 書くことで気持ちが少しスッキリした。
- ＩＤで書いている人がバレてしまっていると思う。
- アンケートが長い。
- 今回のアンケートで、自分のことを思い返すキッカケがあったので良かった。ありがとう。
- 自分の身長を書く方法を理解するのにだいぶ時間がかかったのでそこだけでも修正してもらえると嬉しい。
- このアンケートの身長の所が良く分からなかった。
- このアンケートはとても自分の役に立った。
- ありがとう。頑張ってほしい。
- 少しアンケートの時間が長かった。
- アンケートが長かった。
- アンケートがめんどうくさかったからこれからもう一生やりたくない。
- 日頃のストレスを気にせず正直に言えてよかった。
- 難しかった。
- アンケートが読みにくい、長すぎる、分かりにくかった。
- 自分の生活を振り返ることが出来た。悩んでいる事はない。
- すごく大変だった。将来が楽しみ。
- 身長を答える質問などの分かりづらい質問が多くとても大変だった。
- 怖いアンケートだった。虐待の解答欄に、離婚の質問が入っていて、一緒にしないでほしい。
- アンケートに素直に答えられた。なぜ。

5　家族について

- 何でもお姉ちゃんのせいにされてほしくない。
- お母さんの負担を減らしてほしい。
- お母さんが勝手に期待して出来ず、まあまあのときにすぐ怒鳴るな。勉強用のワークを投げるな。勝手にキレるな。仕事場で嫌なことがあったからって、やつあたりするな。自分の都合や機嫌で勝手に動くな。何であんたは、そんなに馬鹿なのってきいてくるけど、この馬鹿がお母さんの娘だ。我慢しろ。こっちだって我慢しているのだ、家で嫌なことあっても、学校いってんだ、行っているだけよしと思え。
- お父さんが家のことやらない。ママが仕事して全部子供のこと、家のこと頑張っている。
- お母さんに自分（お母さん）の言うことを聞かないと怒るのをやめてほしい。
- 借金、言い訳、口ばっかりな親が嫌。
- 塾に行きたくないのに、子どもの意見を聞かずに行かせようとするのをやめてほしい。
- 家族目標を決めることで家族の時間が増えるから。
- 愚痴を聞かされるのがめんどうくさい。一個一個に引っかかって怒る。すぐ出ていくのをやめて欲しい(家から)短気でいつも怒っている。推し活へのお金の使いすぎをやめてほしい。
- 急に変なダンスをし始めるのをやめてほしい。おならが臭い。

6　お金、欲しいものについて

- 携帯がほしい。
- 近くに公園を作ってほしい。
- バレーボールがほしい。
- スマホがほしい。
- お金が少ないので金がほしい。
- お菓子をちょうだい。
- 町内に公園がほしい。

7　その他

- スッキリ。
- 私の家の向かい側に住んでいるひとの行動があやしい。
- これからも、知らないことを教えてほしい。
- （＞＿＜）AHHH。
- 世界はなぜあるのか。もし来世生きられるのならば親ガチャに成功したい。
- 旅行に行きたい。
- 強盗や誘拐をしないでほしい。

２　６年生保護者

【分類別の意見】

１　手当て、支援について

- ひとり親には手当てが色々ある。まる福など。
- とにかく、子供にかかる費用が援助してもらえるなら、産みたいと思えるし、子供たちの豊かな経験に自分たちの給料が回せる。今は、物価高なのに給料が変わらない状況で、生活費で精一杯。
- 両親ありでも、ひとり親のように支援をしてほしい…。
- 無料の塾があると助かる。
- 塾代の補助があったら塾に通わせることも考える。
- 我が家はまだ義務教育なので通学費はかからないが、子供が３人もいるので将来的には手当があってほしい。あと、塾代の補助があると助かる。今の時代はほとんどの子供たちが塾や習い事に通っていると思うし、補助があることによって塾や習い事に通わせやすくなると思う。就学援助費についても条件をなくしてほしい。きょうだいが多い家庭は負担が大きい。ひとり親世帯も大変だと思うが、きょうだいが多い世帯も大変。
- 今は該当しないが、子供たちが小さい頃は土浦の子育て支援に対する整備が不十分だと思うことが多く苦労した。以前、仕事で他の市役所の子育て支援について触れることがあり、つくばや美浦の充実さにびっくりした。美浦に住みたいとさえ思った。
- 習い事の送迎でファミリーサポートを利用したかったが、車での送迎はできないとか利用出来るまでに時間がかかったり、ボランティアではなく、ベビーシッター経験のあるプロもしくは保育士を雇い、低価格で利用できる仕組みはないのかと思っていた。
- 学童保育の内容の充実。
- 教育については格差なく、子供に合う環境などの選択を個人にさせてほしい。子供に障害があることに纏わる支出や労力に対しての理解と支援を希望する。
- 子どもが３人いるので、塾代もひとり通わせるだけでかなりの出費のため、補助があると今後とても助かる。
- 高校生の支援もしていただきたい。
- 子供が２人いるが年齢差があるため２人目の手当てや補助が受けることができなかったことがある。（保育園や学童）歳の差があっても２人目なら手当てや補助を適応させてほしい。学生教育費手当てや補助、塾代補助、通学費手当。
- 私立中学でも就学援助制度のようなものがあると、より色んな選択肢を子供に与えられる。
- 特に高校進学に関して所得の壁がない支援があると助かる。
- 低所得者だけではなく低所得者以外の子供がいる世帯にも補助金の手当を出してほしい。
- 16 歳以上の子供に関する控除が早生まれの子達は適用が遅く、就職して収入が発生したら適用外になってしまうので、同じ学年なのに適用年数が不公平。子供手当が高校生になっても出るように変わるそうだがその辺りが公平になるようにして頂きたい。
- 土浦市は私立、公立ともに高校が多いので、市内に住めば交通費をかけずに通学することが出来るメリットがあると思う。子育て家庭が住みやすいサービスが充実すれば土浦市民も増え、税収につながることもあるのではないか？
- 多子世帯に手当等あると嬉しい。我儘だが…。

- 施設などに遊びにつれて行かざるをえなくなり、小学生の遊びにお金がたくさんかかる。
- 通学費の手当、塾代の補助、給食代の補助。
- 塾代の補助。
- 塾代の補助を充実してほしい。
- 塾代の補助があれば助かる。
- 塾代の補助があると非常に助かる。今後、部活動も外部委託になると月額料金もかかる。

2　経済的支援について

- 中間層は税金をたくさん支払わなければいけない割には支援金などの対象外なので一番損している感じがする。
- 子供への支援をもっと充実にしてほしい。いまある支援を利用する条件が今は１人親、低所得世帯のみ等が多いように感じる。もっと、平均的な世帯も支援を受けられ、子供がやりたいことをさせてあげられるようにしていただけると嬉しい。
- 受けられる可能性のある補助の一覧などがあると良いと思う。
- 離婚していなくても扶養手当を受給できるようにしてほしい。
- 体操服購入等、塾代の補助。
- 所得制限により様々な経済的支援が受けられない。確かに現在は経済的には苦しくなくても、今後の進学による教育費は負担が大変大きい。
- 住民税などの減額。
- 塾代の補助が受けられたらありがたい。
- 学校外の活動費の補助。塾、習い事等があれば助かる。
- 私立ということで仕方ないかもしれないがその分、生活費など他の部分で補助があれば嬉しい。
- ひとり親への補助額増額。
- 塾代の補助。
- 生活が苦しいので、援助金を継続してほしい。
- 生活支援金のようなどの世代でも受給できる制度があれば良い。
- 大学生がいる家庭は金がかかる。
- 水道代が高すぎると思う。
- とにかく物価高で給料は上がらないため、子供が成長していくごとに生活が厳しい。働く時間も増え子供に勉強を教えることや見守る時間がなく、どんどん学力が下がっているが全員塾に通わる余裕がない。ひとり親家庭だけではなく一般の家庭でも補助していただけるとありがたい。
- 税金の軽減。
- 教育や食など、子育てにはお金がかかるので、一般家庭でも少しでもサポートしてもらえるものがあったら有難い。
- 部活が外部へ委託することによる親の経済的、時間的負担の軽減。塾代の補助(兄弟がいる場合等)。

３　医療について

- 離婚していなくても親のマル福を使えるようにしてほしい。
- 大学生にもマル福を適用してもらいたい。

４　学費、給食費無償化、進学について

- 高校や大学生にも就学援助があるとありがたい。
- 塾などの早期教育を充実させたいが上の子供が私立高校に行っていて下の子までお金をかけられず悩んでいる。みんなにお金を補助することには限度があると思うので小中学校の補習や公民館などでの勉強会など教育に力を入れてほしい。
- 学区により学童の利用できる学年が違うのは不公平だと思う。子どもが学童を希望しているのに、利用できず、下校後自宅に１人でいる精神的不安や親の負担も考えてほしい。長期休暇中も家に１人で置いているリスクを考えているのか疑問である。
- 現在、２つの習い事(英語、水泳)で約２万。現在、小学校高学年で学校だけでの学習ではそれなり。いまの習い事は辞めたくないと言われれば、続けたまま学習塾を検討しなければならない。学習塾、水泳、英語と合わせて４万～５万になるし、衣服や食費も物価高で色々と高いので考えてしまう。中学進学や高校進学もあり今年度、給食費の支払いがなくなったのは正直、助かった。ありがとう。
- 給食費無償化を実現してくださってありがとう。ここからさらに給食の内容と使われている材料を吟味していってほしいと切に願う。砂糖や化学調味料、農薬…子ども達に毒を盛らないでほしいと思う。
- 働かないと生きていけないから保育所を利用しているので、そこにかかる費用は０歳から無料化(給食費や、絵本代等含めて)してほしい。
- 義務教育期間中の給食費の支援は今後も続けてほしい。制服や自転車、タブレットやパソコン等、中高入学時に必要な物は支援してほしい。今は大学まで進学することが一般的なので、そこまでの学費を援助してほしい。
- 給食費無償化は大変ありがたい。
- 私立高校も無償化、中学生の塾代補助。
- 小学校の給食費無償化が大変助かっている。一番下の子供が市内の私立幼稚園に行っており、給食費や教育充実費、保護者会費などの徴収が高額で保育料無償化といっても月々の支払いが大変。
- 給食費無償化、鉛筆消しゴム等の必要物を学期ごとに無償配布。体操服や上履きなどの値段設定を低くする。
- 交通費や部活、食費がすごくて大変。
- 学校にかかる物には補助が出るとありがたい。
- 塾代の補助などあれば、塾にも通わせやすくなる。
- 子供がたくさんいると塾代が払えないため通わせられない。小学校地区単位（子供が通いやすい距離）で寺子屋的なものがあると便利。高校無償化とはいえ、私立へ行かせたくても入学金など 50 万以上も準備するのは大変。年収などの金額で支援の対象外になるため、子供に我慢をさせることになる。
- 授業料、塾代の補助がほしい。そして所得制限の廃止か引き上げを希望する。

- 中学、高校、大学と年齢が上がるにつれて子供に関する出費が増える。義務教育期間は中学までだが、世間は高校卒業している事は当たり前、今や大学も行っていないと就職やその後の待遇は明らかに違う。子供の小さいうちはお金の手当よりマンパワーやサービスの充実の方が良いと思う。受験の始まる中学からは塾に通う子がほとんどでお金がかかり始める。塾代はとても高額。せめて中学、高校は学習に関する費用の補助をしていただけると助かる家庭は多いと思う。
- 高校までの授業料無償化。
- 学費、制服の代金が高すぎる。自転車や、体操服、補助があれば。母子手当が、もう少し長くなれば。
- 塾代の補助を強く希望。もしくは高校無償化。
- 塾代の補助や高校の通学費の補助があるといいと思う。
- 給食費の助成は助かる。期間限定ではなく、永続的な制度としてほしい。子育て支援を今よりも充実してほしい。東京都のような高校授業料完全無料など。
- 小中高大と大きくなるにつれ、出費がかさみ生活に余裕がなくなっていく。国や県の支援は条件外で受けられないことが多く、物価高もあり大変。中学の制服、指定体操服や上靴、バッグなどもかなりの出費なので、制服以外、指定は止めていただきたい。三年間しか使えず、成長に合わせての買い替えもバカにならない。
- 小学生、給食費無償化。あらゆる場面での所得制限なし。塾代の補助。
- 遠方の高校に通った場合の通学費の手当があると非常に助かる。塾代の補助を頂きたい。
- 給食費の無償化は今後も続けていただきたい。とても助かっている。

5　学校について

- 子供達は荒川沖小学校に通っている。近隣に友達とボール遊びできる広い公園などない為、スポーツ少年団が使用してない土日の午後や、放課後も学童が使用していても、グラウンドの半分くらい開放してほしい。家でゲームばかりや、どこかの家の庭でボール遊びは近所迷惑になってしまう。子供達は思う存分体を動かしてほしいが、居場所がない。
- 上大津小学校の建設地を五中の近くにしてほしい。
- スポーツをやりたくても出来ない子が多い。場所的に通えない。送迎等に問題があるなど。子どもたちの無限大の可能性を伸ばす環境作りをお願いしたい。
- 上の子が小学生になるころ、小学校の学童だけで民間の施設がなく、土日や時間外の対応もなく苦労した。
- 長期休暇中、児童クラブで有料で良いのでお弁当を出してほしい。小中一貫教育なのだし、小中でジャージを統一してほしい。コロナ渦の時のように、水郷プールに無料招待してほしい。
- 今後少子化で小６の修学旅行が人数と金額で難しくなることがあるかもしれない。その場合は、同じ中学地区の小学校と合同修学旅行も有りだと思う。
- 配布されるランドセルの色や形が多様性に属してない。入学式の日にランドセルに触れるのも、慣れるのに必要な子にとってはすごく辛い。ランドセルを配るのではなくて補助券ではだめか。
- タブレットが普及し、重い教科書やタブレットをランドセルに目一杯詰め、昨年も、朝の登校時から夏は猛暑で本当に子供達が可哀想。
- 働き方改革や、度重なる学級・学校閉鎖の影響もあり、授業時間が短縮してしまっているため、学校の授業だけではきちんと理解できていない。

- いつもお世話になりありがとう。土浦市は小学校の入学時にランドセルや置き傘などをいただき大変助かった。コロナ禍の時もゴミ袋や割引券などもあり大変感謝している。引越した時は市役所の方にもお世話になり、とてもすみ良い市だと思う。この場をお借りしてお礼申し上げる。ただ、この地区は外国人の方が多くたまに怖い思いもする。子供達の為に、警察の巡回など増やしていただけたら嬉しい。何卒宜しく。
- 子供が学校を休んでいる状況や人を気にかける程の余裕は誰にもない世の中の今の現状があることは感じている。給料は変わらない中、物価高騰や円安が続くね。その時々の状況がある。税金まで払えば生活がままならない時もある。状況はどうあれ支払いの請求がくること、精神的に負担になることが多々ある。ただ住んでいるだけでかかる税金が多すぎて、生きていくのが大変な世の中だなと感じる。
- 小学校の時間が年々少なくなり、体育や休み時間を減らされていて、子どもが体を動かす時間が少なくなっているので、増やしてほしい。
- 校則の見直し。
- 公立高校を増やしてほしい。
- 気軽に行ける塾(放課後)の施設やなどあるといいなと思う。

6　賃金、就労について

- 働き方改革も大事だが、働き続けるために必要な支援は公平に受けられるような制度の整備を求めたい。他県でのネグレクトになるなんて報道があり、受け止め方も色々だとは思いうが、親の働けない環境整備はご検討ください。不安なく働ける制度と公平に利用できる支援をのぞむ。
- 我が家は収入的に平均的な世帯だと思う。が、やはり子供にかけてあげたい費用は高い。そして家庭環境や子供の性格的にも私が働ける状況でもない。
- 死別でひとり親になった人、DV などで離婚しひとり親になった人など、納得のいく理由で手当てをもらってるならわかるが、勝手な親の都合でひとり親になった人がもらえて、両親揃って必死に働いてる人がもらえないのは意味がわからない。収入で決まる。とかも、必死に働いてるから収入があるわけで、収入が少ないから手当てがもらえるとかも、だったら必死に働いたらどうか？と思う。
- 特に０歳は費用が高く、何のために働いているのか分からなかった。子供達だけに支援ができないなら、親世代の給料や働き方、雇用、保険料の改善、税金負担軽減等に力を入れてほしい。
- 就労ひとり親での子育ては精神的に辛く、いっそ仕事も収入も減らしたほうが支援が受けられて楽なのではと思う。働き納税しながら子を生み育てても、親も子どもも精神的にも経済的に豊かになれる土浦市を望む。
- お母さんたちもみんな働かないと生きていけない世の中。平日に休まないと行けない役員の仕事や朝は休みを取らないといけない旗当番はいるか？シルバー世代にお手当をお支払いし、ご協力がいただけるといいのになと思う。
- 子供に余裕のある生活をさせたい、色々習わせてあげたいと思って今まで努力した結果の給与を頂いていて、その結果税金もたくさん支払っているのに、所得制限のせいで何の補助も受けられず、全て全額支払わされ、かといって何か特別良いサービスを受けられるわけでもない。税金で給与を減らされて全然余裕なんか感じられない生活。何のために努力して来たのかわからない。我が家のように世帯収入は１千万強しかなくても旦那１人の給与が１千万超えているせいで所得制限に引っかかり、世帯収入的には 1500 万近くあっても父、母の収入が 800 万前後の家庭は制限にかからず補助を受けられるような制度まであって、子育てに関して不公平感を感じずにはいられない。

- 学校行事、塾の送迎。ひとり親家庭では負担が多い。仕事を休みやすくできるとか予定を早めにわかるようにしたり。
- 家の建て替えもできず、子供部屋すら無い。野球をやりたくても、土日休めないからやらせられない。
- 土浦に限ったことではないが…学校側の負担が軽減してる分、家庭で子どもをみる時間が増えているが、親も働かなければ金銭的に余裕が持てず、様々な娯楽や余暇を一緒に楽しむことができない。
- ひとり親家庭には手厚い援助があるし、裕福な家庭は金銭的余裕もあるが、ギリギリ中間層の援助も何もない人達は損をしている気がする。

7　地域環境、交通整備について

- 家の前に隣家の石垣があるが、高さが高いのに届出せずに施工しており、地震などが心配なのでなんとかしてほしい。
- 自由度の高い学習環境、不登校児の居場所、児童発達特性に対応できる教員、施設。
- 道路が狭い、交通量が多く子どもたちの通学路が危険。
- 子育てが楽しい地域にしないと、少子高齢化を辿る一方だと思う。現状、とても子育てがしにくい地域だと感じている。市の広さに対して、児童館・図書館・公園・体育館等が少ない。それらがない地域の子供は放課後や休日に子供だけで出かける範囲に無いので、外遊びや友達と遊ぶ機会が少ないと感じている。キッズルームがある施設もウララしか知らない。公園の遊具は古く、修繕されないので滑り台が何年間も滑られない状態だったり、壊れかけの遊具の公園を幾つか見掛ける。子供を連れて気軽に遊びに行きたいと思える場所が無い。子供が小さな頃は、折角公園に出かけても少子化で誰も子供が来ないので楽しくなく、知り合いも出来ないので行くのをやめた。図書館自体も少ない上、アルカス以外充実していないので、通わなくなった。小中高生が遊べる施設も少ない。どこかに子供達で遊びに行く話が出ても、イオンしか会話に出てこない。親の送迎が必須、いつも同じお店を見るに終わり飽きると聞く。お金を沢山使わずとも、天気を気にせずに利用できる、放課後に出かけやすい範囲（親の送迎が無くとも）で集える場所や施設が無いから。児童館、図書館、公園、体育館、博物館、美術館、フリールーム、キッズルームなど、放課後に子供達が利用しやすい距離範囲で、どれかを土浦駅以外の各駅近辺もしくは、各学校の近隣に整備してほしい。車の運転をしなくなった高齢者層にも、こういった施設が通える範囲に無ければ引きこもりになり、身体や精神的なケアも必要になってくると考えると、子供世代だけではなく全世代に必要なことだと思う。併せて公共交通網の不便さ解消、子供達が自転車移動の際の安全確保が出来るよう自転車専用レーンや街灯の設置の増加、自動運転のバスの始動などを期待する。歩き回るだけで楽しい市内になることを期待する。アンケート内で子ども食堂とフードパントリーの話があったが、近隣で子ども食堂自体見たことが無いし、フードパントリーをしている団体や場所も知らない。知らないという選択肢がなかった。
- 子供が自分たちで安全、安心に遊べる場所が少なすぎる。（設備のある開かれた公園など）大人や子供が一緒にスポーツをできる場所が少なすぎる。新治トレーニングセンターはいつも予約でいっぱいだし、事前に（しかも平日）に料金を現金で払って、やっとスポーツできる。しかも、家族や友達で気軽にスポーツできる雰囲気ではないし、場所ではない。図書館の本は１人、10 冊以上借りたい。こどもランドが駐車場から離れていて行きづらいし、おもちゃが古すぎる。

- バスが少なすぎる。つくばや土浦駅にいくバスを増やしてほしい。りんりんロードから霞ヶ浦に直でいけるよう設備してほしい。小さい子には車を通る道で自転車を漕ぐのは危ない。土浦駅前に「行きたいな」「買いたいな」と思うお店がない。モール 505 に立体駐車場を作り、明るく行きたいと思えるお店を作る。
- 登校班や育成会を無くしてほしい。
- 子どもが楽しくのびのび過ごせる環境作りや制度の充実を期待する。
- 子供の登下校の距離があるのと、歩道が少なく交通量が多いところを通らなければならない。
- 土浦市でも、20 分以上歩く子供達や歩道がない通学路を歩く子達には、防犯の視点からもスクールバスの検討導入してほしい。
- 来年から中学校で自転車通学で事故にあわないか心配している。スクールバスをだしてほしい。
- 子どもの遊べる場所の充実。ボールで自由に遊べる場所、バスケットゴールなどのある公園を増やしてほしい。空き家や土地を、有効活用してほしい。東真鍋町の結婚式場だったところ、解体してほしい(スターバックスの向かい)。野良猫が出入りしていたり、景観的にも良くない。子どもが遊べる施設、広場にしてほしい。
- 子どもの遊べる公園や公園の遊具がとても少なく、非常に困っている。遊具が充実しているとお金をあまりかけずに遊べるのに、乙戸沼公園の遊具も、小さい子向けになってしまい、規模も小さくなりがっかりしている。
- ピアノやらせたくても高い。旅行すらできない。土浦市に子供が行けるカフェがあれば。Wi-Fi が Free の所を多く。
- 花室川沿いの道路が悪路で酷い状態。陥没していたり雑草も伸びきって見通しが悪く、通勤通学で利用する人が多いので危険。土手への不法投棄も多いようなので、綺麗に整備してもらいたい。

8　情報、相談について

- 外国人には生活保護などを支給しないでほしい。健康保険も使わせないでほしい。ベーシックインカムを導入してほしい。
- ベビーシッター利用券を全世帯に配布するとか、ベビーシッターの案内を作るとか。どんな課を作って、子育てアピールしても全く使えないのを知っているので、住む場所を間違えたと思うばかり。
- 支援・支給可能なものの情報を積極的に伝えてほしい。
- 子どもの発達について、学校から指摘、市役所への相談のすすめを受け、市役所こども包括支援センター？へ二年前に相談したことがあった。どのように受診すればよいか等。今度は、学校に聞いてみて、と投げられ、相談内容は解決せず、あまり親身に話を聴いてもらえない印象を受けた。私は二度と相談しないと思った。市役所の方はベテランだと思う。
- 福祉協議会や市の広報に掲載されている、傾聴や手話等のボランティア活動、生涯学習なども、読まずに知らないという人も多いと思う。各学校や公民館等で一部出張講座をするなどすることで、市民に市の活動を知ってもらえる機会が増えると思う。
- 情報が広く知らされず、知ってる人だけ知っている状況が多々あるなーと思う。何をと言われたら、お店とかかな。
- 議員の若返り、定年制度を導入してほしい。
- 議員の方、子育てしていない高齢男性があまりに勉強不足で横柄。もっと現実を学び市政をよくしてほしい。職員の若返り。

- 塾代の補助が出ると助かるが、送迎の時間の確保が難しいため、学童で預かって頂いている時に、ちょっとした復習をする塾のような環境があると助かる。
- 市民の声が届きやすいシステムもお願いしたい。切羽詰まっている方々にはもちろん適切な補助がいくべきだが、多く支払っている税金の使い道に関して納得出来るような市になってほしい。
- 物価高騰が続いている。生活は、本当に厳しい。給付金をお願いしたい。国からの給付金などがあった場合、早く給付してほしい。
- 性犯罪前科者の情報公開。
- 税金があまりかからないようにしてほしい。
- 公園が少ないので大きめの公園がほしい。

９　その他

- 意見を反映させてくれなければ、アンケートに答えた意味が見いだせないので、対策に期待する。
- このアンケートの意図が理解出来ない。
- 辛辣だが、お役所仕事ではなく、根本からの立て直しと子育てする親たちに寄り添った改革をお願いしたい。
- とても良い町だからこそ、もっとよくなってほしいと期待している！
- 一人っ子と４人きょうだいとでの手当が一緒って少子化になると思う。これは市に言っても仕方ないことかもしれないけど、子供たくさん産んで、育てる為にはお金が必要で、でも１人２人の子供を育てるのに食費も生活費も倍以上かかる。一人っ子の子は何個も習い事してるけどそんなの無理な話しで。その為に頑張って働いも税金で取られて意味ないよね。
- ほとんど国や県での事だと思うので、市に対してこのような事を伝えてもどうしようもないとは思うが、少しでも全ての子供たちがより良い環境で学び成長していく環境になるように、ご尽力頂きたい。よろしく。
- PTA や育成会、自治会役員の負担軽減。
- 土浦市はシングルマザー、ファザーには優しいと思うが、中堅層に優しくないと思う。年収 500 万世帯が一番苦しい。貧乏ではないけど、貯蓄を切り崩し生活する不安ははかりしれない。子供の歯科矯正の費用の補助がほしい。子供三人いて全てに矯正代が支払えない。もしくは無利子のローンを常陽銀行と連携してもらえたりすると大変助かる。歯並びって本当に大事だと思う。できる人間に歯並び悪い人はいないような気がする。逆に言えば歯並びがよいと自信もついて何事にも前向きに行動できるようになる。子供達がそうなれば未来の土浦市は明るいと思う。国ではなかなか矯正が保険適用にならない。土浦市が率先して歯科矯正のことを考えていただけたらなぁと思っている。
- 子どもたちも家庭による格差を感じているので、将来に明るい希望を持って生活できなくなっているように思う。大人たちがあまり余裕を持って楽しく生活していないので、子どものことを優先できないことを今の時代の子どもは感じていると思う。

３　９年生

そのほか、あなたが、暮らしをよくするために、なんでもお願いできるとすれば、
どのようなことを希望しますか。なんでもいいので、書いてください。

【分類別の意見】

１　お金、物がほしい

- 大金がほしい。
- お金を貰う。
- 自分の部屋にテレビがほしい。
- 食べ物。
- お金。
- 金。
- すべてのものを値下げしてほしい。
- そして給料アップしてほしい。
- アイスとチョコチップクッキーがほしい。
- 賃金を上げ、税を下げる。
- 自由に使えるお金がほしい。
- 体に良い食べ物。
- 父が転職し、お金がないのでお金がほしい。
- 給料あげてほしい。
- 家のローンを全部返して家族と沢山旅行に行きたい。
- 雨を防ぐやつ（自転車）。
- 部活の道具を買いたいイヤホンとスマホがほしい。
- お金がないのでお金がほしい。
- お小遣いがほしい。
- お金がほしい。
- お金。
- 15e+87 円ぐらいほしい。
- 大量の金。
- ゲーム機がほしい、新しい勉強道具がほしい。
- お金がほしい。
- お小遣いを増やしてほしい。
- 減税綾鷹というお茶のストック、テレビをもう１台。
- お小遣いがたくさんほしい。
- お小遣いがほしい。
- 金がほしい。
- 卓球台がほしい。

2　いじめや犯罪をなくしてほしい

- 犯罪やいじめなど、人がされて苦しむことがなくなってほしい。
- 性犯罪者や痴漢した人に厳しい罰を受けさせてほしい。
- 政治家の汚職問題をなくしてほしい。
- 虐めを無くす。暴言を言わない。
- いじめがなくなり子ども達が笑顔で暮らせる世界。
- 平和。
- 夜外のバイク音がうるさい。暴走族を取り締まってほしい。

3　学校生活、勉強について

- みんな仲良くすること。
- 孤独でも、人と話すことが苦手でも、辛い思いをしなくていい世界になってほしい。学校の授業では、グループを自分たちで作って協力して成し遂げなければならない、という場面が多く感じられる。社会に出てから必要なコミュニケーション能力や協力性を高めよう、という目的でやっているのだと思う。しかし正直、人に話しかけるのが困難な私からしたらとても憂鬱な時間。例えば人数制限のあるグループを作らなければならないという時にどうしても心から安心できる人ではなく、苦手な人（気が強すぎる人）達と組むことになった時に、全然話しかけられない。それでも私にはやる気がない、積極性がないようには感じ。なぜなら、慣れている人には軽い気持ちで接することができるし、話すことだってできるから。ただ人に慣れなくて緊張で、うずくまって、ずっと救いようのない状況から抜け出せなくて、本当に辛かったことが多々あった。無視されて、みんなといなければならないときにもずっと独りで、それでも周りが楽しければそれでいいとずっとこらえているが、やはりいつか何かしら問題になってしまうのではないかと、罪悪感を抱いている。安心のできる人たちとグループを組んだ時なら、話さなければならないときにちゃんと話せる（それでも少し緊張するが）苦手な人々ともちゃんと関われるようにしよう。という目的でやっているのだと思うが、中学生のうちは、まだいいと思う。思春期。緊張もするし、心の成長もあり、私のようにトラウマを抱えている人もいると思う。でも私は思春期になる前からずっと話すことが大の苦手。ずっと一緒にいてくれる友達もいない（失った）私のような人がこんな場面に遭遇したら、救いようがないと思いこんでしまうのも当然だと思う。中学生だから、無理やり相性の悪い人々と同じだという扱いをするのはまだいいと思う。長文で本当に申し訳ない、いじめではない（多分）けれど、ずっと抱え込んできたこと。私の意見で何かが変わったら、とても嬉しい。よろしく。
- 学力を上げたい。
- 私立校高無償化。
- 宿題したくないです。
- 塾に行きたくない。
- 将来役立つ勉強をしたい。
- 学校での人間関係のトラブルが無くなること。
- 学校を１人１人合うような勉強スタイルにしてほしい。
- 給食がたくさん食べられる。昼休みを長くしてほしい。５．６時間目に、主要教科はやらないでほしい。眠くなるから。それで、関心意欲態度の評価を下げられるのは嫌だから。
- 市の生徒が急増しているために市の高校におしよせて来ているため市に県立高校を造ってほしい。
- 受験生の自習スペースがいつもいっぱいなのでもっと増やしてほしい。

4　家庭生活、家族について

- 健康に生活。
- 家族が短気で自己中なのがなおってほしい。
- 兄弟と共用ではなく、自分の部屋がほしい。
- 人間がくちゃくちゃ、音を立てて食べることができないようにしてほしい。人体の仕組みを変えてほしい。
- 洗濯物を毎日洗うこと。
- 結婚なんてしないほうがいい。
- 塾は高い。その他の習い事も高い。送迎なんてできるわけなくないか。
- 広い家　ホワイトな職業。
- 家政婦がほしい。
- お父さんとお母さんが仲良くしてほしい。
- カメレオン飼いたい。
- 一人の時間がほしい。
- 両親の離婚親権は母親。
- 独り言を減らしてほしい。口調が怖い。
- 思ったことを伝えあって尊重し合う。
- ドライブ、買い物など家族と過ごす時間を増やす。
- みんなで仲良く過ごす。
- みんな仲良くしてほしい。生きてほしい。
- もう少し広い家に住みたい。
- みんなが幸せになる。
- 自分の部屋。
- たまにお母さんのテンションについていけない時があること。
- 親に長生きしてほしい。

5　自分について

- 自立できること(料理)などを教えて貰いたい。
- 今のままでいてほしい。
- 今の状態で満足している。
- ひとりぐらし。
- 自分の吃音症を直してほしい。
- おもいっきり笑いたい。
- 継続する力をつけたい。
- １日 25 時間がいい。
- 自分が、正直に言える人になりたい。
- 肌トラブルがなくなってほしい。
- 旅行行きたいカニ、牛タンが食べたい。
- 過ごしやすくなればそれでいい。
- 人生をリセットしたい違う自分になりたい。
- 頭が良くなりたい指スケがほしい。

6　図書館について

- 図書室の本を増やす。
- 図書館においてある漫画の数を増やしてほしい。

7　人について

- 優しい人を見つけたい。
- 助け合う。
- 人の気持ちを考えて平等に接してほしい。
- 優しい人がほしい。
- 友達と遊びたいとき、親の意思とは関係なく気軽に遊べるようになること週末遊びに行かないかと誘われたとき、（予定が空いている場合）すぐに誘いを受けられる（親に相談せずとも）ようになること。
- みんなの意見を聞く。また、意見を尊重する。

8　その他

- 何もしないでほしい。
- 異常気象をなくしてほしい。
- 防音室がほしい。
- 「この問」の意味がわからないので正確な回答ができない(例文などがほしい)。
- 動物愛護を強化してほしい。動物保健所にある殺処分機をなくしてほしい。
- 別にあなたに話したところで何かが良くなるわけでもないので特になし。

このアンケートの感想や大人の人に言いたいことなどがありましたら、下の欄に書いてください。悩んでいることや、心配なこと、なんとかして欲しいこと、など、なんでも結構です。

【分類別の意見】

1　学校生活について

- クラスの居心地が好きじゃない。
- 学校の先生に言いたいことは、体育館での長時間の直接床に座るような授業や、行事の時にお尻がとてつもなく痛くなるのでやめてほしい。お願い。
- 自分の意見をしっかり言えないこと。自分が優柔不断だから友達にも迷惑をかけてしまっていること。
- 学校の授業で自分を上げて言う先生がいて悲しくなる。意見とか考え方を否定されて悲しくなる。国語と数学の新任の先生が怖い。存在を否定されているみたい。
- お父さんが私と姉とかと話してると、割り込んで入ってくるのがむかつく。
- 私立高校無償化。
- 学校に行きたくない。
- 高校に行ったあとが少し不安。

2　友達について

- 友達との付き合い方。
- 私は、常に人に話しかけるのが苦手。運動能力も周りよりもずっと低い。ずっと暗い。普段他人に自分の意見を伝えられない（ずっと一緒にいてくれるような）友達がいない。心配（励ましの言葉はいらない、ただこれを言えるだけで満足）。

3　悩み、相談について

- お父さんに勉強しているときにいらない話をしてこないでほしい、なにもないのに自分の名前を呼ばないでほしい。
- できるだけでいいから、上手く説明できないけど自分の話を聞いてほしい。
- 心配や悩んでいることはない。
- 病気にかからないようにしてほしい。
- 話を聞いてほしい。
- クラス替えがあり、あまり仲のいい人が少ないクラスになりひとりぼっちになるのが怖い。修学旅行の決め事でもペアになる時にあまってしまった。クラスの子と仲良くなろうと思い、声をかけてもすでにグループができていて嫌な顔をされ、嫌味を言われたりする。これから先もペアになる機会があったらどうしようかと不安になる。同級生の子で以前は仲が良かった子は私が通ると分かりやすく距離をとったり裏で私と別の子が話さないようにと言っていたりする。また、他クラスに話せる子がいるが、その子は自分勝手で、大勢でいる時に仲間外れのようなことをする。本当の友達といえる人がいない。両親に相談に乗ってもらったりするが、いじわるをしてくる子達が表の顔は優等生なので先生に信じてもらえないと思い学校の先生には言えていない。長くなってしまいすみません。
- 彼女ほしい。

4　アンケートについて

- 町名くらいは確認してほしい。
- このアンケートって集計して終わりか。結局なにも解決しない。家の事情には踏み込めない。
- もっとアンケートを短くしてほしい。
- 身長が１しか打てなかった。
- (大人でなく子供も)時代による世間の認識の変化によって変化したルールなどを履き違える人がいる、逆に変化に逆らうかのように古臭い考えを振り回す人がいる(例、男尊女卑から女尊男卑に時代の流れで転じたかのように、女性優位な考えを押し付けんとする。性器いじり(特に男性器)同性愛嫌悪特殊な家庭に向けたアンケートに感じた。「そもそもアンケートに回答できる時間がない」場合や、「アンケートを受けることを承諾されない」場合もあり得ると考える。インターネット環境が安定していない場合もありえる。もう少しアンケートの実施の仕方に工夫が必要だと考える。
- このアンケートの身長のところで 1.62 メートルと書こうとしたのですが、半角入力にしてくださいと来て、入力できなかった。
- もっとわかりやすく記述してほしい。例）　身長記入欄　160　（cm）ーメートルの部分が分かりづらかった。
- アンケートが長すぎる。

5　お金について

- 少し税金を下げてほしい。
- クラブチームの遠征などでお金がないのでお金がほしい。
- お金ちょうだい。
- お金の使い方悪そう。違法的なやつ。

6　その他

- 「～をしろ！」と言う割にあなた達はそれをしないというのをやめてほしい。自分のことしか考えないのをやめてほしい。世界はあなた中心にまわっていると思わないでほしい。あなたがやられて困ることは、私達も困る。こんな恨みのような、話をしたが、世界に文明を作ったり、政治を動かしてもらったり、歴史を重ねてもらったり、感謝することは沢山ある。ありがとう。
- いつも、感謝している。
- 頭が悪い。
- 大人だからってなんでも子供に押し付けないでほしい。あとは特になし。

４　９年生保護者

【分類別の意見】

１　手当て、支援について

- 給食費は助かっている。高校入学時のパッド代の補助があると助かる。
- 医療費補助は充分助かっている。児童手当を受給しているが、出来れば金額を上げてほしい。年が離れた兄弟なので、３人目以降の子でも金額が低い。
- 死別やＤＶなどでやむを得ずひとり親になった世帯は仕方ないと思うが、夫婦の都合(浮気や性格の不一致など)で離婚しひとり親になった世帯の方が手当てや学校用品・現金支給が多いのは、子供の為に二人親でいる側からすると不満。土浦市だけではなく国の問題だが、現状では籍を入れずシングルの方がいいのでは？と思う。多子世帯では、共働きでも子供にかかる費用と時間がなかなかまかなえないので、手当てが増えると嬉しい。
- 子供手当が今年から高校生まで延長されるとの情報があるが、今年中学を卒業してしまったのでもらえない。ひとり親なので手当がなくて苦しい。
- 土浦市はとても子育てしやすいと思う。ランドセルの支給や給食費の助成もとてもありがたい。
- 子供にかかるお金だけで生活が圧迫されているから対策してほしい。中にはシングルと言いながら近くに実家があり、住所はそこにおいて片方と子供は貸家に住み、自分もそこに住んでシングル手当をもらっている人が子供会にいる。平然とその話をしてくるが、そんな事が可能ならばそうしたい。シングルには手当があつすぎる。
- ３人目の子供の児童手当が月に３万円もらえるようになる制度を実現して欲しい。例え上の子が扶養から外れていても、３人子供を育てるのは金銭的に大変なので、是非実現して欲しい。
- ひとり親世帯への受給をしっかり管理してほしい。色々な面で一生懸命にお金を出している世帯がいるのに、私生活をみると明らかにひとり親世帯の方が裕福に見える家庭が多くあると思う。こちらはギリギリでやっている。しっかり考えていただきたい。
- 私立に通う高校生の息子がいますが、子ども手当が該当から外れとても厳しい。通学費だけでも数万かかるため、余裕がない。幼児より中高校生の方がお金はかかる。まだまだ支援がほしい。
- もっとひとり親世帯に寄り添った支援、給付金、制度があればいい。または、数が増えるといい。
- 子供手当の増額。家事育児に相当する手当の支給と考えても良いだろう。
- 子ども手当の制度（子どもの人数により金額が変わり、１番上の子が当てはまらなくなると、２番目が１番上になる）はおかしいと思う。赤ちゃんの時のようにおむつ代はかからなくなるが、成長するにつれて学費や食費、生活にもお金が掛かるから見直しが必要。

2　経済的支援について

- 塾代が異常に高いのでなんとかしてほしい。
- 高校生以上も援助をして欲しい。
- 物価高に対する給付金を条件無しにしてほしい。ゴミ袋が有料なので支給してくれると嬉しい。
- 中学三年生の双子子育て中だが、食費 学費 塾代等の出費が多い。一時的な出費が多いが、双子以上対象の支援がなく負担が大きい。多方面での援助施策を検討して頂けると大変助かる。
- とにかくお金がかかりすぎる。塾の補助金は必要。制服や体操服、学校の通学用自転車の補助金。
- 円安が続いていて物価高なので、少しでも安くしてもらいたい。
- 非課税世帯、ひとり親世帯以外にも困窮している世帯はたくさんある。低学力からの連鎖から抜け出す為にも、低額での学習支援の場があるとありがたい。正直、塾に何十万も払えない。
- 非課税世帯ばかりに支援するのをやめてほしい。真面目に働いてるのが馬鹿みたいなので親の収入に関係なく子供らは平等に支援されるべき。
- 塾代の補助があればありがたい。
- 上記にあるような、通学費や塾などの補助があると嬉しい。勉強を頑張る気持ちをもう少し応援しやすい補助がほしいといつも感じている。
- つくば市も実施している塾代の補助制度があると大変助かる。
- 高校受験に向けて塾に通い始め、月謝や春夏冬休み講座の代金が大きな出費となり、毎月影響が出ている。今は物価も上がり生活費を節約しながらの生活で、毎日家計簿をつけながら毎月の支出額を把握して、収入の範囲内でやっていくのが精一杯。土浦市から通学費の手当や塾代補助を頂けたらありがたい。
- 支援学級に通わざるを得ない子供が増えているが高校以上になると支援がほとんど無く、支援の厚い私立高校へ行く等親の負荷が大きい。給食費無償化等はありがたいが、支援を必要としている子供たちの支援を強化していく事は魅力あるまちづくりに貢献すると考える。
- 学習塾への助成金サービスが充実すれば、中学受験や高校、大学受験への準備が格差なくできるようになると思う。給食無償化はとても助かるし、マル福についてもありがたいと思う。減税など、さらなる実質的な負担軽減の充実を期待する。
- 受験生には塾代金の支援や補助がほしい。送迎が不要になるよう中学校区内に設けてほしい。
- 塾代の補助があれば生活がギリギリな家庭はとても助かる。
- 通学費、塾代の補助。子供たちが収入関係なく、みんな平等に学習できる制度。
- 部活動や課外活動へ参加する場合の経済的、時間的な負担の軽減。塾代の補助(兄弟がいる場合など)。
- 少しでも今後の為にと就業(残業)時間を増やして、貯蓄にまわそうとしたらマル福から外されて支出増。なるべく、これまで以上の支援をアテにしないよう一生懸命にやっただけなのにと矛盾を感じる。他の母子家庭では、あえて無理して働かずに手当を満額もらう事をアテにしている話が当然のように耳に入る。働かない方が得かと考えさせられる。

3　医療について

- 子供の医療マル福の負担金、月２回まで 600 円の負担金を無くしてほしい。高校生まで医療費は窓口負担金０円にしてほしい。一時的に負担したとしても昔のように振込で返金して貰いたい。
- 個人的には子供の歯列矯正に保険適用レベルの補助がほしい。
- ひとり親のまる福について、所得制限をなくしてほしい。
- つくば市などは、乳児検診を個人病院で受診でき、エコーなどを使って良くみてもらえる。土浦市でも取り入れてほしい。集団検診ではよくみてもらってる感じが無い。教育の金額が高すぎる。これでは、少子化になるはず。塾の送り迎えなどの負担がキツイ。

4　学費、給食費無償化、進学について

- 今年の給食費無料がすごく助かった。
- 子供の医療費や給食費の無料化も有難い。ぜいたくを言えば、東京都のように私立高校の補助をもっと充実してほしい。
- 年度始めは子供の進級でお金がかかるのに税金や保険などの支払いも重なり出費が痛い。収入は増えず物価高もあり支出が大きく、子供たちには大学まで行かせて様々な学びをさせたいが経済的に厳しい。私立高校の助成金を増やしてほしい。塾代の補助。高校の部活動の遠征時の交通費の手当。入学準備、制服代等補助。
- 給食費を無償化してほしい。子供の教育費の補助があると助かる。
- 私立高校の授業料が高い。所得が高く補助を受けられない為、所得制限を撤廃して、補助を受けられるようにして欲しい。
- 高校の完全無償化を是非。
- 教育費の支援制度を充実させてもらいたい。
- 子ども手当が中学生で終わるが、高校からお金の負担が増し、その先の進学を考えると不安で仕方がない。何とか子どもに周りの子たちと同じような生活環境や教育をさせてあげたいし、そう努力しているが家計としてはとても苦しく感じている。
- 中学生までは給食費無料で負担減だが高校生になると給食がなくお弁当なので児童手当もなくなり費用も作る負担も急増。早く変わってほしい。
- 高校授業料無償化。
- 今は大学まで出て当たり前の時代であり就職で不利になるケースが実際にある。塾などに通わせる事が当たり前になっているが、学校の授業時間は減り早いスピードで授業が進み理解しきれない子は（補習まで学校ではやってもらえないから）塾へ行かなければついていけなくなっている。その金銭的負担が大きい。
- 高校無償化の所得制限をなくしてほしい。
- 中学生になる時に制服を補助してほしい。あと、中学生９年生になったら塾を補助してほしい。
- 私立を含めた高校までの授業料免除制度。

- 県立高校在学中の子供の海外短期体験制度があったが、金額が高すぎて断念せざるをえず子供に辛い思いをさせ、親としてやるせなさを感じた。金銭的に参加が難しい生徒であってもそのような経験ができるような支援制度があると良い。
- 私立高校へ進学した場合の援助。
- 海外交換留学の費用負担を減らしてほしい。
- 子どもの学用品の補助。

5　賃金、就労について

- 低賃金が上がって時給が上がっても扶養外れないかハラハラして仕事するのが嫌。収入が増えても社会保険に入れないのが困る。借金が減らない、むしろ増えていく生活をしていることが不安。
- 夫の給与手取りでも厳しく、生活が潤わず旅行にも行けず日々気が重い。40 代、がんばる母にも手当がほしい。

6　地域環境、交通整備について

- 土浦市は学校や役所のみなさんもいい方ばかりで住みやすい。
- ヤングケアラーの心配等をするなら尚更、その支援先の場所はなんとかならないのか、子供は車の運転できない。病院へでも協同病院や他の病院でも昼夜はどうやって行けばいいのか？バスの経営状況悪化で便数が少なくなり、なのに動ける人は車があれば困らないところに家を構えているが、突然できなかったらどうするのか。とにかく高齢化社会になったときの買物弱者や病院の移動など先回りして先手を打ってもいいように思う。ヤングケアラーだって自分のことをしなくてはいけない。その支援が必要だがそもそも、支援先まで行けない。ヤングケアラーの子供のことも含めて車の運転ができなくなる人が将来的には増えることは考えてもいいかと思う。
- 土浦駅から土浦協同病院方面のバスの夜 23 時くらいまでの拡充。夜間にタクシーで行けない人のため、夜は、19 時 45 分が最終で、病院行く人のための拡充が必須。
- つくばエクスプレスを荒川沖付近にも通す。
- 土浦駅まで、子供が一人で塾に通えるように、バスの本数を増やしてほしい。塾の送り迎えが大変。
- 通学路の安全対策。
- 交通の便利が悪いし、高校は学校から送迎のバスがでなかったり、本数が少な過ぎたりで通学費もかなりかかる。
- 子供の通学路が狭くとても危険に感じることがある。不審者も多いため、防犯カメラなどの設置を増やして安全面を高めてほしい。また住宅が増えていることもあるので、バスの通行範囲を拡大してほしい。都和公民館からのキララちゃんバスの運行拡大を希望。区長、副区長などの地区の役員活動の廃止。道路の振動が酷いので舗装してほしい。車道に飛び出している草木の伐採。
- 通学するのに不便なので、公共交通機関を主要道路以外にも増やして欲しい。

- あと交通面で、横断歩道のライン、一時停止のラインが薄い場所の見直しをしてほしい。小さい子の身勝手な道路横断、自転車走行のマナーがよくない。小さい子ほどヘルメット着用を呼び掛けてほしい。定期的に、学校でも、免許を持つ親にも、子供の自転車による交通事故の危険性を伝える時間をもうけてほしい。
- 車を運転できなくなったとき、利用できる公的移動手段をもっと増やしてほしい。ルートも増やしてほしい。安心して免許返納をできるようにしてほしい。
- 道路のへこんだところは、すぐに直して欲しい。この前、荒川沖駅からジョイフル本田に行く時に深い凹みがあり、タイヤパンクするところだった。補修に１週間程度かかっていた。
- 土浦市図書館の駐輪場有料、本当に勉強をしようと頑張っている学生がお小遣いから出している。車は無料、再検討が必要。

７　その他

- 児童クラブの拡大。
- このようなアンケートをしても何も改善されないと思う。それぐらい、土浦市は閉鎖的なまち。
- 税金や健康保険制度、年金制度について教育の場がないので学校教育に組み込んで欲しい。子供たちは学ばずに社会人になり、勤めればなんとなく社会保険に加入するが、辞めてしまったときに国民年金に切り替えるとか、複雑で、きちんと理解できずに年金を払うので納得できないのではないか。
- このアンケートが何の為に役立つのか分からない。現状把握だけで「より良く」というベクトルが感じ取れない。また、困りごとを深堀りしようとする姿勢も感じ取れない。
- 教育的ニーズに対応できる制度の充実。子ども達の未来を大事にしてほしい。
- 小中学校の支援教員の質を上げてほしい(専門的な教育やトレーニングをしていない先生が多く、支援を受ける子供たちに対する理解度か低い)。
- 貧困やヤングケアラーは家の中の問題でなかなか外の人間には分かりにくい。学校の中にソーシャルワーカー、公認心理士などを常勤（週２．３日でも）配置して欲しい。日々子どもと接することができ、早めに気がつけ、社会に繋げると思う。東京の公立学校には常勤の心理士がいる。私も相談したことがある。子どもの様子をよく分かった上でアドバイスをもらった。不登校、発達障害児にも有用。
- 男性の家事育児担当に関する子供時代からの教育の普及。
- lgbtqia＋への配慮や権利への対策などをお願いしたい。

5　17 歳

【分類別の意見】

1　奨学金、学費について

- 奨学金の無償化を願っている。
- 兄弟が多いので、全員が高校・大学まで行くとなるとお金がかかるので学費が安くなる、もしくは今後の生活が苦しくならない給付制のお金があったりしたらいいなと思う。
- 坂東市の取り組みのように英検受験の際の費用を市が一部負担してくれると非常に助かる。
- 授業料の免除。
- ひとり親でも私立大学に進学できるような資金の援助。
- 学費の助成金がほしい。
- 奨学金を、もっと借りやすく返しやすい条件に変えてほしい。
- 進学のための支援をして欲しい。
- 大学に入る為の金銭的な補助がほしい。
- もっと裕福になって奨学金がなくても大学に行けるようになりたい。
- 学力に合わせた無償型奨学金制度の拡充。

2　地域環境、道路交通の整備について

- ポイ捨て禁止。
- 蛇足かもしれないが、土浦アルカスの図書館がとても快適。感謝している。
- 美味しい飲食店（ラーメン）を増やしてほしい。
- つちまるバスを増やしてほしい。
- 土浦駅に参考書を買うための書店が欲しい。
- 通学時間を短くしたい。
- 移動をしやすくすること。
- チェーンストア近くに欲しい。
- ゴミが捨てられているのを見かけたりするのでポイ捨てしないよう呼びかけを強化して欲しい。
- バスの本数を増やして欲しい。
- 駅前に遊べるところをふやしてほしい。
- 暗い道の街頭整備。バスの便の数を増やして欲しい。街にゴミ箱スポットみたいなものを設置して欲しい。田んぼを通る時に夏に虫が大量発生するから通りづらい。レンコンの繊維のようなものが田んぼを通る時服に付いてしまう。
- 温水プールが欲しい。
- 暴走族がいなくなってほしい（うるさい）。
- 地域全体で盛り上がることができるイベントを開催する！！
- 自転車通学をしているが、駅前の道が狭く、路駐をされると困るし、車の運転が荒い人が多くて、危ない。道路関係の整備をして欲しい。
- 時折、夜な夜な騒がしくしてくるバイク乗りの人達に控えるよう言ってくれると助かる。

- 犯罪がひとつも無い。
- 近くのバス停や電車の本数を増やしてほしい。
- 娯楽施設を建設。

3　経済的支援について

- 経済的負担軽減。
- 公的支援（お金）を高校卒業後の進学先でも受けられるようにしてほしい。
- お金が欲しい。
- お母さんが何年も休みなく働いているのに、そのせいで何の支援も受けられないと言っている。だからと言って金持ちではない。お母さんと２人なので、死んでしまったらどうしようといつも思っている。
- お金に余裕が欲しい。
- 国債を発行しないと、円安は解消しないと考えるため、たくさん国債を発行して経済を回して欲しい。
- お金がほしい。
- 稼ぎが増えると母子手当が減らされる制度を変えてほしい。
- バイト代から負担しているので昼食代を貰いたい。
- お金が欲しい。
- お金がたくさん欲しい。
- お金をもらう。
- お小遣いももう少し貰いたい。
- 教育関係の補助費をもっと充実させて欲しい。
- お金が欲しい。
- 自分に投資をするには、お金がかかるから、そういった金銭面でのサポートを希望。

4　就労の賃金について

- アルバイトの時給の基準？（最低賃金）を上げて欲しい。最近物価が高すぎて学生にはきつい。アルバイトをしていても定期代などで飛んでくので友達と遊びに行っても安いものを探してしまう。学生に優しい街づくりをお願い。そしてそれよりもお願いしたいのは介護職の給料を上げること。毎日認知症のお年寄りを相手にして精神的に疲れ、女性一人で体の大きなお年寄りを抱えて移動させたり、話を聞いているだけでもしんどい。本当に大変なのが伝わってくる。どうかお願い。
- 最低賃金を少しでもいいので上げてほしい。
- もう少し最低時給を上げて欲しい。
- 公共サービス業従事者の待遇改善、給料アップ。

5　医療について

- メンタルクリニックに行きたい。
- コロナウイルス感染症のワクチンの無償化。

6　生活環境について

- 本当のお父さんと一緒に暮らしたい。
- ペット（猫、犬）が欲しい。
- 犬を飼いたい。
- ゆっくりできる時間が欲しい。
- 自分の部屋が欲しい。
- １人でいたい。
- 普通の家族。
- 好きなことに我慢せず取り組みたい。
- 自分の部屋が欲しい。

7　意見、相談について

- いじめっ子へのカウンセリング。アメリカなどで行われてるという話を聞いたので。いじめないといられないという考えで行われてるらしい。ただの説教では改心しないと思うし、犯罪になる前にカウンセリングを受けさせたらいじめっ子の将来的にもいいのではないかと思う。犯罪者のレッテルが貼られると大変だと思う。
- 学校に市役所に伝わる目安箱をわかりやすい場所に置けばもっと意見を反映しやすくなると思う。
- もはや会話とは言えないような、一方的に自分の意見を押し付けて相手の主張に耳を貸さない理不尽な人には消えて欲しい。

8　その他

- 口を良くしてほしい。
- もっと皆がお互いのことを考えられるような世の中になれば暮らしやすくなると思う。
- 公立高校は給食があればお母さんの負担が減ると思う。
- 自然災害が無くなって欲しい。
- 現実世界で人と関わらなくてもバーチャル世界のコミュニケーションだけで生活できる世の中になってほしい。
- 楽にスムーズに大人になりたい。
- 水曜は休みにしてほしい。
- Não há nada para pedir
- 現状に満足しているので特にない。
- バイクの免許取得年齢の引き下げ。
- 物価が高くなっていることが不安だからもっと経済のことを、手を出しやすいメディアなどで学生や若い人に教えてほしい。円安の影響は日本にいてもあまり感じないが、海外に行ったらすごく大変だから日本人がより、留学やワーホリをして、他国で学んだものを日本に役立てるようにするためにもどうにか対処してほしい。添加物の多い商品を減らしてほしい。国民一人ひとりがもっと自国や国際情勢に興味を持ち外の文化を知ることが出来るような政策をしてほしい。

6　17 歳保護者

【分類別の意見】

1　手当て、支援について

- 基本、世帯主に子ども手当が入るが母親の口座に入れらて貰えるように柔軟に対応してもらいたい。
- 所得が多くても、夫が単身赴任で、単身赴任手当や帰宅交通費も所得に含まれ、高校の授業料などの手当ももらえない。夫の生活費も別でかかる上、子ども２人、私立の高校に通わせ、１人は受験生で、発達障害もあるため、個別の塾に通わせている。大学も、理系の大学希望で、お金がかかり、心配だ。国民年金だけの両親も同居していて、高齢者は、冷えたりするので光熱費もかかっている。世帯登録は分けているため、扶養控除は受けていませんが、実際はお金がかかる。色々な子ども支援の支援金についての所得制限を、家庭の状況によって検討していただけたら良いなと思っている。
- 児童扶養手当は誰でも受けられるようにしてほしい。今仕事がないのに、前年の所得で 10 月以降にしか申請できないのは無理がある。この状況なのに国民健康保険の督促など、鬼だと思う。これを理由に誰かが死んだら自治体も変わるのかなと思っている。
- 収入によって、受けられない支援があるのは不公平だと思う。（授業料無償化など）
- 子供の成人するまでの支援を拡充していただきたい。
- 児童扶養手当や県営市営住宅の家賃を世帯主だけの収入で計算して欲しい。配偶者なら合算して生活費に当てられますが、子供の収入は宛に出来ないけど、合算されて収入になってしまって、家賃が上がり補助が減って大変苦しくなってしまっている。
- 義務教育でも、公立学校でも、学校生活にとてもお金がかかる。ランドセルの無料配布は素晴らしい。
- 子ども手当の延長。（高校生まで）
- 医療ケア児は通学の際、支援学校のバスに乗れず、保護者の送迎しか通学手段がない。帰りは放課後等デイサービスの迎えを利用できるが、朝は８:40 にならないと学校の門が開かない。その後、医療ケア児だけケア室での熱や全身のチェック、必要物品チェックがあり、すぐに学校にお願いできず、15～20 分以上ケア室に居ることもある。そのため、保護者は仕事の開始時間を遅らせるなど会社に無理を言って対応してもらったり、（減給されます）折り合いが合わない場合は退職するしかない状況。保護者の就労ができなければ、生活が困窮し、子どもは貧困に陥ります。保護者の負担を減らすためにも通学支援を早急に実現して頂きたい。2021 年９月に施行された医療ケア児及びその家族に対する支援に関する法律に基づき、他県や、他県市町村単位でも次々と通学支援は始まっている。土浦市からも県に働きかけたり、土浦市でも早急に実現して頂く様お願いする。
- 児童手当が高校からなくなるので、所得制限無しの高校、大学の経済的な支援があればとても助かる。
- 年齢ではなく、学生の間は医療費や児童手当相当の支援があると助かる。
- 私立高校の学費補助や児童手当を所得制限なく支給していただきたい。住民税非課税世帯はそれだけで恩恵を受けているにも関わらず、十分すぎる給付を受けている。課税世帯が非課税世帯を支えるのは納得できない。物価高騰の煽りは全世帯が受けているのに、課税世帯は支払うばかりで、給付を受けられないのは不公平と感じる。

- 児童扶養手当を受給してますが所得があるので今ある10万円給付金やプラス５万円給付金が受けられない。せめて５万円でも受けられればと思う。同じ職場で子供の扶養がうちより１人多いだけで非課税になり給付金を受けたりしてる人がいる。コロナの時も借入の手紙が市役所から来て借入して返さず済んだよなんて聞くとずるいなと思う。その当初離婚したばかりで手当も貰えず一年我慢した。今大変なのに行政は助けてくれないと痛感した。扶養手当の件で市役所に聞きに行くとなら生活保護申請したらどうでしょうか？と言われたり…線引きせずに児童扶養手当を受給してる人に出して欲しい。児童扶養手当も所得制限なしにして欲しい。
- 卒業した学校の制服など集めて、お古でも構わない家庭に活用して欲しい。
- 高校の制服や定期代が家庭の負担になるので、児童手当は高校卒業まで支給して欲しかった。

２　経済的支援について

- 生活費などの補助制度があると助かる。
- 物価(光熱費含む)の上昇に対し父の給与が上がらず、母がパートであるが社会保険に変更し仕事の時間が増えて家族の時間が減っている、何かしら支援対策をしてもらいたい。
- 少子化対策が必要だといいつつ子育てにかかる費用は膨大で、借金は減らない。これから進学するのにもすべて借金。親も子も借金しないとやりたいこともできない。時給、給料上げてもらっても扶養外れないようにするのが無意味。これから生活が楽になるのか見通したたず不安。
- 通学費の援助が欲しい。
- 漠然とした理解はあったが実際に子どもを産んで育てるのがこんなにお金が必要だとは知らなかった。情報不足と言われればそうかもしれないがとても大学まで出せない。全てにおいて金額が高すぎる。これではみんな子どもを産まなくなる。子どもを持ちたくても持てない。
- ３人産んだ人には支援を充実してほしい。年が離れた兄弟だと支援が十分に受けられないのは不公平だと思う。同じ３人なのになぜ？と思う。お金は同じようにかかるのに。
- また、働き過ぎると家庭が疎かになってしまい、子供の心のケアが不十分だった時期もある。今、子育てに悩んでる親と不遇な環境で育って行かなければならない子たちに楽しく生活出来る環境の手助けになるような物があればと思う。
- 食費も男の子が何人か家にいると毎月８万近くかかる。値引きシールありの食材を買ってその日に調理が基本で手間かかる。特定の食品だけ無税にするとかは難しいのか？お米だけ。など。
- 自転車のヘルメットに対する補助金。
- 年収の制限がある制度に関して、その制限ギリギリで受けられない世帯が１番苦しい思いをしていることを知ってほしい。何事もボーダーがあることは仕方ないが、そのボーダーがもう少し細かく設定されるといいと思う。現在の物価高と制度の年収基準が合っていないと感じている。
- 高校の無償化はとてもありがたいのだが、定期代や駐輪場代、バス代などとても高額なのでらそういった手当もあると助かる。
- 子育て・子どもの進学や就職に関することは出来るだけ市民に負担がかからないように補助して欲しい。例えば前・泉房穂明石市市長がやってきたような取り組みをぜひ望みたい。「子は宝」と言いながら子どもや教育にかけるお金が先進国中で最低レベルと言うのは全くお粗末で、少子化などもここに起因していると考える。北欧の福祉国家よりも高い税金を取りながら庶民に還元されていない日本の現状を地方自治体から変えて行って欲しいと思う。
- 無駄に水道工事ばかりしていて他市町村より料金高いイメージ。もう少し市民に還元しても良いと思う。市長はじめ議員報酬カットとかやってもらいたい!
- 学生の通学費の援助。

- 物価高騰に伴い生活が苦しくなっている。食品だけでも安くして欲しい。支援というか減税して欲しいというのが本音。
- 助成金や補助金をもっと多くもらえるようにして欲しい。
- 子供の部活のバス代が足りない等近隣と比べて土浦市の教育について不安になる。
- 我が家は子供三人いるので、子供一人世帯、子供二人世帯に比べれば遥かに費用がかかる。減税、給付金など、特別優遇してもらえたら…と思う。
- 水道代が高すぎる。
- 通学の為のバス代が高い。
- 大学への通学費の補助をして欲しい。
- 生活費を借金している状況で支援金など、もっと借りやすくできないか。審査もあるためなかなか借りれない。消費者金融の借金が増えてしまう一方で、生活が一向に整わない。もう何年も繰り返している。
- 近隣の自治体がやっているような、子ども(20 歳未満まで)１人に対して２万円～５万円の給付金を配布や、市民全員に１世帯２万円～５万円の生活費給付等を土浦市もやっていただきたい。

3　医療について

- 国策によるコロナワクチン推進にて多くの人が接種されているが、人により体から激しい臭いを発している方がおり（シェディング）その臭いのスペースに入ってしまうと、その後は腹痛、胸痛、喉の痛み、目の充血、倦怠感、皮膚の発疹、ブレインフォグなどの症状が出てしまう。市役所駐車場のエレベーター内外の風通しが悪い空間は臭いが染み付いていて、本当に辛い。そのように敏感な体質のため就職もままならない。コロナワクチンが本当に必要だったのか、打った方の健康は害されているのではないか、超過死亡との関係は、など、検証をお願いしたい。
- 子供が大学にいっても、子供が働くまではマル福制度をやめないでほしい。
- 大学生になっても医療費の補助をして欲しい。

4　学費、給食費無償化、進学について

- 塾の補助はあると助かる。
- 私立高校と私立大学の学費が高額なため、生活が苦しい。対応策を考えていただけると助かる。
- 子供の進学にお金がかかるが大学や専門学校に合格の書類がないと借りられなく、入学金を納める期間が短いため借りたくてもすぐに対応出来なくて困っている。子供の進学がスムーズに出来るような体制をお願いしたい。
- 11 年前につくば市から土浦に転居した。つくば程学力、家庭の格差は感じないが学習塾の費用を捻出するのが大変である。
- 見かけだけの母子（父子）家庭に無駄な支援をしないでほしい。子供を育てるのに必死に働いてるのに収入が増えると学費等の免除が無くなるのはおかしい。働かないで生活保護もらってる家庭が海外旅行してる制度は疑問である。学費は平等に無料にするべきである。
- 先生の働き方改革や時代の流れにより学校で熱意ある授業もなく、塾に通うしかない。毎月１人安くて２万近くかかる。私はバイトかけもちしたが、家が荒れてきている。塾代のサポートがあれば茨城の学力も上がるのではないか？地区は学力低いらしく、塾の面接でも言われている。

- 高校生になるといろんな補助、支援がなくなるような感じがするので塾の補助や大学に行くための支援制度があるとよい。
- 公立中学校の給食費は無償であるが、私立中学校の給食費に助成金は出ないのは不公平だと思う。助成金の支給を検討してもらいたい。
- 小中学校の給食費無償化は、本当に助かっている。ありがとうございます。
- 子供の入学にかかる費用の負担を減らしてほしい。
- 私立高校の授業料も無料化！
- 学費を無償化にしてほしい。高校生まで給食にしてほしい。
- 塾代補助はあるといい。参考書・問題集補助もいい。
- 塾代の補助。
- 就学に関する費用全ての低減。
- 私立高校に通わせた。私立高校も、実質無料化していただけると大変ありがたかった。涙。そういうご家庭はたくさんあると思う。
- 子供の教育費が高い。特に大学。大学進学等の支援を充実させて欲しい。奨学金は借金になるので、塾代の給付等が良い。
- 高校の無償化について、全員対象にしてほしい。子供のことなのに、親の収入で受けられないのは不公平。うちはギリギリくらいで対象外だが、生活は余裕はない。夫婦でたくさん税金を払っているのに、子供にも恩恵が受けられない。私達の税金が他の子供達の授業料になっているのかと思うとやり切れない。
- 教育費の無償化土浦市在住の保護者、子ども本人の大学卒業までの学費支援。
- 我が家も高校受験の際、塾の費用を捻出するのが大変である。家庭の事情を知って塾へ行きたいと言えない子供たちもいる。
- 私立高校の入学金、学費が高い。本人がやりたいこと行きたい学校があっても、高額な塾代を払って勉強しないと行けない。中学校は義務教育なのに、高額な制服や体操服を買う意味が分からない。
- 高校の教材費の補助。（一人当たり年間 10 万円以上かかるため）
- 今まで考えていたことはなかったが、この問を見て塾代の補助あったら利用したいか条件とか満たせなさそうだが…

5　学校設備について

- また各施設への設備の向上も検討してほしい。お金がないから設備が古いままで対応しており、若い職員は入ってこないので、職員も高齢化してきており仕事がとってもしんどい。早急に各施設の設備の見直しと資金を検討してほしい。
- 公立高校は給食を出して欲しい。

6　賃金、就労について

- 福祉施設への職員の賃金をもっとあげてほしい。職員が少ない中、仕事量と賃金の割合がまったく合ってない。離職率がどんどん上がる一方。
- 50 代でもしっかりと働ける職場を紹介して欲しい。

7　地域環境、交通整備について

- 各学校への通学の便利さをもっと増やしてあげてほしい。例えばスクールバスを増やすなど、、
- それから、もう少しコミュニティバスが利用しやすくなったらいいと思う。
- 神立駅近くに中高生が使える勉強スペースがあると良いと思う。
- バスの本数の縮小があったが、バスでしか通学できない地域もあるのでよく考慮してから減らして欲しいと思う。
- 近くに空き家があり､所有者もいないためどうにもならない｡適切な空き家対策を行って欲しい。
- 治安の悪化についても対応を考えているのか？
- 子どもの勉強出来るスペース（学習センターみたいなテーブル椅子がある場所〕を駅周辺にも増やして欲しい。そしてその敷地内で、低価格な子ども達が食べれる例えばおにぎり食堂でもあると良い。塾に通ってる学生も食べれるように。子ども達が、食に困らず勉強出来ると良い。

8　情報、相談について

- いろいろなサービスをしていても周知されていないように感じられる。デジタルツールの普及率を把握し、広報誌も、見ていない人が多いようだ。とてももったいないと思う。
- ヤングケアラーは把握するのは難しいと思うが、子供に抱え込ませないようにＳＯＳをキャッチ出来るしくみを検討して。
- 子供が小学生までアパートに住んでて、回覧板が無かったので、広報誌も知らなかったし援助金や助成金など全く分からなかった。公共機関や施設などの活用で、分かりやすく相談しやすい場所の提供。
- 給付金などを調べたときに、受けられる制度が少ないと思った。または、終了していた。
- 誰でも行けるよう中学校から低金額の塾を紹介してもらえる等あるといいと思った。
- 子供が、中学から不登校で、現在は通信制高校在学中で引きこもりに近い状態である。将来が不安で本人・両親ともにとても悩んでいる。相談窓口があると精神的にも助かる。
- 息子が小さな頃だが、ことばの教室とおひさま教室に行っていた。ことばの教室の先生は、やけに上から目線で出来ない事にため息をついたり将来、学習ができないかも等、医師より詳しい！と言った感じて説明をしてくれた。しかし、年月は過ぎ息子はことばの教室の先生の言った事とは反対になった。ダメだと言われた時の親の気持ちが分かりますか？子供にはいつでも明るい未来があると思わせるのが大人である。希望を持たせるのがプロフェッショナルだ。何も分からない不安な親になりたての人に自分がいかに優れているか、経験を持ち医師より詳しいかをアピールする場所でない。自分の自己顕示欲を満足させる場でもない。そういった場所の相談員や先生はそういう方が多い様に思う。若い先生は全く違って良かったが、ある程度の年齢の先生は先生と言われるせいか大人子供になってしまった感じがした。反対におひさま教室の先生は、本当にプロフェッショナルな方達だ。いつも明るく楽しくお母さん達を励まし支えてくれ様としていた。一緒にやっていこうよ！みんなと育てていこうよ！子供が大好き！楽しい事を見つけよう！そんな感じの教室だ。中学校の支援教室も見に行って下さい。自己肯定感を潰すしかない言い方をする教員もいる。大人しい子は怖くて行きたくない、と言っている話を聞いたことがある。やってみよう！と挑戦する気持ちや失敗しても励ます事、励まされる事を学んで欲しい。ことばの教室や中学校の支援教室、覗いて見て下さい。子供を下に見たり自己肯定感を下げたり親に希望を持たせない指導をしている場合がある。同じ事でも言い方で随分と変わるものだ。それによって相手も変わる。

９　その他

- この分野に対する意見は特になし。
- このままだと子供の人数は増えないと思う。
- このアンケートが何かのお役に立てますように…。
- このアンケートに非常に時間がかかった。何回も時間切れになり、初めからやり直した。その為期限も過ぎた。

土浦市生活実態調査（６年生票）

依頼状に記載のIDをご記入ください

ID:（　　）

あなたのことについてお聞きします

はじめに、お住まいの地区としてあてはまる番号1つを選択してください。

地区名	該当町名
1. 一中地区	有明町、大和町、桜町一丁目～四丁目、大町、千束町、生田町、 港町一丁目～三丁目、中央一丁目・二丁目、城北町、東崎町、 川口一丁目・二丁目、大手町、文京町、立田町、田中一丁目～三丁目、田中町、 蓮河原町、蓮河原新町、滝田一丁目・二丁目、湖北一丁目・二丁目、 虫掛（虫掛町）、宍塚（宍塚町）、矢作（矢作町）、飯田（飯田町）、 佐野子（佐野子町）、粘毛（粘毛町）
2. 二中地区	木田余（木田余町1区、2区、3区、4区）、木田余東台一丁目～五丁目、 木田余西台、真鍋一丁目～六丁目、東真鍋町、西真鍋町、真鍋新町、若松町、 東若松町、東都和、殿里（殿里町）
3. 三中地区	中（中村町1区・6区・8区、西根町3区の一部、中村東町の一部）、 中村西根（1区・2区、竹の入町、西根町3区の一部、乙戸町の一部）、 中村南一丁目～六丁目、西根南一丁目～三丁目、西根西一丁目、 卸町一丁目・二丁目、中村東一丁目～三丁目、右籾（中村東町の一部）、 荒川沖東一丁目～三丁目、荒川本郷（荒川沖町南区の一部）、 沖新田（荒川沖町南区の一部）、北荒川沖町、中荒川沖町、 荒川沖西一丁目・二丁目、荒川沖（荒川沖町西区一丁目・二丁目、 荒川沖町西町三丁目、荒川沖町南区の一部）、乙戸（乙戸町の一部、 荒川沖町南区の一部）、乙戸町南一丁目～三丁目、小山田一丁目・二丁目
4. 四中地区	小松一丁目～三丁目、千鳥ヶ丘町、小松ヶ丘町、桜ヶ丘、国分町、 上高津（上高津町の一部）、宍塚（上高津町の一部）、上高津新町、 小岩田（永国町の一部）、永国（永国町、中高津町の一部）、永国東町、 永国台、富士崎一丁目・二丁目、下高津一丁目～四丁目、 中高津一丁目～三丁目、天川一丁目・二丁目
5. 五中地区	沖宿町、田村町、手野町、おおつ野一丁目～八丁目、神立町（神立町1区）、 中神立町、北神立町、神立町中央一丁目～五丁目、神立東一丁目・二丁目、 菅谷町、白鳥町（白鳥町、白鳥新町）
6. 六中地区	大岩田（大岩田町1区・2区、大岩田団地）、霞ヶ岡町、 小岩田東一丁目・二丁目、小岩田西一丁目・二丁目、鳥山一丁目～五丁目、 右籾（右籾町1区・4区・5区、右籾町2区・3区の一部、右籾町自衛隊、 まりやま団地、まりやま新町）、摩利山新田（右籾町2区・3区の一部）
7. 都和地区	並木一丁目～五丁目、東並木町、西並木町、都和一丁目～四丁目、 板谷一丁目～七丁目、中都町一丁目～四丁目、雀師町、今泉（今泉町）、 栗野町、小山崎（小山崎町）中貫（中貫町）、東中貫町、常名（常名町）、紫ヶ丘
8. 新治地区	藤沢（藤沢1区・2区）、東町の一部、文京区の一部）、 大畑（大畑、藤沢団地、東町の一部、桃園の一部、文京区の一部）、 上坂田（上坂田、桃園の一部）、下坂田（下坂田、桃園の一部）、沢辺、田宮、 田土部、高岡（高岡根、高岡沖、高岡新田）、藤沢新田、永井、本郷、大志戸、 小野、東城寺、小高
9. わからない	（町名：　　）

問1 あなたの性別を教えてください。（○は1つ）

1 男子　　2 女子　　3 どちらでもない・答えたくない

問2 あなたには、自分が使うことができる、以下のもの（こと）があり(でき)ますか。ある場合は「1 ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、いらないと思うものであれば「3 ほしくない」に○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

		ある	ない	
			ほしい	ほしくない
A	自分の楽しみのための本（マンガやダウンロードするものを含む）	1	2	3
B	子ども部屋（きょうだいと使っている場合も含みます）	1	2	3
C	（自宅で）インターネットにつながる環境	1	2	3
D	（自宅で）宿題をすることができる場所	1	2	3
E	自分がアクセス（ネットワーク接続）できる音楽や映画サービス （Hulu、AmazonPrime、Netflix など）	1	2	3
F	スポーツ用品（野球のグローブやサッカーボールなど）など 外遊び用の道具	1	2	3
G	ゲームなど屋内で遊ぶおもちゃ	1	2	3
H	スポーツや音楽などの課外活動に必要なもの	1	2	3
I	自転車	1	2	3
J	月500円ほどの、自分で自由に使えるお金（お小遣い）	1	2	3
K	友だちが着ているのと同じような服	1	2	3
L	2足以上のサイズのあった靴	1	2	3
M	スマートフォン	1	2	3
N	学習塾（または家庭教師、オンラインを含む）	1	2	3
O	1年に1回の家族旅行（1泊以上）	1	2	3
P	友だちが持っているような文房具 （えんぴつ、消しゴム、筆箱など）	1	2	3
Q	新しい（お古でない）洋服	1	2	3
R	習い事（音楽、スポーツ、習字など）	1	2	3
S	めがね又はコンタクトレンズ（矯正用）	1	2	3

あなたの友だちのことについてお聞きします

問3　あなたの仲が良い友だちは、どのような友だちですか。（あてはまる番号すべてに○）

1 学校の友だち	4 塾の友だち
2 学校は一緒ではないけれども、近所に住んでいる友だち	5 習い事の友だち
	6 その他の友だち
3 地域のスポーツクラブやクラブ活動の友だち	7 とくに仲の良い友だちはいない

問3－1　あなたは、友だちとあそぶ時は、どこであそびますか。（あてはまる番号すべてに○）

1 自分の家	5 お店がたくさんあり、人が集まる場所
2 友だちの家	6 友だちと遊ばない
3 児童館	7 その他（　　）
4 公園	

問3－2　あなたは、将来なりたい職業がありますか。（あてはまる番号1つに○）

1 ある　　2 ない　　3 わからない

問3－2－1　将来なりたい職業が「1 ある」と答えた人にお聞きします。その職業は何ですか。（下の枠の中に書いてください）「2 ない」「3 わからない」と答えた人は、空白でよいです。

あなたのふだんの生活についてお聞きします

問4　あなたは、（1）平日（学校に行く日）の放課後（チャイムが鳴るまで）と、（2）週末（学校に行かない日）の昼間はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人の番号を□に書いてください。

1 家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくみます）		
2 児童館や図書館など市の施設の方	(1) 平日	□
3 その他の大人（近所の大人、塾や習い事の先生など）		
4 学校の友だち	(2) 週末	□
5 学校以外の友だち（地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど）		
6 一人でいる		
7 その他（　　）		

問5　あなたは、30分以上からだを動かす遊びや習い事を、1週間でどれくらいしますか。（○は1つ）

※例：ボール遊び、自転車、サッカー、野球、空手、剣道、体操、バレエ、水泳など

1 ほとんどしない・全くしない	3 週に3～4回	5 ほぼ毎日
2 週に1～2回	4 週に5～6回	

問6　あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。（それぞれ、○は1つ）

		毎日 4時間以上	毎日 2～4時間	毎日 1～2時間	毎日 1時間以下	1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日	全然しない
A	ゲーム（テレビゲーム、スマートフォンなど）をする	1	2	3	4	5	6	7	8
B	SNS（LINEなど）を見たり、書き込んだりする	1	2	3	4	5	6	7	8
C	テレビやインターネット（YouTubeなど）をみる	1	2	3	4	5	6	7	8
D	外での運動	1	2	3	4	5	6	7	8
E	家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）	1	2	3	4	5	6	7	8
F	弟や妹の世話	1	2	3	4	5	6	7	8
G	父母・祖父母など家族の介護・看病	1	2	3	4	5	6	7	8
H	家族の通訳や手続きの手伝い	1	2	3	4	5	6	7	8

問6－1　「E」に1～7と答えた人にお聞きします。家族の中で、家事を最も多くしている人は誰ですか。（○は1つ）

1 自分　　2 お母さん　　3 お父さん　　4 その他の家族

問6－2　「G」に1～7と答えた人にお聞きします。あなたが介護・看病している人は誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1 弟・妹	3 お母さん	5 おばあさん・おじいさん
2 お兄さん・お姉さん	4 お父さん	6 その他の家族

問7　あなたは、以下のことについて、どう思いますか。（それぞれ○は1つ）

		とても そう思う	そう思う	だいたい そう思う	少し そう思う	そう思わない	わからない
A	家族は私のことを大事に思ってくれている	1	2	3	4	5	6
B	もし何か問題があったら、家族は私を助けてくれる	1	2	3	4	5	6
C	家族と一緒にいるのは楽しい	1	2	3	4	5	6
D	家にいると安心する	1	2	3	4	5	6
E	親は私の意見を尊重してくれる	1	2	3	4	5	6
F	私のことは、親と私が一緒に決める	1	2	3	4	5	6

問8　あなたは、ちょっとした会話も含め、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。「1 毎日」から「4 ぜんぜん」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。電話、メール、LINE もふくめて考えてください。

（それぞれ、○は1つ）

	毎日	時々	たまに	ぜんぜん
A 親	1	2	3	4
B 兄弟姉妹	1	2	3	4
C 祖父母・おじさん・おばさんなど	1	2	3	4
D 担任の先生	1	2	3	4
E クラブ活動の先生	1	2	3	4
F スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	1	2	3	4
G 保健室の先生	1	2	3	4
H 友だち	1	2	3	4
I SNSを通じて知り合った人	1	2	3	4
J 近所の人や町内会の人	1	2	3	4
K 児童館や図書館など市の施設の職員	1	2	3	4
L 地域のスポーツクラブのコーチや塾・習い事の先生など	1	2	3	4
M 地域(こども)食堂や無料学習支援事業の人	1	2	3	4
N コンビニなどの店員さん、お店の人	1	2	3	4
O その他の大人	1	2	3	4

問8－1　あなたに困ったことや、悩んでいることがある時、そのことを誰かに話しますか。上記の A～O の相手のうち、話す人の記号をすべて答えてください。

1 話さない　　2 話す　→ 相手の記号 [　][　][　][　][　][　]

食事のことや健康のことについてお聞きします

問9　あなたは、平日（学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか。（あてはまる番号1つに○）

1 いつも食べる（週に5日）
2 食べるほうが多い（週に3、4日）
3 食べないほうが多い（週に1、2日）
4 いつも食べない

問10　あなたが自宅で食事をする時、主にだれが作ってくれますか。（あてはまるもの1つに○）

1 母親
2 父親
3 祖父母
4 きょうだい
5 自分
6 その他（具体的に　　）

問11　あなたは、平日（学校に行く日）は夕ごはんをだれと食べますか。（あてはまる番号すべてに○）

1 家族（親）
2 家族（兄弟姉妹）
3 その他の家族（祖父母など）
4 家族以外の人
5 一人で食べる
6 夕ごはんは食べない

問12　あなたは、給食をのぞいて、以下の食べ物をふだんどれくらい食べますか。（それぞれ○は1つ）

	毎日食べる	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日以下	食べない
A 野菜	1	2	3	4	5
B くだもの	1	2	3	4	5
C 肉や魚	1	2	3	4	5
D 牛乳・ヨーグルトなど乳製品	1	2	3	4	5
E カップめん・インスタントめん	1	2	3	4	5
F コンビニなどのおにぎり・お弁当・パン	1	2	3	4	5
G お菓子	1	2	3	4	5

問13　あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか。（○は1つ）

1 よい　2 まあよい　3 ふつう　4 あまりよくない　5 よくない

問14　あなたの平均睡眠時間はどのくらいですか。（あてはまるもの1つに○）

1 約3時間
2 約4時間
3 約5時間
4 約6時間
5 7時間以上

問15　あなたは、今、虫歯がおおよそ何本くらいありますか。治療中のものもふくみます。（数字で答えてください）

※虫歯がない場合は、0本と書いてください。治療が終わったものは数えません。

[　　]本

問16　あなたの身長・体重を教えてください。（□の中に数字で答えてください）

A 身長　1メートル [　][　] センチ

B 体重　[　][　]．[　] キログラム

学校のことや勉強のことについてお聞きします

問17　あなたの学校生活についてお聞きします。次の項目について、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。（それぞれ、○は1つ）

	とても楽しみ	楽しみ	少し楽しみ	楽しみではない
A 学校の授業	1	2	3	4
B 学校の休み時間	1	2	3	4
C 学校の給食の時間	1	2	3	4

問18　あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（○は1つ）

1 いつもわかる
2 だいたいわかる
3 あまりわからない
4 わからないことが多い
5 ほとんどわからない

問18－1　学校の授業が「4 わからないことが多い」または「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからなくなりましたか。（○は1つ）

1 1・2年生のころ
2 3年生のころ
3 4年生のころ
4 5年生のころ
5 6年生になってから
6 わからない

問19　勉強がわからないときは、誰に教えてもらいますか。（あてはまる番号すべてに○）

1 親
2 親以外の家族（兄弟姉妹や、祖父母など）
3 学校の先生
4 塾や習い事などの先生
5 その他の大人
6 友だち
7 教えてもらえる人がいない

問20　あなたの得意な教科は、どれですか。（あてはまる番号すべてに○）

1 算数
2 国語
3 理科
4 社会
5 英語
6 体育
7 図工
8 音楽
9 家庭科
10 どれもあてはまらない

問21　あなたは、ふだん（月～金曜日）学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。
1日あたりの勉強時間を教えてください。（○は1つ）※ 塾や宿題をやる時間もふくみます。

1 まったくしない
2 30分より少ない
3 30分以上、1時間より少ない
4 1時間以上、2時間より少ない
5 2時間以上、3時間より少ない
6 3時間以上

問22　あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか（オンライン授業も含みます）。
通っている（来てもらっている）場合、1週間に何日通って（来てもらって）いますか。
両方やっている場合は、合計した日数に○をつけてください。（○は1つ）

1 通って（来てもらって）いない
2 週に1日
3 週に2日
4 週に3日
5 週に4日
6 週に5日
7 週に6日
8 毎日

問22－1　「1 通って（来てもらって）いない」と答えた人にお聞きします。通って（来てもらって）いない理由は何ですか。

（○は1つ）

1 家の事情（家族の世話、家事など）があるから
2 通いやすい（来てもらいやすい）時間がないから
3 通いやすい場所にないから
4 必要がないから
5 興味がないから

問23　あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。現時点での希望に○をつけてください。（○は1つ）

1 中学まで
2 高校まで
3 短大・高専・専門学校まで
4 大学またはそれ以上
5 まだわからない

問24　あなたは、放課後や夏休みに行っている補習教室に参加していますか。もっとも近いものに○をつけてください。

（○は1つ）

1 いつも参加している（全員参加の場合も含む）
2 時々参加している
3 たまに参加している
4 参加したことはない

問24－1　学校での補習教室に「3 たまに参加している」または「4 参加したことはない」と答えた人にお聞きします。

あまり参加しない理由は何ですか。（○は1つ）

1 学校で行われていないから
2 家の事情（家族の世話、家事など）があるから
3 塾、スポーツ、習い事などで時間がないから
4 興味がないから
5 必要がないから
6 補習教室のことを知らなかったから
7 その他の理由（具体的に　　）

あなたが普段考えていることについてお聞きします

問25　あなたが日常生活の中で感じていることについてお答えください。

（A～G それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	とても思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
A 自分に自信がある	1	2	3	4
B 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4
C 大人は信用できる	1	2	3	4
D 自分の将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4
E 将来のためにも、今、頑張りたいと思う	1	2	3	4
F 将来働きたいと思う	1	2	3	4
G 自分のことが好きだ	1	2	3	4

問26 あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。

（それぞれ、○は1つ）

	とても思う	思う	あまり思わない	思わない
A がんばれば、よくなると思う	1	2	3	4
B 自分は価値のある人間だと思う	1	2	3	4
C 自分は家族に大事にされていると思う	1	2	3	4
D 自分は友だちに好かれていると思う	1	2	3	4
E 不安に感じることはないと思う	1	2	3	4
F 孤独を感じることはない	1	2	3	4
G 自分の将来が楽しみだ	1	2	3	4
H 自分のことが好きだ	1	2	3	4

問27 あなたは、毎日の生活が楽しいですか。（○は1つ）

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

楽しくない ←→ とても楽しい

問28 あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。（それぞれ、○は1つ）

	よくあった	時々あった	あまりなかった	なかった	わからない
A 1年間の合計で30日以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）	1	2	3	4	5
B いじめられた	1	2	3	4	5
C 夜遅く（8時すぎ）まで子どもだけで過ごした	1	2	3	4	5

問28－1 「1 よくあった」または、「2 時々あった」と答えた人にお聞きします。上のようなことがあった時期はいつですか。

（それぞれ、あてはまる番号すべてに○）

A 1年間の合計で30日以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）	B いじめられた	C 夜遅く（8時すぎ）まで子どもだけで過ごした
1 1～2年生のころ	1 1～2年生のころ	1 1～2年生のころ
2 3～4年生のころ	2 3～4年生のころ	2 3～4年生のころ
3 5年生のころ	3 5年生のころ	3 5年生のころ
4 令和5（2023）年4月から現在まで	4 令和5（2023）年4月から現在まで	4 令和5（2023）年4月から現在まで

問29 あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。（あてはまる番号すべてに○）

1 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言われたり、恥をかかされたり、身体を傷つけられそうになったことがある。
2 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、殴られてけがをしたことがある。
3 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、助けてもらえていないと感じることがある。
4 必要な食事や衣服がない、または足りないときでも、助けてくれる人はだれもいないと感じることがある。
5 両親が、別々の家で住んでいたり、離婚をしたことが一度でもある。
6 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある。または、くり返しなぐられたり、強くおどされたことが一度でもある。
7 一緒に住んでいる人に、お酒や麻薬などで迷惑をかける人がいる。
8 一緒に住んでいる人で、不安や不満が原因で自殺しようとした人がいる。
9 そのような経験はしたことがない。

問30 そのほか、あなたが、暮らしをよくするために、なんでもお願いできるとすれば、どのようなことを希望しますか。
なんでもいいので、書いてください。

問31 このアンケートの感想や大人の人に言いたいことなどがありましたら、下の欄に書いてください。
悩んでいることや、心配なこと、なんとかして欲しいこと、など、なんでも書いてください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

土浦市生活実態調査（６年生保護者票）

依頼状に記載のIDをご記入ください

ID:（　　）

あなたのこと、あなたの世帯のことについておうかがいします

はじめに、お住まいの地区としてあてはまる番号1つを選択してください。

地区名	該当町名
1. 一中地区	有明町、大和町、桜町一丁目～四丁目、大町、千束町、生田町、 港町一丁目～三丁目、中央一丁目・二丁目、城北町、東崎町、 川口一丁目・二丁目、大手町、文京町、立田町、田中一丁目～三丁目、田中町、 蓮河原町、蓮河原新町、滝田一丁目・二丁目、湖北一丁目・二丁目、 虫掛（虫掛町）、宍塚（宍塚町）、矢作（矢作町）、飯田（飯田町）、 佐野子（佐野子町）、粕毛（粕毛町）
2. 二中地区	木田余（木田余町1区、2区、3区、4区）、木田余東台一丁目～五丁目、 木田余西台、真鍋一丁目～六丁目、東真鍋町、西真鍋町、真鍋新町、若松町、 東若松町、東都和、殿里（殿里町）
3. 三中地区	中（中村町1区・6区・8区、西根町3区の一部、中村東町の一部）、 中村西根（1区・2区、竹の入町、西根町3区の一部、乙戸町の一部）、 中村南一丁目～六丁目、西根南一丁目～三丁目、西根西一丁目、 卸町一丁目・二丁目、中村東一丁目～三丁目、右籾（中村東町の一部）、 荒川沖東一丁目～三丁目、荒川本郷（荒川沖町南区の一部）、 沖新田（荒川沖町南区の一部）、北荒川沖町、中荒川沖町、 荒川沖西一丁目・二丁目、荒川沖（荒川沖町西区一丁目・二丁目、 荒川沖町西町三丁目、荒川沖町南区の一部）、乙戸（乙戸町の一部、 荒川沖町南区の一部）、乙戸町南一丁目～三丁目、小山田一丁目・二丁目
4. 四中地区	小松一丁目～三丁目、千鳥ヶ丘町、小松ヶ丘町、桜ヶ丘、国分町、 上高津（上高津町の一部）、宍塚（上高津町の一部）、上高津新町、 小岩田（永国町の一部）、永国（永国町、中高津町の一部）、永国東町、 永国台、富士崎一丁目・二丁目、下高津一丁目～四丁目、 中高津一丁目～三丁目、天川一丁目・二丁目
5. 五中地区	沖宿町、田村町、手野町、おおつ野一丁目～八丁目、神立町（神立町1区）、 中神立町、北神立町、神立町中央一丁目～五丁目、神立東一丁目・二丁目、 菅谷町、白鳥町（白鳥町、白鳥新町）
6. 六中地区	大岩田（大岩田町1区・2区、大岩田団地）、霞ヶ岡町、 小岩田東一丁目・二丁目、小岩田西一丁目・二丁目、鳥山一丁目～五丁目、 右籾（右籾町1区・4区・5区、右籾町2区・3区の一部、右籾町自衛隊、 まりやま団地、まりやま新町）、摩利山新田（右籾町2区・3区の一部）
7. 都和地区	並木一丁目～五丁目、東並木町、西並木町、都和一丁目～四丁目、 板谷一丁目～七丁目、中都町一丁目～四丁目、笹師町、今泉（今泉町）、 栗野町、小山崎（小山崎町）中貫（中貫町）、東中貫町、常名（常名町）、紫ヶ丘
8. 新治地区	藤沢（藤沢1区・2区）、東町の一部、文京区の一部）、 大畑（大畑、藤沢団地、東町の一部、桃園の一部、文京区の一部）、 上坂田（上坂田、桃園の一部）、下坂田（下坂田、桃園の一部）、沢辺、田宮、 田土部、高岡（高岡根、高岡沖、高岡新田）、藤沢新田、永井、本郷、大志戸、 小野、東城寺、小高
9. わからない	（町名：　　）

問１　お子さんとあなた（回答者）との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続き柄で、お答えください。（○は1つ）

1	父親	4	祖母
2	母親	5	兄弟姉妹
3	祖父	6	その他（具体的に　　）

問２　あなたの年齢を教えてください。（枠内に数字で回答してください）

□歳

問３　現在のあなたの婚姻状況を教えてください。（○は1つ）

1	結婚している（事実婚を含む）	3	未婚
2	離婚（別居中を含む）	4	死別

問3-1　問３で「2.離婚」を選んだ方にお伺いします。離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また、現在養育費を受け取っていますか。（○は1つ）

1	取り決めをしており、養育費を受け取っている
2	特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
3	養育費の取り決めをしているが、受け取っていない
4	養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

問４　お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください（あなたとお子さんも含む）。単身赴任などで別居しているご家族も含めてください。

□人

問５　お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。複数いる場合は、人数もお教えください。

（あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字で回答してください）

1	父親	4	祖母（　人）	7	その他（　　）
2	母親	5	兄弟姉妹（　人）		（　人）
3	祖父（　人）	6	親戚（　人）		

問６　お子さんと同居している大人の家族の中に、高齢・障がいまたは病気などによって、介護や看護が必要な方はいますか。（○は１つ）

1	いる
2	いない

問７　お子さんのご両親の国籍にあてはまる番号を、それぞれ教えてください。（○は１つ）

お母さん	→	1 日本	2 日本以外
お父さん	→	1 日本	2 日本以外

問 8　現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。（○は１つ）

1 持ち家	4 都市再生機構（UR）・公社などの賃貸住宅
2 民間の賃貸住宅	5 給与住宅（社宅・公務員住宅など）
3 県営または市営の賃貸住宅	6 間借り・その他

お子さんのお母さんとお父さんの職業についておうかがいします

全員におうかがいします。

問 9　お子さんのお母さんとお父さんの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。お母さん、お父さんがいない場合は、空欄で結構です。（それぞれ、あてはまる番号１つを□に書いてください）

1 会社役員	6 自営業（家族従業者を含む）	11 専業主婦（夫）	→問 10 へ
2 民間企業の正社員	7 自由業	12 学生	
3 公務員などの正職員	8 団体職員	13 引退（退職）	
4 契約社員・派遣社員・嘱託社員	9 その他の働き方をしている	14 その他の無職	
5 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	10 個人業務請負※	15 わからない	

※「個人業務請負」とは、ウーバーイーツの配達人など労働契約ではなく、個人で企業と請負契約を結び、仕事をする場合を指します。

お母さん □　　お父さん □

問 9-1　問 9 で「1」～「10」を選んだ方におうかがいします。

1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。（枠内に数字で回答してください）

※複数のお仕事をもっていらっしゃる場合は合算してください。

お母さん：週に平均 □ 時間　　お父さん：週に平均 □ 時間

問 9-2　問 9 で「1」～「10」を選んだ方におうかがいします。

昨年1年間（令和5年1月～12 月）を合計したお仕事からの収入（税込）は、およそいくらですか。

（枠内に数字で回答してください）

※収入なしの場合には、0をご記入ください。

お母さん： □ 万円　　お父さん： □ 万円

お子さんの健康状態についておうかがいします

問 10　お子さんの健康状態について最も近いものに○をつけてください。（○は1つ）

1 よい	3 ふつう	4 あまりよくない
2 まあよい		5 よくない

問 11　過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。（○は１つ）

1 あった　　2 なかった　→問 12 へ

問 11-1　問 11 で「1　あった」を選んだ方におうかがいします。

その理由は、何ですか。以下の中から、最も近いものに○をつけてください。（○は１つ）

1 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
2 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
3 医療費を支払うことはできるが、生活費にまわしたほうが良いと思ったため
4 子ども本人が受診したがらなかったため
5 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
6 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため
7 自分の健康状態が悪かったため
8 その他（具体的に　　）

あなた（回答者）についておうかがいします

問 12　あなたの健康状態について最も近いものに○をつけてください。（○は1つ）

1 よい　　2 まあよい　　3 あまりよくない　　4 よくない

問 13　次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。（それぞれ、○は１つ）

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない
A 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
B 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
C そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
D 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
E 何をするのも苦労すると感じましたか	1	2	3	4	5
F 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問 14 あなた自身には、自分が持っている（できる）以下のものがありますか。「ある（できる）」、「金銭的にできない」「必要でない（いらない）」のうち最もあてはまるものに○をつけてください。
（それぞれ、○は１つ）

	ある（できる）	ない（できない）	
		金銭的にできない	必要でない（いらない）
A 自分自身のために使うことができるお金（月 5000 円）	1	2	3
B 最低２足の靴	1	2	3
C 古くなった服を買い替える	1	2	3
D 友人や家族と１カ月に１回ほど外食する	1	2	3
E 自宅で自分が使えるインターネット環境	1	2	3
F 自分の趣味やレジャーのためのお金	1	2	3

お子さんにしていることについておうかがいします

問 15 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。（○は1つ）

1 中学まで	3 短大・高専・専門学校まで	5 まだわからない
2 高校まで	4 大学またはそれ以上	

問 16 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。
（それぞれ、○は１つ）

	ある	ない		
		金銭的な理由で	時間の制約で	その他の理由で
A 海水浴や山登りに行く	1	2	3	4
B 博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
C キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
D スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
E 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4
F 国内旅行に行く（1泊以上）	1	2	3	4
G 海外旅行に行く（1泊以上）	1	2	3	4

問 17 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～J について、「1 している」「2 していない、したくない（方針でしない）」「3 していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

	している	していない	
		したくない（方針でしない）	経済的にできない
A 毎月お小遣いを渡す	1	2	3
B 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる	1	2	3
D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう、オンラインを含む）	1	2	3
E お誕生日のお祝いをする	1	2	3
F 1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3
G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
H 修学旅行などお金がかかる学校の活動	1	2	3
I パソコンかタブレットを与える	1	2	3
J スマートフォンを与える	1	2	3

問 17-1 問 17 のDで「3」と答えた人にお聞きします。
無料の学習塾があったらお子さんを通わせたいですか。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ

問 18 あなたは、困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。
（○は1つ）

1 いる	2 いない

問 19 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1 子どもの年齢に合った本	8 月に一度の友だちや家族との外食
2 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	9 電話（固定電話・携帯電話を含む）
3 子どもが自宅で宿題をすることができる場所	10 インターネットにつながるパソコン
4 テレビ	11 冷蔵庫
5 暖房器具	12 洗濯機
6 自家用車	13 急な出費のための貯金（5 万円以上）
7 エアコン	14 あてはまるものはない

家計の状況についておうかがいします

問 20　あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金を受給していますか。(受給か非受給に○)
※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含みます。
※該当する収入がない場合には、0とご記入ください。
※「児童手当」は 15 歳までのお子さんのための手当です(所得制限あり)。「児童扶養手当」は、所得が一定水準以下のひとり親世帯等のための手当です。

	受給の有無		金額(1ヵ月あたり)
A 児童手当(中3までのお子さんがいる所得制限以下の子育て世帯への給付)	1 受給	2 非受給	
B 児童扶養手当(所得制限以下のひとり親世帯等への給付)	1 受給	2 非受給	円
C 特別児童扶養手当(障がいのあるお子さんへの給付)	1 受給	2 非受給	1級 円 2級 円
D 年金(遺族年金、老齢年金など)	1 受給	2 非受給	円
E 生活保護	1 受給	2 非受給	円

問 21　上記問 20 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。
お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入はいくらですか。
(○は1つ)
※収入には、勤労収入(パート、アルバイトを含む)、事業収入(自営業等)、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金を含みますが、上記問 20 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金は除いてお考えください。
※複数の収入源がある場合(お父さんが勤労収入、お母さんに事業収入など)は、おおよその合算値(合計額)を教えてください。

1 収入はない(0 円)	6 300～400 万円未満	11 800～900 万円未満
2 1～50 万円未満	7 400～500 万円未満	12 900～1000 万円未満
3 50～100 万円未満	8 500～600 万円未満	13 1000～1500 万円未満
4 100～200 万円未満	9 600～700 万円未満	14 1500～2000 万円未満
5 200～300 万円未満	10 700～800 万円未満	15 2000 万円以上

あなたのご家庭での生活についておうかがいします

問 22　現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(○は1つ)

1 大変ゆとりがある	3 ふつう	4 やや苦しい
2 ややゆとりがある		5 大変苦しい

問 23　ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(○は1つ)

1 赤字であり、借金をして生活している	4 黒字であるが、貯蓄はしていない
2 赤字であり、貯蓄を取り崩している	5 黒字であり、毎月貯蓄をしている
3 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	6 その他(具体的に　　)

問 24　あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(○は1つ)

1 よくあった　2 ときどきあった　3 まれにあった　4 まったくなかった

問 25　あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。(○は1つ)

1 よくあった　2 ときどきあった　3 まれにあった　4 まったくなかった

問 26　過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA～H のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(それぞれ、○は1つ)

	あった	なかった	該当しない(払う必要がない)
A 電話料金	1	2	3
B 電気料金	1	2	3
C ガス料金	1	2	3
D 水道料金	1	2	3
E 家賃	1	2	3
F 住宅ローン	1	2	3
G 税金・社会保険料	1	2	3
H その他の債務	1	2	3

問 27　あなたのご家庭が、金銭的に困った状況に置かれたときに、どのような対応が可能ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1 親族から借りる	4 支出を抑える	7 金融機関等で借りる	10 資産を売却する
2 友人から借りる	5 勤務時間を増やす	8 会社で前借する	11 その他
3 公的機関に相談する	6 副業(アルバイト)をする	9 預貯金で対応する	12 何もできない

お子さんのお母さんとお父さんのこれまでのご経験についておうかがいします

問 28　お子さんのお母さん・お父さんが、最後に卒業した学校は次のどれですか。

（それぞれ、あてはまる番号 1 つを□に書いてください）

1 中学校
2 高等学校（全日制）
3 高等学校（定時制または通信制）
4 高等専修学校（中学校卒業後に進む1～4年間の専修学校）
5 高等専門学校（中学校卒業後に進む5年間の学校、高専）
6 短期大学
7 専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）
8 大学
9 大学院
10 その他
11 わからない
12 母親・父親はいない

お母さん □　　お父さん □

問 29　あなたが 15 歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。

（○は1つ）

1 大変ゆとりがあった　　**3** ふつう　　**4** やや苦しかった
2 ややゆとりがあった　　**5** 大変苦しかった

問 30　あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1 両親が離婚した
2 親が生活保護を受けていた
3 母親が亡くなった
4 父親が亡くなった
5 親から暴力を振るわれた
6 育児放棄・放任（ネグレクト）された
7 1～6のいずれも経験したことがない

問 31　あなたはお子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。

（あてはまる番号すべてに○）

1 （元）配偶者（またはパートナー）から暴力をふるわれたことがある
2 子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある
3 育児放棄（ネグレクト）になった時期がある
4 うつ病（状態）になった時期がある
5 わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある
6 自殺を考えたことがある
7 夫婦げんかが多くなったり離婚を考えたことがある
8 1～7 のいずれも経験したことがない

公的支援の利用状況についておうかがいします

問 32　あなたのご家庭では、

（1）以下の A～H の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。

（2）（利用したことがある人にも、ない人にもお聞きします）　今後、利用することに興味がありますか。

（それぞれ、○は1つ）　（あるかないに○）

	(1) 利用したことがある	利用したことがない：利用したいと思ったことがなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用時間や制度等が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度等について全く知らなかった		(2) 利用することに興味がある
A 就学援助費	1	2	3	4	5	6	→	あるない
B 生活保護	1	2	3	4	5	6	→	あるない
C 生活福祉資金貸付制度	1	2	3	4	5	6	→	あるない
D 地域食堂（こども食堂）	1	2	3	4	5	6	→	あるない
E フードパントリーによる食料支援	1	2	3	4	5	6	→	あるない

以下は、ひとり親世帯向けの制度です。ひとり親世帯の方のみお答えください。

F 児童扶養手当	1	2	3	4	5	6	→	あるない
G 母子及び父子福祉資金	1	2	3	4	5	6	→	あるない
H ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親）	1	2	3	4	5	6	→	あるない

＜参考＞

A 就学援助費	義務教育に関わる諸経費（給食費、文房具費など）を軽減するため、一定の所得制限以下の世帯に援助をする制度。窓口は学務課。
B 生活保護	病気や失業などのため、生活費や医療費に困る世帯に対する支援制度。所得制限など支給要件を満たした世帯に対して、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の 8 種類について扶助される。窓口は社会福祉課。
C 生活福祉資金貸付制度	所得が一定水準以下の世帯等を対象とした、低利または無利子の資金貸付。窓口は社会福祉協議会。
D 地域食堂（こども食堂）	子どもたちの食の支援、居場所の支援等を目的に、民間団体などが無料または低額で食事を提供している場所。
E フードパントリー	支援を必要とする人に対して食料品を無料で提供する場所。
F 児童扶養手当	所得が一定水準以下のひとり親世帯等を支援するための手当。窓口はこども政策課。
G 母子及び父子福祉資金	ひとり親世帯を対象にした、低利または無利子の資金貸付。窓口はこども政策課。
H ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親）	ひとり親世帯等の経済的負担を軽減するため、子どもまたは母（父）が医療機関を受診した場合の医療費の一部負担金を助成する制度。窓口は国保年金課。

問 33　あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、○は1つ）

	相談したことがある	相談したことがない			
		相談したいと思ったことがなかった	相談したかったが、抵抗感があった	相談時間や場所などが使いづらかった	相談する窓口や方法がわからなかった
A 市役所の窓口	1	2	3	4	5
B こども家庭センター	1	2	3	4	5
C 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど	1	2	3	4	5
D 民生委員・児童委員	1	2	3	4	5
E 保健センター	1	2	3	4	5
F ハローワーク	1	2	3	4	5
G 上記以外の公的機関	1	2	3	4	5

問 34　あなたが現在必要としていることで、重要だと思う支援等はどのようなものですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1　子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること
2　同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3　離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること
4　病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること
5　就職のための支援が受けられること
6　住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること
7　病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
8　子どもの就学にかかる費用が軽減されること
9　子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度
10　子どもの居場所づくり
11　一時的に必要となる資金を借りられること
12　ストレスを発散できる場所、機会が提供されること
13　その他（具体的に　　）
14　特にない

問 35　あなたが必要な支援を受けるために重要だと思うことを教えてください。
（あてはまる番号すべてに○）

1　行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する
2　携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる
3　メールマガジンやSNS等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する
4　広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる
5　相談窓口等の数を多くする
6　相談窓口等の場所をわかりやすくする
7　相談窓口等を行きやすい雰囲気にする
8　休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす
9　保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
10　保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする
11　病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
12　病院で具体的な助言等が受けられるようにする
13　乳幼児健康診査を充実させる
14　その他（具体的に　　）
15　特にない

問 36　あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。（1つに○）

1　言葉も内容も知っている
2　言葉は聞いたことがある
3　知らない　→問 38 へ

問 37　あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。
（あてはまるものすべてに○）

1　本人に様子を聞く
2　家族、知人、友人に相談する
3　先生や部活の顧問等に相談する
4　関係機関（子ども家庭支援センターや土浦児童相談所など）に相談する
5　何もしない
6　わからない
7　その他（　　）

問 38　土浦市に要望することがあれば、ご自由にお書きください。（例：生活費・通学費の手当、塾代の補助など）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

土浦市生活実態調査（９年生票）

依頼状に記載のIDをご記入ください

ID:(　　)

あなたのことについておたずねします

はじめに、お住まいの地区としてあてはまる番号1つを選択してください。

地区名	該当町名
1. 一中地区	有明町、大和町、桜町一丁目～四丁目、大町、千束町、生田町、 港町一丁目～三丁目、中央一丁目・二丁目、城北町、東崎町、 川口一丁目・二丁目、大手町、文京町、立田町、田中一丁目～三丁目、田中町、 蓮河原町、蓮河原新町、滝田一丁目・二丁目、湖北一丁目・二丁目、 虫掛（虫掛町）、宍塚（宍塚町）、矢作（矢作町）、飯田（飯田町）、 佐野子（佐野子町）、粕毛（粕毛町）
2. 二中地区	木田余（木田余町1区、2区、3区、4区）、木田余東台一丁目～五丁目、 木田余西台、真鍋一丁目～六丁目、東真鍋町、西真鍋町、真鍋新町、若松町、 東若松町、東都和、殿里（殿里町）
3. 三中地区	中（中村町1区・6区・8区、西根町3区の一部、中村東町の一部）、 中村西根（1区・2区、竹の入町、西根町3区の一部、乙戸町の一部）、 中村南一丁目～六丁目、西根南一丁目～三丁目、西根西一丁目、 卸町一丁目・二丁目、中村東一丁目～三丁目、右籾（中村東町の一部）、 荒川沖東一丁目～三丁目、荒川本郷（荒川沖町南区の一部）、 沖新田（荒川沖町南区の一部）、北荒川沖町、中荒川沖町、 荒川沖西一丁目・二丁目、荒川沖（荒川沖町西区一丁目・二丁目、 荒川沖町西町三丁目、荒川沖町南区の一部）、乙戸（乙戸町の一部、 荒川沖町南区の一部）、乙戸町南一丁目～三丁目、小山田一丁目・二丁目
4. 四中地区	小松一丁目～三丁目、千鳥ヶ丘町、小松ヶ丘町、桜ヶ丘、国分町、 上高津（上高津町の一部）、宍塚（上高津町の一部）、上高津新町、 小岩田（永国町の一部）、永国（永国町、中高津町の一部）、永国東町、 永国台、富士崎一丁目・二丁目、下高津一丁目～四丁目、 中高津一丁目～三丁目、天川一丁目・二丁目
5. 五中地区	沖宿町、田村町、手野町、おおつ野一丁目～八丁目、神立町（神立町1区）、 中神立町、北神立町、神立町中央一丁目～五丁目、神立東一丁目・二丁目、 菅谷町、白鳥町（白鳥町、白鳥新町）
6. 六中地区	大岩田（大岩田町1区・2区、大岩田団地）、霞ヶ岡町、 小岩田東一丁目・二丁目、小岩田西一丁目・二丁目、鳥山一丁目～五丁目、 右籾（右籾町1区・4区・5区、右籾町2区・3区の一部、右籾町自衛隊、 まりやま団地、まりやま新町）、摩利山新田（右籾町2区・3区の一部）
7. 都和地区	並木一丁目～五丁目、東並木町、西並木町、都和一丁目～四丁目、 板谷一丁目～七丁目、中都町一丁目～四丁目、雀師町、今泉（今泉町）、 栗野町、小山崎（小山崎町）中貫（中貫町）、東中貫町、常名（常名町）、紫ヶ丘
8. 新治地区	藤沢（藤沢1区・2区）、東町の一部、文京区の一部）、 大畑（大畑、藤沢団地、東町の一部、桃園の一部、文京区の一部）、 上坂田（上坂田、桃園の一部）、下坂田（下坂田、桃園の一部）、沢辺、田宮、 田土部、高岡（高岡根、高岡沖、高岡新田）、藤沢新田、永井、本郷、大志戸、 小野、東城寺、小高
9. わからない	（町名：　　）

問１ あなたの性別を教えてください。（○は１つ）

1 男子　　**2** 女子　　**3** どちらでもない・答えたくない

問２ あなたには、自分が使うことができる、以下のもの（こと）があり（でき）ますか。ある場合は「1 ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2 欲しい」、いらないと思うものであれば「3 欲しくない」に○をつけてください。（それぞれ、○は1つ）

		ある	ない	
			欲しい	欲しくない
A	自分の楽しみのための本（マンガやダウンロードするものを含む）	1	2	3
B	子ども部屋（きょうだいと使っている場合も含みます）	1	2	3
C	（自宅で）インターネットにつながる環境	1	2	3
D	（自宅で）宿題をすることができる場所	1	2	3
E	自分がアクセスできる音楽や映画サービス （Hulu、AmazonPrime、Netflixなど）	1	2	3
F	スポーツ用品（野球のグローブやサッカーボールなど）など 外遊び用の道具	1	2	3
G	ゲームなど屋内で遊ぶおもちゃ	1	2	3
H	スポーツや音楽などの課外活動（部活含む）に必要なもの （部費や月謝代含む）	1	2	3
I	自転車	1	2	3
J	月2,000円ほどの、自分で自由に使えるお金（お小遣い）	1	2	3
K	友だちが着ているのと同じような服	1	2	3
L	2足以上のサイズのあった靴	1	2	3
M	スマートフォン	1	2	3
N	学習塾（または家庭教師、オンラインを含む）	1	2	3
O	1年に1回の家族旅行（1泊以上）	1	2	3
P	友だちが持っているような文房具 （シャーペン、色ペン、ペンケースなど）	1	2	3
Q	新しい（お古でない）洋服	1	2	3
R	習い事（音楽、スポーツ、習字など）	1	2	3
S	めがね又はコンタクトレンズ（矯正用）	1	2	3

あなたの友人のことについておたずねします

問 3　あなたの仲が良い友人は、どのような友人ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1 学校の友人	4 塾の友人
2 学校は一緒ではないけれども、近所に住んでいる友人	5 習い事の友人
	6 その他の友人
3 スポーツチームやクラブ活動の友人	7 とくに仲の良い友人はいない

問 3−1　あなたは、友人と遊ぶ時は、どこで遊びますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 自分の家	5 お店がたくさんあり、人が集まる場所
2 友人の家	6 友人と遊ばない
3 児童館	7 その他(　　)
4 公園や児童遊園	

問 3−2　あなたは、将来なりたい職業がありますか。(あてはまる番号1つに○)

1 ある　　2 ない　　3 わからない

問 3-2-1　将来なりたい職業が「1　ある」と答えた人にお聞きします。その職業は何ですか。(下の枠の中に書いてください)「2　ない」「3　わからない」と答えた人は、空白でよいです。

あなたのふだんの生活についておたずねします

問 4　あなたは、(1)平日(学校に行く日)の放課後(夕方 6 時くらいまで)と、(2)週末(学校に行かない日)の昼間はだれと過ごしますか。一緒に過ごす事が一番多い人の番号を□に書いてください。

1 家族(祖父母、親せきなども含みます)
2 児童館や図書館など市の施設の職員
3 その他の大人(近所の大人、塾や習い事の先生など)
4 学校の友人
5 学校以外の友人(地域のスポーツクラブ、近所の友人など)
6 一人でいる
7 その他(　　)

(1)平日 □
(2)週末 □

問 5　あなたは、学校の部(クラブ)活動に参加していますか。(○は1つ)

1 参加している　　2 参加していない

→ 問 5-1 へ

問 5-1　学校の部(クラブ)活動に「2　参加していない」と答えた人におききします。
参加しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1 入りたい部(クラブ)活動がないから
2 塾や習い事が忙しいから
3 おもしろくないから
4 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5 自分の事情
6 その他(具体的に　　)

問 6　あなたは、30 分以上からだを動かす遊びや習い事を、1 週間でどれくらいしますか。(○は1つ)
※例:ボール遊び、自転車、サッカー、野球、空手、剣道、体操、バレエ、水泳など

1 ほとんどしない・全くしない	3 週に3〜4回	5 ほぼ毎日
2 週に1〜2回	4 週に5〜6回	

問 7　あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。(それぞれ、○は1つ)

	毎日 4時間以上	毎日 2〜4時間	毎日 1〜2時間	毎日 1時間以下	1週間に 4〜5日	1週間に 2〜3日	1週間に 1日	全然しない
A ゲーム(テレビゲーム、スマートフォンなど)をする	1	2	3	4	5	6	7	8
B SNS(LINEなど)を見たり、書き込んだりする	1	2	3	4	5	6	7	8
C テレビやインターネット(Youtubeなど)をみる	1	2	3	4	5	6	7	8
D 屋外での運動	1	2	3	4	5	6	7	8
E 家事(洗濯、掃除、料理、片付けなど)	1	2	3	4	5	6	7	8
F 弟や妹の世話	1	2	3	4	5	6	7	8
G 父母・祖父母など家族の介護・看病	1	2	3	4	5	6	7	8
H 家族の通訳や手続きの手伝い	1	2	3	4	5	6	7	8

問 7-1　「E」に1〜7と答えた人にお聞きします。家族の中で、家事を最も多く担っている人は誰ですか。
(○は1つ)

1 自分　　2 お母さん　　3 お父さん　　4 その他の家族

問 7-2　「G」に1〜7と答えた人にお聞きします。あなたが介護・看病している人は誰ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1 弟・妹	3 お母さん	5 おばあさん・おじいさん
2 お兄さん・お姉さん	4 お父さん	6 その他の家族

問 8　あなたは、以下のことがらについて、どう思いますか。(それぞれ○は1つ)

		とても そう思う	そう思う	だいたい そう思う	少し そう思う	そう思わ ない	わから ない
A	家族は私のことを大事に思ってくれている	1	2	3	4	5	6
B	もし何か問題があったら、家族は私を助けてくれる	1	2	3	4	5	6
C	家族と一緒にいるのは楽しい	1	2	3	4	5	6
D	家にいると安心する	1	2	3	4	5	6
E	親は私の意見を尊重してくれる	1	2	3	4	5	6
F	私のことは、親と私が一緒に決める	1	2	3	4	5	6

問9　あなたは、ちょっとした会話も含め、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。「1　毎日」から「4　ぜんぜん」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。電話、メール、LINEもふくめて考えてください。
(それぞれ、○は1つ)

		毎日	時々	たまに	ぜんぜん
A	親	1	2	3	4
B	兄弟姉妹	1	2	3	4
C	祖父母・おじさん・おばさんなど	1	2	3	4
D	担任の先生	1	2	3	4
E	部活(クラブ活動)の先生	1	2	3	4
F	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	1	2	3	4
G	保健室の先生	1	2	3	4
H	友人	1	2	3	4
I	インターネットやSNSを通じて知り合った人	1	2	3	4
J	近所の人や町内会の人	1	2	3	4
K	図書館や児童館など市の施設の職員	1	2	3	4
L	地域のスポーツクラブのコーチや塾・習い事の先生など	1	2	3	4
M	子ども食堂や無料学習支援事業の人	1	2	3	4
N	コンビニなどの店員さん、お店の人	1	2	3	4
O	その他の大人	1	2	3	4

問 9-1　あなたに困ったことや、悩んでいることがある時、そのことを誰かに話しますか。上記の A～O の相手のうち、話す人の記号をすべて答えてください。

1 話さない　　2 話す　→ 相手の記号

食事のことや健康のことについておたずねします

問 10　あなたは、平日(学校に行く日)に毎日、朝ごはんを食べますか。(○は１つ)

1 いつも食べる(週に5日)
2 食べるほうが多い(週に3、4日)
3 食べないほうが多い(週に1、2日)
4 いつも食べない

問 11　あなたが自宅で食事をする時、主にだれが作ってくれますか。(あてはまるもの1つに○)

1 母親
2 父親
3 祖父母
4 きょうだい
5 自分
6 その他(具体的に　　)

問 12　あなたは、平日(学校に行く日)に夕ごはんをだれと食べますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 家族(親)
2 家族(兄弟姉妹)
3 その他の家族(祖父母など)
4 家族以外の人
5 一人で食べる
6 夕ごはんは食べない

問 13　あなたは、給食をのぞいて、以下の食べ物をふだんどれくらい食べますか。(それぞれ、○は１つ)

		毎日食べる	1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日以下	食べない
A	野菜	1	2	3	4	5
B	くだもの	1	2	3	4	5
C	肉や魚	1	2	3	4	5
D	牛乳・ヨーグルトなど乳製品	1	2	3	4	5
E	カップめん・インスタントめん	1	2	3	4	5
F	コンビニなどのおにぎり・お弁当・パン	1	2	3	4	5
G	お菓子	1	2	3	4	5

問 14　あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか。(○は1つ)

1 よい　2 まあよい　3 ふつう　4 あまりよくない　5 よくない

問 15　あなたの平均睡眠時間はどのくらいですか。(あてはまるもの1つに○)

1 約３時間
2 約４時間
3 約５時間
4 約６時間
5 ７時間以上

問 16　あなたは、今、虫歯がおおよそ何本くらいありますか。治療中のものもふくみます。(数字で答えてください)
※虫歯がない場合は、0本と書いてください。治療が終わったものは数えません。

[　　]本

問 17　あなたの身長・体重を教えてください。(□の中に数字で答えてください)

A　身長　　1メートル　[　　][　　]センチ

B　体重　　[　　][　　]・[　　]キログラム

学校のことや勉強のことについておたずねします

問 18　あなたの学校生活についておたずねします。次の項目について、「1　とても楽しみ」から「4　楽しみではない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。(それぞれ、○は１つ)

	とても楽しみ	楽しみ	少し楽しみ	楽しみではない
A　学校の授業	1	2	3	4
B　学校の部(クラブ)活動	1	2	3	4
C　学校の休み時間	1	2	3	4
D　学校の給食の時間	1	2	3	4

問 19　あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(○は１つ)

1　いつもわかる
2　だいたいわかる
3　あまりわからない
4　わからないことが多い
5　ほとんどわからない

問 19－1　学校の授業が「4　わからないことが多い」または「5　ほとんどわからない」と答えた人におききします。
いつごろから、授業がわからなくなりましたか。(○は1つ)

1　1・2年生のころ
2　3・4年生のころ
3　5・6年生のころ
4　7・8年生のころ
5　9年生になってから
6　わからない

問 20　勉強がわからないときは、誰に教えてもらいますか。(あてはまる番号すべてに○)

1　親
2　親以外の家族（兄弟姉妹や、祖父母など）
3　学校の先生
4　塾や習い事などの先生
5　その他の大人
6　友人
7　教えてもらえる人がいない

問 21　あなたの得意な教科は、どれですか。(あてはまる番号すべてに○)

1　数学
2　国語
3　理科
4　社会
5　英語
6　保健体育
7　美術
8　音楽
9　技術・家庭科
10　どれもあてはまらない

問 22　あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。(○は1つ)※塾や宿題をやる時間もふくみます。

1　まったくしない
2　30 分より少ない
3　30 分以上、1時間より少ない
4　1時間以上、2時間より少ない
5　2時間以上、3時間より少ない
6　3時間以上

問 23　あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか(オンライン授業も含みます)。
通っている(来てもらっている)場合、1週間に何日通って(来てもらって)いますか。
両方やっている方は、合計した日数に○をつけてください(○は1つ)

1　通って(来てもらって)いない
2　週に1日
3　週に2日
4　週に3日
5　週に4日
6　週に5日
7　週に6日
8　毎日

問 23－1　「1　通って(来てもらって)いない」と答えた人にお聞きします。 通って(来てもらって)いない理由は何ですか。
(○は1つ)

1　家の事情(家族の世話、家事など)があるから
2　通いやすい(来てもらいやすい)時間がないから
3　通いやすい場所にないから
4　必要がないから
5　興味がないから

問 24　あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。現時点での希望に○をつけてください。(○は1つ)

1　中学まで
2　高校まで
3　短大・高専・専門学校まで
4　大学またはそれ以上
5　まだわからない

問 25　あなたは、学校での補習教室に参加していますか。もっとも近いものに○をつけてください。(○は1つ)

1　いつも参加している　　2　時々参加している　　3　たまに参加している　　4　参加したことはない

問 25－1　学校での補習教室に「3　たまに参加している」または「4　参加したことはない」と答えた人におききします。
あまり参加しない理由は何ですか。(○は１つ)

1　学校で行われていないから
2　家の事情(家族の世話、家事など)があるから
3　塾、スポーツ、習い事などで時間がないから
4　興味がないから
5　必要がないから
6　補習教室のことを知らなかったから
7　その他の理由(具体的に　　)

あなたが普段考えていることについておたずねします

問 26　あなたが日常生活の中で感じていることについてお答えください。

（A～G それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	とても思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
A　自分に自信がある	1	2	3	4
B　自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4
C　大人は信用できる	1	2	3	4
D　自分の将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4
E　将来のためにも、今、頑張りたいと思う	1	2	3	4
F　将来働きたいと思う	1	2	3	4
G　自分のことが好きだ	1	2	3	4

問 27　あなたの思いや気持ちについて、「1　とても思う」から「4　思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。

（それぞれ、○は1つ）

	とても思う	思う	あまり思わない	思わない
A　がんばれば、むくわれると思う	1	2	3	4
B　自分は価値のある人間だと思う	1	2	3	4
C　自分は家族に大事にされていると思う	1	2	3	4
D　自分は友人に好かれていると思う	1	2	3	4
E　不安に感じることはないと思う	1	2	3	4
F　孤独を感じることはない	1	2	3	4
G　自分の将来が楽しみだ	1	2	3	4
H　自分のことが好きだ	1	2	3	4

問 28　あなたは、毎日の生活が楽しいですか。（○は１つ）

楽しくない ←――――――――――――――――――――→ とても楽しい

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 29　あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。（それぞれ、○は１つ）

	よくあった	時々あった	あまりなかった	なかった	わからない
A　1年間の合計で30日以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）	1	2	3	4	5
B　いじめられた	1	2	3	4	5
C　夜遅く(22時以降)家の外で子どもだけで遊んだ	1	2	3	4	5

問 29-1　「1　よくあった」または、「2　時々あった」と答えた人におききします。上のようなことがあった時期はいつですか。（それぞれ、あてはまる番号すべてに○）

A　1年間の合計で30日以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）	B　いじめられた	C　夜遅く(22時以降)家の外で子どもだけで遊んだ
1　1～3年生のころ	1　1～3年生のころ	1　1～3年生のころ
2　4～6年生のころ	2　4～6年生のころ	2　4～6年生のころ
3　7年生のころ	3　7年生のころ	3　7年生のころ
4　8年生になってから現在まで	4　8年生になってから現在まで	4　8年生になってから現在まで

問 30　あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。（あてはまる番号すべてに○）

1　一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある。
2　一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある。
3　家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある。
4　必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある。
5　両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある。
6　一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある。または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある。
7　一緒に住んでいる人に、お酒や麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる。
8　一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる。
9　そのような経験はしたことがない。

問31　そのほか、あなたが、暮らしをよくするために、なんでもお願いできるとすれば、どのようなことを希望しますか。
なんでもいいので、書いてください。

問32　このアンケートの感想や大人の人に言いたいことなどがありましたら、下の欄に書いてください。
悩んでいることや、心配なこと、なんとかして欲しいこと、など、なんでも結構です。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

土浦市生活実態調査（９年生保護者票）

依頼状に記載のIDをご記入ください

ID:（　　）

あなたのこと、あなたの世帯のことについておうかがいします

はじめに、お住まいの地区としてあてはまる番号1つを選択してください。

地区名	該当町名
1. 一中地区	有明町、大和町、桜町一丁目～四丁目、大町、千束町、生田町、 港町一丁目～三丁目、中央一丁目・二丁目、城北町、東崎町、 川口一丁目・二丁目、大手町、文京町、立田町、田中一丁目～三丁目、田中町、 蓮河原町、蓮河原新町、滝田一丁目・二丁目、湖北一丁目・二丁目、 虫掛（虫掛町）、宍塚（宍塚町）、矢作（矢作町）、飯田（飯田町）、 佐野子（佐野子町）、粕毛（粕毛町）
2. 二中地区	木田余（木田余町1区、2区、3区、4区）、木田余東台一丁目～五丁目、 木田余西台、真鍋一丁目～六丁目、東真鍋町、西真鍋町、真鍋新町、若松町、 東若松町、東都和、殿里（殿里町）
3. 三中地区	中（中村町1区・6区・8区、西根町3区の一部、中村東町の一部）、 中村西根（1区・2区、竹の入町、西根町3区の一部、乙戸町の一部）、 中村南一丁目～六丁目、西根南一丁目～三丁目、西根西一丁目、 国町一丁目・二丁目、中村東一丁目～三丁目、右籾（中村東町の一部）、 荒川沖東一丁目～三丁目、荒川本郷（荒川沖町南区の一部）、 沖新田（荒川沖町南区の一部）、北荒川沖町、中荒川沖町、 荒川沖西一丁目・二丁目、荒川沖（荒川沖町西区一丁目・二丁目、 荒川沖町西町三丁目、荒川沖町南区の一部）、乙戸（乙戸町の一部、 荒川沖町南区の一部）、乙戸町南一丁目～三丁目、小山田一丁目・二丁目
4. 四中地区	小松一丁目～三丁目、千鳥ヶ丘町、小松ヶ丘町、桜ヶ丘、国分町、 上高津（上高津町の一部）、宍塚（上高津町の一部）、上高津新町、 小岩田（永国町の一部）、永国（永国町、中高津町の一部）、永国東町、 永国台、富士崎一丁目・二丁目、下高津一丁目～四丁目、 中高津一丁目～三丁目、天川一丁目・二丁目
5. 五中地区	沖宿町、田村町、手野町、おおつ野一丁目～八丁目、神立町（神立町1区）、 中神立町、北神立町、神立町中央一丁目～五丁目、神立東一丁目・二丁目、 菅谷町、白鳥町（白鳥町、白鳥新町）
6. 六中地区	大岩田（大岩田町1区・2区、大岩田団地）、霞ヶ岡町、 小岩田東一丁目・二丁目、小岩田西一丁目・二丁目、鳥山一丁目～五丁目、 右籾（右籾町1区・4区・5区、右籾町2区・3区の一部、右籾町自衛隊、 まりやま団地、まりやま新町）、摩利山新田（右籾町2区・3区の一部）
7. 都和地区	並木一丁目～五丁目、東並木町、西並木町、都和一丁目～四丁目、 板谷一丁目～七丁目、中都町一丁目～四丁目、雀師町、今泉（今泉町）、 栗野町、小山崎（小山崎町）中貫（中貫町）、東中貫町、常名（常名町）、紫ヶ丘
8. 新治地区	藤沢（藤沢1区・2区）、東町の一部、文京区の一部）、 大畑（大畑、藤沢団地、東町の一部、桃園の一部、文京区の一部）、 上坂田（上坂田、桃園の一部）、下坂田（下坂田、桃園の一部）、沢辺、田宮、 田土部、高岡（高岡根、高岡沖、高岡新田）、藤沢新田、永井、本郷、大志戸、 小野、東城寺、小高
9. わからない	（町名：　　）

問1　お子さんとあなた（回答者）との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続き柄で、お答えください。（○は1つ）

1	父親	4	祖母
2	母親	5	兄弟姉妹
3	祖父	6	その他（具体的に　　）

問2　あなたの年齢を教えてください。（枠内に数字で回答してください）

（　　）歳

問3　現在のあなたの婚姻状況を教えてください。（○は1つ）

1	結婚している（事実婚を含む）	3	未婚
2	離婚（別居中を含む）	4	死別

問3-1　問3で「2.離婚」を選んだ方にお伺いします。離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また、現在養育費を受け取っていますか。（○は1つ）

1	取り決めをしており、養育費を受け取っている
2	特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
3	養育費の取り決めをしているが、受け取っていない
4	養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

問4　お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください（あなたとお子さんも含む）。単身赴任などで別居しているご家族も含めてください。

（　　）人

問5　お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。複数いる場合は、人数もお教えください。

（あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字で回答してください）

1	父親	4	祖母（　人）	7	その他（　　）
2	母親	5	兄弟姉妹		（　人）
3	祖父（　人）	6	親戚（　人）		

問6　お子さんと同居している大人の家族の中に、高齢・障がいまたは病気などによって、介護や看護が必要な方はいますか。（○は1つ）

1	いる
2	いない

問7　お子さんのご両親の国籍にあてはまる番号を、それぞれ教えてください。（○は1つ）

お母さん	→	1 日本	2 日本以外
お父さん	→	1 日本	2 日本以外

問8　現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。（○は1つ）

1 持ち家	4 都市再生機構（UR）・公社などの賃貸住宅
2 民間の賃貸住宅	5 給与住宅（社宅・公務員住宅など）
3 県営または市営の賃貸住宅	6 間借り・その他

お子さんのお母さんとお父さんの職業についておうかがいします

全員におうかがいします。

問9　お子さんのお母さんとお父さんの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。お母さん、お父さんがいない場合は、空欄で結構です。（それぞれ、あてはまる番号 1 つを□に書いてください）

1 会社役員	6 自営業（家族従業者を含む）	11 専業主婦（夫）	→問 10 へ
2 民間企業の正社員	7 自由業	12 学生	
3 公務員などの正職員	8 団体職員	13 引退（退職）	
4 契約社員・派遣社員・嘱託社員	9 その他の働き方をしている	14 その他の無職	
5 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	10 個人業務請負※	15 わからない	

※「個人業務請負」とは、ウーバーイーツの配達人など労働契約ではなく、個人で企業と請負契約を結び、仕事をする場合を指します。

お母さん □　　お父さん □

問9－1　問9で「1」～「10」を選んだ職業をおもちの方におうかがいします。

1 週間に平均何時間、お仕事をされていますか。（枠内に数字で回答してください）

※複数のお仕事をもっていらっしゃる場合は合算してください。

お母さん：週に平均 □ 時間　　お父さん：週に平均 □ 時間

問9－2　問9で「1」～「10」を選んだ方におうかがいします。

昨年1年間（令和5年1月～12 月）を合計したお仕事からの収入（税込）は、およそいくらですか。

（枠内に数字で回答してください）

※収入なしの場合には、0をご記入ください。

お母さん：□ 万円　　お父さん：□ 万円

お子さんの健康状態についておうかがいします

問 10　お子さんの健康状態について最も近いものに○をつけてください。（○は1つ）

1 よい　　2 まあよい　　3 あまりよくない　　4 よくない

問 11　過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。（○は1つ）

1 あった　　2 なかった →問 12 へ

問 11－1　問 11 で「1　あった」を選んだ方におうかがいします。

その理由は、何ですか。以下の中から、最も近いものに○をつけてください。（○は1つ）

1 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
2 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
3 医療費を支払うことはできるが、生活費にまわしたほうが良いと思ったため
4 子ども本人が受診したがらなかったため
5 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
6 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため
7 自分の健康状態が悪かったため
8 その他（具体的に　　）

あなた（回答者）についておうかがいします

問 12　あなたの健康状態について最も近いものに○をつけてください。（○は1つ）

1 よい　　2 まあよい　　3 あまりよくない　　4 よくない

問 13　次のAからFの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない
A 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
B 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
C そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
D 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
E 何をするのも苦労すると感じましたか	1	2	3	4	5
F 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問 14 あなた自身には、自分が持っている（できる）以下のものがありますか。「ある（できる）」、「金銭的にできない」「必要でない（いらない）」のうち最もあてはまるものに○をつけてください。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

	ある（できる）	ない（できない）	
		金銭的にできない	必要でない（いらない）
A 自分自身のために使うことができるお金（月5000円）	1	2	3
B 最低2足の靴	1	2	3
C 古くなった服を買い替える	1	2	3
D 友人や家族と1カ月に1回ほど外食する	1	2	3
E 自宅で自分が使えるインターネット環境	1	2	3
F 自分の趣味やレジャーのためのお金	1	2	3

お子さんにしていることについておうかがいします

問 15 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。（○は1つ）

1 中学まで	3 短大・高専・専門学校まで	5 まだわからない
2 高校まで	4 大学またはそれ以上	

問 16 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

	あ る	な い		
		金銭的な理由で	時間の制約で	その他の理由で
A 海水浴や山登りに行く	1	2	3	4
B 博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
C キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
D スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
E 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4
F 国内旅行に行く（1泊以上）	1	2	3	4
G 海外旅行に行く（1泊以上）	1	2	3	4

問 17 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～J について、「1 している」「2 していない、したくない（方針でしない）」「3 していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

	している	していない	
		したくない（方針でしない）	経済的にできない
A 毎月お小遣いを渡す	1	2	3
B 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる	1	2	3
D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう、オンラインを含む）	1	2	3
E お誕生日のお祝いをする	1	2	3
F 1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3
G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
H 修学旅行などお金がかかる学校の活動	1	2	3
I パソコンかタブレットを与える	1	2	3
J スマートフォンを与える	1	2	3

問 17-1 問 17 のDで「3」と答えた人にお聞きします。
無料の学習塾があったらお子さんを通わせたいですか。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ

問 18 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。
（○は1つ）

1 いる	2 いない

問 19 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1 子どもの年齢に合った本	8 月に一度の友だちや家族との外食
2 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	9 電話（固定電話・携帯電話を含む）
3 子どもが自宅で宿題をすることができる場所	10 インターネットにつながるパソコン
4 テレビ	11 冷蔵庫
5 暖房器具	12 洗濯機
6 自家用車	13 急な出費のための貯金（5 万円以上）
7 エアコン	14 あてはまるものはない

家計の状況についておうかがいします

問 20 あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金を受給していますか。(受給か非受給に○)
※該当する収入がない場合には、0とご記入ください。
※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含みます。
※「児童手当」は 15 歳までのお子さんのための手当です(所得制限あり)。「児童育成手当」「児童扶養手当」は、所得が一定水準以下のひとり親世帯等のための手当です。

	受給の有無	金額(1ヵ月あたり)
A 児童手当(中3までのお子さんがいる所得制限以下の子育て世帯への給付)	1 受給 2 非受給	
B 児童扶養手当(所得制限以下のひとり親世帯等への給付)	1 受給 2 非受給	円
C 特別児童扶養手当(障がいのあるお子さんへの給付)	1 受給 2 非受給	1級 円 2級 円
D 年金(遺族年金、老齢年金など)	1 受給 2 非受給	円
E 生活保護	1 受給 2 非受給	円

問 21 上記問 20 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。
お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入はいくらですか。(○は1つ)
※収入には、勤労収入(パート、アルバイトを含む)、事業収入(自営業等)、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金を含みますが、上記問 20 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金は除いてお考えください。
※複数の収入源がある場合(お父さんが勤労収入、お母さんに事業収入など)は、おおよその合算値(合計額)を教えてください。

1 収入はない(0 円)	6 300～400 万円未満	11 800～900 万円未満
2 1～50 万円未満	7 400～500 万円未満	12 900～1000 万円未満
3 50～100 万円未満	8 500～600 万円未満	13 1000～1500 万円未満
4 100～200 万円未満	9 600～700 万円未満	14 1500～2000 万円未満
5 200～300 万円未満	10 700～800 万円未満	15 2000 万円以上

あなたのご家庭での生活についておうかがいします

問 22 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(○は1つ)

1 大変ゆとりがある	3 ふつう	4 やや苦しい
2 ややゆとりがある		5 大変苦しい

問 23 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(○は1つ)

1 赤字であり、借金をして生活している	4 黒字であるが、貯蓄はしていない
2 赤字であり、貯蓄を取り崩している	5 黒字であり、毎月貯蓄をしている
3 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	6 その他(具体的に)

問 24 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(○は1つ)

1 よくあった	2 ときどきあった	3 まれにあった	4 まったくなかった

問 25 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。(○は1つ)

1 よくあった	2 ときどきあった	3 まれにあった	4 まったくなかった

問 26 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA～H のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(それぞれ、○は1つ)

	あった	なかった	該当しない(払う必要がない)
A 電話料金	1	2	3
B 電気料金	1	2	3
C ガス料金	1	2	3
D 水道料金	1	2	3
E 家賃	1	2	3
F 住宅ローン	1	2	3
G 税金・社会保険料	1	2	3
H その他の債務	1	2	3

問 27 あなたのご家庭が、金銭的に困った状況に置かれたときに、どのような対応が可能ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1 親族から借りる	4 支出を抑える	7 金融機関等で借りる	10 資産を売却する
2 友人から借りる	5 勤務時間を増やす	8 会社で前借する	11 その他
3 公的機関に相談する	6 副業(アルバイト)をする	9 預貯金で対応する	12 何もできない

お子さんのお母さんとお父さんのこれまでのご経験についておうかがいします

問 28　お子さんのお母さん・お父さんが、最後に卒業した学校は次のどれですか。
（それぞれ、あてはまる番号1つを□に書いてください）

1	中学校
2	高等学校（全日制）
3	高等学校（定時制または通信制）
4	高等専修学校（中学校卒業後に進む1～4年間の専修学校）
5	高等専門学校（中学校卒業後に進む5年間の学校、高専）
6	短期大学
7	専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）
8	大学
9	大学院
10	その他
11	わからない
12	母親・父親はいない

お母さん □　　お父さん □

問 29　あなたが 15 歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。
（○は1つ）

1	大変ゆとりがあった	3	ふつう	4	やや苦しかった
2	ややゆとりがあった			5	大変苦しかった

問 30　あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1	両親が離婚した	5	親から暴力を振るわれた
2	親が生活保護を受けていた	6	育児放棄・放任（ネグレクト）された
3	母親が亡くなった	7	1～6のいずれも経験したことがない
4	父親が亡くなった		

問 31　あなたはお子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1	（元）配偶者（またはパートナー）から暴力をふるわれたことがある
2	子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある
3	育児放棄（ネグレクト）になった時期がある
4	うつ病（状態）になった時期がある
5	わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある
6	自殺を考えたことがある
7	夫婦げんかが多くなったり離婚を考えたことがある
8	1～7 のいずれも経験したことがない

公的支援の利用状況についておうかがいします

問 32　あなたのご家庭では、

（1）以下の A～H の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。

（2）（利用したことがある人にも、ない人にもお聞きします）　今後、利用することに興味がありますか。

（それぞれ、○は1つ）　（あるかないに○）

	(1) 利用したことがある	利用したことがない：利用したいと思ったことがなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用時間や、制度等が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度等について全く知らなかった		(2) 利用することに興味がある
A 就学援助費	1	2	3	4	5	6	→	ある ない
B 生活保護	1	2	3	4	5	6	→	ある ない
C 生活福祉資金貸付制度	1	2	3	4	5	6	→	ある ない
D 地域食堂（こども食堂）	1	2	3	4	5	6	→	ある ない
E フードパントリーによる食料支援	1	2	3	4	5	6	→	ある ない

以下は、ひとり親世帯向けの制度です。ひとり親世帯の方のみお答えください。

F 児童扶養手当	1	2	3	4	5	6	→	ある ない
G 母子及び父子福祉資金	1	2	3	4	5	6	→	ある ない
H ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親）	1	2	3	4	5	6	→	ある ない

＜参考＞

A 就学援助費	義務教育に関わる諸経費（給食費、文房具費など）を軽減するため、一定の所得制限以下の世帯に援助をする制度。窓口は学務課。
B 生活保護	病気や失業などのため、生活費や医療費に困る世帯に対する支援制度。所得制限など支給要件を満たした世帯に対して、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の 8 種類について扶助される。窓口は社会福祉課。
C 生活福祉資金貸付制度	所得が一定水準以下の世帯等を対象とした、低利または無利子の資金貸付。窓口は社会福祉協議会。
D 地域食堂（こども食堂）	子どもたちの食の支援、居場所の支援等を目的に、民間団体などが無料または低額で食事を提供している場所。
E フードパントリー	支援を必要とする人に対して食料品を無料で提供する場所。
F 児童扶養手当	所得が一定水準以下のひとり親世帯等を支援するための手当。窓口はこども政策課。
G 母子及び父子福祉資金	ひとり親世帯を対象にした、低利または無利子の資金貸付。窓口はこども政策課。
H ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親）	ひとり親世帯等の経済的負担を軽減するため、子どもまたは母（父）が医療機関を受診した場合の医療費の一部負担金を助成する制度。窓口は国保年金課。

問 33　あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、○は1つ）

	相談したことがある	相談したことがない			
		相談したいと思ったことがなかった	相談したかったが、抵抗感があった	相談時間や場所などが使いづらかった	相談する窓口や方法がわからなかった
A 市役所の窓口	1	2	3	4	5
B こども家庭センター	1	2	3	4	5
C 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど	1	2	3	4	5
D 民生委員・児童委員	1	2	3	4	5
E 保健センター	1	2	3	4	5
F ハローワーク	1	2	3	4	5
G 上記以外の公的機関	1	2	3	4	5

問 34　あなたが現在必要としていることで、重要だと思う支援等はどのようなものですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること
2 同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3 離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること
4 病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること
5 就職のための支援が受けられること
6 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること
7 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
8 子どもの就学にかかる費用が軽減されること
9 子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度
10 子どもの居場所づくり
11 一時的に必要となる資金を借りられること
12 ストレスを発散できる場所、機会が提供されること
13 その他（具体的に　　）
14 特にない

問 35　あなたが必要な支援を受けるために重要だと思うことを教えてください。
（あてはまる番号すべてに○）

1 行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する
2 携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる
3 メールマガジンやSNS等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する
4 広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる
5 相談窓口等の数を多くする
6 相談窓口等の場所をわかりやすくする
7 相談窓口等を行きやすい雰囲気にする
8 休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす
9 保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
10 保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする
11 病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
12 病院で具体的な助言等が受けられるようにする
13 乳幼児健康診査を充実させる
14 その他（具体的に　　）
15 特にない

問 36　あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。（1つに○）

1 言葉も内容も知っている
2 言葉は聞いたことがある
3 知らない　→問 38 へ

問 37　あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。
（あてはまるものすべてに○）

1 本人に様子を聞く
2 家族、知人、友人に相談する
3 先生や部活の顧問等に相談する
4 関係機関（子ども家庭支援センターや土浦児童相談所など）に相談する
5 何もしない
6 わからない
7 その他（　　）

問 38　土浦市に要望することがあれば、ご自由にお書きください。（例：生活費・通学費の手当、塾代の補助など）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

土浦市生活実態調査（17歳票）

依頼状に記載のIDをご記入ください

ID:（　　）

あなたのことについておたずねします

はじめに、お住まいの地区としてあてはまる番号1つを選択してください。

地区名	該当町名
1．一中地区	有明町、大和町、桜町一丁目～四丁目、大町、千束町、生田町、 港町一丁目～三丁目、中央一丁目・二丁目、城北町、東崎町、 川口一丁目・二丁目、大手町、文京町、立田町、田中一丁目～三丁目、田中町、 蓮河原町、蓮河原新町、滝田一丁目・二丁目、湖北一丁目・二丁目、 虫掛（虫掛町）、宍塚（宍塚町）、矢作（矢作町）、飯田（飯田町）、 佐野子（佐野子町）、粟毛（粟毛町）
2．二中地区	木田余（木田余町１区、２区、３区、４区）、木田余東台一丁目～五丁目、 木田余西台、真鍋一丁目～六丁目、東真鍋町、西真鍋町、真鍋新町、若松町、 東若松町、東都和、殿里（殿里町）
3．三中地区	中（中村町１区・６区・８区、西根町３区の一部、中村東町の一部）、 中村西根（１区・２区、竹の入町、西根町３区の一部、乙戸町の一部）、 中村南一丁目～六丁目、西根南一丁目～三丁目、西根西一丁目、 卸町一丁目・二丁目、中村東一丁目～三丁目、右籾（中村東町の一部）、 荒川沖東一丁目～三丁目、荒川本郷（荒川沖町南区の一部）、 沖新田（荒川沖町南区の一部）、北荒川沖町、中荒川沖町、 荒川沖西一丁目・二丁目、荒川沖（荒川沖町西区一丁目・二丁目、 荒川沖町西町三丁目、荒川沖町南区の一部）、乙戸（乙戸町の一部、 荒川沖町南区の一部）、乙戸町南一丁目～三丁目、小山田一丁目・二丁目
4．四中地区	小松一丁目～三丁目、千鳥ヶ丘町、小松ヶ丘町、桜ヶ丘、国分町、 上高津（上高津町の一部）、宍塚（上高津町の一部）、上高津新町、 小岩田（永国町の一部）、永国（永国町、中高津町の一部）、永国東町、 永国台、富士崎一丁目・二丁目、下高津一丁目～四丁目、 中高津一丁目～三丁目、天川一丁目・二丁目
5．五中地区	沖宿町、田村町、手野町、おおつ野一丁目～八丁目、神立町（神立町１区）、 中神立町、北神立町、神立町中央一丁目～五丁目、神立東一丁目・二丁目、 菅谷町、白鳥町（白鳥町、白鳥新町）
6．六中地区	大岩田（大岩田町１区・２区、大岩田団地）、霞ヶ岡町、 小岩田東一丁目・二丁目、小岩田西一丁目・二丁目、鳥山一丁目～五丁目、 右籾（右籾町１区・４区・５区、右籾町２区・３区の一部、右籾町自衛隊、 まりやま団地、まりやま新町）、摩利山新田（右籾町２区・３区の一部）
7．都和地区	並木一丁目～五丁目、東並木町、西並木町、都和一丁目～四丁目、 板谷一丁目～七丁目、中都町一丁目～四丁目、笹師町、今泉（今泉町）、 栗野町、小山崎（小山崎町）中貫（中貫町）、東中貫町、常名（常名町）、紫ヶ丘
8．新治地区	藤沢（藤沢１区・２区）、東町の一部、文京区の一部）、 大畑（大畑、藤沢団地、東町の一部、桃園の一部、文京区の一部）、 上坂田（上坂田、桃園の一部）、下坂田（下坂田、桃園の一部）、沢辺、田宮、 田土部、高岡（高岡根、高岡沖、高岡新田）、藤沢新田、永井、本郷、大志戸、 小野、東城寺、小高
9．わからない	（町名：　　）

問1 あなたの性別を教えてください。（○は１つ）

1 男子　　**2** 女子　　**3** どちらでもない・答えたくない

問2 あなたの家族は以下のどれに最も近いですか。（○は１つ）

1 ふたり親（二世代）世帯※注　　**3** ひとり親（二世代）世帯　　**5** 施設
2 ふたり親（三世代）世帯※注　　**4** ひとり親（三世代）世帯　　**6** その他

注：あなたの家族（あなたが一緒に生活している人）の中に、あなたの父親または母親が含まれる場合を（二世代）世帯、さらにあなたの祖父または祖母が含まれる場合を（三世代）世帯と呼びます。

問3 あなたは、次のA～Qの物品を持っていますか。それぞれ、あなたの状況に最も近いものに○をつけてください。
（**それぞれ、○は１つ**）

	持っている	持っていない	
		持ちたいが持っていない	持ちたくない・いらない
A　新しい（お古でない）洋服・靴	**1**	**2**	**3**
B　自分の部屋	**1**	**2**	**3**
C　（自宅で）インターネットにつながる環境	**1**	**2**	**3**
D　家の中で勉強ができる場所	**1**	**2**	**3**
E　自分がアクセスできる音楽や映画サービス（Hulu,Amazon Prime, Netflix など）	**1**	**2**	**3**
F　友人と遊びに出かけるお金	**1**	**2**	**3**
G　自分が使えるパソコンまたはタブレット	**1**	**2**	**3**
H　スポーツや趣味の道具やウェアなどの必要経費（部活を含む）	**1**	**2**	**3**
I　定期的なヘアカット	**1**	**2**	**3**
J　月 5,000 円ほどの、自分で自由に使えるお金（お小遣い）	**1**	**2**	**3**
K　友人が着ているような洋服	**1**	**2**	**3**
L　2足以上のサイズの合った靴	**1**	**2**	**3**
M　スマートフォン	**1**	**2**	**3**
N　学習塾（または家庭教師、オンラインを含む）	**1**	**2**	**3**
O　1年に1回の家族旅行（1泊以上）	**1**	**2**	**3**
P　めがね又はコンタクトレンズ（矯正用）	**1**	**2**	**3**
Q　自分専用の化粧品・化粧道具	**1**	**2**	**3**

あなたの普段の生活についておたずねします

問 4　あなたの仲が良い友人は、どのような友人ですか。（**あてはまる番号すべてに○**）

1 今通っている学校の友人	**6** 習い事の友人
2 小・中学校で一緒だった友人	**7** アルバイトなどの職場の友人
3 近所に住んでいる友人	**8** SNS などネット上の友人
4 スポーツ・チームや部活動（クラブ）の友人	**9** その他の友人（　　）
5 塾・予備校の友人	**10** とくに仲の良い友人はいない

学校のことや勉強のことについておたずねします

問 5　あなたは、現在、学校に在籍していますか。以下の中から、あてはまるものに○をしてください。（**○は1つ**）

1 高等学校（全日制）に在籍
2 高等学校（定時制）に在籍
3 高等学校（通信制）に在籍
4 特別支援学校に在籍
5 高等専門学校に在籍
6 専修学校（高等課程）に在籍
7 上記の学校のいずれかに在籍したことはあるが、中途退学した
8 上記の学校のいずれにも在籍したことがない
9 その他（　　）

1～7 とお答えになった方にお聞きします。＊中学校卒業以降、学校に在籍していない方は**問 12** へお進みください。

問 6　あなたが在籍している（していた）高等学校等の学科は、以下のどれにあたりますか。（**○は1つ**）

1 普通科	**3** 農業科	**5** 総合学科
2 工業科	**4** 商業科	**6** その他（具体的に　　）

問 6-1　その学校に、いまも在籍していますか。中途退学した場合、最後に通った学期はいつですか。（**○は１つ**）

1 在籍している　　**2** 中途退学した ⇒ [　　] 年 [　　] 学期

問 6-2　学校の設置者は、以下のどれにあたりますか。（**○は１つ**）

1 公立
（学校名　　高校）
2 私立 →**問 6-4 へ**
3 国立
4 その他
（具体的に　　）
→**問 7 へ**

問 6-3　学校の設置者で「**1　公立**」を選んだ方にお聞きします。
公立の高等学校に進学したのは、なぜですか。（**あてはまる番号すべてに○**）

1 公立高校の方が教育の質が高いと思った	**4** 私立高校の入試に合格しなかった
2 公立高校の教育方針が気に入った	**5** 私立高校の授業料などの費用が高かった
3 近くによい私立高校がなかった	**6** その他（具体的に　　）

問 6-4　学校の設置者で「**2　私立**」を選んだ方にお聞きします。
私立の高等学校に進学したのは、なぜですか。（**あてはまる番号すべてに○**）

1 私立高校の方が教育の質が高いと思った	**4** 公立高校の入試に合格しなかった
2 私立高校の教育方針が気に入った	**5** その他（具体的に　　）
3 近くによい公立高校がなかった	

問 7　あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（**○は１つ**）

1 いつもわかる
2 だいたいわかる
3 あまりわからない
4 わからないことが多い
5 ほとんどわからない

問 7-1　学校の授業が「**4** わからないことが多い」または「**5** ほとんどわからない」を選んだ方にお聞きします。
いつごろから、授業がわからなくなりましたか。（**○は１つ**）

1 1・2年生の頃	**4** 7年生の頃	**7** 高校1年生の頃
2 3・4年生の頃	**5** 8年生の頃	**8** 高校2年生の頃
3 5・6年生の頃	**6** 9年生の頃	**9** 高校3年生になってから
		10 わからない

問 8　あなたは、ふだん（月～金曜日）学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。１日あたりの勉強時間を教えてください。（**○は１つ**）　　**※ 塾や宿題をやる時間も含みます。**

1 まったくしない	**3** 30 分以上、1時間より少ない	**5** 2時間以上、3時間より少ない
2 30 分より少ない	**4** 1時間以上、2時間より少ない	**6** 3時間以上

問 9　あなたは、塾や予備校に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか（オンラインも含む）。通って（来てもらって）いる場合、1週間に何日通って（来てもらって）いますか。両方やっている方は、合計した日数に○をつけてください。
（**○は１つ**）

1 通って（来てもらって）いない	**3** 週に2日	**5** 週に4日	**7** 週に6日
2 週に1日	**4** 週に3日	**6** 週に5日	**8** 毎日

問 10　あなたは、今後、通いたいと希望する学校がありますか。（**あてはまる番号すべてに○**）

1 専門学校
2 短期大学
3 四年制大学
4 大学院
5 その他（具体的に　　）
6 今後、進学したいとは思わない → **問 11 へ**

問 10-1　今後の進学を希望する方にお聞きします。
希望する学校に進学する予定はありますか。いまの時点での見込みでかまいません。「進学する予定はない」「わからない」場合は、その理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 進学する予定である	**2** 進学する予定はない／わからない
	理由（**あてはまる番号すべてに○**） **1** 経済的　**2** 学力不安　**3** 健康 **4** 家族の介護や家事 **5** その他（具体的に　　）

問 11　あなたは、学校の部(クラブ)活動に参加していますか。(○は１つ)

1 している　　**2** していない

問 11-1　学校の部(クラブ)活動を「2 していない」と答えた人にお聞きします。
参加しない理由は何ですか。(**あてはまる番号すべてに○**)

1 入りたい部(クラブ)がないから
2 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
3 塾・予備校や習い事が忙しいから
4 アルバイトなど仕事が忙しいから
5 費用がかかるから
6 一緒に入る友人がいないから
7 その他(具体的に　　)

問 12　あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。(**それぞれ、○は１つ**)

	よく あった	時々 あった	あまり なかった	なかった	わからない
A 1年間の合計で 30 日以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
B いじめられた	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
C 夜遅く(23 時以降)家の外で子どもだけで遊んだ	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**

問 12-1　「1 よくあった」または、「2 時々あった」と答えた人におききします。上のようなことがあった時期はいつですか。(**それぞれ、あてはまる番号すべてに○**)

A 1年間の合計で 30 日以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)	B いじめられた	C 夜遅く(23 時以降)家の外で子どもだけで遊んだ
1 1～3年生のころ	**1** 1～3年生のころ	**1** 1～3年生のころ
2 4～6年生のころ	**2** 4～6年生のころ	**2** 4～6年生のころ
3 7～9年生のころ	**3** 7～9年生のころ	**3** 7～9年生のころ
4 高校1年生のころ	**4** 高校1年生のころ	**4** 高校1年生のころ
5 令和4(2022)年4月から現在まで	**5** 令和4(2022)年4月から現在まで	**5** 令和4(2022)年4月から現在まで

問 12-1-1　「A」に **1～5** と答えた方にお聞きします。その時に主に過ごした場所はどこですか。
下の欄にお書きください。

(　　)

あなたの生活についておたずねします

問 13　あなたは、以下の活動をふだんどれくらいしますか。(**それぞれ、○は１つ**)

	毎日 4時間 以上	毎日 2～4 時間	毎日 1～2 時間	毎日 1時間 以下	1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日	全然 しない
A ゲーム(テレビゲーム、スマートフォンなど)をする	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**	**8**
B SNS(LINE など)を見たり、書き込んだりする	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**	**8**
C テレビやインターネット(Youtube など)を観る	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**	**8**
D SNS などによる他者とのやり取り	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**	**8**
E 家事(洗濯、掃除、料理、片付けなど)	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**	**8**
F 弟や妹の世話	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**	**8**
G 父母・祖父母など家族の介護・看病	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**	**8**
H 家族の通訳や書類のやり取りなどの手伝い	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**	**8**

問 13-1　「E」に**1～7** と答えた人にお聞きします。家族の中で、家事を最も多く担っている人は誰ですか？
(○は1つ)

1 自分　　**2** 母親　　**3** 父親　　**4** その他の家族

問 13-2　「G」で**1～7**と答えた人にお聞きします。あなたが介護・看病している人は誰ですか。
(**あてはまる番号すべてに○**)

1 弟・妹　　**3** 母親　　**5** 祖父母
2 兄・姉　　**4** 父親　　**6** その他の家族

問 14　あなたは、以下のことがらについて、どう思いますか？ (**それぞれ、○は１つ**)

	とても そう思う	そう思う	だいたい そう思う	少し そう思う	そう思わない	わからない
A 家族は私のことを大事に思ってくれている	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**
B もし何か問題があったら、家族は私を助けてくれる	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**
C 家族と一緒にいるのは楽しい	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**
D 家にいると安心する	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**
E 親は私の意見を尊重してくれる	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**
F 私のことは、親と私が一緒に決める	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**

問 15 あなたは、ちょっとした会話も含め、他の人とどれくらい話しますか。A～O のそれぞれについて、電話、メール、LINEも含めて、最も近いものに○をつけてください。（**それぞれ、○は1つ**）

	よく話す	時々話す	あまり話さない	まったく話さない	該当する人はいない
A 親	1	2	3	4	5
B 兄弟姉妹	1	2	3	4	5
C 祖父母、叔父叔母など	1	2	3	4	5
D 担任の先生	1	2	3	4	5
E 部活の先生・コーチ	1	2	3	4	5
F スクールカウンセラー・スクール(ユース)ソーシャルワーカー	1	2	3	4	5
G 友人	1	2	3	4	5
H 先輩・後輩	1	2	3	4	5
I SNS を通じて知り合った人	1	2	3	4	5
J 近所の人や町内会の人	1	2	3	4	5
K 図書館・児童館など施設の人	1	2	3	4	5
L 塾や習い事の先生など	1	2	3	4	5
M 子ども食堂や無料学習支援事業の人	1	2	3	4	5
N コンビニなどの店員さん	1	2	3	4	5
O その他	1	2	3	4	5

問 15-1 あなたに困ったことや、悩んでいることがある時、そのことを誰かに話しますか。上記の A～O の相手のうち、話す人の記号をすべて答えてください。

1 話さない　　**2** 話す　→ 相手の記号 [　][　][　][　][　][　]

食事のことについておたずねします

問 16 あなたは、平日（学校や仕事に行く日）に、一日3食を食べますか。（**○は1つ**）

1 ほぼ毎日3食食べる　**2** ほぼ毎日2食食べる　**3** ほぼ毎日1食食べる

問 17 あなたが自宅で食事をする時、主にだれが作ってくれますか。（**○は1つ**）

1 母親　**3** 祖父母　**5** 自分
2 父親　**4** きょうだい　**6** その他（具体的に　　）

問 18 あなたは、平日（学校や仕事に行く日）の夕食に何を食べますか。以下の A～F について、1週間の回数について、最もよくあるパターンを書いてください。（**カッコの中に数字で答えてください**）

A 家族か自分が作った食事	週（　）回	D ファーストフード	週（　）回
B 飲食店での外食	週（　）回	E その他（　　）	週（　）回
C コンビニなどで購入したもののみ	週（　）回	F 夕食を食べない	週（　）回

健康のことについておたずねします

問 19 あなたの健康状態についておうかがいします。最も近いものに○をつけてください。（**あてはまる番号1つに○**）

1 よい　**2** まあよい　**3** ふつう　**4** あまりよくない　**5** よくない

問 20 あなたの平均睡眠時間はどのくらいですか。（**あてはまる番号1つに○**）

1 約3時間
2 約4時間
3 約5時間
4 約6時間
5 7時間以上

問 21 あなたは、新型コロナウイルスに感染しましたか？（**○は1つ**）

1 はい、今は元気です。　**2** はい、今も後遺症があります。　**3** いいえ、感染していません。

問 22 あなたの身長・体重を教えてください。（**□の中に数字で答えてください**）

A 身長　1メートル [　][　] センチ

B 体重 [　][　][　]．[　] キログラム

問 23 この1年間に、アルコールを飲んだり、タバコ（電子タバコ）を吸ったりすることはありましたか？
ある場合、どのくらいの頻度でありましたか？
（**それぞれ最も近い頻度の数字を書いてください。**）

1 一度も飲まなかった（吸わなかった）　**2** 1年間で1回～数回　**3** 月に数回　**4** 週に数回　**5** ほとんど毎日

アルコール		**タバコ**	

問 24 あなたは、自分が必要と思う時に、医者または歯医者にかかることができますか。健診も含めてお答えください。（**○は1つ**）

1 いつでもできる
2 できないことがある（健康保険に加入していない）
3 その他の理由によりできないことがある（　　）
4 医者にかかる必要を感じたことはない

アルバイトなどのお仕事についておたずねします

問 25 あなたは、現在、働いていますか。以下の中から、最もあてはまるものに○をしてください。（**あてはまる番号すべてに○**）

1 就労している（アルバイト・パートタイム・派遣・日雇い・正規雇用）
2 家業の手伝い
3 家事（家族の育児・介護を含む）手伝い
4 その他の働き方
5 働いていない　→ **問 27 へ**

問 25-1 収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしている方にお聞きします。

あなたの現在のお仕事の雇用形態を教えてください。複数のお仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてお答えください。(○は１つ)

1	正規雇用(正社員)	6	自営業
2	非正規雇用(パートタイム)	7	自営業の手伝い
3	非正規雇用(派遣)	8	個人業務請負 ※注
4	非正規雇用(アルバイト)	9	内職
5	日雇い(日雇い派遣含む)	10	その他(具体的に　　)

注：「個人業務請負」は、**ウーバーイーツの配達人など**労働契約ではなく、個人で企業と請負契約を結び、仕事をする場合を指しています。

問 25-2 収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしている方全員にお聞きします。

そのお仕事から、平均して毎月どれくらいの収入(手取り)がありますか。

1か月あたり平均 約 □□ 万 □ 千円

問 25-3 1日あたり(平日と休日)、平均何時間働いていますか。残業時間を含めてお答えください。

平日 □□ 時間　　休日 □□ 時間

問 25-4 あなたが、ふだん働いている時間帯は、次のどれにあたりますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(**あてはまる番号すべてに○**)

1	早朝(5時～8時)	3	午後(正午～18 時)	5	夜間(20 時～22 時)
2	午前(8時～正午)	4	夜間(18 時～20 時)	6	深夜(22 時～翌 5 時)

問 25-5 収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしている方全員にお聞きします。

あなたは現在、生活費を、同居または別居の家族に渡していますか。平均の月額をお書きください(渡していない場合は「0」)。

1か月あたり □□□□□□ 円

問 26 あなたは、これまでに職場で以下のような経験をしたことがありますか。(**あてはまる番号すべてに○**)

1	長時間労働を日常的に強いられる	11	仕事により心身の健康を害した
2	休憩時間をとらせてもらえないことがある	12	求人や面接の時に示された労働条件と実際の条件が違う
3	あらかじめ定められた休日に休めない	13	普通の努力では不可能なノルマが課せられる
4	勝手にシフトをいれられる	14	辞めたいと言っても辞めさせてもらえない
5	直前まで勤務スケジュールがわからない	15	無理やり辞めさせられそうになった(辞めさせられた)
6	短期間で辞めていく人が多い		
7	上司から不当な扱い(パワーハラスメント)をうける		
8	セクハラの被害にあったことがある	16	その他(具体的に　　)
9	暴力・暴言を受けたことがある	17	上記のような経験は、したことがない
10	職場で暴力・暴言が放置されている	18	これまでに仕事(アルバイトを含む)をしたことはない

あなたが普段考えていることについておたずねします

問 27 あなたが日常生活の中で感じていることについてお答えください。

(A～G それぞれ、○は１つ)

		とても思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
A	自分に自信がある	1	2	3	4
B	自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4
C	大人は信用できる	1	2	3	4
D	自分の将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4
E	将来のためにも、今、頑張りたいと思う	1	2	3	4
F	将来働きたいと思う	1	2	3	4
G	自分のことが好きだ	1	2	3	4

問 28 以下のA～Iの意見について、あなたはどう思いますか。それぞれあなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(**それぞれ、○は１つ**)

		とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
A	頑張れば、むくわれる	1	2	3	4
B	自分は価値のある人間だと思う	1	2	3	4
C	自分は家族に大事にされている	1	2	3	4
D	自分は友人に好かれている	1	2	3	4
E	不安に感じることはない	1	2	3	4
F	孤独を感じることはない	1	2	3	4
G	自分の将来が楽しみだ	1	2	3	4
H	毎日の生活が楽しい	1	2	3	4
I	自分のことが好きだ	1	2	3	4

問 29 あなたは、毎日の生活が楽しいですか。(**○は１つ**)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
楽しくない	←									とても楽しい

問 30　次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。（それぞれ、○は１つ）

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない
A　神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
B　絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
C　そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
D　気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
E　何をするのも大変だと感じましたか	1	2	3	4	5
F　自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問 31　あなたは今までに、以下の**1～8** のようなことがありましたか。（**あてはまる番号すべてに○**）

1	一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある。
2	一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある。
3	家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある。
4	必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある。
5	両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある。
6	一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある。または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある。
7	一緒に住んでいる人に、お酒や麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる。
8	一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる。
9	そのような経験はしたことがない。

問 32　**そのほか、あなたが、暮らしをよくするために、なんでもお願いできるとすれば、どのようなことを希望しますか。なんでもいいので、書いてください。**

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

土浦市生活実態調査

（17歳の保護者票）

依頼状に記載のIDをご記入ください

ID:（　　）

あなたのこと、あなたの世帯のことについておうかがいします

はじめに、お住まいの地区としてあてはまる番号1つを選択してください。

地区名	該当町名
1. 一中地区	有明町、大和町、桜町一丁目～四丁目、大町、千束町、生田町、 港町一丁目～三丁目、中央一丁目・二丁目、城北町、東崎町、 川口一丁目・二丁目、大手町、文京町、立田町、田中一丁目～三丁目、田中町、 蓮河原町、蓮河原新町、滝田一丁目・二丁目、湖北一丁目・二丁目、 虫掛（虫掛町）、宍塚（宍塚町）、矢作（矢作町）、飯田（飯田町）、 佐野子（佐野子町）、粕毛（粕毛町）
2. 二中地区	木田余（木田余町1区、2区、3区、4区）、木田余東台一丁目～五丁目、 木田余西台、真鍋一丁目～六丁目、東真鍋町、西真鍋町、真鍋新町、若松町、 東若松町、東都和、殿里（殿里町）
3. 三中地区	中（中村町1区・6区・8区、西根町3区の一部、中村東町の一部）、 中村西根（1区・2区、竹の入町、西根町3区の一部、乙戸町の一部）、 中村南一丁目～六丁目、西根南一丁目～三丁目、西根西一丁目、 卸町一丁目・二丁目、中村東一丁目～三丁目、右籾（中村東町の一部）、 荒川沖東一丁目～三丁目、荒川本郷（荒川沖町南区の一部）、 沖新田（荒川沖町南区の一部）、北荒川沖町、中荒川沖町、 荒川沖西一丁目・二丁目、荒川沖（荒川沖町西区一丁目・二丁目、 荒川沖町西町三丁目、荒川沖町南区の一部）、乙戸（乙戸町の一部、 荒川沖町南区の一部）、乙戸町南一丁目～三丁目、小山田一丁目・二丁目
4. 四中地区	小松一丁目～三丁目、千鳥ヶ丘町、小松ヶ丘町、桜ヶ丘、国分町、 上高津（上高津町の一部）、宍塚（上高津町の一部）、上高津新町、 小岩田（永国町の一部）、永国（永国町、中高津町の一部）、永国東町、 永国台、富士崎一丁目・二丁目、下高津一丁目～四丁目、 中高津一丁目～三丁目、天川一丁目・二丁目
5. 五中地区	沖宿町、田村町、手野町、おおつ野一丁目～八丁目、神立町（神立町1区）、 中神立町、北神立町、神立町中央一丁目～五丁目、神立東一丁目・二丁目、 菅谷町、白鳥町（白鳥町、白鳥新町）
6. 六中地区	大岩田（大岩田町1区・2区、大岩田団地）、霞ヶ岡町、 小岩田東一丁目・二丁目、小岩田西一丁目・二丁目、鳥山一丁目～五丁目、 右籾（右籾町1区・4区・5区、右籾町2区・3区の一部、右籾町自衛隊、 まりやま団地、まりやま新町）、摩利山新田（右籾町2区・3区の一部）
7. 都和地区	並木一丁目～五丁目、東並木町、西並木町、都和一丁目～四丁目、 板谷一丁目～七丁目、中都町一丁目～四丁目、笹師町、今泉（今泉町）、 栗野町、小山崎（小山崎町）中貫（中貫町）、東中貫町、常名（常名町）、紫ヶ丘
8. 新治地区	藤沢（藤沢1区・2区）、東町の一部、文京区の一部）、 大畑（大畑、藤沢団地、東町の一部、桃園の一部、文京区の一部）、 上坂田（上坂田、桃園の一部）、下坂田（下坂田、桃園の一部）、沢辺、田宮、 田土部、高岡（高岡根、高岡沖、高岡新田）、藤沢新田、永井、本郷、大志戸、 小野、東城寺、小高
9. わからない	（町名：　　）

問1　お子さんとあなた（回答者）との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続き柄で、お答えください。（○は1つ）

1	父親	4	祖母
2	母親	5	兄弟姉妹
3	祖父	6	その他（具体的に　　）

問2　あなたの年齢を教えてください。（枠内に数字で回答してください）

［　　］歳

問3　現在のあなたの婚姻状況を教えてください。（○は1つ）

1	結婚している（事実婚を含む）	3	未婚
2	離婚（別居中を含む）	4	死別

問3-1　問3で「2.離婚」を選んだ方にお伺いします。離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また、現在養育費を受け取っていますか。（○は1つ）

1	取り決めをしており、養育費を受け取っている
2	特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
3	養育費の取り決めをしているが、受け取っていない
4	養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

問4　お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください（あなたとお子さんも含む）。単身赴任などで別居しているご家族も含めてください。

［　　］人

問5　お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。複数いる場合は、人数もお教えください。

（あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字で回答してください）

1	父親	4	祖母（　　人）	7	その他（　　）
2	母親	5	兄弟姉妹（　　人）		（　　人）
3	祖父（　　人）	6	親戚（　　人）		

問6　お子さんと同居している大人の家族の中に、高齢・障がいまたは病気などによって、介護や看護が必要な方はいますか。（○は1つ）

1 いる	2 いない

問7　お子さんのご両親の国籍を、教えてください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

お母さん	→	1 日本	2 日本以外
お父さん	→	1 日本	2 日本以外

問8　現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。(○は1つ)

1 持ち家	4 都市再生機構(UR)・公社などの賃貸住宅
2 民間の賃貸住宅	5 給与住宅(社宅・公務員住宅など)
3 県営または市営の賃貸住宅	6 間借り・その他

お子さんのお母さんとお父さんの職業についておうかがいします

問9　お子さんのお母さんとお父さんの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。お母さん、お父さんがいない場合は、空欄で結構です。(それぞれ、あてはまる番号1つを□に書いてください)

1 会社役員	6 自営業(家族従業者を含む)	11 専業主婦(夫)
2 民間企業の正社員	7 自由業	12 学生
3 公務員などの正職員	8 団体職員	13 引退(退職)
4 契約社員・派遣社員・嘱託社員	9 その他の働き方をしている	14 その他の無職
5 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	10 個人業務請負　※注	15 わからない

→問10へ

注：「個人業務請負」とは、ウーバーイーツの配達人など労働契約ではなく、個人で企業と請負契約を結び、仕事をする場合を指します。

お母さん □　　お父さん □

問9−1　問9で「1」～「10」を選んだ方におうかがいします。

1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。(枠内に数字で回答してください)

※複数のお仕事をもっていらっしゃる場合は合算してください。

お母さん：週に平均 □ 時間　　お父さん：週に平均 □ 時間

問9−2　問9で「1」～「10」を選んだ方におうかがいします。

昨年1年間(令和5年1月～12月)を合計したお仕事からの収入(税込)は、およそいくらですか。

(枠内に数字で回答してください)

※収入なしの場合には、0をご記入ください。

お母さん：□ 万円　　お父さん：□ 万円

お子さんの健康状態についておうかがいします

問10　お子さんの健康状態について最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

1 よい	3 ふつう	4 あまりよくない
2 まあよい		5 よくない

問11　過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(○は1つ)

1 あった　　2 なかった →問12へ

問11−1　問11で「1　あった」を選んだ方におうかがいします。

その理由は、何ですか。以下の中から、最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

1 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
2 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
3 医療費を支払うことはできるが、生活費にまわしたほうが良いと思ったため
4 子ども本人が受診したがらなかったため
5 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
6 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため
7 自分の健康状態が悪かったため
8 その他(具体的に　　)

あなた(回答者)についておうかがいします

問12　あなたの健康状態について最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

1 よい　　2 まあよい　　3 あまりよくない　　4 よくない

問13　次のAからFの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない
A 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
B 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
C そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
D 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
E 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
F 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問 14 あなた自身には、自分が持っている（できる）以下のものがありますか。「ある（できる）」、「金銭的にできない」「必要でない（いらない）」のうち最もあてはまるものに○をつけてください。
（それぞれ、○は1つ）

	ある（できる）	ない（できない）	
		金銭的にできない	必要でない（いらない）
A 自分自身のために使うことができるお金（月 5000 円）	1	2	3
B 最低2足の靴	1	2	3
C 古くなった服を買い替える	1	2	3
D 友人や家族と1カ月に1回ほど外食する	1	2	3
E 自宅で自分が使えるインターネット環境	1	2	3
F 自分の趣味やレジャーのためのお金	1	2	3

お子さんにしていることについておうかがいします

問 15 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。（○は1つ）

1 中学まで	3 短大・高専・専門学校まで	5 まだわからない
2 高校まで	4 大学またはそれ以上	

問 16 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。
（それぞれ、○は1つ）

	あ る	な い		
		金銭的な理由で	時間の制約で	その他の理由で
A 海水浴や山登りに行く	1	2	3	4
B 博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
C キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
D スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
E 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4
F 国内旅行に行く（1泊以上）	1	2	3	4
G 海外旅行に行く（1泊以上）	1	2	3	4

問 17 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～J について、「1 している」「2 していない、したくない（方針でしない）」「3 していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ、○は１つ）

	している	していない	
		したくない（方針でしない）	経済的にできない
A 毎月お小遣いを渡す	1	2	3
B 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる	1	2	3
D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう、オンラインを含む）	1	2	3
E お誕生日のお祝いをする	1	2	3
F 1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3
G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
H 修学旅行などお金がかかる学校の活動	1	2	3
I パソコンかタブレットを与える	1	2	3
J スマートフォンを与える	1	2	3

問 18 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。（○は1つ）

1 いる	2 いない

問 19 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1 子どもの年齢に合った本	8 月に一度の友だちや家族との外食
2 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	9 電話（固定電話・携帯電話を含む）
3 子どもが自宅で宿題をすることができる場所	10 インターネットにつながるパソコン
4 テレビ	11 冷蔵庫
5 暖房器具	12 洗濯機
6 自家用車	13 急な出費のための貯金（5 万円以上）
7 エアコン	14 あてはまるものはない

家計の状況についておうかがいします

問 20　あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金を受給していますか。(受給か非受給に○)
※該当する収入がない場合には、0とご記入ください。
※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含みます。
※「児童手当」は 15 歳までのお子さんのための手当です(所得制限あり)。「児童育成手当」「児童扶養手当」は、所得が一定水準以下のひとり親世帯等のための手当です。

	受給の有無	金額(1ヵ月あたり)
A 児童手当(中3までのお子さんがいる所得制限以下の子育て世帯への給付)	1 受給 2 非受給	
B 児童扶養手当(所得制限以下のひとり親世帯等への給付)	1 受給 2 非受給	円
C 特別児童扶養手当(障がいのあるお子さんへの給付)	1 受給 2 非受給	1級 円 2級 円
D 年金(遺族年金、老齢年金など)	1 受給 2 非受給	円
E 生活保護	1 受給 2 非受給	円

問 20-1　お子さんは、奨学金を受けましたか(受けていますか)。複数受けている場合は、直近のものについて教えてください。(○は1つ)

1 給付型の奨学金を受けた／受けている
2 貸与型の奨学金を受けた／受けている
3 その他のタイプの奨学金を受けた／受けている (具体的に)
4 奨学金は受けなかった／受けていない

問 20-2　「1 給付型の奨学金」または「2 貸与型の奨学金」を受けた(受けている)方におうかがいします。
お子さんが、受けていた(受けている)奨学金は、1か月あたりいくらですか。

1か月 [ ] 円

問 21　上記問 20 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。
お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、およその年間収入はいくらですか。(○は1つ)
※収入には、勤労収入(パート、アルバイトを含む)、事業収入(自営業等)、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金を含みますが、上記問 20 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金は除いてお考えください。
※複数の収入源がある場合(お父さんが勤労収入、お母さんに事業収入など)は、おおよその合算値(合計額)を教えてください。

1 収入はない(0 円)	6 300～400 万円未満	11 800～900 万円未満
2 1～50 万円未満	7 400～500 万円未満	12 900～1000 万円未満
3 50～100 万円未満	8 500～600 万円未満	13 1000～1500 万円未満
4 100～200 万円未満	9 600～700 万円未満	14 1500～2000 万円未満
5 200～300 万円未満	10 700～800 万円未満	15 2000 万円以上

あなたのご家庭での生活についておうかがいします

問 22　現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(○は1つ)

1 大変ゆとりがある　2 ややゆとりがある　3 ふつう　4 やや苦しい　5 大変苦しい

問 23　ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(○は1つ)

1 赤字であり、借金をして生活している
2 赤字であり、貯蓄を取り崩している
3 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである
4 黒字であるが、貯蓄はしていない
5 黒字であり、毎月貯蓄をしている
6 その他(具体的に)

問 24　あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(○は1つ)

1 よくあった　2 ときどきあった　3 まれにあった　4 まったくなかった

問 25　あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。(○は1つ)

1 よくあった　2 ときどきあった　3 まれにあった　4 まったくなかった

問 26　過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA～H のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(それぞれ、○は1つ)

	あった	なかった	該当しない(払う必要がない)
A 電話料金	1	2	3
B 電気料金	1	2	3
C ガス料金	1	2	3
D 水道料金	1	2	3
E 家賃	1	2	3
F 住宅ローン	1	2	3
G 税金・社会保険料	1	2	3
H その他の債務	1	2	3

問 27　あなたのご家庭が、金銭的に困った状況に置かれたときに、どのような対応が可能ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1 親族から借りる	4 支出を抑える	7 金融機関等で借りる	10 資産を売却する
2 友人から借りる	5 勤務時間を増やす	8 会社で前借する	11 その他
3 公的機関に相談する	6 副業(アルバイト)をする	9 預貯金で対応する	12 何もできない

お子さんのお母さんとお父さんのこれまでのご経験についておうかがいします

問 28　お子さんのお母さん・お父さんが、最後に卒業した学校は次のどれですか。
（それぞれ、あてはまる番号1つを□に書いてください）

1	中学校
2	高等学校（全日制）
3	高等学校（定時制または通信制）
4	高等専修学校（中学校卒業後に進む1～4年間の専修学校）
5	高等専門学校（中学校卒業後に進む5年間の学校、高専）
6	短期大学
7	専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）
8	大学
9	大学院
10	その他
11	わからない
12	母親・父親はいない

お母さん □　　お父さん □

問 29　あなたが 15 歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。
（○は1つ）

1	大変ゆとりがあった	3	ふつう	4	やや苦しかった
2	ややゆとりがあった			5	大変苦しかった

問 30　あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1	両親が離婚した	5	親から暴力を振るわれた
2	親が生活保護を受けていた	6	育児放棄・放任（ネグレクト）された
3	母親が亡くなった	7	1～6のいずれも経験したことがない
4	父親が亡くなった		

問 31　あなたはお子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1	（元）配偶者（またはパートナー）から暴力をふるわれたことがある
2	子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある
3	育児放棄（ネグレクト）になった時期がある
4	うつ病（状態）になった時期がある
5	わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある
6	自殺を考えたことがある
7	夫婦げんかが多くなったり離婚を考えたことがある
8	
9	1～7 のいずれも経験したことがない

公的支援の利用状況についておうかがいします

問 32　あなたのご家庭では、

（1）以下の A～I の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。

（2）（利用したことがある人にも、ない人にもお聞きします）今後、利用することに興味がありますか。

（それぞれ、○は1つ）　（あるかないに○）

	(1) 利用したことがある	利用したことがない：利用したいと思ったことがなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用時間や、制度等が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度等について全く知らなかった		(2) 利用することに興味がある
A 就学援助費	1	2	3	4	5	6	→	ある ない
B 生活保護	1	2	3	4	5	6	→	ある ない
C 生活福祉資金貸付制度	1	2	3	4	5	6	→	ある ない
D 地域食堂（こども食堂）	1	2	3	4	5	6	→	ある ない
E フードパントリーによる食料支援	1	2	3	4	5	6	→	ある ない

以下は、ひとり親世帯向けの制度です。ひとり親世帯の方のみお答えください。

F 児童扶養手当	1	2	3	4	5	6	→	ある ない
G 母子及び父子福祉資金	1	2	3	4	5	6	→	ある ない
H ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親）	1	2	3	4	5	6	→	ある ない

＜参考＞

A 就学援助費	義務教育に関わる諸経費（給食費、文房具費など）を軽減するため、一定の所得制限以下の世帯に援助をする制度。窓口は学務課。
B 生活保護	病気や失業などのため、生活費や医療費に困る世帯に対する支援制度。所得制限など支給要件を満たした世帯に対して、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の 8 種類について扶助される。窓口は社会福祉課。
C 生活福祉資金貸付制度	所得が一定水準以下の世帯等を対象とした、低利または無利子の資金貸付。窓口は社会福祉協議会。
D 地域食堂（こども食堂）	子どもたちの食の支援、居場所の支援等を目的に、民間団体などが無料または低額で食事を提供している場所。
E フードパントリー	支援を必要とする人に対して食料品を無料で提供する場所。
F 児童扶養手当	所得が一定水準以下のひとり親世帯等を支援するための手当。窓口はこども政策課。
G 母子及び父子福祉資金	ひとり親世帯を対象にした、低利または無利子の資金貸付。窓口はこども政策課。
H ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親）	ひとり親世帯等の経済的負担を軽減するため、子どもまたは母（父）が医療機関を受診した場合の医療費の一部負担金を助成する制度。窓口は国保年金課。

問 33　あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、○は1つ）

	相談したことがある	相談したことがない			
		相談したいと思ったことがなかった	相談したかったが、抵抗感があった	相談時間や場所などが使いづらかった	相談する窓口や方法がわからなかった
A 市役所の窓口	1	2	3	4	5
B こども家庭センター	1	2	3	4	5
C 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど	1	2	3	4	5
D 民生委員・児童委員	1	2	3	4	5
E 保健センター	1	2	3	4	5
F ハローワーク	1	2	3	4	5
G 上記以外の公的機関	1	2	3	4	5

問 34　あなたが現在必要としていることで、重要だと思う支援等はどのようなものですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること
2 同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3 離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること
4 病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること
5 就職のための支援が受けられること
6 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること
7 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
8 子どもの就学にかかる費用が軽減されること
9 子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度
10 子どもの居場所づくり
11 一時的に必要となる資金を借りられること
12 ストレスを発散できる場所、機会が提供されること
13 その他（具体的に　　）
14 特にない

問 35　あなたが必要な支援を受けるために重要だと思うことを教えてください。
（あてはまる番号すべてに○）

1 行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する
2 携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる
3 メールマガジンやSNS等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する
4 広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる
5 相談窓口等の数を多くする
6 相談窓口等の場所をわかりやすくする
7 相談窓口等を行きやすい雰囲気にする
8 休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす
9 保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
10 保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする
11 病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
12 病院で具体的な助言等が受けられるようにする
13 乳幼児健康診査を充実させる
14 その他（具体的に　　）
15 特にない

問 36　あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。（1つに○）

1 言葉も内容も知っている
2 言葉は聞いたことがある
3 知らない　→問 38 へ

問 37　あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。
（あてはまるものすべてに○）

1 本人に様子を聞く
2 家族、知人、友人に相談する
3 先生や部活の顧問等に相談する
4 関係機関（子ども家庭支援センターや土浦児童相談所など）に相談する
5 何もしない
6 わからない
7 その他（　　）

問 38　土浦市に要望することがあれば、ご自由にお書きください。（例：生活費・通学費の手当、塾代の補助など）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

土浦市
こどもの貧困対策のための生活状況調査
結果報告書

発 行 年 月：令和６年７月
発　　行：土浦市　こども未来部　こども政策課
〒300-8686
土浦市大和町９-１
電　　話：029-826-1111